

サウ云フ思想ヲ養成スルコトガ出來マセウガ、併シナガラ地理其他或ハ法制デアルトカ云フ學科ヲ加ヘル必要モアリマセウ、ノミナラズ現ニ實業學科ヲ教授スル場合ニ其基礎トナルベキ數學デアルトカ物理化學ト云フヤウナモノハ、一步先キニ教ヘナケレバナラヌノニ、今日ノ制度ハ三ケ年デアアルガ故ニ一緒ニ教ヘルノデ、生徒ノ了解ニ苦ムヤウナ點モアリマスカラ、五ケ年トスル必要ガアルト云フコトハ今更申スマデモナイコトデアアル、是ハ極ク必要デアアルニ拘ラズ茲ニ裁ツテ居ナイト云フコトハ、仄カニ承ルト建議案ニモ出テ居ルカラ省イタト云フ委員ノ意見デアアルサウデアリマス、サウ云フ必要ナ問題ガ建議案ニ出タカラト云ツテ茲ニ脱クト云フコトハ、丁度時局ニ鑑ミテ實業教育上ノ改善ヲ要スルモノトシテハ、サウ云フ制度ハ今マデ唱ヘテ居ツタケレドモ今ハ要ラナイト云ツタヤウナ、矛盾シタコトニナリマスカラ、是ハ假令建議案ニアツテモ、茲ニ此一項ヲ加ヘルト云フコトハ是非トモ必要デアルト思フデアリマス、其意見ハ議題トナリマスルニハドウシテモ三名以上ノ賛成者ガ必要ナノデアリマスカラ、ドウカ三名以上ノ御賛成ヲ得テ加ヘルコトヲ希望スルノデアリマス、サウデナイト、今日マデ五年ニスルト云フコトガ必要デアルト唱ヘ來ツテ、茲ニ至ツテ其項ヲ舉ゲナイト云フコトハ矛盾スルヤウニナリマスカラ、是非其一項ヲ舉ゲル必要ガアラウト思ヒマス、ソレダケ一言申シマス。

○徒第三十一番(西村仁治君) 私ハ四項ノ中ニモウ一項ヲ加ヘタイ、ソレハ工業學校規程ト徒弟學校規程トノ區別ヲ廢シテ一ツトスル、尙ホ修業年限ハ四ケ年乃至五ケ年、入學資格ハ尋常小學修了ノ者ト云フ一項ヲ加ヘテ、サウシテ二號ノ徒弟ト云フコトヲ止メテ貫ヒタイト云フ考デアリマス、其理由ハ申スマデモナク現行規程ハ餘程古イ歴史ヲ持ツテ居ルモノデアリマスガ、今日ノ時世ニハ餘リ適當セヌ規程デアルト考ヘルノデアリマス、成程二十四年前ニハ此區別ノ必要モアツタカモ知レマセヌガ、今日ニ於テハ殆ド其工業學校徒弟學校ノ目的ハ同一ニナツテ居リマスカラ區別ヲ立ツル必要ガナイ、

ノミナラズ區別ガアレバ却テ工業學校ニシテモ徒弟學校ニシテモ經營上イロ／＼ナ障害ガアルヤウニ考ヘラレマス、工業學校ニ於テモ卒業者ノ大多數ハ皆ナ職工ニナルヤウナコトニナツテ居リマス、ソレカラ又徒弟學校ニ於テモ勿論サウデアリマスカラ、其目的ニ於テハ少シモ變リハナイノデアリマス然ルニ區別ヲ附ケテ置クト云フト、工業學校ニ於テハ幾ラカ氣位ガ高イト云フヤウナタメニ弊害ガアルノデアリマス、又徒弟學校ニ於テハ程度ガ低イト云フヤウナ感ジノタメニ、卒業生ニ於テモイロイロナ不便ナコトモアルヤウデアリマス、又學校ヲ經營スルニシテモ經費ノ點ニ於テ隨分困難ヲ來シテ居ル、徒弟學校ニハサウ金ハ要ラヌト云フヤウナコトガ、府縣當局ノ頭ニアツテ甚ダ困難シテ居ルヤウナコトモアルノデアリマス、イロ／＼理由ヲ申セバ長クナリマスカラ省キマスガ、兎ニ角今日ニ於テハ區別ヲスル必要ガナイノミナラズ、却テ弊害ガアルヤウニ思ヒマスカラ、此區別ヲ廢シテ一纏メニシテ修業年限ヲ四ケ年乃至五ケ年トシ、入學者ノ資格ハ尋常小學卒業以上、斯ウ云フコトニシタイト思フノデアリマス、ソレヲ提出致シマスカラドウカ御賛成ヲ願ヒマス。

○徒第四番(安西卯三郎君) 此間ノ一番終ヒハ四號デ仕舞ヒマシタ、今日ハ四號ノ「女子實業學校規程ヲ特ニ設クルコト」ト云フコトカラ第一ニ始マラウト心得テ居リマシタ、然ルニ議事ノ進行上工業四番カラ御説ガアリマシタニモ拘ラズ段々新ラシイ説ガ出テ、愈々議事ノ進ガムツカシイヤウナコトニナルノデアリマス、ソレデ二號三號ハ異議ハナカッタ、此儘デ通ツタヤウニ思ヒマスノデ、直チニ先ヅ四號ノ女子實業學校規程ヲ特ニ設クルコトト云フノヲ議題トシテ決ヲ採ツテ貫ヒタイト存ジマス、尙ホ之ニ關シテハマダ賛成者モ居リマスケレドモ、唯今調査委員會ノ方ニ出テ居リマシテ此席ニ加ヘルコトノ出來ナイ者モアリマスガ、要スルニ此文字ニ強イテ拘泥下サラヌデ、此工業學校徒弟學校ノ答申ノ中ニ女子ノ工業ト云フコトガ將來ノ時局ニ必要デアルト云フコトヲ謳ヒタイノガ趣意デゴザイマスノデ、ドウカ御賛成ヲ得テ此事ノ通過スルヤウニ願ヒマス。

○議長(河津督學官) モウ議論モ盡キタヤウデアリマスガ前回ノ四番ノ御説即チ此第四項ノ四號ニ女子實業學校規程ヲ特ニ設クルコト、斯ウ云フ一號ヲ加ヘタイト云フコトニ付テ徒弟第四十四番、工業二番等ノ御賛成ガアツタノデアリマスガ議題トシテ成立ツテ居ル譯デアリマス(「賛成」ト呼ブ者アリ)ソレカラ工業四番、工業二十七番、徒弟三十一番等ノ御説モアリマシタガ、何レモ賛成者ガアリマセヌデ...

○業二十三番(伊藤宜良君) 唯今工業二十七番ノ御説ハ私ガ昨日申シマシタノト同趣意デアリマス、私ノ方ハ言葉ヲ定メテ申シマセヌデシタガ、前ノヲ取消シテ二十七番ニ賛成致シマス。

○業二十三番(三上虎太郎君) チヨット私ハ修正ヲ加ヘテ賛ヒタイト思ヒマス、工業二十七番ノ唯今御説ニナツタコトハ、私ノ方デ建議ニモ出シテ居リマスガ、尙ホ實業教育制度ノ改善ノ上ニ於テ、此建議ノ意味ヲ廣メルタメニ更ニ加ヘテ賛ヒタイト云フコトハ賛成シマスガ、工業學校ノ現今ノ規程並ニ徒弟學校ノ現今ノ規程ヲ總テ改正セラレタイト云フコトヲ此中ニ加ヘテ全體ヲ籠メタモノヲ拵ヘタラドウカト思ヒマス、サウスルト女子ニ關スル唯今ノ規程ノコトニ付テモ、其中ニ含蓄セラレハシナイカト思ヒマス。

○議長(河津督學官) 修正案ハ總テ案文トシテ御出シテ願ヒマス。

○業二十三番(三上虎太郎君) 工業學校並ニ徒弟學校ノ現行規程ハ現狀ニ適セヌカラソレガタメニ改正シテ賛ヒタイト云フコトデアリマス、原案ハ今チヨット持ツテ居リマセヌガ...

○議長(河津督學官) サウスルト唯今ノ修正案ハ工業學校並ニ徒弟學校ノ...

○業二十三番(三上虎太郎君) 現行規程ヲ現狀ニ照シテ速ニ改正シテ賛ヒタイト。

○議長(河津督學官) 現狀ニ鑑ミデスカ。

○業二十二番(吉田佐次郎君) 二十七番ニ賛成致シマス。

○弟十二番(黒田正策君) 唯今ノ工業學校並ニ徒弟學校ノ現行規程ハ現狀ニ適セヌカラ改正シテ賛ヒタイト云フヤウナコトハ非常ニ自由ニシテアリマスガ、今何處ガ惡イカラ改正スルト云フ具體的ノコトヲ出サズシテ、ボンヤリシタ御説ヲ出サレルノハ時間ガ掛ツテ甚ダ困ルト思ヒマス、何處ガ惡イト云フ確實ナモノデナイト私ハ考ヘマス、工業學校ニ於テモ徒弟學校ニ於テモ高等科ヲ設クルト云フコトガアル、現在徒弟學校トシテモ其上ニ秀才ノ者ハモウ二年ナラニ補習學校デアルケレドモ、補習ト云フノハ社會ガ認メテ與レナイカラ、本科高等科ト云フモノヲ置イテ、完全ナル教育ヲスルト云フ意味デ茲ニ加ヘタノデアリマス、其他ノコトナラバ研究科デ自由ニ出來ルヤウニナツテ居ル、是等ハ誠ニ良イ規程ニナツテ居ル、工業學校ノ方ニ於テハ、是ハ少シ窮屈デアルカラ、其上ニ一層高等ナモノヲ置クコトガ出來ルト云フ意味デアリマス、又建議案ニ於テ五年ニスルト云フヤウナコトモアリマスガ、是モ網羅シテアルノデアリマスカラ、斯ウ云フボンヤリシタモノヲ出サレルノハ甚ダ議事ノ進行ニ手間ガ取レルト思ヒマス、サウ云フヤウナ薄弱ナ問題ハ時間ヲ取ツテ迷惑ノヤウニ思ヒマスカラ、議長ニ於テ然ルベク御取計ヒテ願ヒマス。

○業二十四番(飯河三角君) 二十七番ニ賛成致シマス。

○議長(河津督學官) 工業二十七番ノ説ニ工業二十三番、工業二十二番、工業二十四番等ノ賛成ガアリマシタノデ修正案ハ議題ニナリマシタ。

○業二十八番(田雜五郎君) 大體ニ於テハ二十七番ニ賛成致シマスガ、私ノ方デハ最早ヤツテ居ルノデ困ツタコトガ起ルノデアリマス、高等二年ヲ出タ者ヲ入レテ四年ノ制度ニシテ、豫備ヲ一年拵ヘテ五年ニナツテ居リマス、二十七番ノ説ニ全部賛成スルト訓令ヲ改メナケレバナラヌノデアリマス、二十七番ニ御尋ネ致シマスガ、六年ト云フコトヲ御入レニナル御考デアリマスカ。

○業二十七番(高田吉親君) 御答致シマスガソレハ私ノ考デハ差支ナイ積リデアリマス、何故ナラバ

五年トハシマスケレドモ、一年延長スルコトガ出來ルト云フ制度ハ固ヨリ附ケルコトニシテ置ク、三年ノ學校ハ、高等小學校ヲ卒ヘタ者ヲ入レル學校ニ於テハ三年トスルコトガ出來ルト云フコトヲ附加ヘルコトニシタイト思ヒマスカラ、一向差支ナク出來ルト思ヒマス。

○業二十八番(田雜五郎君) サウスルト二十七番ニ賛成致シマス。

○議長(河津督學官) ソレデハ先ヅ原案ニアリマス所ノ二號三號ト云フモノヲ先キニ決議致シマシテ、然ル後ニ修正案ノ追加ノ四號五號等ニ移ツテ行キタイト思ヒマス、二號三號等ニ付テハ別ニ御異議モナイヤウデアリマスカラ、此儘決定ト致シテ宜シウゴザイマスカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(河津督學官) ソレデハ此儘決定ト致シマス、次ニ第四號ニ徒弟ノ四番カラ「女子實業學校規程ヲ特ニ設クルコト」之ニ付テハ修正案ガ成立ツテ居ルノデアリマスガ、之ヲ採決シタイト思ヒマス之ヲ修正追加シテ四號ニ入レルト云フコト……

○徒四番(安西卯二郎君) チョット其事ニ付テ申シタイトデアリマスガ、女子實業學校規程云々ノ建議案ノ調査委員ガ五名下ニ居リマスカラ、ソレヲ決ノ中ニ入レルト云フコトハ無理デセウカ、數ノ中ニ入レルト云フコトハ——ソレハ無論賛成者ニ相違ナイノデアリマス。

○議長(河津督學官) ソレハ議場ニ御出デニナラヌ方ハ決ニ加ハルコトハ出來マセヌ、他ノ項ヲ先キニスルト云フ位ノコトハ宜シイノデアリマスガ、其賛成者ヲ呼ンデ御出デニナルト云フコトハ差支アリマセヌ——ソレデハ詰リ女子實業學校規程ヲ特ニ設クルコト、此項ヲ入レルト云フコトニ賛成ノ御方ハ御起立ヲ願ヒマス。

起立者 多數

○議長(河津督學官) 多數ト認メマス、次ニ工業二十七番ノ修正說、今度ハ第五號トナル譯デアリマ

スガ、五號ニ「工業學校ノ修業年限ヲ五ケ年トシ義務教育ヲ卒ヘタル者ヲ直チニ入學セシムルコト」サウデスカ、文句ヲモウ一度……

○業二十七番(高田吉親君) 義務教育ヲ卒ヘタル者トノ連絡ヲ取ルノ制ヲ設クルコト、尤モ但書ハ一ケ年延長スルコトガ出來ルト云フコト、ソレカラ高等小學校ヲ終了シ入學セシムル場合ハ——高等小學校ヲ卒ヘタ者ヲ入學セシムルト云フヤウナ學校ニ於テハ三年トスルコトハ無論デアリマスガ、併シ本體トシテハ前ニ申シタヤウナコトデアリマス。

○議長(河津督學官) チョット——決ヲ採ルノニ困リマスガ、ソレハ正文ニナリマスカ、ナルトスレバ其意味デ文章ヲ作ルコトハ三讀會マデニ……

○業二十七番(高田吉親君) 其意味デアリマス。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(河津督學官) ソレデハ今ノ二十七番ノ御説明ノ通りノ說ニ御賛成ノ御方ハ御起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(河津督學官) 今ノ二十七番ノ說ヲ起立ニ附シマシタラ出席八十二人、賛成者四十五人、多數デアリマスカラ修正案ハ成立致シマシタ。

○業三番(金子篤壽君) 唯今ノガ通過シマスルト今度ハ五號ニナルノデアリマスカ。

○議長(河津督學官) マダ五項トナルト云フコトハ申上ゲナイ積リデアリマス、——唯今ノ第四項ハ一、二、三ノ外ニ二號ガ加ツテ決議ニナリマシタカラ直ニ第五項ニ移リマス。

○業三番(金子篤壽君) 先程申シタノハ五項デハナクシテ四項ノ五號ニナルカト云フコトヲ申シタノデアリマス、四項ノ五號ニ付テ申シタノデアリマス。

○議長(河津督學官) ソレハ決議ニナリマシタ。

○業工三番(金子篤壽君) 決議ニナツタコトヲ醜スト云フノデアリマセヌガ、工業學校ナリ徒弟學校ナリノ間ニ女學校ガ這入ツテハ體裁ガ悪クナリマスカラ、三讀會ノ時ニ訂正致スヤウニ希望スルノデアリマス。

○議長(河津督學官) 五項ニ移リマス、私ノ考デハ第一、第二、第三、第四、第五號ト順次ニ範圍ヲ狭クヤツタ方ガ纏リガ宜イカト思ヒマスカラ第一號ヲ先ヅ協議ニ掛ケマス。

五、工業教育ト他方面トノ關係

1、小學校教科書中ニ工業及經濟ニ關スル教材ヲ増加スルコト

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(河津督學官) ×御異議ハアリマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(河津督學官) 御異議ガアリマセヌナラバ直ニ決定致シマス、第一號ハ決定、第二號ニ移リマス。

(書記朗讀)

2、小學校ノ數學及理科教授ヲ一層的確ナラシムルコト

○業工二十八番(田雜五郎君) 私ハ之ニ數學、理科及手工ト云フコトヲ入レタイヤウニ思フノデアリマス是ハ委員ノ方ニ御尋致シテモ宜カラウト思フノデアリマスガ、サウ云フコトハ委員會ニ出マシタカ。

○業工三十二番(神作濱吉君) 手工ヲ加ヘタラドウダト云フ意見モ出マシテゴザイマスガ、併シ他ノ基礎ノ普通教育ト云フ方ニ特ニ重キヲ要求スルト云フコトガ宜カラウ、手工ナドハ工業學校徒弟學校ニ這入ツテ來ル者ハ總テソレハ出來ルカラ、寧ロ基礎トナルベキ數學理科及ビ一般ノ工業及經濟ノ概

念ダケデ宜カラウト云フコトニナツタノデアリマス、決シテ不問ニ附シタ譯デアリマセヌ、サウナルト圖畫モ加ヘタラ宜カラウト云フ話モアリマシタ、手工ヲ加ヘルト圖畫モ加ヘタラ宜カラウト云フコトニナリマスカラ、手工ト圖畫ダケハ省イテモ宜カラウト思ツタノデアリマス。

○業工二十八番(田雜五郎君) 是ニ付テハ意見ガアリマス、基礎教育デアルカラ手工ヲ申上ゲタイノデアリマス、餘リ長ク申上ゲルノハ御氣ノ毒ニ存ジマスガ、現今ノ手工ノ教授ト云フノハ不徹底デアリマス、ソレハ師範教育ヲ受ケタ所ノ教員ト云フモノニ手工ヲ教ヘルダケノ價値ガナイト思ヒマス、設備ヲシナガラ手工ガ十分ニ行ハレテ居ラヌノデアリマス、ソレカラ手工ト云フモノハ専門家カラ見マシテモ、無論實業教育、工業教育ノ方ニ連絡サセル上ニ於テモ必要デアアル、又普通一般ノ教育トシマシテモ手工ト云フモノガ最モ基礎デアアル、詰リ人間ノ行爲ハ筋肉運動ノ習慣デアルト云フ位ニマデ學理ガ進ンデ、サウ云フ說ヲ唱ヘテ居ル人ガアルノデアリマス、手工ト云フモノハ筋肉ト云フモノヲ日々ニ働カセルト云フバカリデナシニ、尙ホ進ンデ德育ニマデ及ボシテ居ルノデアリマス、確カニサウデアアル、手工ト云フモノハ唯ダ物ヲ造ルトカ、物ヲ細カニ觀察スルトカ、手先ヲ機敏ニ働カセルト云フノミデナク、尙ホ進ンデ徳性ノ涵養ニ及ボスト云フ價値ガアルト云フコトヲ認メテ居ル今日デアリマスカラ、寧ロ是ガ基礎デアアル、而モ工業學校長會議ニ於テ、小學校ノ手工ガ満足ニサレタルモノト見ルノハ残念デアアルノデアリマス、之ヲ大ニ普及シ、大ナル聲ヲ以テ發表シタイト思ヒマス、寧ロ之ヲ謳ハナケレバ誠ニ此會議ノ恥ダト云フ位ニ思ツテ居ルノデアリマス、御賛成ヲ仰ギマス。

○業工二十四番(飯河三角君) 二十八番ノ說ニ賛成致シマス。
○業工二十五番(高井利五郎君) 私モ賛成デアリマス、モウ理由ハ述ベマセヌガ、今ノ師範學校ニ於ケル手工ノ教育ハ小學校ノ手工教員ヲ養成スルダケノ教材ヲ與ヘテ居ラヌ、又時間ヲ與ヘテ居ラヌ、不完全デアアル、又手工ノコトハ二十八番ノ述ベラレタヤウニ、實ハ生徒ノ中心ニナラナケレバナラヌ程

ノモノデアツテ、之ヲ省ミラレナイト云フノハ、元トノ教師ノ養成ト云フコトカラモ來ルノデアリ
マス、是非トモ是ハ加ヘテ欲シイ、賛成致シマス。

○工二十三番(伊藤宜良君) 二十八番ニ賛成致シマス。

○工二十二番(黒田正策君) 手工ヲ加ヘタイト云フコトデゴザイマスガ、其話モアリマシタガ、現ニ手
工ヲ加ヘテヤツテ居リマス、地方ノ狀況ニ應ジテハ各府縣知事モ骨ヲ折ツテヤツテ居リマス、手工ハ
講習會ニ於テモヤツテ居ル、其効果ガ舉ガルカ舉ガラヌカト云フコトハ茲ニ言フ必要ハナイト思ヒマ
ス、兎ニ角數學理科ト云フモノハ、工業教育ニ於テノ一番ノ基礎トシテ之ヲ一層的確ナラシムル必要
ガアラウト思ヒマス、手工ハ互ニヤツテ居ルノデアリマス、講習會ノ教員ヲ集メテ、文部省デ此間モ
ヤツテ居ラレル、是ハ入レナクテモ分カツテ居ルト思ヒマス。

(採決ヲ希望シマス)ト呼ブ者アリ)

○議長(河津督學官) 唯今二十八番ヨリ修正説ガ出マシタニ付テ多數ノ賛成者ガアリマシタカラ之ヲ
議題ト致シマス、所デチヨット修正案ノ提出者ニ御尋ネ致シマスガ、字句ヲ明瞭ニ致シタイト思ヒマ
ス、小學校ノ數學理科及手工デスカ。

○工二十八番(田雜五郎君) 及手工デス。

○工業(早崎龜壽君) 折角ノコトデアリマスガ、小學校ノ算術理科及手工トヤツタラ文勢ガ良クハ
アリマセヌカ、併シ委員長ノ方デ數學ト御書キニナツタノハ其理由ガアリマスカ。

○工三十二番(神作濱吉君) ソレニ賛成致シマス、然ラバ小學校ノ算術理科及手工。

○工二十七番(東山多三郎君) 唯今ノ二十八番ノ御説ニ賛成デアリマスガ、手工ト圖畫ハ殆ド一ツノ
モノト認メル位ニナツテ居リマスガ、手工圖畫ト入レテハ如何デスカ、チヨット二十八番ニ伺ヒマス。

○工二十八番(田雜五郎君) ソレハサウ云フ感ジハ致シマスケレドモ、私ガ見マスル所デハ圖畫ハ手

工ヨリモ低イ、教員モ手工ニハ專科教員ヲ置イテアル、ケレドモ圖畫ニ專科教員ヲ置イテアル所ハ誠
ニ少ナイノデアリマスカラ、茲ニハ手工ダケ宜シイト思ヒマス。

○議長(河津督學官) 御議論モ盡キタヤウデアリマスカラ、直ニ二十八番ノ修正案ノ決ヲ採リマス、
二十八番ノ説ニ賛成ノ御方ハ御起立ヲ願ヒマス。

起立者 多數

○議長(河津督學官) 多數ト認メマス、第三號ニ移リマス。

3、師範教育ニ於テ一層工業智識ノ普及ヲ圖ルコト

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(河津督學官) 御異議ハアリマセヌナラバ決定致シマス、第四號。

4、一般工場ヲシテ生徒實習ノ爲メ一層便宜ヲ與フルノ途ヲ開カシムルコト

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(河津督學官) 御異議ノナイモノト認メマス之ニ決定致シマス、第五號。

5、學校ハ一般工業者ノ爲メ一層研究調査等ノ便宜ヲ與フルコト

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(河津督學官) 御異議ノナイモノト認メマス、サウシマスルト、第五項ハ一號ヨリ五號ニ至ル
マデ全部決定致シマシタ、是デ別ニ追加、修正案等ハアリマセヌカ。

○工三番(飯田吉三郎君) 第六號トシテ「工業學校徒弟學校ノ卒業生ノ兵役ヲ海軍工廠又ハ砲兵工廠
等ニ於テ服役セシムルノ途ヲ開クコト」ト云フ一項目ヲ加ヘタイト思ヒマス、ソレハチヨット昨日モ
説明シテ置キマシタノデアリマスガ、適材ヲ適所ニ使フト云フコトハ一般ニ良イト云フコトニナツテ
居ルノデアリマスガ、時局ノ影響ハ痛切ニ此必要ヲ感ゼシムルモノガアルノデアリマス、工業學校徒

弟學校ノ卒業生ハ工業者トシテハ相當ノ働キガアルノデアリマシテ、鐵砲ヲ持ツコトハ比較的不得手ノモノデアリマス、而モソレガ直接ニ兵器彈藥等ノ製造ニ當ルト云フコトハ、戰線ニ立ツテ戰鬪ニ從事スルヨリモ確カニ有效ナル效果ヲ舉ゲルモノト信ズルノデアリマス、是ハ國家ノ上カラ云ツテモ、亦本人ノ個人ノ方カラ言ツテモ大變便利デ又幸福デアラウト私ハ信ズルノデアリマス、夫故ニ其一項目ヲ茲ニ加ヘタイト思ヒマス。

○業工 十八番(中正正道君) 唯今ノ説ニ賛成。

○業工 二十三番(伊藤宜良君) 唯今ノ説ニ賛成。

○業工 二十四番(飯河三角君) 賛成。

○業工 一番(早崎龜壽君) 國民ノ兵役ト云フモノハ、是ハ平等ノモノデアアル、國民悉クガ之ニ服サナケレバナラヌモノデアアル、ソレニ對シテ工業學校ヲ卒業シテ技術ガアルカラ茲ニ特例ヲ開クト云フコトハ、國防上ノ基本ノ大問題デアリマシテ、斯ウ云フコトヲ加ヘルノハ宜シクナイ、元來徵兵ハ均一デ平等ナルモノデアアル、悉ク之ニ服サナケレバナラヌモノデアアル、適所ニ適材ヲ置クト云フコトハ便宜ニヤレバソレデ宜シイ、之ヲ加ヘルコトハ甚ダ宜シクナイ。

○徒 十一番(寺内金之丞君) 工業一番ト同感デアリマス、國民皆兵ノ今日ニ當ツテ工業家ダケガ其業務ニ服スト云フコトニナツタナラバ、他ノ者ハドウナリマスカ、他ノ業務ニ從事シテ居ル者ガ皆ナ勝手ニサウ云フコトヲヤルト云フコトニナリマシタナラバ、國本ヲ危クスルト云フコトニナリマスカラ自分トシテハ寧ロ現行法令ガ最モ宜シイト考ヘマス。

○業工 十九番(山根脩君) 私モ工業一番ニ賛成デアリマス、今日ハ國民皆兵デアアル、此兵制ニ於テ工業學校徒弟學校卒業生ヲ砲兵工廠ノヤウナ所ニ服役サセルト云フコトハ出來ナイノデアリマス、技術工場ニ於テ技術ニ從事スルモノヲ兵役ニ代ラシムルト云フコトハ今日ノ兵制ニ反スルモノト思ヒマス、

私ハ工業一番ニ賛成致シマス。

○徒 十二番(黒田正策君) 私モ工業一番ニ賛成致シマス、ソナ問題ヲ出スト却ツテ實ニ見解ノ狭イト云フコトヲ笑ハレルト思フ、是ハ出サヌ方ガ宜シイト思ヒマス、今日國家ノ上カラ考ヘテモサウ云フコトヲ出スノハ非常ニ良クナイト思ヒマス。

(採決)ト呼ブ者アリ)

○徒 三番(飯田吉三郎君) 原案ヲ維持スルタメニモウ一ツ申シマス、イロ／＼御説ヲ承リマシタガ、日露戰役ニ於テハ最初ノ内ハヤハリ海内皆兵デ、杓子定規デ以テ、唯今ノイロ／＼ノ御説ノヤウニ戰線ノ方ニ向ハシメタノデアリマス、段々戰爭ガ續キマスニ連レテイロ／＼方策ヲ弄シ、ドウシタナラバ最モ有效ニ國防ノ目的ヲ達シ、戰爭ノ目的ヲ達スルカト云フコトヲ講究シタ結果、適材ヲ適所ニ使ツタ方ガ宜イト云フノデ、戰線ニアツタモノヲソレ／＼調査シマシテ、工業技術ニ堪能ナル者、或ハ其種ノ教育ヲ受ケタ者ハ、砲兵工廠ナリ海軍工廠ト云フ所ニ、或ハ被服廠ト云フヤウナ所ニ段々後送シテ、ソレ／＼適材ヲ適所ニ使ツタ結果ガ非常ニ效果ガアツタト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、サウ云フヤウナ具合ニ、今日デハ唯ダ是ハ一空論デハナクシテ、實際ノ上ニ於テ實現セラレテ、既ニ經驗ヲ經タル、練レタ問題デアルト信ズルノデアリマス、ソレデ今日デハ海内皆兵デアルト云フ制度ガ謳歌セラレル時代デハナカラウト思ヒマス、夫故ニサウ云フモノハ改正スル必要ガアルト云フ叫ヲ大キクスル、個人ノ利益ヲ得、國家或ハ社會ノ利益ヲ得ルナラバ、唯ダ海内皆兵デアルト云フ言葉ニ囚ハレテサウシテ不利益ナルコトヲヤルヨリハ、最モ個人ノ發達、或ハ國家ノ國防ノ上カラモ考ヘテ見テ、最モ有效適切デアラナラバ、ドンナモノデモ改廢スル必要ガアルト云フコトノ聲ヲ大キクスルノハ恥デハナカラウト思ヒマス、斯ウ云フ集リニ於テ聲ヲ大キクスルコトガ即チ國ヲ憂ヘル所以デアリ、國防ヲ完全ニスル所以デアラウト思ヒマス。

○^徒第十六番(堀龜吉君) 私ハ本問題ニ對シテ徒第三番ニ反對デアリマス、理由ハ一番其他カラ述ベラレタ通りデ私ハ別ニ新シイ意見ハアリマセヌ、適材ヲ適所ニ置クト云フ名ヲ藉リテ、國民皆兵ト云フ名ヲ藉リテト云フ説ヨリモ寧ロ適材ヲ適所ニ置クト云フ名ヲ藉リテ國民皆兵ノ立派ナ所ヲ破ルト云フ虞レガアル、私ハ元來師範學校ノ卒業生ニ對シテ特殊ノ六週間兵役ノ制度ヲ設ケテアル點サヘモ如何ハシイト思フノデアリマス、況ンヤ工業學校卒業生ニ對シテ特別ノ採用法ヲ取ルト云フコトハ絶對ニ反對デアリマス、ソコデ一番ノ説ニ賛成デアルト共ニ、更ニ一步ヲ進メテ徒第三番ノ人ニ烏滸ガマシイカモ知レマセヌガ忠言致シマス、斯ノ如キ御意見ハ潔ク撤回セラレンコトヲ望ミマス。

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○議長(河津督學官) 徒第三番ノ説及ビソレニ御反對ノ御方モ多數アリマスノデアリマス、今ソレヲ決ニ採リマス。

○^徒五十七番(杉本久三郎君) 私ハ委員會ニ臨ンデ居リマシテ、今途中ニ這入リマシテ、將ニ採決セラレントスル場合ニ於テ贊否ニ苦シムノデアリマス、ドウ云フコトデアリマスカ、大體デ宜シウゴザイマスカラ、チヨット御説明ヲ願ヒマス。

○議長(河津督學官) ソレハ諮問案第三ノ五項ノ第六號ニ一箇條ヲ加ヘタイ、ソレハ工業學校徒弟學校卒業生ノ兵役ヲ海軍工廠又ハ砲兵工廠等ニ於テ服役セシムルノ途ヲ開クコト、サウ云フ事柄デス。

○^徒五十七番(杉本久三郎君) 分リマシタ。

○議長(河津督學官) ソレデハ徒第三番ノ説ニ御賛成ノ方ハ御起立ヲ願ヒマス。

起立者 少數

○議長(河津督學官) 少數、ソレデハ第三諮問案ハ是デ以テ二讀會ハ終ツタ譯デアリマス、是ヨリ直ニ三讀會ニ移リタイト思ヒマスガ、前ニ御諮リシテ置キマシタ字句ノ修正ノ出來タダケヲ承リタイ。

○^業四番(堀居佐五郎君) 私ハチヨット申上ゲタイノデアリマス、是ハ委員全體ノ決議ニハナツテ居リマセヌガ、唯ダ委員ノ一人トシテ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、此五ツノ項目ノ文字ニ付キマシテ全部ヲ統一シタイト云フ考ノ上カラ多少修正シタイト考ヘマス、是ハ悉ク改善ヲ要スル點如何ト云フノデアリマスカラ、特ニ茲ニ改善ト云フコトヲ舉ゲル必要ハナカラウト思ヒマス、ソレデ斯ウ云フコトニシテ統一シタラ宜カラウト考ヘマス、一、生徒教養ニ就テ、二、學校運営ニ就テ、三、教員ニ就テ、四、實業教育制度ニ就テ、五、工業教育ト他方面トノ關係ニ就テ、斯ウ云フヤウニシタラ總テノ統一ガ付イテサウシテ内容モイロ／＼ナコトヲ其處ニ含ンデ居リマスカラ宜カラウト考ヘマス、サウ云フ風ニ修正シタラ如何カト思ヒマス。

(「贊成」ト呼ブ者アリ)

(「第二諮問案ハ三讀會ハ濟ミマシタカ」ト呼ブ者アリ)

○議長(河津督學官) 第二諮問案ノ三讀會ハ濟ンデ居ルト思ヒマス。

○^業十八番(中原正道君) 委員ノ字句修正ニ賛成致シマス。

○^業二十四番(飯河三角君) 贊成。

○^業十九番(山根脩君) 贊成。

○議長(河津督學官) 今ノ工業四番、即チ委員ノ堀居君カラ提出ニナリマシタ字句ノ修正、即チ一、生徒教養ニ就テ、二、學校運営ニ就テ、三、教員ニ就テ、四、實業教育制度ニ就テ、五、工業教育ト他方面トノ關係ニ就テ、サウ云フコトニシマシテ御異存ハアリマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(河津督學官) 然ラバ其通りニ確定致シマス。

○^業二十五番(高井利五郎君) 私ハ第一項ノ道德心涵養云々ノコトニ付テ字句ヲモウ少シ修正シタイ

ト思ヒマス、私ハ一、生徒教養ニ就テ、一、道義心涵養ノ徹底ニ努ムルコト、斯様ニ致シタイト思ヒマス、段々御忠言モゴザイマシタ、或ハ國民道德ト云フヤウナ御話モゴザイマシテ至極御尤モト考ヘテモ見タノデアリマスケレドモ、國民ト云フヤウナコトヲ附ケマス、又誤ツテ過日ノ國民性ト云フヤウナモノト混淆スル虞モアリマス、寧ろ道義心トシタ方ガ一番適當ノヤウニ思ヒマスカラ、私トシテハ道義心涵養ノ徹底ニ努ムルコトト致シタイ、折角ノ御智慧ヲ拜借致シマシタケレドモ、御禮旁々チヨツト申上ゲマス。

○^徒二十九番(橘久米次郎君) 私ハ重要ナル一項ヲ入レタイト思ヒマス、ソレハ斯ウ云フノデアリマス、文部省ハ工業教育及實業ニ關スル取調書報告若クハ其他ヲ工業學校ニ配付スルコト、斯ウ云フ一項ヲドウカ入レタイ、私共從來是等ノ報告ニ關シテハ農商務省カラ多少ノ報告ハ得テ居リマスケレドモ、僅カニ特許公報、實用新案ト云フヤウナモノデ……

○議長(河津督學官) チヨツト御待チ下サイ、今ハ三讀會デアリマスノデ、此議事法ニ依リマス、ト、字句ノ修正ノ他ハ何等協議スルコトハ出來ナイノデアリマス、ドウカ其御積リテ願ヒマス。

○^業工六番(大野部一郎君) チヨツト高井サンニ御相談ヲ致シマスガ、德育問題ヲ入レルト云フコトハ結構ナコトデアリマスガ、私ハ是ニ德育ニ一層重キヲ置キ特ニ實業道德ノ鼓吹ニ努ムルコトト云フ位ニシタラドウカト思フノデアリマス。

(「鼓吹ト云フ字ハ御考ニナツタラ如何デスカ、鼓吹ダケデハイケマセヌ」ト呼ブ者アリ)

(「涵養デハドデセウ」ト呼ブ者アリ)

(「徹底ハドウデスカ、徹底ニ努ムルコト」ト呼ブ者アリ)

(「何か徹底トデモナケレバイカヌ、教ヘルコトヲ徹底デモシナケレバ、唯ダ道德ノ徹底ハオカシイ」ト呼ブ者アリ)

○^業工六番(大野部一郎君) 涵養ト云フ意味ニハイロノ意味ガ含ンデ居リマスカラ涵養ト致シマセウ。

(「賛成」ト呼ブ者アリ)

○議長(河津督學官) 大分ゴタツキマシタカラ原案ノ御朗讀ヲ願ヒマス。

○^業工六番(大野部一郎君) 德育ニ一層重キヲ置キ特ニ實業道德ノ涵養ニ努ムルコト。

(「賛成」ト呼ブ者アリ)

○議長(河津督學官) 別ニ御異議ハアリマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(河津督學官) 然ラバ今ノ工業六番ノ字句修正ニ決定致シマス、次ニ二號以下全部三讀會ヲ省略致シタラ如何カト思ヒマスガ……

(「モウ一箇條アリマスヨ」ト呼ブ者アリ)

○^業工二十七番(高田吉親君) 「義務教育ヲ卒ヘタル者ヲ以テ入學資格トスル工業學校ノ修業年限ヲ五ヶ年トシ、高等小學校ヲ卒ヘタル者ヲ以テ入學資格トスル工業學校ノ修業年限ヲ三ヶ年トシ、各々尙一ヶ年間延長スルコトヲ得ルノ制度ヲ設クルコト」大變長イノデアリマスガ、但シ先刻御質問ガアツタリナンカスルト、其意味ヲ分ルヤウニ申シマスト斯ウナルノデアリマス、併シ是ハ適當ニ省略シテ皆サンガ其意味ヲ御承認下スツテ、簡單ニスル文句ヲ御舉ゲ下スツタラ——唯今モ外カラ良イ文句ガ出タノデアリマスカラ、又良イ文句ガ出ルカモ知レマセヌ、ドウカ成ルベク簡單ニ願ヒマス、意味ハ其意味デアリマス。

○^業工二十四番(飯河三角君) 前ノ第三項ノ第二デアリマス、「工場ニ經驗アル」ト云フコトニ付テイロ御説ガアリマシタガ、ヤハリ「實務」ト云フノガ宜カラウト思ヒマス、サウ致シタイ「實業學科擔

任教員ハ實務ニ經驗アル者ヲ採用スルコト

〔賛成々々〕ト呼ブ者アリ

○業二十二番(黒田正策君) ソレハサウ云フ話モ出マシタガ、實務ト云ヘバ大變ニ廣クナリマス、是ハ特ニ工場ニ經驗ノアル者ノ方ニ重キヲ置イタノデ、ソレデ工場ト云フコトヲ擧ゲタノデアリマス、實務ニ經驗アル者ヲ採用ト云フコトハ困ルノデス。

〔工場ガ良イデセウ〕ト呼ブ者アリ

○業二十二番(吉田佐次郎君) 是ハ一々文字ノ修正ヲ茲デヤルヨリモ、意味ハ大抵分ツテ居リマスノデアリマスカラ、議長ニ一任シテ訂正ヲ願ヒタイト思ヒス。

〔賛成〕三讀會省略ト呼ブ者アリ

○議長(河津督學官) 字句ノ修正ニ付テハ今工業二十二番ノ御説ガアツテ、其意味ヲ以テ議長ニ一任スルト云フコトニ賛成ノ聲ガ高ウゴザイマシタガ御異存ハアリマセヌカ。

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(河津督學官) ソレデハ其様ニ決定致シマシテ第三諮問案ノ全部ヲ終リマス。

○業二十二番(石黒友吉君) 第二諮問案ハ唯今議長ハ三讀會ヲ了ヘタヤウニ御話ガアリマシタガ、何ダカ了ヘナイヤウニモ思ヒマスガ、是モヤハリ今ト同様ニ……

○議長(河津督學官) 了ツテ居リマス。

○業二十二番(黒田正策君) 私ハ建議案ノ調査委員ノ一人トシテ諸君ニ御諮リ致シタイト思フノデアリマス、建議スベキカシナイカ、或ハ不必要カト云フコトハ委員會ニ於テ随分議論モ出テ極ツテ居リマスノデ是ハ一々討議セズニ委員ニ御任セラ願ツテ、委員ガ茲デ報告スルコトハ宜シウゴザイマスガ、サウシテソレヲ建議スル手續ヲ議長ニ御依頼シテ、時間モ少ナウゴザイマスカラ簡略ニシタイト思ヒマス。

〔賛成〕ト呼ブ者アリ

○業二十二番(吉田佐次郎君) 今ノ問題ニ移ル前ニ此諮問案ニ關聯シテ緊急動議ヲ提出致シタイト思ヒマス。

○議長(河津督學官) 宜シウゴザイマス。

○業二十二番(吉田佐次郎君) 今度文部省カラ實業教育ニ對シテ時世ニ適切ナル御諮問ヲ受ケテ、吾々ハ慎重議ヲ致シマシテ意見ノアル所ヲ答申シ向ホ吾々ノ希望ノ存スル所ヲ當局者ノ御耳ニ達シマシタコトハ誠ニ喜ブ所デアリマス、此答申案ノ各事項ニ對シテ吾々ガ奮勵努力シテ大ニ此實績ヲ擧グルコトヲ期シナケレバナラスコトハ勿論デアリマスガ、答申案ノ要領ヲ見マシテ之ヲ概括ニ申シマスレバ、學校設備ヲ成ルベク完全ニ、立派ナ教員ヲ入レテサウシテ教授力ヲ増シ、時代ニ適當ナル工業者ヲ養成スルト云フコトガ骨子ノヤウデアリマス、之ヲ實際ニ行ヒマスル上ニ於テハ經費ノ増額ト云フコトハ免レナイ所デアラウト思フノデアリマス、尙ホ此實業教育ハ國力増進ノ原素デアルト云フコトハ言フマデモナイ、既ニ今回モ松浦局長初メ岡商工局長ヨリモ懇々御話ガアツタノデアリマス、所ガ此國家ノ重要ノ事業デモ國庫補助ノ如キハ僅カニ二十八萬圓位ト云フヤウニナツテ居リマス、即チ國家ノ重要ナル事業ニ對シテ此補助額ハ餘リニ貧弱デハナカラウカ、サウ云フ感ガアルノデゴザイマス、ソレデ無論吾々ハ國庫ノ補助ガアレバ、此補助ヲ目的ニシテ仕事ガ出來ルモノデアルト云フコトハ考ヘテ居ナイノデアリマス、併シ國庫補助金ガ多クナツテ來マスレバ、自然ニ此實業教育ノ方面ニ地方ノ民心ヲ引附ケルコトガ出來ル、即チ地方ノ經費等モ、國庫補助額ガ増セバ増ス程、工業教育ノ上ニ非常ニ便利ヲ得ルコトガ出來ルト思フノデアリマス、所ガ國庫補助ノ増額ト云フコトニ付テハ、僅カニ此諮問案ノ第二ノ答申ノ中ニ、國庫補助ヲ増額シ云々ト云フコトヲ、ホンノ僅カニ述ベテアルダケデアルソレデハ吾々ノ意思ノアル所ヲ十分徹底致スト云フコトニハ甚ダ物足ラヌヤウナ感ガ致シ

マスノデゴザイマス、ソレデ茲ニ當リマシテ實業教育國庫補助ノ増額ヲ建議スルト云フコトノ問題ヲ提出シタイノデアリマス、ドウカ満場ノ諸君ノ御賛成ヲ願ヒタイノデアリマス。

○**第十八番(丸山龍治君)** 私ハ唯今ノ御意見ニ反對デアリマス、既ニ第二諮問ニ其事ハ言ウテアリマスカラ其事ハ十分デアラウト思ヒマス、尙ホ第三諮問案ニ於テモ費用ノ要ルヤウナコトハ此中ニ見エマスカラ、此校長會議ニ於テハ左程金ガ欲シイト云フコトヲ文部省ニ言ハヌデモ宜カラウト思ヒマス、故ニ大ナル反對ヲ致シマス。

○**議長(河津督學官)** 今緊急動議ガ出マシタケレドモ、規定ノ賛成者ガアリマヌデ……

○**業十一番(近藤徳太郎君)** 唯今補助ノ増額ニ付テ二十番カラ緊急動議ガ出マシタ、私ハ賛成致シマスル一人デゴザイマス、尙ホ之ニ對シテ反對ノ説モ唯今出マシタヤウデハゴザイマスケレドモ、既ニ増額ト云フコトノ精神ガ現ハレテ居リマス、一部ハ此前ノ御諮問ノ第二ノ時デアリマシタカ、増額スルト云フコトニ付テ皆サンノ御意向ガ現ハレテ居リマシタヤウニ思ヒマス、シテ見ルト、唯ダ一二ノ異存ガアルニモ拘ラズ、大體ノ形勢ハ既ニソレデ以テ定ツテ居ルモノト思ヒマス、所ガ其言葉ガ少シ貧弱デアルカラ我々ノ意志ヲ徹底スルノニ足リナイト云フコトヲ二十番ガ言ハレタヤウニ思フノデアリマスカラ、尙ホ此際ニ改メテ今一層諸君ノ御決定ニナツタ意志ヲ明カニスルト云フコトハ最も必要デアル事柄デアルト考ヘマスカラ、唯今ノ二十二番ノ説ニ賛成致シマス。

○**弟十一番(寺内金之丞君)** 工業二十二番ノ建議案ニ賛成致シマス。

○**業一番(早崎龜壽君)** 私ハ其問題ガ良イカ悪イカト云フコトハ後ニシテ、第一ニ、各府縣ノ學校長ノ提出ニナツタ建議案協議題ヲ先キニシテ、然後臨時ノ問題ヲ御決シニ相成ルヤウニ致シタイト思ヒマス。

○**業二十五番(高井利五郎君)** 私ハ二十二番ニ大賛成デアリマスガ、唯今一番ノ御話モアリマスケレ

ドモ、斯ウ云フ問題ハ第二諮問案第三諮問案ノ濟ンダ時ニ決定スルノガ順序デアラウト思ヒマス、殊ニ物ヲスルニハ費用ガ要ル、其費用ノコトニ一番重キヲ置カナケレバ、迪モ實效ハ舉リマスマイ、茲ニ僅カニ第二諮問案ノ一項ニ持ツテ來テ、國庫補助金ヲ今一層増額シ、ソナ弱イコトデハ迪モイカヌト思フ此際、此時局後ノ實業教育ヲ十分ニ徹底的ニ進メルト云フ上カラハ、少クとも國家ハ十分ナル之ニ資金ヲ注グト云フコトハ已ムヲ得ヌコトデアルト思ヒマス、其聲ヲ大キクシテ要求シテ置クコトガ最も必要デアルト思ヒマスカラ、此際速ニ此意志ヲ發表シテ、滿堂ノ諸君ノ御同意ヲ得テ決定セシコトヲ希望スルノデアリマス。

○**議長(河津督學官)** 段々御説ガアツテ二十二番ノ動議ニ多數ノ賛成ガアリマシテ、動議トシテ成立致シマシタ、同時ニ之ハ既ニ議論モ盡キタト思ヒマスカラ、直ニ此一箇條ヲ建議案ニ入ルカ入レヌカト云フコトヲ決議ニ問ヒマス、工業二十二番ノ實業教育國庫補助ノ増額ヲ建議スルト、此緊急動議ニ御賛成ノ御方ハ御起立ヲ願ヒマス。

起立者 多數

○**議長(河津督學官)** 多數ト認メマス。

○**業三十二番(神作濱吉君)** 私ハ此建議案ノ調査ヲ付託サレマシタニ付テチヨット御報告致シマス、私共ハ工業學校長提出建議案事項ノ「試験檢定及人材登用ノ範圍並ニ方法ヲ擴張シ一層青年ノ自習獨學心ヲ獎勵セシメラレ」コトヲ其筋ニ建議スルト「今一ツハ」實業學校實習教員試験檢定ノ制度ヲ設ケラレムコトヲ其筋ニ建議スルト「此二ツヲ吾々五人ハ調査スルコト」ノ命令デゴザイマシタ、ソレデ昨日其打合ヲ致シマシタ所ガ、此二ツトモ非常ニ關係ノ廣イコトガゴザイマスノデ、迪モ昨日今日ダケノ時數ヲ假シテモ到底出來ナイト認メテ、殊ニ今日ノ會議ハ午前ダケデアリマスカラ到底會議ニ上セルコトモ困難ト認メマシタカラ、之ハ宿題トスルコトニ決定致シマシタ、但シソレニ付テ一應御報

告ダケシテ置キタイト云フコトニナツタノデアリマス、此宿題トスルコトニ付テハソレヲ無期延期ニ葬ムルト云フ宿題デナシニ、ドウゾ此此ノ會マデニオ互ニ諸君ニ御研究ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ意味デア
 ル、要スルニ政府ハ各方面ニ於テ試験檢定ノ制度ヲ設ケマシテ人材登用ノ途ヲ開イテアリマスケレド
 モ、ドウモマダ十分ニ徹底シテ居ラヌヤウニ考ヘマス、例ヘバ官吏トカ云フ方ノ試験檢定ノ餘程能ク
 行ツテ居リマスガ、一方ノ技術者ノ試験檢定、サウ云フ方ニ至リマシテハ僅カニ遞信省ノ電氣主任技
 術者ノ試験檢定ト、ソレカラ船舶職員ノ試験檢定トニツダケデアリマス、技師ノ任用ト云フコトモア
 リマスケレドモ、是ハ極ク範圍ガ狭イ、甚ダ不十分デアリマス、兎ニ角工業ノ勃興發展ノ時ニ際シマ
 シテハ、各學校ノ卒業生並ニ自習見學ニ於テ出來テ居ル技術者ハ成ルベク其人材ヲ登用シ、或ハ社會
 ニ貢獻サセルト云フコトガ必要デアラウト思ヒマス、現ニ鑛山監督官署、今ハ鑛務署ニナツテ居リマ
 スケレドモ、其方ナドデモ是非認定法ヲ擴ゲテ貰ヒタイト云フコトヲ署長會議ニ於テ研究シテ決議シ
 當局者ニ建議シテ居リマス、サウシテドウカ學校長アタリノ會議ノ時ニハサウ云フコトヲ持出シテ貰
 ヒタイト云フコトヲ署長カラ話ヲ受ケテ居リマス、若シ技術者ニ對シテ試験檢定ノ範圍ヲ擴メテ取リ
 マシタナラバ、例ヘバ工業學校卒業生デモ徒弟學校卒業生デモ、ズン／＼自習見學ヲシテ其試験ヲ受
 ケテ上位ノ技術者ニナレルノデアリマス、例ヘバ電氣主任技術者試験ハ一級カラ六級マデアツテ、一
 級ヲ受ケレバ工學士ト同ジニナル、甲種工業學校卒業生デモ二級ノ試験ヲ受ケテ居ルノデアリマ
 ス、サウスレバ、甲種工業學校ノ卒業生デモ、高等工業ニ這入ラヌデモ又大學ノ專科ニ這入ラヌデモ
 自由ニ技術上ノ試験檢定ヲ受ケテ之ニ及第スレバ、大學ヲ卒業シタト同ジ資格ヲ得ラレルノデアリマ
 ス、從ツテ土木建築或ハ一般ノ化學工業ニシテモ、機械工業ニシテモ技術者ノ必要ヲ大ニ認メテ來テ
 居ルノデアリマスカラ、殊ニ此際ニ於テ技術者ノ試験檢定ノ範圍ヲ各方面ニ於テ統一のニ擴張シテ戴
 イタラ宜カラウト思ヒマス、例ヘバ鐵道院ノ方デハ鐵道院ニ使フ所ノ鐵道院技術者ノ檢定試験ヲヤル

内務省ノ土木ノ方ニ使ハレル所ノ技師ナドモ檢定試験ヲスル、農商務省ハ農商務省デ使フ所ノ農業技
 術者ヲ認定スル試験檢定ヲスルト云フコトニナリマシタナラバ、學校卒業生ノ能率ヲ發揮セシムル上
 ニ於テモ無論效ガアル、又獨立自習デ出來テ居ル天才的ノ者ヲ社會ニ紹介シテ貢獻サセル上ニ於テモ
 大ニ效果ガアラウト思ヒマス、今日ハ能率ノ増進ト云フコトハ總テノ上ニ於テ必要デアルト云フコト
 ヲ認メテ居ルニモ拘ラズドウモサウ云フ缺陷ガアルヤウニ思ヒマスカラ、此點カラ考ヘテモ、此問題
 ハ十分ニ調査致シマシテ、當局者ノ御參考ニ供スルト云フコトガ必要デアラウト思フノデアリマスカ
 ラ、ドウカ諸君ニ於テモ其邊ニ付テ十分御調査ノ上、此次ノ會ニハドウゾ徹底シタ意見ヲ纏メマシテ
 文部大臣ニ建議シテ、文部大臣ノ手カラ内閣總理大臣ニ具申シ、更ニ當局各省大臣ニ建議シテ戴イテ
 試験檢定ノ範圍ヲ統一のニ擴張シテ貰ヒタイト云フ希望ヲ持ツテ居ルノデアリマス。
 ○議長(河津督學官) チヨット御待チ下サイ、熱心ニ御遣リニナリマシタノデ大分時間モ進ミマシタ
 カラ此邊デ休憩シテハ如何デセウ。
 (賛成ト呼ブ者アリ)

- 議長(河津督學官) ソレデハチヨット休憩致シマスガ、其前ニ女子ノ學校ノコトニ付テ、是カラ御
 協議ノ方ニモ這入ツテ行カウト思ヒマスガ、女子ノ方ヲ別ニ御遣リニナリマスナラバ此際承ツテ置イ
 テ、室ヲ用意シタイト思ヒマス。
- 弟四番(安西卯三郎君) ソレハ建議ニ付テデアリマスカ。
- 議長(河津督學官) サウデアリマセヌ。
- 弟四番(安西卯三郎君) 他ノ協議ヲヤリタイト云フ希望ガアルカト云フノデアリマスカ。
- 議長(河津督學官) 必要ガ御有リニナルナラバ室ヲ用意シタイト云フノデアリマス。
- 弟四番(安西卯三郎君) ドウカ願ヒタイトデアリマス。

○議長(河津督學官) ソレデハチヨツト休憩致シマス。

午前十一時十分休憩

午前十一時二十五分開議

○議長(河津督學官) 是ヨリ開會致シマス、チヨツト其前ニ申上ゲマスガ、明日ノ講話ハ午前九時カラ帝國教育會デ始マルノデアリマスカラ御承知ヲ願ヒマス、——今度ハ續イテ諸君カラ御提出ニナリマシタ所ノ建議案ノ事項ヲ協議致シタイト思フノデアリマスガ、御覽ノ通りニ最早ヤ十二時マデニハ三十分バカリヲ殘シテ居リマスダケデアリマス、イロ／＼協議題等ニ付テ諸君モオ互ニ御話合ヒタイコトガ多イデアラウト思ヒマスカラ、建議案ノ方ハ前ニ委員ニ付託ニナツテ居リマス、其委員ノ調査ガ終ツテ居リマスカラ、其案文ヲ朗讀シテ謹聽スル位ニ止メテ協議ニ移ツタラ如何カト思ヒマス。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(河津督學官) ソレデハ御調ベヲ願ツタ委員ノ御案ニ付テ朗讀ヲ逐次致スコトニ致シマス、此方ノ方デ少シ手廻リ兼ネテ居リマスカラ、御取調ベニナツタ委員長ノ御方ニ其文章ヲ御朗讀ヲ願フ部分モ出來ルカモ知レマセスガ、其邊ハ御承知置キヲ願ヒマス。

一、工業學校ノ修業年限ヲ改正シ義務教育ヲ終ヘタルモノヲ直ニ入學シ得ラル、様現行規程ヲ速ニ改正セラレンコトヲ建議スルコト

一、工業學校規程第八條但書外國語ノ次ニ代數ノ二字ヲ加フルコトヲ建議スルコト
市立仙臺工業學校長提出

一、工業學校規程第八條ノ豫科ノ學科目ニ關スル規程中本文又ハ但書中ニ實習ノ一科目ヲ加ヘラレタキコト

一、若シ前文ノ如ク實習ノ一科目ヲ加ヘタルトキハ同規程第七條豫科ノ授業時數ヲ規定セル本文ニ左ノ但書ヲ加ヘラレタキコト
但シ實習ヲ課スルトキハ定時數外ニ之ヲ課スルコトヲ得。

(委員長報告)

○工十四番(柴田才一郎君) 御報告致シマス、私共五名ハ工業學校ノ建議案ノ最初ノ二ツヲ引受ケタノデアリマス、ソレカラ私立仙臺工業學校提出ノ問題ト關係シテ居リマス、此三ツヲ合セマシテ一ツノ建議案トシテ出シタイト云フノデアリマス、夫故ニ先程御手許ニ出シマシタノハ委員ガ十人ニナツテ居リマスガ、一ツヲ合セタノデ十人ニナツテ居ルノデアリマス、其案ヲ朗讀致シマス去明治四十四年十二月開會ノ工業學校徒弟學校長會議ニ於ケル工業學校規程改正ニ關スル答申案ハ女子實業學校ニ關スルモノ、外今日ノ時勢ニ於テ益々必要ヲ認メ候ニ付速ニ御實行相成候様致度若シ本案ヲ直ニ御實行難相成場合ニハ現行規程豫科學科目ヲ便宜増減シ得ル様速ニ御改正相成度此段建議致候也。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(河津督學官) 別ニ字句等ノ修正意見モアリマセヌナラバ次ニ移リタイト思ヒマス。

○工十四番(柴田才一郎君) ソレハ此前ノ四十四年十二月ノ大會ノ答申案ニ御覽ニナルト分ルノデアリマス、其中ニ女子技藝學校ノコトガ仕舞ヒニ附加ヘテアルノデアリマス、今日ハ女子技藝學校ニ關スルモノハ別ニ規程ヲ設ケタラ宜カラウト云フ御説ガ多イヤウデアリマス、ソレデソレハ別ニ離シテヤツタラ宜カラウト云フ意味デヤツタノデアリマス。

(「宜シウゴザイマス」又「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(河津督學官) ソレデハ御異議モアリマセヌヤウデアリマスカラ、此儘ニ決定シテ差出スコトニ致シマス——第二番目、實業學校ノ教員ヲ毎年若干名ツ、適當ノ海外地ニ派遣セラル、様其筋ニ建議スルコト、之ノ委員長カラノ御朗讀ヲ願ヒマス——今ノハ印刷シマシタモノガ不足シテ居リマスカラ、ソレヲ配付シタ後ニ願ヒマス、其前ニ印刷ノ出來ナイモノハドウモ仕方ガアリマセヌガ、印刷ノ出來タモノヲ先キニ朗讀致シマスコトニ致シマス、ソレデハ今ノ實業學校ノ方ノハ印刷物ガ出來マセヌカラ、ソレハ後廻シニシテ次ニ徒弟學校長ノ建議事項ニ移ツテ、其第一項ノ實業學校教員ニ對スル年功加俸ノ制度ヲ設ケラレムコトヲ其筋へ建議スルコト、此方ノ委員長カラ御朗讀ヲ願ヒマス。

○工六番(大野部一郎君) ソレデハ年功加俸ノ方ヲ讀ミマス。

實業學校教員ニ對スル年功加俸ノ制度ヲ設ケラレムコトヲ其筋へ建議スルコト

理由

實業學校教員ノ俸給ハ一般實業家ノ報酬ニ比シ菲薄ナルヲ以テ安ンジテ其職ニ就クモノ少ク現職者ト雖モ實業界ニ轉ズルモノ少ナカラズ近時國運ノ發展實業ノ勃興ニ伴ヒ人物ヲ要スルコト彌々多ク此傾向ヲシテ益々甚ダシカラシムルモノアリ、而シテ増給其他ノ方法ヲ以テ之ガ豫防ノ途ヲ講ゼントスルモ地方經濟ノ事情又之ヲ許サザルモノアリ、是ニ於テカ小學校教員ノ例ニヨリ年功加俸ノ制ヲ設ケ教員優遇ノ方策ヲ講ジ以テ現職者ヲ鼓舞スルハ勿論汎ク有爲ノ材アルモノヲシテ奮ツテ教員ノ職ニ從事セシムルコトハ刻下ノ急務ナリト信ズ、是レ本案ヲ建議スル所以ナリトス

案

實業學校ノ校長及教員ニシテ五ヶ年以上勤績シ成績佳良ナル者ニハ左ノ標準ニヨリ年功加俸ヲ支給スルモノトス

六十圓以上百五十圓迄

奏任待遇ノ校長及教諭

判任待遇ノ校長及教諭

四十八圓以上百二十圓迄

助教諭及訓導

三十五圓以上七十五圓迄

年功加俸ヲ受ケタル後ハ勤績五年ヲ加フル毎ニ更ニ左ノ標準ニヨリ増加支給スルモノトス

奏任待遇ノ校長及教諭

四十五圓以上九十圓迄

判任待遇ノ校長及教諭

三十六圓以上七十二圓迄

助教諭及訓導

二十四圓以上四十八圓迄

是ダケデアリマス、大體是ハ小學校教員ノ年功加俸ノ規定ニ依リマシテ、ソレヲ「スタンダード」ニシマシテ、奏任待遇ノ校長及教諭、判任待遇ノ校長及教諭、助教諭及訓導ト云フ風ニ別ケテ最少額ヲ置イテソレカラ最大額ヲ置キマシタ、其率ハ全ク小學校教員ノ方ノ額ト同様ニナツテ居リマス。

○議長(河津督學官) 是ハ印刷物モ差上ゲナイデスルノハ少ト無理デアリマスガ、別ニ御異議ハアリマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(河津督學官) ソレデハ實業學校ノ教員ヲ毎年若干名ツ、適當ノ海外地ニ派遣セラル、様其筋ニ建議スルコト、此委員長ヨリ御朗讀ヲ願ヒマス。

一、實業學校ノ教員ヲ毎年若干名ツ、適當ノ海外地へ派遣セラレ度事

理由

我國ハ今ヤ世界的實業教育ヲ施シ之ニ向テ勇往邁進スル有爲ナル人物ヲ養成セザルベカラズ然ルニ實際之ガ指導ノ任ニ當ル教員ハ一般ニ世界的知識技能ニ乏シクシテ今後ノ實業教育ヲ實施スル上ニ於テ頗ル缺點アリト認ム依テ本案ヲ提出シ如上ノ目的ヲ貫徹シ實業教育ノ効果ヲ一層有効ナラシメントス

○議長(河津督學官) 次ニ講習會ノ開催ヲ建議スルト云フ方ノ御朗讀ヲ願ヒマス。
○徒弟十二番(黒田正策君) 朗讀致シマス。

調査報告

一、實業學校普通學科教員ノ爲メ講習會ノ開催ヲ建議スルコト
右ハ左記ノ理由ニヨリ可決ス

理由

實業學校普通學科教員ノ學力補習ハ極メテ切要ナリ、然ルニ甲種程度ノ教員ノタメニハ稍其途開カレアルモ徒弟學校程度ノ教員ノタメニハ全ク其途ナシ、依ツテ左記ノ方法ニ依リ速ニ之ガ講習會ヲ開催セラレンコトヲ希望ス

一、實業學校普通學科教員ノ講習會ハ可成高等ノ實業學校ニ於テ開カレタシ
二、文部省開催ノ師範學校中學校高等女學校實業學校教員ノ講習會ニハ徒弟學校教員ヲ加ヘラレ

タシ

是ダケノ理由デアリマス、ソレカラモウ一ツ一緒ニナツテ居リマス、次ノ講習會ハ
從來文部省ニ於テ開催セル工業學校並ニ徒弟學校實習教員ノ短期講習會ヲ爾今毎年開催セラレンコトヲ望ム

右ハ左記ノ理由ニヨリ可決ス

理由

現時ノ状態ニアリテハ技術ノ優秀ナル實習教員ニハ主トシテ實地上ノ經歷ノミヲ有シ組織的教育ヲ受ケタモノ尙未ダ多カラズ、從ヒテ頭腦兎角組織ノナラズ教育思想ニ乏シク、從ヒテ實習教授ノ徹底ヲ缺キ技術ノ上ニ於テモ往々或一部ノ技ニ偏シ普遍的ナラザルノ嫌ヒナキニアラズ、東京

高等工業學校ニ於ケル工業教員養成所速成科ハ蓋シ此等ノ缺陷ヲ補ハンガ爲メナルベキモ其供給未ダ十分ナラズ且ツ文部省ノ年々ニ開催セラルル實業學科夏期講習會ニ於ケル講演ハ此等ノ教員ニ對シテハ稍高尚ニ過ギ未ダ此缺陷ヲ充タスコト能ハザルガ如シ、故ニ爾今專ラ實習教員ヲ中心トセル稍低度ノ學理及實習ヲ授クル短期講習會ヲ毎年開催シ以テ成ル可ク速カニ此缺陷ヲ補ハンコトヲ望ム所以ナリ

斯ウ云フ理由デアリマス。

○議長(河津督學官) 別段御異議モアリマセヌヤウデアリマスカラ、次ノ項ニ移リマス、女子ニ關スル技藝學校規程ヲ速ニ制定セラレンコトヲ望ム、委員長ヨリソレヲ御朗讀ヲ願ヒマス。

○徒弟三十二番(本田嘉種君) 是ハ技藝學校トアリマシタケレドモ、委員會ノ方デハ、實業學校トスル方ガ宜シイト云フコトデゴザイマスカラ、ドウゾ御訂正ヲ願ヒマス。

一、女子ニ關スル實業學校規程ヲ速ニ制定セラレムコトヲ望ム

現今及將來ニ於ケル國家ノ狀勢ヨリ觀察スレバ女子ニ對スル實業教育ハ益々之ヲ獎勵シ且ツ保護スルノ必要ヲ見ル而シテ之ガ獎勵保護ニハ整然タル規程ヲ以テ獎勵スルノ必要アリ、然ルニ現今ノ中等程度實業教育ニ關スル規程ハ男女各其獨特ノ性質ニ適合スル様別個ニ制定シアラザルハ之ヲ缺點ト認メザルヲ得ズサレバ現今及將來ノ實業學校獎勵保護ニハ普通教育ニ於ケル中學校令ニ對シ高等女學校令ヲ制定セラレタルガ如ク、現今ノ實業學校令中ヨリ女子ヲ分離シ特ニ女子ニ對スル實業學校令若クハ規定ヲ制定スルノ必要ヲ認ム

○議長(河津督學官) 今ノデ以テ工業學校長、徒弟學校長諸君ヨリ建議ニナリマシタ所ノ案ハ終ツタノデアリマス、別ニ御意見モアリマセヌヤウデアリマスカラ、此建議案ヲ整理シマシテ議長ヨリ文部大臣ニ提出スルコトニ取計ヒマス——續イテ提出ニナリマシタ協議事項ニ付テ伺ヒタイト思フノデア

リマス、如何デゴザイマセウカ、順次ニ此提出ノ順序ニ從ヒマシテ御話ヲ御願ヒ致シマセウカ、ソレトモ此中カラ引抽イテ御話ヲ願フコトニ致シマセウカ御相談致シマス、モウ十二時マデニ、十一分シカアリマセヌ。

○工三番(金子篤壽君) 先ヅ工業學校長カラ提出セラレタモノヲ一ツ、次ニハ徒弟學校長ヨリ提出セラレタモノヲ一ツ尙ホ時間ガアリマシタラ工業學校長カラ提出セラレタモノヲ又一ツ、次ニ徒弟學校長カラ提出セラレタモノヲ一ツ、斯ウ云フ順序デ出來ルダケ進メラレンコトヲ希望致シマス。

○徒三番(飯田吉三郎君) 工業三番ニ賛成。

○議長(河津督學官) チヨツト工業三番ニ伺ヒマスガ、サウシマスルト工業學校ノ第一項カラヤツテ行カウト云フノデアリマスカ。

○工三番(金子篤壽君) サウデス。

○業一(早崎龜壽君) モウ濟ンダ問題デアリマスカ、チヨツト伺ヒマス、實業學校教員ヲ海外ニ派遣セラレルヤウナ内規ナドハナイモノデアリマスカ、近來師範學校、中學校ノ教員ハ文部省カラ海外ニ堂々ト派遣ニナルヤウデアリマスカ、實業學校ノ方ナドハ御詮議ニナラヌヤウデアリマス、何か譯ガアリマスカ、其金ハ實業學校ニハ行カヌコトニナツテ居リマスカ、御差支ガナカッタラ一ツ……

○議長(河津督學官) 議長ハ新參者デ一向分リマセヌ。

○業一(早崎龜壽君) 師範學校中學校ノ方ハ文部省デ毎年出サレマスカ、實業學校ノ方ハチツトモ出マセヌ、ソレダケヲ申シテ置ケバ宜シイ——ソレデハ他ノコトニ移リマス、此工業學校ノ先生ガ毎年一度ヅ、専門ニ關スル研究大會ヲ催スト云フ大阪ノ案デアリマスカ、何か旨イ工風ガアリマスカ、一人宛デスカ、澤山デスカ、地方ヲ限ルノデスカ、或ハ全國デスカ、金ト時トニ困リマスカ、御考案ハゴザイマセヌカ。

○議長(河津督學官) 工業三番ノ御説ニ依ツテ一項ヅ、協議シテ見ヤウト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(河津督學官) ソレデハ直チニ工業學校提出ノ第一項ニ付テ御協議ヲ願ヒマス——工業一番ニ大阪ノ堀居君カラ御答ヲ願ヒマス。

工業學校職員ヲシテ毎年一回専門ニ關スル研究大會ヲ催シ相互ノ智識ヲ交換セシムルノ必要ナキヤ

○業四番(堀居佐五郎君) 研究大會ノ「大」ヲ取ツテ研究會ト云フコトニ願ヒタイ、ソレデ此案ヲ出シマシタ理由ハ兎ニ角此中等程度ノ工業學校若クハ徒弟學校ガ將來ハドウシテモ日本ノ工業ノ中堅トナツテ立タナケレバナラヌト云フ大切ナ方々デアアル、所ガ此學校ノ教授ト云フコトハ餘程ムツカシイ、何トナレバ高等ノ専門學校ノ豫備デモナシ、又高等ノ専門學校ノ教科ノ中カラ例ヘバ數學トカ云フヤウナモノヲ取ツテシマツタ位ニ教ヘルモノデモナイ、小學校ヲ卒業シタ者ヲ直ニ此種ノ教育ヲ授ケテ、高等専門學校ノ卒業生ト相俟ツテ、サウシテ社會ノ中堅トナラナケレバナラヌモノデアアルカラ、餘程斯ウ云フ學校ノ教授其他ノコトニ付テハ困難ナ事情ガアラウト思ヒマス、ソレデアアルカラ其受持教員例ヘバ専門學デモ普通ノ學デモ宜シイ、先ヅ専門學受持教員ハ、自ラ研究シタ自己ノ經驗的ノ智識ヲ教材トスルト云フヤウナコトデ、生徒ヲ指導スルコトガ必要デアアル、サウ云フコトニハ、ドウ云フ風ニシタラ、サウ云フコトガ出來ルカト云フヤウナ、教授法ノ交換トカ云フコトニ、各ミ氣脈ヲ通ジテ、他ノ長ヲ採リ自分ノ短ヲ捨テルト云フコトガ必要デアラウト思ヒマス、ソレデ先ヅ斯ウ云フ風ニシテ全國ノ此種ノ教員ヲ統ベテ、サウシテ互ニ利益ヲ得ルト云フコトニシタイト思ヒマス、其方法トシテハ毎年此講習會等ガアリマス、例ヘバ建築ノ教員デアルトカ、機械ノ教員デアルトカ云フヤウナ

者ノ講習會ガアリマス、其場合ニ其全體ノ機械モ建築モ一緒ニ集メテ、サウシテ教授法ヲ研究スルト云フヤウナコト、若クハソレガ各部ニ別レテヤルト云フヤウナコトモ一ノ方法デアラウト思ヒマス、又毎年順番ニ各地デ何カ其研究ガ出來ルヤウナ一ツノ機關ヲ作ツテ、サウシテ、少クトモ其専門ニ關スル一部分ノ者デモ寄ツテ、教授法ノ研究又ハ自ラ何カ研究シタヤウナコトヲ發表シテ、サウシテソレガ生徒教養ノ教材トナルト云フヤウナコトヲ互ニシテ、自他ノ利益ヲ増スト云フコトハ目下工業教育ニ從事スル者ノ最モ必要ナル事項デハナイカト思ヒマス、吾々ガ學校長會議ノタメニ始終斯ウ云フ風ニ集マルト非常ニ良イ利益ヲ得ルト等シク他ノ教員ニモ斯ウ云フ利益ヲ得セシムルト云フコトが目下ノ必要デハナイカト考ヘテ本案ヲ提出致シタノデアリマス、ドウカ良イ方法ガアリマシタナラバ是非御考究ヲ願ヒタイト思ヒマス簡單ニ御説明致シマス。

○第一番(秋保安治君) 此問題ハドナタモ「交換セシムルノ必要ナキヤ」ト云ヘバ、皆ナ「アリ」ト御答ヘニナルデアラウト思ヒマス、ドウシタラ宜カラウカト云フコトハ短時間デハムツカシイヤウデアリマスガ、私ハ御相談ヲスル機會ヲ失ツテ居リマシテ、是カラ會ガ終ル時ニ御相談申サウト思ツテ居ッタノデアリマス、工業學校長ト云フヤウナモノヲ從來毎年ヤツテ居リマシタカラ、是ヲ常設ノモノトシタイト思ツテ、私共東京府ニ居ル三名ノ校長ガ簡單ナ申合箇條ヲ設ケテ唯今配付中デアリマス、其團體ガ御賛成ヲ得マス、ソレガ中心ニナツテコンナモノガ追々出來ルカモ知レヌト思ヒマスガ、其邊ノ所ニ御任セニナル位ノ程度デ此問題ハ一々御討議ニナラヌデ、ソレガ成立タナカッタラ更ニ問題ニスルト云フヤウナ案梅ニイカヌモノデセウカ、今ノコトニ付テ此會ガ終ル時ニ工業學校長會ヲ起ス簡單ナ考ヲ申ス積リデアリマス、ソレガ成立チマセヌナラバ、更ニ此問題ヲ解決スルコトニシタラ宜カラウト思ヒマス、成立ツタラ其方デ研究シテ行クト云フコトニシテ、此問題ハ御委下スツタラ如何デセウ、時間ノ都合デ……

〔賛成〕ト呼ブ者アリ

○業工四番(堀居佐五郎君) 今ノハ結構デアリマスガ、ドンナコトデモ其方法ガ出來テ、之ヲ實行スル機會ガ得ラレマシタナラバ非常ニ仕合ト思ヒマス、今ノ文部省デ開催ノ講習會トカ何トカ云フヤウナモノヲ御遣リニナル時分ニ其終リニ一日トカ幾ラカノ時間ヲ費シテ、此種ノ教員ヲ集メテ、サウシテサウ云フコトヲ願フト云フヤウナコトハ出來ナイモノデアリマスカ、如何デセウカ。

○議長(河津督學官) チヨット伺ヒマスガ、サウスルト講習會ヲヤツタ時分ニ、其終リニ集ル……
○業工四番(堀居佐五郎君) 講習會ハ詰リ講師ガ御話シニナリマシテ、其智識ヲ得テソレノ歸ルモノデアリマスガ、其終リニ一日デモ、短カク云ヘバ一時間デモ其教員ガ集ツテ、サウシテ互ニ自分ノ經驗シタコトヲ話合フト云フヤウナ機會ヲ、其場合ニ文部省デ作ツテ貰フコトハ出來マセヌカト云フコトヲ御尋スルノデアリマス。

○議長(河津督學官) 講習會ヲ年々ヤリマシテサウシテ其終リニ機會ガアリマスレバ、今御話ノ通リナコトハ出來得ルヤウニナツテ居リマス、例ヘバ日曜ヲ一ツ繰上ゲテヤツテシマフト云フヤウナコトハヤツテ居ルサウデアリマス。
○業工四番(堀居佐五郎君) マア其位ノ所デ始メマシテ、其他ニ良イ方法ガ行ハレ、バ誠ニ結構デアリマス。

○議長(河津督學官) 別段御説モナイヤウデアリマスカラ、徒弟學校ノ問題ニ移リマス、是ハ決議スルコトモナイノデ、伺ツテ置ケバ宜イノデアリマス、ソレデハ工業學校ノ方ニ於ケル第一項ノ御説ハ拜聽シタト致シマシテ、徒弟學校長提出ノ第一項ヲ御協議致シマス。

工業學校ト徒弟學校トヲ統一スル必要ナキヤ
○第三番(飯田吉三郎君) 私共ガ提出致シマシタ協議題ニ付テ簡單ニ申シマス、工業學校ト徒弟學校

トヲ統一スル必要ナキヤト云フ疑問デアリマシテ、皆サンノ御説ヲ承リタイト思フノデアリマス、私共ハ徒弟學校ノ方ニ從事シテ居リマスノデ、工業學校ノコトニ付テハ精シク存ジマセヌノデ、卒業生ノ狀況ガドウ云フヤウニナツテ居リマスカト云フコトモ承知シマセヌモノデアリマスカラ、旁々サウ云フコトヲ承リタイト思ヒマシテ、尙ホ私共ノ考ヘマスニハ、工業學校モ低度ノ工業者ヲ培ヘルノデアアル、徒弟學校モ低級ノ工業者ヲ培ヘルノデアアルトスレバ、之ヲ二ツニ刻ム程ニ必要ガアルカドウカ勿論此規定ガ出來マシタ頃ニハ十分其必要モアツタデアラウト思ヒマスガ、今日ニ於テモ尙ホ依然トシテ前ノ規程ヲ維持スル必要ガアルカドウカ、或ハ是ヲ合同シタヤウナ形ニ於テドウデモ出來ルヤウナ「ルーズ」ナ規則ニシテハドウカ、今日ノ補習學校ガ低級ナモノデモ、高等ナモノデモ、中等ナモノデモ出來ルヤウニナツテ居ル具合ニ、低級ナモノナラバ低級ナモノ、中ニ、多少甲乙ガアツテモ一ツノ規程ノ下ニ、或ハ工業學校規程ト云フカ何ト云ヒマスカ、サウ云フヤウナ統一シタ規程ノ下ニ、何年ウカドウカト云フコトヲ考ヘマスノデ、御意見ヲ承リタイト思ヒマシテ茲ニ提出致シタノデアリマス。

○工二番(石黒友吉君) 是ハ先刻何番デシタカ、高田君ガ諮問案ニ事項ヲ増サレタ所ノ修業年限ノ延長、及ビ義務教育カラ直ニ接続スルト云フ、ア、云フ制度ガ改正セラレマシタナラバ、自然是ハ統一セラレルコトニナルト私ハ思ヒマス、アノ節ニチヨット説ヲ出シタカツタノデアリマスケレドモ控ヘテ居リマシタガ、一體徒弟學校ト云フヤウナ名稱ガ氣ニ入りマセヌ、商業學校モ農業學校モ甲種乙種トナツテ居リマスノニ、何故ニ工業學校バカリガ徒弟ト云フ文字ヲ使ハネバナラヌカ、甚ダ片手落ナ文字ノ遣ヒ方デアアル、ソレデ先刻モ制度ノ改正ヲ諮問案ニ答ヘテ居リマス、又ハ建議案ヲ出シタリシデアリマスノデ、此方ノ徹底ヲ期シタイト思ヒマス、チヨット御參考ニ意見ヲ申上ゲマス。

○徒一(秋保安治君) ドウモ時間ガナイノデ何モ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、此問題ハ私共ヤハ

リイロノ考ヲ持ツテ居ル問題デアリマシテ、實ハチャント調査委員デモ舉ゲテ或ル程度マデノ成文ヲ作ツテ、之ヲ建議スルト云フマデノ必要ハアリマセヌガ、文部省ノ人ニ斯ウ云フヤウナコトガ希望デアツテ、斯ウ云フ遺口ガ宜イデアラウト思フト云フ案ヲ立テテ之ヲ文部省ニ提出ヲシタイト云フ希望ヲ持ツテ位ニ、工業學校ト徒弟學校ノ統一ヲ必要トシテ居ルノデアリマス、其必要トスル理由ハ先刻ドナタカ他問題ノ時ニ、徒弟學校ヲ低ク見ルト云フヤウナコトニ關聯シテ御話ガアリマシタガ、私ノ統一ヲ必要トスル理由ハサウ云フ問題デナクシテ、徒弟學校シカ建テルコトノ出來ナイ縣ナリ郡ナリガアツタト假定シタ時ニ、其徒弟學校ニ何百ノ生徒ガ集ツタ中ニハ、徒弟學校ノヨリ以上ノ所マデ行キタイ生徒モ其中ニ何割カハアルベキ筈デアアル、ソレガ更ニ地ヲ變ヘテ其他ノ地方ニ轉學ヲシナケレバ引續キ學ブコトガ出來ナイト云フヤウナコトハ、日本ノヤウナ貧乏ナ國ノ經濟狀態ニ於テハ誠ニ氣ノ毒ナコトデアアルカラ、ソレデ徒弟學校ヲ一校シカ建テ得ナイヤウナ地方デモ便宜ノ方法ニ依ツテ其中ノ或ル特別ノ希望ノアル人ダケハ、ソレヨリ以上ニケ年位學ンデ行クコトガ出來ルヤウニ、其學ノ内デ出來ナケレバ不便デアリマセウ、現在デモソレヤルダケノ規則ハアリマスガ甚ダ權威ガナイノデアリマス、ヤハリ權威ヲ持タセナケレバ其處マデ進ンデ行カウト云フコトハ鈍ルノデアリマス其處マデ行クニハ中等學校トシテ同様ノモノト見做サレルモノガ上ニ置ケルト云フコトガ今日ノ制度ニ於テ望マシイノデアリマス、所ガ徒弟學校ヲ卒業シタ者ヲ入レルヤウナ中等ノ工業學校ノ規則ト云フモノハ今日ハナイノデアリマス、中間ノ高等ノ學校ニ徒弟學校卒業生ガ變則ニハ這入ルコトガ出來マスケレドモ、引續イテ學ブ形ニ於テハ規則ハ許サヌノデアリマス、ソレデ大體日本ノ教育ハ職業教育並ニ工業教育ノヤウナモノハ、出來得ル限リ今日ヨリモ幾ツカノ階段ニ切リタイト思ヒマス、例ハバ修業年限ノ六ケ年デ終ル中等工業學校ガアリトスレバ、ソレヲ三ツ位ニ切ツテ、最初ハ腕バカリニ屬スル徒弟學校ノヤウナコトニシテ、一旦手職ヲ覺エサセル、ソレダケシカ覺エナイモノハ、ソレダ

ケデ仕舞フ、其上ニ行クモノハ、最初ノ二ケ年デ機械ノ仕上ノ専門ノ腕ヲ作ツタラ、後ノ二ケ年ハ鍛冶屋モヤラセルト云フヤウナ所ノ高イ所ヲ教ヘル、ソレ以上ハ學バナイト云フ人ハ、ソレデ社會ニ出テシマフ、更ニ進ンデソレ以上ニ行キ得ル者ハ、中等學校ノ最後ノ卒業生位ノ力ノ附イタモノヲ出スヤウニシタイ、サウシテ中途退學ト云フ形ニナラナイヤウニシタイト云フコトヲ考ヘルト、現在ノ規程デハソレガ出來スト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、今御話シマシタヤウナコトハ中等程度ノ學校ト徒弟學校トヲ通ジテ切ニ私ハ望ムノデアリマス、日本ノ實際ノ狀態カラ考ヘテ——サウスルニハ徒弟學校ト工業學校トヲ一括シタ規則デ取締ツテ貫ツテ、有ラユル縣ノ小サイ經濟デモ便宜ニ學ビ得ルヤウニスルニハ統一シテ貫ツテ、サウシテ其間ヲ修業年限ヲ短カク幾ツカノ科ニ切ツテ、ソレヲ縦ニ繋グコトニシタイ、サウ云フ制度ニシタイノデアリマス、具體的ニ是ハ文章ニシタカツタノデアリマスケレドモ、今日ハ時間ノ問題デ其處マデハ行カナイト思ヒマス、要スルニ私共ハソレヲ希望シテ、稍ミソレニ近イ案ヲ出シタノデアリマスガ、大阪カラ出テ居リマスタメニ撤回シタ譯デアリマスソレデ私ハ此案ニ賛成シテ考ヲ申上ゲルノデアリマスガ、歸スル所今日マデノ日本ノ工業學校ト云フモノノ卒業生ハ何處ニ行クト云フ見當ハ文部省ニチツトモ付イテ居ラヌヤウデアリマス、ドナタニ伺ツテモ工業學校ノ卒業生ハ如何ナル人ニナルト云フ見當ハ文部省デ付イテ居ナケレバナラヌト思ヒマス、徒弟學校ハ職工タルモノヲ養成スルト云フコトニナツテ居リマスガ、工業學校ノ方ハ見當ガ付イテ居ラヌ、ソレデ見當ノ付イテ居ラヌモノヲ養成スルト云フコトハ如何カト思ヒマス、ソレデ之ヲ合併シテ斯ウ云フ風ニ進メレバ宜イト云フ風ニ見當ヲ付ケテ貫ヒタイト云フノデ、統一ノ必要ガ切實ニ迫ツテ居ルト云フコトヲ感ズルノデアリマス。

○業二十八番(田雜五郎君) 私ハ一番ノ御説ニドウモ疑ガアリマス、甲種工業學校ニハ見當ガ付イテ居ルト思ヒマス、乙種ノ學校ハ善良ナル職工ヲ養成スルト云フコト、甲種ノ工業學校ハ職工ノ頭ニ

ナル人ヲ養成スル、私ハ見當ガ付イテ居ルト思ヒマス、詰リ具體的ニ仕事ヲスル上カラ申シマスルト見本ヲ新ニ造リ得ル者ガ甲種ノ工業學校、見本ヲ與ヘラレタモノヲ上手ニ造ルノガ乙種工業學校デアルト私ハ解釋ヲシテ居リマス、モウ一ツ申シマス、專賣特許デモ造ルヤウナ頭ノ出來ルヤウニ甲種ノ方ハヤツテ居ル、專賣特許デ出來タ品物ヲ何ボデモ造ルヤウナ熟練ナ職工ヲ作ルノガ徒弟學校デアルト考ヘテ居リマス、文部省デハ何モ御方針ハナイノデアリマスカ。

○第一番(秋保安治君) 私ノハアナタト同感デ、私モ中等工業學校ニ居リマシタ時ニハソノ位ノ見當デヤツテ居リマシタガ、ソレハ私ノ推量シタ見當デ、文部省ノ工業學校規程ニハ如何ナル者ヲ養成スルト云フコトハナイ、徒弟學校デハ職工ヲ作ルト云フコトハアリマスケレドモ、規定ノ條文ニハ如何ナル者ヲ作ルノヲ以テ工業學校トスルト云フコトハナイノデアリマス、夫故ニ卒業生ノ見當モドウモ兎角違ヒタガルシ、又學校長ニ於テモ、私ナドモ随分迷ツタコトガアルノデアリマス、ソレデ規程ヲ以テ註文書ヲ出ス以上ハ中心ニナル箇條ヲ極メタラ宜カラウト云フノデ、屢々伺ツタコトガアリマシガ、其規程ノ見當ニ付テハ文部省トシテハ御答ガナイヤウデアリマス、併シ文部省ニ於テ箇條ニハ置イテ居ナイガ、此通リニヤツテ居ルカラ、斯ウ云フ風ニヤレト云フコトデアリマシナラバ先刻ノヤウナコトハ申シマセヌガ、茲ニハサウ云フヤウナコトモアリマセヌカラ申ス。デアリマス、サウ云フ意味デアリマス、文部省ガ規程ノ上ニ目的ヲ指定シテ居ナイト云フコトハ不完全デハナイカ、斯ウ云フコトヲ唯ダ申上ゲルノデアリマス。

○番外一番(上原督學官) 農業、工業、商船、是ハ一度ニ規程ガ出來マシテ、實業學校規程ト云フモノニ總括シタモノガ前ニアル、サウシテ實業學校ノ種類ハ商業、農業、是々等ト云フ所ニ目的ガ書イテアリマス、徒弟學校ノ規程ハソレヨリ後ニ單行トシテ出來マシタ規程デアリマシテ、是ハ一方ノ實業學校規程ガアリマスカラ目的ヲ規程スル必要ハナイノデアリマスケレドモ、單行ニ一ツ出來マシタ

規程デアリマスカラ、蛇足デアルケレドモ、目的ヲ規程ノ中ニ掲ゲラレタ譯デアリマシテ、工業學校ノ方ノ目的ハ實業學校規程ノ總括ノ方ニ規定サレテアリマスカラ、工業學校規程ノ中ニハ掲ゲテナイノデアリマス、重複スル譯ニナリマスカラ。

○業二十八番(田雜五郎君) サウスルト甲種ノ學校モ乙種ノ學校モ善良ナル職工ヲ養成スルト云フ御方針デスカ。

○番外一番(上原督學官) 徒弟學校ノ方ハ善良ナル職工ト云フ文句ニナツテ居リマシテ、實業學校ノ方デアルト……勿論善良ナル職工ノ養成ト云フ意味モ含マレテ居リマスケレドモ、實業ニ従事スル者ニ必要ナル教育ト云フコトニナツテ特ニ職工ト謂ハズ廣イ意味ニナツテ居リマス。

○業二十八番(田雜五郎君) 職工以上ノ頭ヲ持ツ人間ヲ作ルト云フ劃然タル目的ハ付イテ居リマセヌカ。

○番外一番(上原督學官) 劃然タル目的ハ之ヲ廣ク表ハシテ實業ニ従事スル者ヲ養成スルト云フコトニナツテ居リマス。

○業二十八番(田雜五郎君) サウスルト甲種ト乙種トノ別レ方ハ年限及入學資格ガ異ナルト、斯ウ云フコトデアリマスカ。

○番外一番(上原督學官) 大體サウスルトニ御解釋ニナツテ差支ヘアリマセン。

○業二十八番(田雜五郎君) ソレナラバ統一シタラ宜カラウト思ヒマス、私ハサウスルトハナイト思ヒマス、是ハ劃然ト別ケテアツテ、サウスルテ甲種ノ方ハ仕事ト云フモノニ頭ノ出來テ居ル人ヲ欲シイ、^片方ハ仕事ノ上手ナ人ヲ欲シイ、之ヲ極メタラ宜カラウト思ヒマス、奇言ヲ吐クヤウデアリマスガ、西洋デモ「バテン、メーカー」ト「サムブル、メーカー」トアリマス、其「サムブル、メーカー」ガ大切ナ人ニナツテ居ル、其出來タ物ヲ職工ガソレニ就テ造ルノデアリマスカラ、其「サムブル、メーカー」ハ甲種

ノ學校デ作ツタラ宜カラウ、徒弟學校デハ其出來タ物ヲ造ツテ行ク熟練ナル職工ヲ作ツタ方ガ宜カラウト思ヒマス。

○番外一番(上原督學官) 其ノ御意見ハ御尤モデアリマスガ、夫ハ現在ノ規程上ノ問題トシテハ兎ヤ角云フ程ノ事デハ無カラウト思ヒマス、御意見ノ如キ意義ヲ有セシムルトスルモ少シモ現行規程ニ牴觸スル所ハナイノデアリマス。

○業二十八番(田雜五郎君) ソレヲ御謳ヒニナツタラ如何デスカ。

○番外一番(上原督學官) 其處マデ細カク謳ヒマスル必要ハナカラウト思ヒマス勿論御意見モ現在ニ於テハ一應御尤モデアリマスケレドモ、時代ノ進運ニ伴ツテ變ツテ行クコトモアル、然シナガラ規程ト云フモノハ昨年拵ヘタモノヲ今年又改メル、又明年之ヲ直スト云フヤウナコトニナリマス、朝令暮改ノ嫌モアリ煩雜デアリマスカラ規程ト云フモノハ左様ニ詳細ナル意義迄表ハス必要ハナカラウト思ヒマス。

○業二十八番(田雜五郎君) サウスレバ、乙種ノ方モ目的ヲ御書キニナラヌ方ガ宜イト思ヒマス。

○番外一番(上原督學官) 現行規程ニ定ムルカ如キ大綱ノ規定、大體ノ趣旨ヲ定メテ置ケバ宜シイノデアリマス。

○業二十八番(田雜五郎君) 是ハ眞劍ナ話デアリマスガ、工業學校ト徒弟學校ト劃然トシテ居ナイタメニ統一ノ問題モ出ルノデアリマス、又先刻ノ御話ノ間ニ、同ジ職工ヲ作ルナラバ何モ變ヘル必要ハナイデハナイカト云フ御話ガ出ル所ヲ見ルト、確カニ頭ガゴチャ／＼ニナツテ居ル、サウスルト年限ノ長短如何ニ依ツテ乙種甲種ガ別レテ居ルノデアリマスカラ、其處ヲ劃然トシテ、其目的トハ出來損フカモ知レマセヌガ、學校ノ目的ハ其處ニチャント極メテシマツタラ宜カラウト思ヒマス、是ハ意見デアリマス。

○工二十五番(高井利五郎君) 此問題ハタシカ一昨年松浦局長ガ懇談會ヲ開カレタ其時分ニ御尋ニナツタ問題モ是デアツタ、其時分モ今ノヤウニ徒弟學校ト工業學校トノ區別ヲスル必要ガナイト云フ人ト、ソレハ勿論今ノ通りニ極クボンヤリシテ居ルノガ實際ニ適切デアル、私共ハ現在ノ通りデ宜カラウト云フコトヲ申シタ一人デアリマスガ、イロ／＼ナ御意見ガ出ルト、今日デモサウ云フヤウナ譯デアリマスガ、實際ノ社會ハサウコンナ目的、アンナ目的ト云フテ必ズシモ立テヤラナケレバナラヌコトハアリスマイト思ヒマス、殊ニ工業ノ方デ申シマスト現在ノ實業社會デハ、マア是ハ各方面デ斯ウ云フコトヲ耳ニスルノデアリマスガ、甲種工業學校ヲ卒業シタ者ガ技術ノミニ依ツテ、工業界ノ巨材ニナルカト云ヘバ必ズシモサウデハナイ、今日ノ低級ナ工業者トシテモ一面ニハ工業上ノ智識ヲ持チ、一面ニハ商業上ノ智識ヲ併セ持ツテ居リ、稍經濟上ノ智識モ持ツテ居ルト云フヤウナ人間ガ必要デアリマス、今日ノ實際ハ例ヘバ物ノ修繕ヲ頼マレテ見ニ行ツテモ、其修繕ヲスルニハ工業家ガ行ツテ見ナケレバナラヌ、併シナガラ工業家ガ見タダケデハ之ヲドノ位ノ期限ニ拵ヘルカ、ドレダケノ價デ拵ヘルカト云フコトガ分ラヌ、更ニ又商人ト詰リ相並ンデ二人デ行ツテ一ツノ仕事ヲ見ルト云フヤウナコトニナル、デアリマスカラ、今日工業學校ニ經濟等ノ置イテアルノハ、アレヲ尙ホ擴張シテ、更ニサウ云フヤウナ工業的商業ニモ從事シ得ル人間ヲ養成シタイ、斯ウ云フコトノ出來ルヤウニシタイ、又商業學校ノ方デモ、同ジ商業家デモ工業的の仕事ニ從事スル人間ガ欲シイ、斯ウ云フヤウニ時代ガ變化シツアルノデアリマスカラ、此時代ニ何モ必ズ統一のニ極メテシマツテ、斯ウナケレドナラヌ、ア、ナケレバナラヌト云フヤウナコトハ甚ダ窮屈ナコトト思ヒマス、ソレハ決シテ時運ノ推移ニ伴フモノデハナカラウト思ヒマス、今日尙ホ三年四年ヲ經過シタ後トノ考ハ又違ツテ居リマス、此規程ハ自由ニナツテ居ル所ガ妙ヲ得タモノデアリマシテ結構デアルト思ヒマス。

○工四番(堀居佐五郎君) 今イロ／＼御意見ガ出マシタガ、御意見ノヤウニ一昨年デアリマシタカ大

分議論ガアツタノデアリマス、私ハ中等程度ノ工業學校ト云フモノハ目的ハ丁度アレニ書イテアル如キモノデ分ツテ居リマスガ、單ニ他所ニ使ハレル人間ヲ作ルト云フコトデナシニ、將來獨立自營ノ出來ル者ヲ作ルト云フコトヲ目的トスルノガ本當デアリハシナイカ、ソレデ徒弟學校ノ方デモ、ヤハリ獨立自營ヲスル者モアリマスケレドモ、名前ガ徒弟デアルカラ他ニ使ハレル善良ナル職工デナケレバナラヌト云フ點カラ見ルト、工業ノ方デハ固ヨリ其前提トシテハ他ノ會社ニモ使ハレテ十分ニ職工ノ改善ヲ圖ラナケレバナラヌケレドモ、歸スル所ノ目的ハ此程度ノ學校卒業生ガ悉ク獨立自營ガ出來テ、我國ノ工業ヲ發達セシムルコトニ努メタナラバ非常ニ結構デアルト云フコトデ、總テノ學科等モ斯ウ云フコトニナツテ居ルノデ、詰リ自分デ經營シ得ルヤウニナツテ居ル、ソレデアリマスカラ此上ニ目的ヲ置イテヤツタラ宜カラウト思ヒマス、法令ノ上ニ於テハ上原サンノ御説明ノヤウニ最モ「ルーズ」ニサツテ居ルノデ大變ニ宜イト思ヒマス。

○徒一番(秋保安治君) 私ノ言葉ガ行違ツタリナンカシテ妙ナ風ニ取ラレマシタガ、私ノハ徒弟學校モモット一體「ルーズ」ナ方ガ宜イト云フ意味デ、詰リ中學程度ノ工業學校ト云フモノハ目的ヲ明示シテ居ラヌノデアルカラ、ソレヲ徒弟學校ダケ目的ヲ明示スルト、現在ノ日本ノ經濟狀態デハ、地方ニ依ツテハ誠ニ學校ノ目的ト、學校ニ這入ツテ來ル種ト、其種自身ガ持ツテ居ル目的モ違ツタモノガ這入ツテ來ナケレバナラヌコトニナル、ソレドウカ工業學校ノ目的モ漠然トシテ居ルナラバ徒弟學校ノ目的モ漠然トシテ置ケバ同ジコトニナル、サウシテ長キハ五年モ六年モ、短カキハ一ケ年デモ宜イト云フヤウニ地方ノ事情ニ依リ、學校ノ事情ニ依ツテヤルコトニナリマシタナラバ、面白ク同ジ一ツノ學校デ經濟的ニイロ／＼ナ種類ノ人間ヲ教育スルコトガ出來ルノデ、狭イ地方程便宜デハナイカト考ヘタノデアリマス、今日モ御話ガアリマシタガ、徒弟學校ニ類スル程度ノ學校モ劃然ト出來テ居ル、工業學校ニ類スル程度ノ學校モ劃然ト出來テ居ル、日本モ大金持ニナツタラ其處マデ行クガ宜シイケ

レドモ、現在ノ日本ニ於テ、地方ノ工業状態、經濟状態ニ於テハ劃然タル目的ヲ極メテ、是ハ徒弟學校、是ハ工業學校ト云フヤウニ、中等學校以上ノ如ク區別シテヤルコトハ不便ガ多クテ、便利ガ少ナイヤウニ思ヒマス、サウシテ一方ニ規程ニ於テ目的ガ極メテアルモノナラバソレヲ合併スルト云フコトハ困難デアラウト思フ、唯ダ漠然タルモノニシテ置ケバ、徒弟學校ハ善良ナル職工ヲ作ルノデアアルガ時ニ依ツテハ地方ノ事情ニ依リ、職業ノ性質ニ依ツテ、機械建築ノ方ノ人ヲモ作ルト云フコトガ出來ル、サウ云フヤウニ地方ノ事情ニ依ツテ學校長ガ適宜ニヤルコトノ出來ルヤウニ文部省ハサレタラ宜カラウ其意味カラ統一スルコトヲ望ムト云フコトヲ申シタノデアリマス。

○第三十一番(西村仁治君) 唯今二十八番ノ方デアリマシタカ、徒弟學校ノ方ハ物ヲ唯ダ造ルダケ工業學校ノ方ハ頭ヲ働カセル、「サムブル、メーカー」ヲ作ルト云フコトデアリマシタガ、徒弟學校ノ方ハサウ頭ヲ壓ヘ付ケラレテハ困ル、吾々ハソソナ小サイ考デ生徒ヲ養成シテハ居リマセス、ドウカ誤解ノナイヤウニ願ヒマス、尙ホ又私ハ先刻他ノ方面デ其意見ヲチヨット述べマシタガ、併シ大體ハ今ノ一番ノ御説ノヤウニ「ルーズ」ニシタイト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、サウ云フ譯デアリマシテ其理由ヲ申上ゲル必要モアリマセスケレドモ、今日ニ於テハ區別ヲ附ケテ置クト却テ弊害ガアルト云フコトヲ痛切ニ感ジテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ何モ區別スル必要ガナイ、却テ弊害ノアルモノヲ古い規程ヲ其儘ニ襲踏スル必要ハナカラウ、斯ウ云フ考デアリマス、デアリマスカラドウカ此問題ハ成ルベク早く規程ヲ改正セラレンコトヲ希望スルノデアリマス。

○業工一番(早崎龜壽君) 大分協議モ進ミマシタガ、此他ニマダ「澤山」アリマス、後トハ來年ノ宿題ニシテ、今年ハ是デ打切りヲ願ヒマス。

〔賛成〕ト呼ブ者アリ

○議長(河津督學官) 工業一番ノ御意見ガ成立チマシタガ、後トニ殘ツタ問題ハ次回マデノ宿題ニシ

テ終リマスカ、御異議ハアリマセスカ。

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(河津督學官) ソレデハ協議事項ノ方ハ是デ終リマス、ソレカラチヨット願ツテ置キマスガ、建議案ノ原案ヲ御忘レナク此方ニ御出シヲ願ヒタイト思ヒマス。

○第三番(飯田吉二郎君) 先刻御朗讀ニナリマシタ建議案ハ明日マデニ各員ニ交付シテ戴クヤウナコトニナリマセスカ、實ハ能ク承知シテ居ナイノデアリマス、賛成ハシマシタガ——歸ルマデニ戴ケルナラバ結構デアリマス。

○第一番(秋保安治君) 今日ハ文部省關係ノ當局ニ對シマシテ私共御挨拶ヲ申上ゲル等デアリマスガ追ツテ會ヨリ相當ノ總代ヲ選ビマシテ其筋ニ申上グルコトニ致シマシテ今日ハ御挨拶ヲ略サウト思ヒマス。

○議長(河津督學官) 今日ハ是デ閉會致シマス。

午後零時五十分散會

三、商業學校部會

大正五年十一月二十四日午前九時開議

○佐野東京高等商業學校長 開會ニ先立チマシテ、一言御挨拶ヲ申上ゲマス、各位ニハ今回文部省ノ召集ニ係ル、全國實業學校長會議ニ御列席ノタメ態々御上京ニナリマシタコトハ、御苦勞ノコトニ存ジマス、本校ハ文部省ニ接近シテ居ルト云フ事ト、商業教育ニ關係ノ深イト云フ、其二ノ理由ニ基キマシテ、商業學校長會議ノ部會ヲ引受ケルコトニナリマシタノデ、其會場ニ充テラレマシタ、御覽ノ通り、マダ設備モ完成イタシマセズ、萬事不行届ゴザイマスガ、其點ハオ氣ノ毒ニ存ジテ居ル次第デアリマス、次ニ不肖私ハ文部省ノ命ニ依リマシテ、議長席ヲ瀆スコトニ相成リマシタ、斯ル事ハ不得手デゴザイマス、現ニ昨年モ京都ニ御集リノ時モ、座長ノ席ハ御辭退イタシタ位デアリマスガ、今回ハ文部省ニ都合ガ着カナイカラ、代ハリニナツテ議長席ヲ瀆スヤウニト云フヤウナ囑託ヲ受ケマシタ次第デアリマス、已ムヲ得ズ適任デナイト云フコトハ、萬承知イタシテ居リマスガ此席ニ着ク次第デアリマス、就キマシテハ、議事進行其他ニ付キマシテハ、御氣附キノ點ガゴザイマシタナラバ、御腹藏ナク御注意ヲ願ヒマス、一寸簡單ナガラ御挨拶ヲ致シマス。

(佐野東京高等商業學校長議長席ニ着ク)

○議長(佐野校長) 是ヨリ開會イタシマス、去ル二十二日ノ總會ニ於キマシテ文部省ノ御諮問事項ニ付テ、委員附託ニナツテ居リマシタ、其事項ニ付テ、本日ハ各位ノ御意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、ドウゾ御意見ノアラレマス方ハ、御遠慮ナク御發表アランコトヲ希望イタシマス、御意見ヲ伺フニ付キマシテハ第一諮問事項、第二諮問事項、第三諮問事項ト云フ順序ニヤルノガ宜カラウト思ヒマス、先ヅ第一ノ諮問事項、即チ「實業學校ニ於テ實業學科ト普通學科トノ連絡ヲ密接ナラシムル方法

如何」是ニ付テ御意見ヲ伺ヒマス。

○甲三十五番(倉西松次郎君) 此第一諮問事項ニ付キマシテハ、只今議長カラ御説明ノ如ク皆ソレゾレ委員ヲ設ケテアリマスルデ、吾々ノ意見ヲ申シマスル前ニ當リマシテ、先ヅ委員ノ取調ベラレマシタ意見ヲ茲ニ御發表アランコトヲ希望イタシマス。

○議長(佐野校長) 御答ヘ致シマス、ソレハマダ提出ニナツテ居リマセヌ、今日各位ノ御意見ヲ伺フノハ、詰リ其諮問事項ヲ附託セラレタル委員諸君ノ御參考ニ資スルトイフ主意デアアルノデアリマス、先以テ各位カラ御意見ヲ御發表アランコトヲ希望スル次第デアリマス。

○甲三十五番(倉西松次郎君) 本員ノ了解致シテ居ル所ニ依ルト、サウ云フ主意デナカッタヤウニ思フノデアリマス、委員諸君ハ甚ダ御苦勞ノコトデアリマスガ、何レ御討議ノアツタ事ト考ヘマスカラ先ヅ委員諸君カラ御發表アランコトヲ希望シ致マス。

○番外(堀督學官) 諮問事項ニ付テノ調査委員ハ、二十二日ニ指名サレマシタ、其時ノ主意ハ其委員諸君ガ、先ヅ案ヲ作ツテ、サウシテ問題ヲ持出スト云フコトニナツテ居ッタノデアリマスガ、二十二日ハ初會ノ日デアリマシタノデ、委員諸君ノ住所等モ、ハツキリシナイ點モアツタヤウニ承ツテ居リマス、而シテ昨日ハ祭日ト云フヤウナ譯デ、十分委員諸君ノ方デ案ヲ作ルニ至ラナカッタ事カト推測シマスガ、果シテサウデアツタトスレバ更ニ十分諸君ノ意見ヲ聽ヒタ上デ委員諸君ガ案ヲ作ラレルト云フコトガ、實際的デハ無カラウカト思ヒマス、又ソレデ差支ナカラウト思ヒマス。

○甲二十八番(市村芳樹君) 此諮問案ニ付キマシテハ、ソレハ既ニ調査委員ノ方ヘ御委任ニナツテ居リマスガ、事頗ル重大ニ屬シマスカラ、本日諸君カラ是ニ對シテ十分御意見ヲ御發表ニナリ、委員諸君ガソレヲ參考ニセラレテ、原案トシテ成ル可ク完全ナル案ノ出來マスカウニ本員ハ希望イタシマスカラ席次ノ順序ニ依リマシテ、一番カラ順次御意見ノゴザイマス方ニ御發表ヲ願ヒタイト存ジマス。

○甲十七番(岡田禎三君) 此諮問事項ニ付キマシテハ、二十二日ノ本會ニ於キマシテ、委員カラ斯ウ云フコトニ承リマシタ、諮問ニ付テハ、委員ノ報告ニ依テ議スルカ、或ハ次會ニ於テ、先ヅ委員並ニ諸君ト意見ヲ交換シタ後ニ委員ガ案ヲ作ルト云フコトハ次會ノ決議ニ委カセルト云フ事ノ御宣告ノヤウニ伺ツテ居リマシタ、只今議長ハ次會ニ於テ諮問事項ニツキ意見ノ交換ヲスルト云フコトニナツテ居ツタカラ、只今御諮リニナツタコトニ伺ヒマシタ、ソレトモ議長ハ意見ノ交換ヲ先キニスルト云フコトヲ御宣告ニナツタノデアリマセウカ、但シハ議場ニ御諮リニナツタノデアリマセウカ、私ハ御諮リニナツタコトニ思ヒマスガ。

○議長(佐野校長) 私ハ二十二日ニ出席スル權能ガゴザイマセヌデ伺ヒマセヌデシタガ、今日ノ議事日程ハ、先刻申シマシタ通り、私ノ方デハ委員ノ報告ノアル前ニ、諸君ガ御意見ヲ御出シ下サルコトガ良イト考ヘマシテ、サウ云フヤウニ致シマシタラ、種々ソレニ付テ違ツタ御考ヘモアリマセウシ又番外ノ説明モアリマシタガ……

○甲一番(竹谷辰郎君) 今日ノ日程ニ關シテ議長ノ御話ガアリマシタガ、ソレニ對シテ委員會ノ纏ツタ案ヲ出スヤウニト云フ話ガアリマシタガ、二十八番ヨリ御話ノ如ク此問題ハ出來ルダケ慎重ニ審議ヲ盡シテ多クノ諸君ノ御意見ヲ參考トシテ、成ル可ク完全ナモノヲ委員會ノ案トシテ、提出イタシタイノデアリマス、殊ニ番外ヨリ御話シノ通り、諸君ノ御宿所等モ分リマセヌ爲メニ委員會ノ開會ハ十分ニ行ハレナカツタノデアリマス、今日ハ二十八番ノ御意見通り、諮問事項ニ付テ、討議ト云フ事デナク、皆様ノ御意見ヲ御陳述ニナルコトヲ希望イタシマス、此意味ニ於テ、二十八番ニ賛成イタシマス。

○甲三十五番(倉西松次郎君) モウ一言是ニ付テ意見ヲ述ベタイト思ヒマス、總會ニ於テハ、第一號議案ニ付テハ、議長ヨリ委員ヲ指名サレタノデアリマス、固ヨリ他ノ議案モサウデアリマスガ、然ル

ニ今吾々ガ之ヲ所謂全員委員會ト云フヤウナ風ニシテ議シマスルコトハ、前會ノ議決ヲ餘リ無視シタヤウナ形チニナリマセヌカト考ヘルノデアリマス、之ヲ言換ヘマスレバ、甚ダ申シ惡イコトデアリマスガ、委員諸君ガ、總會ノ決議ヲ、何等重要視サレヌカノ如クニモ思フノデアリマス、夫デ先ヅ全員ト云フヤウナ風ニシテ議スル前ニ、委員ハ兎モ角、委員ノ全體ノ御考ヘデナクトモ、假令銘々ノ御考ヘデモ宜イ、茲ニ先ヅ御發表アランコトヲ私ハ希望スルノデアリマス。

○甲十三番(安場禎次郎君) 大分御説モアリマスカラ、議長カラ一應議場ニ御諮リヲ願ヒタイ。

○議長(佐野校長) 議場ニ御諮リスルコトモ宜シウゴザイマスガ、萬一委員ノ報告ガナケレバ、議ヲ進メタイト云フコトニナリマシテモ、今日ハ是デ休會スルヨリ外仕方ガナイ、僅カ後ト二日キリ無イ會デアリマスガ、如何デゴザイマセウカ、サウ云フヤウナ、只「其積リデナカツタ」トカ、「サウ云フ積リデアツタ」トカ云フコトノ爲メニ、議事ノ形式ノタメニ、諮問事項モ十分ニ議スルコトガ出來ナイ或ハ建議事項モ議スルコトガ出來ナカツタト云フ恐レニ陥リハシナイカト思ヒマス、先ヅ御諮リスル前ニ、私カラ滿場ニソレヲ訴ヘタイト思ヒマス。

○甲三十五番(倉西松次郎君) 私ハソレデハ前説ヲ取消シマス。

○議長(佐野校長) 左様致シマス、他ニモ御異議ノ方ガアツタヤウデアリマスガ、ヤハリ只今三十五番ノ御説ノヤウニ、御撤回下サレタルモノト考ヘマシテ宜シウゴザイマセウカ、御異議ノ方ニ御諮リスルノデアリマスガ、別段御異議ガナケレバ、先刻カラ申シマシタ通りニ議事日程ヲ進メテ、委員ノ報告ノアル前ニ、お互意見ヲ交換スルトイフコトニ致シマシテ、會議ヲ進行イタシマス、サウ極ツタモノト致シマス、ドウゾ御意見ノアリマス方ハ、先ヅ第一諮問事項ニ付テ御意見ヲ伺ヒタイ。

○甲四十六番(村松彌一郎君) 只今議長ノ御宣告通り、吾々ノ意見ヲ、委員諸君ノ參考ニシヤウト云フコトノ話ガ纏リマシタ以上ハ、先刻三十五番ガ提議サレタ如ク、此問題ニ付テハ調査委員ガ、本日

御提出ニナルベキ順序が遅レタノデアルカラ、先以テ調査委員諸君カラ御發言ナサレテ、サウシテ何等具體的案ヲ具ヘラレテ、然ル後吾々ガ討議シマスレバ、事ノ進行ガ最モ良イト思ヒマス、ドウカ調査委員ノドナタカ御發議下サルコトヲ希望イタシマス。

○議長(佐野校長) 一寸伺ヒマスガ、只今ノ御發言ハ御動議デアリマスカ、或ハ御希望デアリマスカ

○甲四十六番(村松彌一郎君) 議事ノ進行上希望デアリマス。

○議長(佐野校長) 只今御希望ガ出マシタガ、議長ハソレニ副フト云フコトハ御隨意デアルト思ヒマスガ。

○甲三十五番(倉西松次郎君) 三十五番賛成シマス。

○議長(佐野校長) 委員ノ方カラ、若シ御意見ガアリマスレバ御發表ヲ願ヒマス。

○甲十七番(岡田禎三君) 此諮問事項ノ意見ノ交換ニ付キマシテ、先刻先ヅ委員ガ意見ヲ發表スルト云フ順序ノ市村校長ノ説ニ賛成モアツタヤウデアリマスガ……

○議長(佐野校長) 先刻市村校長カラノ御話ハ、只御希望デアルト解釋イタシマシタカラ、別ニ議題ト致シマセヌデシタ。

○甲十七番(岡田禎三君) 賛成ガアツタヤウデアリマスガ。

○議長(佐野校長) ドウシテモ御希望トシカ解釋ガ着キマセヌ、動議デアリマスレバ、定規ノ三名ノ賛成者ガ無クテハナラヌ、今二名ノ賛成者ガアリマセヌ。

○甲二十七番(千野郁二君) 三十五番ニ賛成イタシマス。

○議長(佐野校長) モウ一人御賛成ガアリマスレバ、動議ト見テ議場ニ諮リマスガ、只今ノ市村校長ノハ動議ト見ルコトガ出来マセヌ、消滅デアリマス。

○甲一番(竹谷辰郎君) 私ハ先刻市村校長ニ御同意イタシテ置キコシタ。

○議長(佐野校長) 一番カラ順次説ヲ述ベルト云フコトデアリマスカ。

○甲一番(竹谷辰郎君) 左様デス。

○議長(佐野校長) サウ致シマス、三名ノ賛成者ガアツテ動議トナツタ以上ハ、之ヲ議場ニ諮ラナケレバナラヌト思ヒマス。

○乙三十番(鈴木信豊君) 三十番ハ茲ニ動議ヲ提出イタシマス、此諮問事項ハ總會ノ關係上、甚ダ面白カラヌ状態ニナリマシタガ、併ナガラ委員ノ方々ノ御状態ヲ御察シ申スト、又無理カラヌヤウニ思ヒマスカラ、此諮問事項ノ討議ハ、明日ニ延期イタシマシテ、明日迄ニ委員ノ方ガ御調査ニナツテ、其事柄ヲ明日御提出下サレ、今日ハ議事日程ヲ變更シテ、協議事項及建議事項ノ討議ヲ午前ニスル、即チ日程變更、延期ト云フ動議ヲ提出スルデアリマス、ドウカ御賛成アランコトヲ。

(賛成ノ聲起ル)

○甲二十八番(市村芳樹君) 只今動議ノ御提出ガアリマシタガ、先刻議長ヨリ御宣告ガアリマシテ、本日ハ各員ヨリ意見ヲ述ベルト云フコトニ極ツテ居リマス以上、ドウカ極リ通り御進行ヲ願ヒタイ、一寸御注意迄ニ申上ゲマス。

(賛成ノ聲起ル)

○議長(佐野校長) 議事日程ノ事ニ就キマシテハ、先刻種々御議論モ出マシテ、既ニ確定イタシテ、ソレヲ此處カラ宣告イタシタノデアリマスガ、只今緊急動議トシテ又提出サレタノデアリマス、少シク時機ヲ失シタヤウニ思ヒマスガ、如何デアリマセウ、今ノ緊急動議ヲ撤回ニナル譯ニ行キマセヌカ

○甲三十番(鈴木信豊君) 然ラバ撤回イタシマス。

○議長(佐野校長) 議事日程ノ確定スル時、其動議ガ出マスレバ、至極結構デアリマスガ、モウ確定シテ宣告シタバカリデアリマス餘リ緊急ノ事項トモ思ヒマセヌ、緊急動議トシテ、又サウ云フ風ニ御

提出ニナリマス。又二三分経ツテ、議事日程變更ト云フ御動議ヲ採用シナケレバナラヌコトニナリマスカラ、如何デアリマセウカ、三十番ニ御諮リ致シマス。

○乙三十番(鈴木信豊君) 別ニサウ固執スル譯デアリマセヌ、只事柄ガウマク進行スレバ宜イト云フ精神カラ申上ゲタノデアリマス、撤回ガ都合ガ良ケレバ、喜デ撤回イタシマス。

○議長(佐野校長) ソレハ非常ニ都合デアリマスカラ、ドウゾ御撤回ヲ望ミマス、サウ致シマス。先刻市村校長カラ御動議ガアツテ、三名ノ賛成ガアツテ成立シテ居リマスカラ、ソレヲ議題ト致シテ、意見ノ發表ノ方法ヲ、一番カラ順次ト云フコトヲ御諮リ致シマス、或ハ是ハコチラデ計ツテ宜イカトモ思ヒマスケレドモ、慎重ニ議事ヲ進行サセル爲メニ、ソレヲ議題ト致シマス。

○甲六番(杉山重義君) 一昨日總會ノ砌ニ斯ウ云フ事ガ起ルダラウト思ツテ、各部ノ委員ガ協議會ヲ開イテ原案ヲ作ツテ提出セラル、ヤウニト云フコトハ、賛成ガアツタヤウデアリマスガ、ドウ云フノカ消滅シタノデアリマス、併ナガラドウデモソレハ後ト都合ガ付クコト、存ジマシタガ、兎ニ角委員ガ新案ヲ拵ヘテ出スト云フ事ダケハ極ツテ居リマシタカラ既ニ答申案ガ出来テ居ル事ト思ヒマシタ所、出来テ居ラヌト云フ、是モ已ムヲ得マセヌ、涙ヲ飲デ意見ヲ述ベルコトニ賛成シマス、併シ一番カラ續々ヤルト云フコトハ到底行ヘヌ、短クテモ此七八十人ガ一意見ヲ述ベルハ、到底出来マセヌカラ御意見ノアル方ガ勝手ニ述ベテ成ル可ク早ク切上ゲテ、委員ガ答申案ヲ作ルガ宜イト思ヒマス、一一演説スレバ長イ方モアツテ御迷惑デアリマス、明日ト今日トデ、諮問案ハ結了シナケレバナラヌカラ早ク御意見ノアル方ハ勝手ニ御述ベニナルヤウニ、一番カラ二番ト、八十人ガ五分間ヅ、演説シテモ大分長イ、サウ云フ事ノナイヤウニ、私ハ協議會デスカ、全員委員會カ、演説會カ知リマセヌガ、意見ヲ發表シテ、勝手ニ述ベルト云フコトニシタイト思ヒマス。

(賛成ノ聲起ル)

○甲二十八番(市村芳樹君) 前日モ討議ニナツテ、重ネテ申述ベルノデアリマスカラ、此諮問事項ニ付テ、御同様ニ、サウ多岐ニ亘ラヌト信ジマス、一番カラ順次ト申シマシテモ、サウ云フヤウニ御話ヲ願ヒマシテモ、大抵前説ト同ジコトデ、意見ハ略ボ盡キルト思ヒマス、又漸次第二諮問事項第三諮問事項ト述ベテモ、一括シテ述ベテモ宜イト思ヒマス、サウ項目ヲ別ケル必要モナカラウト思ヒマス、其故ニ便宜上一番カラ順次ノ方ガ譲合ヒ等ガ無クテ、却テ進行ガ早カラウト信ジタ譯デアリマス、一寸御注意マデデ。

○議長(佐野校長) 如何デアリマス、一番カラ順次——御意見ノナイ方ハ、ドウシテモ述ベナケレバナラヌト云フ譯ハ、固ヨリアリマセヌ、御意見ヲ強ユル譯デアリマセヌカラ、御意見ガナケレバ飛デ往ツテ差支ナイノデアリマス、斯ル事デ時間ヲ取リマスノモ如何カト思ヒマスカラ、今ノ市村校長ノ御動議ニ付テ、賛否ヲ諮ツテ見タイト思ヒマス、別ニソレニ就イテ御異議ガナケレバ、賛否ヲ諮ツテ見タイト思ヒマスガ、如何デアリマス。

○乙五番(松村明敏君) 種々議論ガアリマスガ、自分ノ意見ヲ發表シタイト思ヒマス。

○議長(佐野校長) 少々御待チ下サイ、今一ノ議案ガ出テ居リマス、ソレガ極リマシテカラニ願ヒマス、サウ致シマス、一番カラ順次ニ意見ヲ發表セラル、ト云フコトニ付テ、御異議ガナイヤウデアリマスカラ、其方法ニ依リマス。

○乙十五番(望月貞君) 只今ノ一番ヨリ順ニ説ヲ述ベルト云フコトハ、時間ガ容サヌト思ヒマス、依テ先ヅ説ノアル人ヨリ述ベルコトニ便宜願ヒタイト思ヒマス、一番カラ述ベタナラバ、一遍述ベタ丈デモ二時間モ要スルト思ヒマス。

○議長(佐野校長) 一番カラ述ベルト云フコトニ宣告濟デアリマスカラ——模様ニ依リマシテハ、又ソレハ戻シテモ宜シウゴザイマスガ、意見ノ無イ方ハ、ドン／＼飛デ行ケルノデアリマスカラ、一番

カラ述べルト云フコトモ決定イタシマス——甲一番御意見ガアリマスカ。

○甲一番(竹谷辰郎君) 私ハ諮問事項第一ノ委員デアリマスガ故ニ、再ビ委員會ノ決議トシテ、更ニ報告シナケレバナラヌ場合ガアルト思ヒマス、寧ロ皆様ノ御意見ヲ伺ツタ方ガ良クハナイカト思ヒマス、私ハ個人トシテノ意見ガゴザイマスケレドモ、参考上委員以外ノ御方ノ御意見ヲ伺フ方ガ、今日斯ル議事ヲ行ハレル御主意ニモ適フト思ヒマス。

○議長(佐野校長) サウ云フ事ヲ伺フノデアリマセヌ、ドウゾ御意見ガ無カッタラ無イト云フコトニ一ツ御返辭ヲ願ヒタイ。

○甲一番(竹谷辰郎君) 無イデハナイ、アルケレドモ明日述べル機會ガアルト思ヒマスカラ。

○議長(佐野校長) 今ノ一番ハ意見ハアルケレドモ、他ノ機會ニ於テ述べルト云フコトデアリマス、二番——三番——四番。

○甲四番(立花寛藏君) 詳シク述べマスト、大分時間ガ經チマスデ、只綱目ダケヲ申シマス、第一諮問事項ニ對シマシテハ、一、普通學科ト實業學科トヲ連絡シタル教授細目ヲ定ムルコト、二、實業學校用教科書ハ必ズ之ヲ檢定スルコト、主意ハ分ツテ居リマスカラ説明ハ致シマセヌ。

○議長(佐野校長) 五番。

○甲五番(磯江潤君) 意見ナシ。

○議長(佐野校長) 六番。

○甲六番(杉山重義君) 今アリマセヌ。

○議長(佐野校長) 七番。

○甲七番(寶閣善教君中央商業學校主監) 同様意見ナシ。

○甲十一番(大澤渚君) 諮問事項第一ニ對シテハ、私ハ豫科ノ廢止ヲ希望シマス、別ニ説明ハ致シマ

セヌ。

○甲二十番(齋藤繁八君) 私モ、今ノ規則ニ於キマシテハ、實業學科ハ普通學科ト連絡ヲ取惡イカラ規則ノ改正ガ第一デアルト思ヒマス、第二ハ現在ノ教員ヲシテ、普通學科ノ人ガ、今少シ實業學科ノ力ノ着クヤウニ實業學科ヲ受持ツ者ガ、今少シ普通學科ノ力ノ着ク様ニスルコト、此二點ニ在ルト思ヒマス。

○甲二十七番(千野郁二君) 先刻ドナタカノ御説ニアリマシタガ、豫科ヲ廢止シマシテ五年ト云フコトニシ、更ニ土地ノ狀況ニ依リマシテ、二年ヲ加フルコトヲ得ト云フヤウニシタナラバ良イト思ヒマス、其理由ヲ申シマスト、豫科ノ方デ、例ヘバ歴史ヲ教ヘマス、サウシテ又本科ノ方デ商業歴史ヲ教ヘマス、是ハ區別ガアルヤウデアリマスガ、ドウシテモ重複ニナル所ガアリマスノデ、僅カノ年限ニ於テ、重複シタル事ノタメニ時間ヲ費スコトハ無益ト思ヒマス、其他ノ學科ニ於テモ、例ヘバ理科ノ方面ニシマシテモ、矢張世ノ中ガ進ミマスト、商品ト理科ト密接シテ參リマス、ソレヲ商品ヲ教ヘル時ニ、又理科ノ方デ、前以テ教ヘテアル所ヲ教ヘルコトガアリマスカラ、ドウシテモ重複ガ免カレナイ、故ニ豫科ト本科ヲ一所ニシテ、五年ニシテ更ニ土地ノ狀況ニ依テ、二年ヲ加フルコトヲ得ト云フコトニシタナラバ、連絡ガ十分ニ行ハレルト思ヒマス、尙一ツ申シマスレバ、數學ノ如キモ、尙代數ヲ課スル餘地ガアリマス時ニ、ソレガ出來ナイ、中學アタリデハ、二年以上デ代數ヲヤツテ居ルヤウナコトデアリマス、詰リサウ云フヤウニシタ方ガ利益ガ多イダラウト思ヒマス、簡單ニ意見ヲ申上ゲマス。

○甲二十八番(市村芳樹君) 私ハ文部省ニ於テ、教科書ヲ編纂セラル、ヤウニ、夫カラ教員ノ檢定試驗ヲ、實業學校ダケハ別ニセラレンコトヲ希望致シマス、大體此ニ依テ連絡ハ十分ニ行ハレルト信

○甲二十九番(山口越夫君) 私ハ實業學校ニ於テ實業學科普通學科ノ連絡ヲ密接ナラシムル方法ハ出來ヌト思ヒマス、只方法デナク、根本ノ問題トシテ、ドウシテモ商業ノ學科ヲ持ツテ居ル人ガ普通ノ學科ヲ一緒ニヤルコトデナケレバナラヌ、詰リ人ヲ改良シテ行クヨリ他ナイト思ヒマス、方法ノ問題デナク、根本ノ問題ニ立入ツテ改良シナケレバナラヌト思フ、實例ヲ申シマスレバ、小學校ト同ジヤウニ、全部皆持ツテ貰ヒタイト思ヒマス、ソレヨリ他ニ方法ハナイト思ヒマス。

○甲三十四番(小阪耕三君) 先刻來段々種々ノ御意見ガ出テ居リマスガ、私ノ思ツテ居ル事ハ、大抵既ニ出テ居ルヤウデアリマスガ、要スルニ實業學科ト普通學科ヲ密接ナラシムルタメ、普通學科ノ教授スル教員ニ、ヤハリ實業學科ニ付テノ知識ガ若干必要ト思ヒマス、其意味ニ於テ、先程市村校長カラ御話ガアツタヤウニ、普通學科受持ノ先生ガ、實業學科ニ就イテモ、一通リノ知識ヲ持ツテ居ルト、大變都合ガ好イヤウニ思ヒマス、總テノ中等教員ノ檢定ニ、教育學ガ檢定科目ニ入ツテ居ルト同ジヤウニ、實業學校ノ普通科ノ先生ニハ、ヤハリ實業的ノ一般ノ知識ヲ檢定シテ置カレル、又サウ云フ知識ヲ持ツテ居ルコトガ、實業學校ノ普通學科ノ先生ニ必要デアルト思ヒマス、サウ云フ風ニシタナラバ、餘程接近シテ來ヤセヌカト思ヒマス、ソレト、是モ先刻アリマシタガ、實業學科ト普通學科ノ教授細目ヲ作ル時ニ、連絡ガ缺ケテ居リマス依テ連絡的ニ教授細目ヲ作ルコトノ此ニ接近ヲ計ツタラドウカト考ヘマス。

○甲三十五番(倉西松次郎君) 私モ方法如何ト云フ事ニ付テハ、別ニ今茲ニ順序ヲ立テ意見ヲ述ベマスダケノ準備ハシテ居リマセヌガ、現在ノ状態ニ依リマス、教員ノ教授打合せヲ頻繁ニ致シマシテ成ル可ク重複デアリマストカ、或ハ矛盾デアルトカ云フヤウナ事ヲ避ケルヤウニスルト云フコトニ、教授方法ノ組織ヲ十分ニ致シテ置キマスレバ、随分密接ナラシムル方法ハ、ソレカラ案出スルコトガ出來ルト思ヒマス、現ニ我學校ニテハ、斯ウ云フヤウナ事ヲ、努メテ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、ケレドモ一步進デ考ヘマス、普通學科ヲ擔任スル教員、及實業學科ヲ受持ツ教員ノ學力トカ、實際的智識トカ、サウ云フヤウナ方面モ考ヘテ見ナケレバナラヌノデアリマス、是ハ先刻ドナタカノ發言ガアリマシタガ、教員ヲ檢定スル上ニ、別ニ採ツテ貰ヒタイト云フヤウナ意見ガアリマシタガ、或ハサウ云フヤウナ事ガ含マレテ居ルトスレバ、私ハ至極宜カラウト思ヒマス、又教科書ヲ作ルトカ檢定スルトカ云フヤウナ方法モ良イト思ヒマス、要スルニ教員ノ學力、教員ノ人物斯ウ云フヤウナ點ヲ、今一層重要ナラシムルコトガ、最モ此實業學科ト普通學科トノ連絡ヲ密接ナラシムル方法ノ一ツデアラウト思フノデアリマス、尙各科目ニ對スル歴史トカ、算術トカ、其他ノ讀書デアリマストカ云フヤウナコトモ、序ニ細カク論ジマスレバ、各其方法モアラウカト思ヒマスガ、前申上ゲルヤウニ實ハ準備ヲ十分ニシテ居リマセヌカラ、今此處デ一一統一的ニ申スコトハ出來マセヌノハ甚ダ遺憾トシテ居リマス、尙他日機會ガアリマスレバ、委員ノ方ヘ話ヲシタイト思ツテ居リマス。

○甲四十番(鍋島熊太郎君) 私ハ大體カラ申上ゲマスレバ、ヤハリ普通科ノ教授ニモ成ル可ク實業趣味ヲ加ヘタモノヲ授ケル、先キニ四番デゴザイマシタカ、御述ベニナリマシタ通り、教科書ノ檢定ト云フコトニ付キマシテ、今日特別ニ文部省ニ於テ御査定下サイマシテ、成ル可ク實業ト密接ナル普通學科ヲ、實業ノ分子ヲ含ダル普通學科ヲ授ケルコトニ致シタラ宜カラウト思ヒマス、夫カラ尙一ノ要點ハ教員デアリマス、成ル可ク同一人ヲシテ、普通學科ト實業科トヲ持タシムル、例ヘバ普通ノ地理歴史モ、實業ノ地理歴史モ、同一人ガ持ツコトガ便利ダト思ヒマス、或ハ經濟等モ、普通ノ地理歴史ヲ持ツテ居ル者ガ、ヤハリ同一人ガ持ツト云フコトニシタラ、密接ノモノガ出來ルト思ヒマス、夫カラ實踐科デアリマス、實踐科ハ、商業實地ノ手續ヲ學ブト同時ニ、矢張各學科ノ綜合練習ヲスルノデアリマス、茲ニヤハリ普通科ト實科トノ聯絡ガアリマス、此實踐科ハ非常ニ聯絡上ニ良イ方法ト思ヒマス、夫デ乙種商業學校トシテハ、ヤハリ實踐科ヲ課スル方ガ宜イト思フノデアリマス、夫カラ豫

科廢止ト云フコトガアリマシタガ、私モ其趣ニ依リマシテ、茲ニ豫科廢止ノ案ヲ提出シテ置キマシタ
此豫科廢止ニ依テ、ヤハリ普通科ト實業科トノ連絡ヲ密接ナラシムル方法ハ自カラ出テ來ルト思ヒマ
ス、是ハ此諮問ガナクテモ、此問題ガ必要ト思ヒマスカラ、諮問事項第一ニ答ヘル所ノ一方法トシテ
ヤハリ豫科廢止案ヲ提出シタ譯デアリマス。

○甲四十五番(鈴木弼君) 皆様ノ御意見ヲ伺ヒマシテ、其以上述べル事ハアリマセヌガ、先程二十八
番カラ御話ニナリマシタ教師ノ個人的研究ト云フコトガ最モ必要カト思ヒマス、ソレニ付キマシテ少
クトモ各教員ニ他ノ學科目ノ教科書ヲ讀マシムルト云フコトガ、一ノ手段デナイカト思ヒマス。

○甲四十六番(村松彌一郎君) 此諮問事項ハ要スルニ連絡ノ方法ハ三ノ他ニ出マイト思フノデアリマ
ス、只今モ御說ノアリマシタヤウニ、教科書、教師、教法、此三デアリマス、而シテ劈頭第一ニ爲ス
ベキ事ハ申ス迄モナク規則ノ改正デアリマス、豫科本科ト云ヒ、乙種、甲種ト云ヒ三十三時間ニスル
ト云フコトハ、改正ヲ促ス必要ガアルト思ヒマス、教科書ノ事ハ、既ニ本省ガ編纂サレルト云フコト
ハ、最モ良イコトデアリマスガ、若シ編纂ガ困難デアルト致シタナラバ、少クトモ現今ノ有様ニ於テ
教科書ノ選定ノ際ニ於テ、モウ一層各連絡者ガ互ニ調査シ合フト云フ事モ必要ト思ヒマス、夫カラ次
ニ教法ノ事ハ、或ハ打合會ヲ開キマストカ、或ハ教授細目ヲ、互ニ討議シ、打合せスルト云フコトモ
必要ダト思ヒマス、ソレハ要スルニ形式ノ事デアリマス、根本問題トシテハ、教師ト云フコトニ相成
ラウト思ヒマス、其教師ニ就イテハ、是又種々ゴザイマセウト思ヒマスガ、容易ク行ハレル事ハ、教
師ガオ互關係アル書物ヲ一通リ目ヲ通スト云フコトガ必要ト思ヒマス、同時ニ教科書ナリ、教授ノ方
法ニ衝突ヲ來タスヤウナコトヲ避ケル、此國語科ガ總テ退歩シテ居ルト思ヒマス、要スルニ各教師ハ
少クトモ、修身教科書、或ハ國語科ノ方ニ目ヲ通ス必要ガアルト思ヒマス、サウ云フ事柄ハ、教科書檢
定上、大變必要ガアリマサウニ認メテ居リマス、大體教授方法、規則改正等ヲ以テ連絡ノ方法ヲ最

善ノ方法ト認ムル次第デアリマス。

○甲四十八番(堀口米太郎君) 大シタ變ツタ事ハゴザイマセヌ、毎週ノ教授細目ヲ細カク決定シタナ
ラバ連絡ヲ計ルコトガ出來ルヤウニ思ヒマス、モウ一ハ、實業學科ノ先生ガ普通業科ヲ成ル可ク持ッ
數學トカ、地理トカ、歴史トカ云フヤウナモノハ、此ノ方法ヲ出來ルヤウニ思ヒマス。

○甲四十九番(長屋庄三郎君) 先刻御意見ガ出マシタ教科書、教授法、竝ニ教師ノ人選等ノ御話ガア
ツタガ、至極結構デアリマス、併ガラ此三方法ヲ急速ニ改良スルコトハ、容易ナコトデアリマセヌカ
ラ、先ヅ捷徑トシテ、教授法ノ改良ヲ主ニ置クノデアリマス、其方法トシテハ先ヅ商業科ヲ持ッテ居
ルモノハ、商業科ノ教授ト共ニ教授ノ方法ヲ普通的ニ、又普通科ノ方ノ先生ハ其教授ノ方法ヲ商業的
ニスル、即チ商業上ノ例ナリ説明ナリヲ加ヘル、夫カラ商業科ノ普通的、普遍的ノ説明ヲ與ヘル、斯
ウ云フ風ニヤルコトガ最モ行ハレ易イ捷徑ト考ヘルノデアリマス。

○甲五十一番(宮田千年君) 只今承リマス所ニ依ルト、私ハ聊カ反對ノ意見ヲ持ッテ居リマス、先刻
ドナタカ、教科書ヲ編纂シテ、普通學科ノ教科書ニ、實業的色彩ヲ帶バシムルコトガ良イト云フ御話
デアリマシタガ、其邊ハ私ハ反對デアリマス何トナレバ吾々ガ普通學科ヲ、學校ノ生徒ニ教ユル所以
ハ一般ニ普通智識ヲ要スル故デアリマス、普通學科ニ實業的色彩ヲ帶バシムルト云フコトハ……若シ
サウ云フ先生ハ、普通學ヲ止シテ、實業學科ノミデ宜イト思ヒマス、併ガラソレデハ健全ナル仕事ヲ
スル商人ヲ養成スルコトガ出來マセヌカラ、其邊ハ餘程考ヘモノト思ヒマス。

○甲五十二番(齋藤軍八郎君) 私ハ只今マデ二十番ト、三十二番、其他ノ方カラ御議論ガ出マシタガ
ソレト同一ノ考ヘデアリマス、先ヅ以テ普通科ノ教師ニ商業ニ關スル講習ヲ受ケサセルヤウニシタ
ラ、實業上ノ知識ヲ得マシテ、双方ノ間ニ連絡ガ取レルト思ヒマス。

○甲五十四番(菅野修藏君) 連絡ヲ密接ナラシムル方法トシテハ、教師ガ反對學科ノ知識ヲ十分ニ得

ルコトガ必要ト思ヒマス、是ハ前ニ二十番、三十四番ノ御話シニナツタ通りデアリマス、實業學校ノ普通科受持ノ教員ハ、實業方面ノ知識ハ淺クトモ、成ル可ク廣ク持ツコトガ必要デアアル、又實業學科ノ受持ノ教員デアリマス、普通學科ノ根本ノ知識ガ、一般ニ缺乏シテ居リマスカラ此點ハ努メテヤリタイ、其次ニハ段々御話ガアリマシタガ、或ハ連絡上打合會ヲ開クトカ、或ハ教授細目ヲ選定スルト云フヤウナ事ハ今迄御説ノアツタ通りデアリマス。

○甲五十八番(太田徳次郎君) 實業學校ノ普通學科ニ價值ヲ認メテ、實業學科ト同等ノ程度ニ於テ、互ニ連絡ヲ取ルベキモノデアアルカ、或ハ從タル普通學科ト主タル實業學科トハ如何ニ連絡スベキカ、其連絡ニ付テハ多少疑問ヲ持ツテ居リマス、從テ實業學科ノ教員ニ、普通科ノ素養ヲ有セシメ、或ハ普通學科ノ教員ニ、實業科ノ事ヲヤラシムル方法ガ良イカモ知ラスガ、ソレハ又ナカク求メテ得惡イヤウニ考ヘマス、之ハ人ニ依ル他仕方ガナイ、今茲ニ確トシタ方法ハ持チマセヌガ私ハ寧ロ主タルモノヲ實業科ニシテ、普通科ヲ從タルモノトシテ、サウシテ連絡ヲ探リタイト云フ考ヘデアリマス。

○議長(佐野校長) 乙種ノ校長方ニ御意見ノ御發表ヲ願ヒマス。

○乙一番(黒川善一君) 私ハ二十番ト同一意見デアリマス。

○乙二番(浦守謹吾君) 私ハ第一番ニ、文部省ニ於テ、實業學校ノ教授法ヲ、最モ精密ニ御調査ニナリマシテソレヲ御發表下サルコト、夫カラ實業學校ノ教科書ヲ、成ル可ク双方ノ連絡ヲ保ツヤウナ方針ヲ以テ御檢定下サルコト、其次ハ、學校内ニ於テハ、實業教員ト、普通科ノ教員トガ相互ノ連絡ノ會ヲ開クトコトガ必要ナルハ勿論デアリマスガ、又統一シタル、緻密ナ教授細目ヲ作り、其教授細目ヲ實行スル爲メニハ、實業教員ハ成ル可ク實業學科以外ノ授業ヲ視、又普通學科ノ教員モ、成ル可ク實業方面ノ實況ヲ視、サウシテ教授細目ハ實際上實行シ得ルヤ否ヤト云フ事ヲ調査スルト云フ事ハ必要デアアル、サウシテ生徒モ双方ノ教員ノ言フ事ヲ重ズルヤウニシタイ、ドウモ實業學校ノ生徒ハ實業

教員ノ言フ事ハ重キヲ置イテ、普通學科ノ教員ノ言フ事ヲ輕ズルヤウナ傾向ガアリマスカラ、サウ云フ事ノ無イヤウニシタイ、斯ウシタラ双方ノ聯絡ガ取レルト思ヒマス。

○乙三番(井手力之助君) 私ハ前ニ御説ノアリマシタヤウニ、根本ノ改良ガ必要デアルト思ヒマス、只今ノ御説ニ依リマス、普通學科ノ教員ノ不十分ヲ感ジテ居ラレル、私モ同感デアリマス、而シテ普通科ノ教員ニ望ムベキ點ハ、實業學校モ普通校モ變ラヌノデアリマス、實業學校デアアルカラ、是々ノ資格ヲ要スル、是々ノ形式ヲ要スルト云フ事ハナイ、正直圓滿デアツテ、各教科ヲ實用ニ適スルヤウニ教授セラレタナラバ、ソレデ宜イ、普通學校デモソレデアアル、實業學校モソレデアアル、特ニ實業學校ノ普通科ダカラ、ドウシナケレバナラヌト云フコトハ無イト思ヒマス、即チ正直圓滿デ、實用アルヤウニスル、然ルニ今日此點ニ於テ缺クル所ガアリハシマセヌカ、教員サヘ良カツタラ、方法ハドウデアラウトモ、其教育ハ完全ニ行フル、教員ガ良クナカツタナラバ、教科書ガ良クテモ或ハ打合ヲ致シマシタ所ガ役ニ立タヌ、要ハ善良ノ教員ヲ得タイ、斯ウ云フ主意デアリマス、例ハバ歴史ニ致シマシテモ、算術ニ致シマシテモ、教員其人ヲ得テ居レバ宜イノデアツテ、普通學科デモ、實業學科デモ實用ト云フ點ニ意ヲ用ヘレバ宜イ、即チ普通學科デモ實用ノ趣味ガナケレバナラヌ、地理學ニ致シテモ何ノ學ニ致シテモ——然ルニ今日ハ、歴史ナラ歴史、高尚ナ學者ラシイ顔ヲシテ喜デ居リマス、普通學校デモ、サウデアリマス、要スルニ實用ニ適スル教員ヲ得ルニハ、檢定試験ノ方デ教員ノ常識アル者ニ最モ注意セラル、ガ肝要ト思ヒマス、是ハ文官試験ナドデモ變ラヌ、若シ斯ウ云フ點ニ實業教育ニ於テモ重キヲ置カレタナラバ、總テノ問題ハ解決サレル。

○乙五番(松村明敏君) 第一ノ諮問案ニ關シテ愚見ヲ述べマス、順序上連絡ヲ密接ナラシムルコトノ目的ヲ、一應吾々ハ考ヘル必要ガアルト思ヒマス、其目的ノ一ハ重複ヲ避ケテ、時間ノ節約ヲスル、第二ニ必要ナ事項ヲ多ク教授スル、第三ニハ普通教員ト、實業家教員ト兩者ノ教ユル所ヲ矛盾サセナ

イヤウニスル、是等ノ三ノ點ガ其目的デアラウト思ヒマス、此目的ヲ徹底セシムルタメニハ、分類スルト其方法ハ二ツニナルト思ヒマス、一ハ人物關係上ノ連絡、又一ハ形式關係上ノ連絡第一ノ人物關係上ノ連絡ニ付テハ、既ニ御意見ガ出マシタカラ申シマセヌガ、教員ノ打合會ヲ頻繁ニ開クト云フコト、其次ニハ商業科各講習會ニ普通教員ヲ出席セシムルコト、第三ニハ、地理的ニ吾々商業學校ノ打合會ヲ——縣費ノ打合會ヲ開イテ居リマス、之ヲ成ル可ク多ク開イテ、商業科並ニ普通科ノ教員ヲ交ゼテ、詳細ナル打合會ヲナス、第四ハ其校ノ教師ヲ、職員會毎ニ或程度ノ演題ノ下ニ講説サセルコトガ必要ト思ヒマス、臨時ニ冬季講習會、或ハ夏季講習會ニ出席セシムルダケデハ、十分ニ細カイ所ニ届カスト思ヒマス、サウ云フヤウナ商業科ノ講習會ニ商業科ノ教員、普通科ノ教員ノ出席ヲ多クサセル、又汎ク互ツテ其事項ヲ十分知ラシムルコトガ必要デアルカラ、協議會ヲ多クヤリタイ、第五ニハ普通科ノ教員ヲシテ商業上ノ知識ヲ得セシメタイト思ヒマス、其點ニハ工場或ハ商店サウ云フヤウナ所ヲ多ク參觀セシムル、要スルニ人物ノ關係モ十分ナ連絡ヲ作ルタメ、斯様ナル方法ヲ限ナク採用スルガ宜イ、夫カラ形式關係上ノ連絡ニ付テハ、重複ヲ避ケテ、時間ノ節約ヲ計ルタメニハ、普通科教員ガドノ點マデ教授シテ居ルカト云フコトヲ、商業科ノ教員ガ知悉スルノ必要ガアル又教授要目又ハ細目ヲ編纂シテ之レヲ十分徹底シテ實行スル必要ガ有ル夫カラ第二ハ協議シマシタ事項ガ、ドコ迄教授シタカト云フコトヲ、他ノ教員ニモ知ルコトノ出來マサウニ、教授成績一覽表ヲ掲ゲ、期限各學科ヲ記載シテ、ソレニ關係スル教員ハ、一覽表ヲ見レバ、トノ學科目ハ、ドノ事項ドウ云フコトヲ教ヘテ居ルト云フコトヲ知ル必要ガアリマス斯様ナ方法ニ於テ連絡ヲ講ズルニアラザル以上ハ、到底教授事項ノ重複ヲ避クルコト、時間ヲ節約スルコトガ出來ナイト思ヒマス、夫カラ一方ニハ教員所ノ教科書ノ内容ヲ十分ニ知ル必要ガアル、此研究ガ從來餘リ多ク出來テ居ラヌヤウニ思ヒマスカラ教科書研究會ヲ開イテ其内容ヲ明ラカニシ十分ニ徹底シ置ク必要ガアルト思ヒマス、斯様ナル方法ニ致シ

マスレバ、所謂連絡ヲ密接ナラシムル目的ヲ貫クコトガ出來ルヤウニ考ヘマス。

○乙十番(稻葉鶴次君) 私ノ言ハント欲スル所ハ、大抵盡キタヤウデアリマスガ、私モ其諮問案ノ委員ノ一人ニナツテ居リマス、先程委員ノ意見ヲ發表セヨト、ヤカマシイ議論モアツタノデアリマス、私モ考ヘテ居リマス事ヲ、極ク簡單ニ、綱目ダケ申シマスガ此實業學校ニ於キマシテ、普通學科ト實業學科トノ連絡ヲ密接ナラシムルト云フコトハ、御同様ニ大切ニ考ヘテ居ルコトデアリマシテソレ相應ニドコノ學校デモヤツテ居ルト思ヒマス、言フコトハヤサシク、併シ行フコトハ難イノデアリマス今迄ノ御意見ニ於キマシテモ、自分ノ學校ナドデハ實施シテ、ソレガ行ハレタ事モアツタノデアリマス、ナカノムヅカシイ事デアリマスカラ、私ハ現在ノ狀況ニ於キマシテ、是位ノ連絡方法ハ、容易ク出來得ルモノデアルト考ヘテ居ルモノヲ申上ゲタイト思ヒマス、第一ハ文部省ニ於テ、統一的教科書ヲ編纂スルコトデアリマシテ、先程モ御話ガアリマシタガ、今ノ文部省ノ檢定方法ニ於テハ檢定ニハ反對デアリマス、只文部省ニ於テ出來ルナラバ、統一的教科書ヲ編纂スルト云フ意見デアリマス、第二ニ文部省ガ、統一的ニ全學科ニ亘ル教授要目ヲ發表スルコト、第三ハ學科教授細目編製ハ教材ノ配列ヲ適當ナラシムルコト、第四ハ教授法打合會ヲ開キ、各科教科目ノ連絡ヲ計ルコト、次ニ五ニ、教員ノ交互參觀ヲ獎勵スルコト、是ハ自分ノ學校デヤツテ居リマスガ、連絡ニ最モ良イ方法デアリマス、普通科ノ教師ニハ實業科ノ參觀ヲサス、實業科ノ教師ニハ普通科ノ參觀ヲサス、是ハ參觀名簿ヲ作ツテ、月ニ二三回ヲサセルコトニシテ居リマス、是ガ最モ簡單ナ方法デアツテ、連絡ヲ取ルニ良イヤウニ思ヒマス、其次ハ普通學科ノ受持教師ヲシテ、實業學科ノ研究ヲナサシムルコト、是ハ先程イロノ御意見ガ出テ居リマスガ、普通科ノ受持教員ニ實業學科ヲ受持タセルト云フコトハ反對デアリマス、實業學校ノ實業科ノ教師ニ普通科ヲ受持タセルト云フコトハマダシモ良イト思ヒマスガ、普通學科ノ受持教師ニ實業科ヲ受持タシムルト云フコトハ、私ノ經驗ニ於テハ、大反對デアリマス、尙細

カイ事モゴザイマスガ、大體以上ノ如クデアリマス。

○乙十四番(谷澤米藏君) 私ハ根本的ニ連絡方法トシテハ、職員ノ良イノト、教科書ノ良イノト、斯ウニツアルト思ヒマス、先程ノ十番ノ御説ニ賛成デアリマスガ、此他ニ姑息的ノ方法ハアルト思ヒマス其根本的ニ職員ニ於テ、實業學科ト普通學科ト、双方常識ヲ具ヘテ居ルト云フコトハ、今俄ニ望ム能ハズ、教科書モ亦、今俄ニ國定教科書ヲ得ル能ハズトナツタラ、今眼前ニ於テノ方法トシテ、斯ウ云フ方法ガ不完全ナガラモアラウカト思フノデアリマス、ソレハ前モアリマシタヤウニ教授打合せト云フコトニ依リマシテ、各自實業學科、普通學科ノ教授上ノ所感ヲ互ニ話シ合ハスル、ソコデ重複ト云フヤウナコトモ發見モ出來マス夫カラモット姑息ノ方法トシテハ、豫メ重複矛盾ヲシサウナ題ヲ、特ニ調査シテサウシテ關係者ガソレヲ知ツテ居ルト云フコトヲシマスレバ、差當リ大ナル過失ハ無イト思ヒマス。

○乙五番(松村明敏君) マダ一諮問案ニ付キマシテ斯ウ意見ガ出マシテ、時間ガ最早十一時ニナツテ居ルヤウニ思ヒマス、マダ第二第三諮問案モ控ヘテ居リマス、既ニ吾々意見ノタメニ、全ク討議ノタメ費ス時間ハ二日デアリマスガ、其時間ハ少イノデアリマス、第一諮問案ニ此ノ如ク多大ノ時間ヲ費シ、第二第三ガ輕クナルヤウナ慮ガアリマスカラ、第一諮問ニ封スル意見ノ發表ハ此位ニ止メテ、直チニ第二ニ就イテ、意見ヲ御發表ニナルヤウニ御計ヒテ願ヒタイ、之ヲ動議トシテ提出シマス。

(賛成ノ聲起ル)

○議長(佐野校長) 只今松村校長カラ御動議デ御賛成モアリマスカラ、満場ニ御諮リシタイト思ヒマス、起立ニ諮ヒマス、今ノ緊急動議ニ御賛成ノ方ハ起立ヲ願ヒマス。

起立者 多數

○議長(佐野校長) 大多數ト認メマス、付キマシテハ第一第二第三諮問案、孰レニテモ隨意ニ先刻ノ

順序デ御意見ノ御發表ヲ願ヒマス、ドウゾ望月サンカラ御意見ノアル所ヲ伺ヒマス。

○乙十五番(望月貞君) 第二ノ諮問案ニ就キマシテ、有效ナル國庫補助金ノ使用ハ、其學校ノ使用如何ニ依ルト思ヒマス、其學校ノ經濟狀態ガ未ダ十分デナイ事情ノアル所デハ、ヤハリ以前ノ一般經常ノ方ニ交付セラル、コトヲ有效ト存ジマス、一步進ミマシテ、時勢ノ必要上體育ガ非常ニ重要ニナツテ居ルニモ拘ラズ、體育ノ器械器具ガ不完全ナル點ガ多ホカラウト思ヒマス、故ニ斯ウ云フ點ニ向テ使用シテ體育ノ獎勵ヲシタイト思ヒマス、其他尙特別ノ器具、標本購入ト云フ點ニ向ツテ交付サレンコトヲ希望シマス、夫カラ一ツ御願ヒシテ置キタイノハ、此補助金ハ漸次減セラレントスル傾向ガ見ヘマスガ、乙種ノ郡立學校、或ハ町立學校ニ於テハ、此補助金ハ餘程重大視シテ居ルノデアリマスカラ、寧ロ今迄ヨリモ多ク交付セラレントヲ、實業教育普及ノタメニ、切ニ御願ヒ致シタイトデアリマス、夫カラ第三諮問案ニ付テハ、體育ヲ一層獎勵シ、完全ナル體格、剛健ナル氣象ヲ有セシムルヤウニスルコトガ最も必要ト思ヒマス、重複イタシマスガ實業教育ノ普及デス、今迄興スベキ學校ガ、簡易ニ起スベキ學校ガ、随分アルニ拘ラズ、此點ニ遺憾ガアリマスカラ、實業教育普及ト云フ點ニ努力シタイトデアリマス、夫カラ第三ハ今日段々南洋及其地ニ於テ貿易ノ障害ヲ認メマスガ其ノ重大ナル原因ハ正義ノ觀念ガ缺ケ易イ點デアリマス故ニ、愛國の觀念、共同心、正義、是等ノ觀念ヲ一層助長セシムルコトニ努力シタイト思ヒマス、尙ゴザイマスケレドモ、大體斯ク申上ゲテ置キマス。

○乙十六番(根岸近仁君) 私ハ別段是ト云フ意見ハアリマセスガ、第二ノ諮問ニ付テハ、今迄ハ補助額ハ其負擔額ヲ標準トシテアルヤウニ思ヒマスガ、寧ロ負擔額ノ少イ言換ヘタナラバ、經濟基礎ノ薄弱ナモノニ餘計ノモノ、經濟基礎ノ強固ナモノニ少ク與ヘラレタ方ガ、國家ノ補助トシテ適者ナ方法ト思ヒマス、夫カラ種々アリマスガ、今迄ハ——先般承リマス所ニ據ルト、經常費及設備費ノ二項ニ限ラレテ居ルヤウデアリマスガ、段々ト時勢ニ伴ツテ校舍ノ改築ヲシナケレバナラヌト云フ學校ガ隨

分澤山アリマス、小學校ト言ハズ、中學校ト言ハズ、校舍ヲ改築スル或ハ増築スルト云フコトハ、地方ニ取ツテハ困難ナ問題デアリマスカラ、此補助ノ範圍ヲ擴メテ、臨時費ニモ御下附ニナルヤウニ方法ヲ改メテ戴キタイ。

○乙十八番(近藤節太郎君) 私ハ第二ノ諮問案ノ委員ノ一人デアリマスカラ簡單ニ私ノ考ヘヲ述ベマス、只今望月校長ガ御述ベニナリマシヤウニ、國庫補助ノ額ヲ多額ニスルト云フコトハ、最モ有效ナル方法ト思ヒマス、次ニ補助ノ金ヲ使フニ付キマシテ、今日ノヤウニ一般ノ經濟ノ中ニ混ゼナイデ例ヘバ教員ノ増俸トカ、或ハ備品費トカ、若ハ實習費トカ、指定補助ヲ仰イダ方ガ、最モ學校トシテ有效ニ使用スルコトガ出來ルト思ヒマス、第三ノ問題ニ付キマシテハ、甚ダ問題ガ大キイノデ、是ハ農業商業ト云フ、此學校ノ組織上、自カラ異ルベキコトデアラウト思ヒマスガ、商業學校トシテハ、モウ少シ商業學校ノ普及ヲ計ルヤウニ、種々ナ方法ヲ當局ニ於テ講ゼラル、コトヲ望ミマス、商業學校ノ卒業生ガ、海外ヘ出マスマウナ場合ハ、十分ニ便宜ヲ與ヘ下サルコトハ、昨年ノ吾々協議會ニ於テ諮問案デアリマシタガ、答申シタヤウデアリマシタガ、ソレヲ現實スルヤウニ御骨折ヲ願ヒタイ。

○乙二十番(富田小一郎君) 第二諮問案ニ付テハ、前ニ述ベラレタ通り、私モ同ジ意見デアリマス、只今迄ノ國庫補助ハ、主モニ設備ノ完成シタモノニ御下附ニナツテ居ルヤウニ承ツテ居リマス、今其方ノ反對ノ御意見モ出テ居リマスガ、如何ニモ全ク設備ガ完成シナイデ、今後ノ維持ガ出來ナイト云フ學校ニハ難カシイガ、設備ノ完成シタモノニ、多額ノ補助ヲ與ヘラル、ト云フコトハ、補助ノ主旨ニ背クト思ヒマス、今後ハサウ云フコトヲ止メテ、設備ノ不完全ナ學校ノ方ニ多額ノ補助ヲ與ヘラレ、且ツ經常費ノ方デ補助サレズシテ設備ノ方ニ主モニ補助サレタラヨカラウト思ヒマス、第三ニ付キマシテハ、大分範圍ガ廣イノデ、只今申上ゲルコトハアリマセヌ。

○乙二十一番(佐藤善次郎君) 第二諮問案ニ付テハ、段々御意見ガアリマスガ、自分ノ意見ハ既ニ今迄述ベラレタ内ニ於テ盡キテ居リマスカラ、第三ノ諮問案ニ付テ意見ヲ述ベタイト思ヒマス、實業教育上改善ヲ要スル點ハ、大體四點ニ在ルト思ツテ居リマス、一ハ國民道德ハ勿論、實業道德ノ向上ヲ計ルコトデアリマス、次ハ體育方面ヲ有意義ニスルコト、其次ハ世界ノ大勢ニ順應セシメ剛健ニシテ進取ノ氣象ヲ養フコト、其次ハ教科ヲシテ一層適切ナラシムルコト、此四點ト思ヒマス。

○議長(佐野校長) 只今恰度十一時デアリマスカラ、五分間程休憩イタシ、夫カラ引續キマシテ佐藤サン、五十嵐サンノ順序デ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、暫ク休憩イタシマス。

午前十一時休憩
午前十一時十分開議

○議長(佐野校長) 夫デハ是ヨリ引續キ開會シマス、佐藤サン。

○乙二十二番(佐藤周助君) 私ハ第二ノ問題ニ付テハ、既ニ諸君ガ御述ベニナツタ事ト、大同小異デアリマスカラ、是ハ申シマセヌガ、第三ニ付テ意見ヲ述ベマス、此事ニ付キマシテ、教育ノ内容方面ニ於テハ、既ニ各校長ガ述ベラレタ通り、種々ノ點ガアルト思ヒマスガ、内容方面ノ改善ト同時ニ制度ニ就テノ改善ト申シマセウカ、改正ヲ要スル點ガアルト思ヒマス、本員ノ建議案トシテ提出シテ置キマシタノハ、恰度此諮問案ニ對スル、私ノ意見ノ一ニ當ツテ居ルト思ヒマスガ、此建議案ハ整理委員ノ方デ宿題トセラレマシタカラ、此場合此事ニ付テ簡單ニ述ベテ置キマス、總テ實業教育バカリデアリマセヌガ、餘リ制度ノ劃一ト云フコトハ、昔ハ兎ニ角、今日ハ誤ツテ居ル、將來ニ於テハ、却テ進歩ヲ阻害スル虞ガアリハシナイカト思ツテ居リマス、ガ實業教育ニ於テハ、殊ニ制度ノ劃一ガ甚ダ種々ナ障害ヲ來タス虞ガアルト思ヒマス、現在ノ商業學校ノ規定ニ於キマシテハ、甲種乙種ノ別ガアリマシテ、甲種ハ申ス迄モナク中等程度ノ教育ヲ施スモノ乙種ハ其土地ノ狀況ニ依テ、適宜ノ方法ニ依テ實業教育ヲ施スノデアリマスガ、然ルニ此現在ノ乙種ノ商業學校ハ、大抵ハ甲種ヨリ程度ノ低イ、

尋常小學ヲ卒業シタ者ヲ收容シテ、三年間教育スルト云フコトデアリマスガ、世間デハ乙種ハ、サウ云フモノニ限ルヤウニ心得テ居リマスガ、併シ是ハ此席ニ御居デノ方ハ、十分御熟知ノ筈デアリマス明治三十七年文部省訓令第三十五號ニ於テ、其事ヲ細カニ御示シテ居リマス、是ニ依テ見ルモ乙種ハ随分範圍ガ廣イ、是等ハ無論實業教育ノ制度トシテ結構ナ事ト思ヒマスガ、併シ一方ニ於テハ甲種ト云フ規定ガアリマス爲メニ、兎角乙種ヲ——甲トカ乙トカ云フト、甲ヨリ乙ガ惡イト云フ感ジテ、何トナク一般ニ有ツテ居ルタメカ、乙種程度ノ學校ハ、假令其土地ニ適シタモノガ出來ルトシテモ、乙種ヨリモ甲種ニシタイ、甲種ノ學校ヲ立テナイト、其土地ノ耻辱ノ如ク考ヘテ居ル、ソレカラ自然乙種ノ學校ハ嫌ハレルト云フヤウナ傾キガ無イデモナイ、其結果、其土地ニ適切ナモノガ出來ナクナル乙種ノ學校ガ、兎角少クナツテ來ヤシナイカ、實業教育ノ如キハ先刻申シマス通り、一定ノ科目ヲ一定ノ程度ニ於テヤルト云フヨリハ、ヤハリ其地方ノ——ニ最モ適切ナ修業年限ナリ、又入學ノ資格ナリ、或ハ各學科目ナリ、又各學科目ノ程度ガ、總テガ同ジ市ト申シマシテモ、東京ノ如キ、仙臺ノ如キ大キイ所モアリ、又浦和、姫路ノ如キ小サイ市モアル、随分狀況ガ違ツテ居リマスカラ、其等ノ土地ノ狀況ニキツチリ適シタヤウナ學校ヲ、自由ニ設ケルヤウニシタ方ガ、實業教育ノ進歩ニ最モ良イト思ヒマス、所ガ乙種甲種トアルタメニ兎角乙種デナクテ、甲種ニシタイト云フコトニナツテ、種々障害ガアルカト思ヒマス、今後時局ニ鑑ミテ、實業發育ヲ最モ獎勵シナケレバナラヌ、一般普通教育ノ獎勵モ無論デアリマスガ、實業教育ハ我邦ノ狀態カラ考ヘテモ獎勵シナケレバナラヌ場合デアリマスカラ、寧ロスウ云フ窮屈ナ乙トカ甲トカ云フノ廢シテ、其案ノ内容ハ私ノ提出シタ通り、大體書イテアリマスカラ、之ヲ御覽ヲ願ヒマシテ、コンナ工合ニ範圍ヲ廣クシテ、自由ニ其土地ニ適シタ學校ヲ増設スルト云フ制度ヲ設ケルコトガ必要デアルト思ヒマス、サウナツタラ將來我邦ノ實業教育、少クモ商業教育ニ於テハ、大ニ進歩發達スルコトガ出來ルト信ジテ居ルノデアリマス、其他種々アリマ

スガ、第一ニ私ノ感ジテ居ツタコトデ、最モ重要ナ一ノ案ト考ヘマスカラ、是ダケ申シテ置キマス。○乙二十六番(板谷節太郎君) 實業教育ノ發展ヲ圖ルニハ、ドウシテモ教師其人ヲ得ナケレバナラヌ教師其人ヲ得ルニハ、教師ノ待遇ヲ良クシナケレバナラヌ、故ニ是ハ國庫補助ハ職員ダケニ願ヒタイ第三ニ付テハ、世界ニ於ケル日本ノ位地ヲ知ラシムル、之ヲ研究シタナラバ、總テ問題ハ乃ヲ迎ヘテ解決スルノデアリマス。

○乙二十七番(金山永三郎君) 第二ノ諮問案ニ付テ、簡單ニ意見ヲ述ベマス、今二十六番ガ話サレタ通り、俸給ニ對シテ國庫補助金ヲ下サルコトハ、有効ナ方法ト考ヘテ居リマス、併シ俸給バカリガ、實業學校ニ於ケル所ノ必要ナ費用トモ思ヒマセヌケレドモ、出來ルナラバ、其學校ノ——ニ於ケル所ノ最モ大切トスル、最モ有効トスル所ノ費額ニ對シテ補助サレルヤウニ希望シマス、併ガラソレハ區々ニナツテ居ツテ、ナカク——纏リガ着カヌト云フコトニナリマスレバ、文部省ノ方デ、實業教育上ニ最モ改善ヲ要スル事、最モ力ヲ入レナケレバナラヌ事ニ付テ、御考ヘニナツテ、ソレニ對シテ各學校デ支出スル所ノ豫算額ヲ標準ニシテ、補助金額ヲ定メテ戴イタラ、自然ニ各設立者ニ於テ、其必要ナ事柄ニ、餘計ニ經費ヲ出スヤウニナリヤシマイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、モウ一度述べマスレバ、第一ニ希望スル各學校ニ於テ、最モ重キヲ置ク所ノ經費ヲ指定シテ補助シテ戴キタイ、若シソレガ出來マセヌナラバ、文部省デ實業教育上、是々ヲ獎勵シナケレバナラヌト云フ事柄ニ對シテ、各學校デ出シテ居ル費額ヲ標準ニシテ、ソレノ何倍トカ、幾ラトカ、凡ソ出來得ル範圍内ニ於テ、補助金ヲ定メテ交附シテ戴ク、第三ニ付テハ、今迄イロ——説ガ出タノデアリマスガ、兎ニ角先ヅ第一番ニ、實業教育ヲ尙一層普及セシムル事ガ大切ナ事ダラウト思ヒマス、其方法トシテ、今商業學校規定ノ改正ニ付テノ意見モ出マシタガ、其等モ今ノ狀況ヨリハ一層實業教育ヲ盛ンニスルニ有効デアルト思ヒマスケレドモ、尙其他ニ、國民道德ノ鼓吹ト云フコトヲ努メ、夫カラ海外ノ活動ニ便宜ナル方法ヲ何カ授ケ

テ戴キタイ、卒業生ガ海外ニ活動スルニ便宜ナル方法ヲ、文部省ノ御力ニ依テ授ケテ貰ヒタイ斯ウ云フ事モ希望シテ置キマス、體育養成モ無論必要デアリマセウガケレドモ亦女子實業教育ノ方ヲ尙一層獎勵セラル、事モ必要デアリマス、尙又教育ノ方法ヲ一層實際的ナラシムルコトニ付テモ、十分努力スル餘地ガアラウト思ヒマス、經費モ伴フコトデアリマセウケレドモ、其方ハ補助金ヲ割合ヲ良クシテ頂ケバ、幾ラカ其方ヘ力ヲ盡スコトモ出來ヤウト思ヒマス、兎ニ角實際的ナラシムル事ガ急務ト思ヒマス、夫カラ私ハ是迄長ク乙種ノ方ヘ奉職シテ居リマスガ設立者ノ方デ、乙種ハ金ガ少クテ、出來ルナラバ甲種ガ良イケレドモ、乙種ヲ立テルノダト云フヤウナ考ヘデ居ル者ガアルラシイノデアリマス、議員ナドニ於テモ、實業教育ノ必要ヲ感ジテ居ルケレドモ、併シ金ガ要ルカラ乙種ニスル、初メカラ金ヲ出ス考ヘデ居ラス、サウシマスドントナニ學校長ガ種々ナ必要ナ費用ヲ請求シマシテモ、ナカク五圓三圓ノ金デモ、出シテ貰フノガ困難ナヤウナ狀況デアリマス夫デ大體私ハ、斯ウ云フト實際ヲ見マセヌカラ分リマセヌケレドモ、乙種ノ實業學校ハ、設備ガ不完全デナイカト思ヒマス、設備ガ不完全デアツテ而カモ教育ヲスルト云フ點カラ云フト、年齢ガ恰度一番教化ニ難カシイヤウナ時ニナツテ居リマスカラ、非常ニ骨ガ折レマス、サウシテ其結果ガドウカト云フト、成績ハ骨折ツタ割合ニ良イ實ガ舉ラナイト云フコトニナリマス、ソコデ若シ出來マスレバ文部省ノ方デ、大體實業教育ニ於テ、農業デモ、商業デモ、工業デモ、總テ設備ノ方ノ準則ヲ、此場合拵ヘテ戴イタラドウカト思ヒマス、餘リヒドク細カクシテ戴クト、折角實業教育ノ普及シ掛カツテ居ル所ヲ壓ヘルヤウナコトニナリマスカラ、ソコノ所ハ都合ノ好イ程度ニシテ戴イテ、兎ニ角何モ無イヨリモ、設備準則ノヤウナモノヲ拵ヘテ戴イタナラバ、ソレニ依テ設立者モ、實業教育ノ方ニ、金ヲ割カウカト思ヒマス、實業教育ガ必要デアルト云フコトハ、議員カラ有志ハ承知イタシテ居リマスケレドモ、サウ言ツテ居リナガラ、ヤハリ直グト効果ガナイ、教育ノ方ヘ金ヲ出スコトハ後廻シニシテ、勸業トカ土木トカノ方ノ、普通

目ニ見ヘルモノニ金ヲ出スヤウニナツテ居リマス、斯ウ云フ事モ、私個人トシテ感ジタコトモアリマス、ソナヤウナ狀況デアリマスカラ、適當ナ設備ノ準則位ヲ設ケテ戴イタナラバ、ヤハリ戦後ニ處スル實業教育上ノ方法ニナルカト思ヒマス。

○乙三十番(鈴木信豊君) 極ク簡單ニ申上ゲマス、第一ノ諮問案ノ所デ只一言申上ゲテ見タイト思ヒマスガ、連絡ノト云フコトガ、動モスレバ連絡ニアラズシテ、混同ニ近寄りハセヌカ、實業學校ハドコ迄モ實業的方面カラ、常識ニ富メル實業家ヲ養成シナケレバナラス、餘リ實業ト云フ事ニ没頭スルコトハ、却テ其目的ヲ阻害スル結果ニナリハセヌカ、ヤハリ普通學科ハ普通學科、實業學科ハ實業學科トシテ其間互ニ特長ヲ保チ其間ノ矛盾ヲ防グガ宜イ、ソレガ爲メニ教授主任ガ統轄シテ行ケバ宜イ、學級主任ガ矛盾其他ノ重複ヲ防グバ宜シイ、其次ニ實業學校ノ國庫補助デアリマス、従前ノヤウニ、經常費全體ニ漠然補助シテ置クト云フコトハ、或ハ以前ニハ、ソレガ時勢ニ適當シタカモ知ラヌガ、今日ハ決シテ是ハ當ラ得タヤウニ思ツテ居リマセヌ、縣立ノヤウナ大キイ學校ハ兎ニ角デアリマスガ、郡立以下ノ組合立、町村立ト云フヤウナ所ニナツテ參リマスト國庫ノ補助金モ、其他ノ補助金モ當テニシテ、經常費ノ最少限度ヲ支出スル位ニ努メテ居ル狀態デ幾年經ツテモ、設備ノ完成ヲ見ルコトハ出來ナイノデアリマス、設備ノ完成ヲ見ルコトガ出來ナイデ、終ニ學校ノ存立基礎ガ危クナツテ來ル、從テ教授ノ活動ノ範圍ガ縮小サル、ヤウニモ思ヒマスカラ、ドウシテモ國庫補助費ハ、設備ニ向ツテ大部分補助シテ、其設備ノ略ボ完成ニ近イヤウナ所ハ、補助金ガ少クナルト云フコトハ宜カラウト思ヒマスガ私ハ先ツ補助金ノ三分ノ二位ハ設備ニ向ツテ補助シ、後トノ三分ノ一ハ是ハ少シク突飛カ知リマセヌガ各學校ノ教員ノ教養費ニ補助シタラドウカト思ヒマス、ナカク此度ノ大亂カラ見テモ、今後學術殊ニ科學應用ノ範圍ノ擴張ハ非常ナモノデアツテ、吾々教育ニ從事スル所ノ者ハ十分ニ研究ニ研究ヲ重ネテ、此仕事ニ掛カラヌケレバナラヌト思ヒマス、ソレニハ相當費用モ要ルシ、又是

ガ獎勵ノ方法ハ國庫ノ補助金ノ三分ノ一ハ職員ノ修養費ニシテ、其使途ハ海外視察旅費、見學費用、及研究材料ノ購入ニ關スル費用ニ補助スルトカ種々ナ事ガ出來ルト思ヒマス、三分ノ二ハ設備ニ補助スル、三分ノ一ハ研究費ニ補助スル、夫カラ第三ノ時局ニ鑑ミテト云フ事ハ、是ハ吾々實業教育者ハ、時勢ニ伴ヒ先ヅ士氣ノ涵養、體力ノ増進ヲ圖リ、常ニ世界ノ大勢カラ觀テ帝國ノ使命ノ存スル所ヲ、生徒ニ常ニ注ギ込デ、終始一貫シタ覺悟ヲ有ツト云フコトハ、最モ宜カラウカト思ヒマス、吾々幼年時代ニ考ヘテ見ルト、明治以來容易ナラザル頭ヲ有ツテ居ルト思ヒマス、サウ云フ事ハ申上ゲルコトハ、ドウカト思ヒマスガ、或ハ露西亞ニ對シ、支那ニ對シ、吾々ガ教育ヲ受クル時ハ根底拔ク可カラザル考ヘテ有ツテ居ツタデハナイカ、ソレガ終ニ帝國ノ目的ガ達セラレタヤウニ思ヒマスガ、近來サウ云フ思想ガ生徒ニ有ルカドウカ、兎ニ角世界ノ大勢ニ伴ツテ帝國ノ使命ガアルダラウト思フ、サウ云フ事ハ明ラカニ知ラシテ行カナケレバナラス、夫カラ商業道德ニ力ヲ入レナケレバナラス、其他科學ノ應用、發見發明ニ關スル趣味ノ涵養ヲドコ迄モヤツタラドウカト云フヤウナ事ヲ、常ニ考ヘテ居リマスカラ、一寸御答ヘ致シマス。

○議長(佐野校長) サウ致シマス、乙種十五番ノ以下ノ方々ハ、第一、第二、第三各諮問ニ付テ御意見ヲ御述ベニナリマシタガ、其前ノ方々ハ、第一諮問案ニ付テノ御意見ガアツタノデアリマス、ヤハリ席順ニ依リマシテ、第二、第三ノ諮問案ニ付テモ、一番カラ御意見ヲ伺ヒマス。

○甲一番(竹谷辰郎君) 私ハ今此處デハ別ニ申シマセヌ。

○甲四番(立花寛藏君) 第二諮問案ニ付テハ、別段考ヘハアリマセヌ、第三ノ問題ニ付テ、少シク考ヘガアリマス、商業學校ノ設立内容等ニ付キマシテ、文部省ノ訓令第十號商業學校規程ニ依テ纏メラレテアリマス所ガ自分ガ考ヘマスト段々時勢ノ進ムニ從ツテ多少アレデハ窮屈ノヤウニ考ヘル點ガアルノデアリマス、ソレヲ詳シク申シマス、時間ガ掛カリマスデ、只大要ダケヲ申シマス、甲種商

業學校ヲ大別シテ二ノ種類トナル、或ハ一校内ニ二科ヲ設クルコトヲ得セシムル、其主意ハ、一ハ外國語トシテ商業學科ヲ主トスルコト、夫カラ一ハ外國語ニ對スルデアリマスガ、自分ハ假リニ内國語トシマス、其内容ハ讀書、習字、作文ノ三科ヲ主トシテ申シマスガ、是ガ商業學科ヲ主トシテ、商業學科ニ加味シタルモノ、此二ノ種類ノ學校ヲ設ケル、或ハ一校内ニ二ノ科目ヲ設ケルヤウニ致シタイ、サウシテ其學校ニハ、詰リ商業學校規程ノ第四條及第十三條ノ學科目ハ規定シテアリマスガ、其内カラ撰擇スルコトモ宜イ、又其他ニ他ノ科目ヲ附加ヘルコトガ出來ルヤウニ、現在ノ規定ヲモウ少シ自由ニシテ戴キタイト云フ考ヘテ有ツテ居リマス、詳シク理由ハ申シマセヌ、後トデ機會ガアリマスレバ申シマス、第二ニハ暑中休暇ヲ廢スル、斯ウ云フ考ヘデアリマス、其理由ハ別段申上ゲマセヌガ、此暑中休暇ヲ廢スルコトハ、今日ノ時局ニ最モ必要ナル事ト思ヒマス、第三ニ商業學校ノ規程十八條ニ於テ伸縮ノ道ヲ開クト云フコトデアリマスガ、是ハ至極良イ制度ト思ヒマス、特ニ今日ノ時勢ニハ最モ必要ナル制度ト信ジマスガ、ソレニハ徵兵令ノ猶豫ノ特典ガ無イノデアリマス、夫デ吾々ハ考ヘマスニ、必要ナル制度デアルニモ拘ラズ、ドウモ實行シテ居ル所ガ少イ、又實行シテ居ラル、所ガ、甚ダ振ハナイヤウニ聞ヘテ居ル、自分等モ實行シテ見タイト思ヒマスガ、效果ガ少イト思ヒマシテ實行シナイノデアリマスガ、ドウカ十八條ノ規定モ、只今ノ本科ト同ジャウナ工合ニ徵兵令ノ第三條ノ認定ノ效力ヲ及ボスト云フヤウニシタラ宜カラウト思フ、此三箇條ヲ提出イタシマス。

○乙三番(井手力之助君) 只今第二番目ノ御分類デ内國語ヲ主トスルモノヲ置キタイト云フ御話ガアツタヤウデアリマスガ、内國語ハ商業科ヲ主トシテヤルト云フト、同時ニ商業學校トシテ工業學校デヤル通りナモノガ出來マスカ、一寸ソレダケ。

○甲四番(立花寛藏君) 是ハ外國語ト商業科ヲ主ト爲ルノデアリマス、夫カラ其次ニ讀書、習字、作文、之ヲ假リニ内國語ト云ヒマシタ、讀書、習字及作文、及商業科ヲ兼ネシムル二種類ニシタイト云

フノデアリマス。

○乙三番(井手力之助君) 商業學校ノ科目ニ工業科ヲ加ヘル……

○甲四番(立花寛藏君) 詰リ申シマスト今ノ文部省規定ノ四條ニ、科目ガ規定シテアリマス、ソレニ商業科及内國語ニ關スル學科ヲ解イテ、サウシテ工業學科ニ二三ヲ附加ヘルノデアリマス。

○甲五番(磯江潤君) 私ハ第三問ニ付テ簡單ニ述べタイト思ヒマス、先程カラ種々御意見ヲ伺ヒマシタガ、時局ニ鑑ミ益スソレハ感ズル、時局ニ鑑ミナイデモ、サウ云フ考ヘル點ガアルノデアリマスガ先程理化工藝ニ關スルト云フ御意見ハ同感デアリマス、是ハ要點ダケ申シテ置キマス、理由ハ申ス必要ハナイト思ヒマス、其次ニ、全體實業教育ニ於ケル人ハ、殊ニ打算的ノ觀念ニ富デ居ツテ、犠牲的觀念ニ缺ケテ居ル、何かモウ少シ犠牲的精神ヲ修養シテ欲シイ、是等ハ何等カノ方法ニ依テ改善ト云ヒマスカ、新計畫ト言ヒマスカ、モウ少シ此邊ニ注意シナケレバナラヌト思ヒマス、モウ一ハ體育デアリマス、實ハ體育ニ於テハ、此佐野校長ガ御採用ニナツテ居リマスガ、其體操法ハ私共早速御真擬ヲシテヤツテ居リマスガ、併シ此方法ニ於テ缺點ハ、個人的ノ發展ト云フコトニナツテ、團體的ノ紀律的ノ方ニ或ハ缺クルコトガアリハシナイカト云フ懸念ヲ有チマス、ソレヲ補フニハ實彈射擊ヲヤラシセテ居リマス、ソレニ依テ得ル所ガ多イガ、モウ一ハ團體的精神ヲ養フニ付テハ、發火演習ヲヤラシテ見ルコトガ必要ト思ヒマス、併シ是ハ學校ニ依テハ、十分ノ銃器モアリマセウガ、私共十分デアリマセヌ、兎ニ角體育法ニ付テハ、實彈射擊ナドヲ獎勵シテヤラシタナラバ、精神上ノ方面ニ於テモ、體育ノ方面ニ於テモ併セテ得ルト思ヒマス、其故私ハ、理工科ノ知識ヲ與ヘル事ト、モウ少シ犠牲的觀念ヲ與ヘルコト、體育ニ付テハ、軍事的體操モ獎勵スルコトガ必要デナイカト云フ考ヘテ有ツテ居リマス理由ハ別ニ申シマセヌガ、獎勵シタナラバ、或ハ改善ト云ヒマスカ新計畫ト云ヒマセウカ多少助ケニナルト思ヒマス。

○甲十番(加藤正生君) 先刻來國庫補助ヲ有效ニ使用スルニ付テ、臨時費ニ補助サルルガ宜イト云フ御論モアリマシタガ、或ハ私ノ意見モ其内ニ含マレルト思ヒマスガ、研究費トシテ職員ガ或學科目ニ對シテ研究シタイト云フ者ニ補助スルトカ、又ハ高等商業へ依託生ヲ出シテ學校カラ推薦デモシテヤツタ場合ノ費用ニ供スルトカ、文部省ガソレヲ相當資格アルモノト御認定ニナルト云フヤウニ、サウ云フ方面ニ使ツタラ宜イト思ヒマス。

○甲十一番(大澤渚君) 諮問案第二ニ付キマシテ、一寸一言申シマス、國庫補助ノ適切ナリト云フコトハ論ハアリマセヌガ、若シ頂戴スルナラバ、自分ノ希望トシテハ、新規ノ商業上ノ器具トカ設備品トカ、或ハ「タイブラータ」トカ、其他商品ノ不要物ヲ常ニ戴クコトガ出來ルカ出來ヌカ分リマセヌケレドモ、文部省カラ高等商業或ハ農商務等へ御相談下サイマシテ其等ヲ學校へ配布シテ貰フコトガ出來マスレバ宜カラウト思ヒマス。

○甲十三番(安場禎次郎君) 私ノ學校ハ、マダ補助ハ貰ツテ居リマセヌガ、私ハ第二ノ方ニ付テ、希望ノヤウナ意見ヲ有ツテ居リマス、尤モ參考ト云フコトデアリマスカラ御採用ニナルカ、ナラヌカ分リマセヌガ簡單ニ申シマス、段々意見ガアリマシタガ、アノ他ニマダ出マセヌコトデアリマス、私ノ意見ハ、是ハ大都市ト、普通ノ市トデ違ヒマセウガ、此頃問題ニ上ツテ居リマスコトデ、中等學校ノ教員ノ年功加俸デアリマス、是ハ實現セラレマスカドウカ分リマセヌガ此方ニ向ツテ年功加俸ニ供セラレタラ最モ有効デナカラウカ、一ノ問題ヲ解決スル方ニモナリハシナイカト云フ意見ヲ有ツテ居リマス、此事ニ付テハ若シ委員ノ方デ御參考ニナサルナラバ、細カニ申シマス、第三ニ就テハ段々出テ居リマスガ、マダ出マセヌ點ニ付テ氣ノ付キマシタ點ハ是ハ昨年ノ協議會ノ時ニモ出マシタガ、職員ノ海外旅行、視察旅行、或ハ生徒ノ海外修學旅行ナドニ向ツテ、出來ルダケノ便宜ヲ計ツテ貰フト云フコトハ此時局ニ於テ最モ有効デナイカト考ヘルノデアリマス。

○甲十七番(岡田禎三君) 國庫補助ニ付テハ、第一ニ國庫補助額ヲ増加シテ載タイ、補助額ハ一昨日伺ヒマシタ所デハ、僅ニ二十八萬圓ト云フコトデアリマス、一校ニ計算シマス、全國農工商水産約六百アリマス、一箇年僅々五百圓、月五十圓足ラズデアリマス、ソレデハ補助ガ十分デナカラウト思ヒマス、之ヲ十倍位ニシテ、夫カラ補助ヲシマスニ付テハ、我邦ニ於テハ、マダ商業學校ガ足りマセヌカラ、是ガ設立ニ付テノ補助、其次ニハ設立ニ付テハ、校舍ノ建築、又現ニ設立シテ居ル學校デモ、教室ガ足りナイトカ、教師ガ足りナイト云フ聲ガ、大分聞ヘテ居リマスカラ、其等ノ増築擴張等ニ付テ補助スル、又器具器械ニ補助スルコトモ最モ必要カト思ヒマス、尙教員ニ付テノ俸給ニ補助ヲ與ヘルト云フコトモ必要デアリマス、第三ニ就イテハ、教育者トシテ濫リニ輕々シク教育行政ノ事ニ彼是云フノハドウカト思ヒマスガ、實業局ヲ獨立サセルト云フコトモ國家政策ノ上ニ必要デナイカト思ヒマス、獨逸ノ今日ヲ致シタ所以ハ此處ニアルカト思ヒマス、尙又實業殊ニ商業學校ヲ設立スルニ付テハ内地ニ於テハ無論デアリマスガ、植民地ニ於テ、即チ朝鮮、滿洲、臺灣等ニ於テ設立スルコトガ必要デアリマス、臺灣ニハ殊ニ其必要ガアリマス、其他種々アリマスガ、第一實業學校ノ教員給ガ、他ノ普通學校、師範學校、中學校ト同ジ俸給令ノ内ニアルト云フコト、殊ニ師範學校、中學校、實業學校ト、斯ウ順ガ一番シマヒニナツテ居リマスガ、俸給率モ同ジト云フコトハ、世間ニ於テハ思ヒマセヌ、一番實業學校ガ下ノヤウニ考ヘマシテ居リマス、實業學校ヲ進ムルニハ、形式ノ上ニ於テモ必要デアルカラ俸給令ヲ改正シテ増額スルト云フコト、其他女子商業學校規程ガ、發布サレテ居リマセヌガ、是モ單獨ニ女子商業學校令ヲ出シテ貰ヒタイ。

○議長(佐野校長) 一寸御參考マデニ申上ゲテ置キマスガ、今日ハ相成ル可クハ諸學校カラ提出サレタ建議案ノ整理委員ノ報告ヲ得マシテ、委員附託ニデモ致シタイト思ヒマス御意見ノアル所ハ決シテ拘束スル譯デアリマセヌガ、大分時モ迫リマシタカラ、其御積リデ御意見ヲ御發表アラシテ御希望シマス、次ハ永田校長。

○甲十九番(庄野一英君) 此第二ニ付キマシテ、聊カ申上ゲマス、先刻來段々御話ガアリマシタガ、自分ノ思ヒマス事ハ、殆ドソレニ出テ居リマスガ、只一ツ足りマセヌ事ガアリマスカラソレダケ申シマス、ソレハ先刻ドナタカノ説デアリマシタガ、設備ノ不完全ナ學校ニ對シテ補助スル、完全ナモノヨリ多クスルト云フ話ガアリマシタ、私ハ私立學校デアリマスガ、私立學校ハ殆ド其内ニ入ツテ居ラヌヤウデアリマス、是ハ私立學校ニ向ツテモ補助スルコトヲ願ヒタイ、ドチラカト申シマス、縣立ナリ郡立ノ學校ハ、縣又ハ郡デアルノデアリマスカラ經費等モ自カラ十分デアラウト思ヒマス、私立ニナリマスト財源ノ豊カナモノモアリマスガ、要スルニ一名デアルノデアリマスカラ、此方ニ補助シテ下サルト云フコトハ補助ヲ最モ有効ナラシムル、國庫補助ト云フコトハ、全國ノ實業學校ヲ十分ニ發達セシムル爲メト思ヒマス、所ガ十分ナ所ニ益ス多額ノ支出ヲスルヤウナコトガアリマシテハ、一方ノ低イ方ハ殆ド願ラレヌト云フヤウナ狀況デアリマス、是ハ片輪者ガ出來ヤシナイカト思ヒマス、ドウカ私立學校ノ方ニモ補助ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○甲二十番(齋藤繁八君) 國庫補助ニ付テハ、現在ヨリモ指定補助ガ良イト思ヒマス、理由ハ申シマセヌ第三ノ問題ニ付テハ、其内ニ一ツ書イテ出シマスガ、外國語ノ知識ヲ増進サセルト云フコトデアリマス。

○甲二十二番(大山登君) 第二ノ問題ニ付キマシテハ、校長トカ或ハ教員ヲ海外視察ニ行カシムルヤウニ御補助ヲ願ヒタイ、私共日露戰爭ノ後ニ、滿韓視察ヲシタ時ニ無論此時ハ自費デアリマスガ、非常ニ利益スル所ガアリマシタ、或ハ卒業生ノ間ニ應ズルトカ、或ハ又世話ヲシテヤルト云フ點ニ、非常ニ利益デアリマス、其方ニ指定シテ戴イタナラバ、始終職員ノ頭ガ變ツテ來マスカラ、生徒ヲ指導スルニ於テ、非常ニ利益ガアルト思ヒマス。

○甲二十四番(中村榮助君) 第三ノ諮問事項ニ付テ、簡單ニ申シマス、五番ノ方ト思ヒマス團體的精神ヲ養成スル必要ガアルト云フ話ハ誠ニ同感デアアル、一體日本ノ實業家ガ十分振ハナイノハ、主モニ組合組織ノ活動ガ十分デナイカラデアアル、詰リ組合組織ガ出來テ居ツテモ、組合員タル者ガ團體ノ規律ヲ守リ、團體ノ精神ニ服從シテ行ク、團體的訓練ガ行届カヌ爲メニ、組合事業、共同的事業ガ甚ダ振ハヌ、其結果トシテ粗製濫造デアルトカ、或ハ商業不道德ト云フコトガ、頻々トシテ起ツテ來ル、詰ル所、是ハ團體的訓練ヲ施スコトガ不十分デアルト思ヒマス、夫デ其團體的訓練ニ一層力ヲ用キルコトガ必要ト思ヒマス此訓練ノ方面ニ於テ、尙實業家トシテ大ニ考ヘテ見ナケレバナラヌ點ガアラウ、是ハ詰リ道德的ニ生徒ヲ訓練スルト云フコトハ勿論デアアル、併ガラ其間ニ於テ、多少教育者間ニ於テ、道德ト云フ觀念ヲ徹底シテ居ラヌ點ガアリハシナイカ、ソレハ從來東洋ノ道德ハ、利益ヲ離レルト云フ所ニ在ルカノ如ク説イテ來タ、所ガ商業實業殊ニ商業ハ、利益ノ觀念ヲ離レテハ成立タヌ必ズ營利ノ觀念ガ伴ハナケレバナラヌ、從來ハ利益ヲ計ルコトガ、如何ニモ不道德デアアルカノ如ク考ヘテ居ツタ、是デハ困ル、營利ト道德トハ兩立シナイモノデナイ、利用厚生ト云ツテ、營利ヲ計ルノハ道德行爲デ、一體人間ニハ利己の本能ガアル、其利己の本能ヲ全然没却セシムルト云フコトハ間違テ居ル、利己の本能ヲ團體ニ共通ニ働クヤウニシテ行クコトガ必要ト思ヒマス、要スルニ團體的訓練ヲ十分ニシタイ。

○議長(佐野校長) 一寸御相談ガゴザイマス、私ハ先程——今日ノ午後ニ、岡商工局長ノ御話ノアルコトハ存ジマセヌデ、引續キ時間ガ少シ掛カツテモ宜カラウト思ツテ、御意見ヲ伺フコトニ申シテ置キマシタガ、一時カラ岡局長ノ御話ガアルトスレバ、皆様御出デニナル方モ無論アラウト存ジマス此際此建議案ノ整理委員ノ報告ヲ伺ツテ、サウシテソレヲ委員附託ニスル、ソレモ五分位モ掛リハスマイト云フ見當ヲ付ケテ居リマス、ソレヲヤリマシテ、意見交換會ハ一時閉デマシテ、此處デ整理委員ノ報告ヲ聽クトコトニ致シテハ如何デゴザイマセウカ、御相談デアリマス。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(佐野校長) ソレナラ左様ニ取計ヒマス建議案整理委員ノ報告ヲ願ヒマス。

○甲三十五番(倉西松次郎君) 此日程ニハ本會議午前九時ヨリ正午マデ、午後ハ委員會云々トアリマス、整理委員ト云フノモ、委員會ニ含マレテ居リマスカ、日程ノ内ニハゴザイマセヌガ。

○議長(佐野校長) 是ハ協議事項及建議事項整理報告ト云フコトガ書イテアリマス、時間ガ九時カラト云フコトデアリマスガ、用ノ多イ時ハ、少シ遅レテモ致方ガナイ。

○甲十八番(永田益一君) 私ハ協議案、建議事項等ノ整理委員ノ一人デアリマスカラ、整理イタシマシタ御報告ヲ致シマス事項ハ種々アリ適切ナル議案モアリマスガ、随分時間モイロ〜ト研究ヲ要スル所カラ、第一ニ協議事項ノ一二ト云フ風ニ分ケマシテ、夫カラ前年來建議ノ儘ニナツテ、尙引續キ當會議ニ第二番ニ建議事項トシヤウ、若シ時間ガアリマスレバ、建議事項ノ第二トシテ、引續キ諸君ト協議ヲ致シタイト云フヤウナ譯デ、協議事項第一第二ト附ケマシタノハ、聊カサウ云フヤウナ考ヘデ、先ヅ第一協議事項ガ濟ミ、建議事項ガ濟ミ、報告ガ濟ンデ、而シテ尙餘裕ノアル時ハ、協議事項第二ニ移リタイノデアリマス此第二ハ諮問案ト密接ナルヤウニモ考ヘマスカラ、諮問案ガ解決セラル、ト同時ニ協議事項ノ第二ハ左程多クノ協議ヲ盡サズシテ濟ミサウニ考ヘマスカラ、協議事項第二ト致シマシタ、又宿題ト致シマシタノモ、サウ云フヤウナ意味ニ於テ宿題ト致シマシタ、此宿題ノ内ニモ、最モ緊要ナルモノガアリト認メテ居リマスガ、時日ノ都合上此ノ如ク整理イタシマシタ、大要報告イタシマス。

協議事項第一

愛知縣岡崎市立商業學校長提出

一、商事要項教授要目中ニ商店實務ニ關スル事項ヲ加フルノ可否如何若シ之ヲ可トセバ如何ナル事項ヲ適當トスルカ

一、帳簿ニ記入スヘキ數字ヲ一定スルノ可否

市立長崎商業學校長提出

一、商業歴史ヲ一科トシテ教授スルノ可否

私立大倉商業學校長提出

建議事項

市立長崎商業學校長提出

一、全國商業學校長會議ニ於テ曩ニ建議セラレタル商業學校規程ノ改正ヲ速ニ實施セラレムコトヲ建議スルコト

二、文部省開設ノ實業學科教員講習會ニ技術ニ關スル科目(例ヘハタイプライチング速記珠算等)ノ如キモノ)ヲ加ヘラレムコトヲ建議スルコト

市立仙臺商業學校長提出

一、府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法中第十四條ヲ左ノ如ク改メ別ニ第十五條ヲ加ヘ從來ノ第十五條ヲ第十六條トシ順次ニ以下ノ各條ヲ繰下クルコトニ改メラレンコトヲ其筋ニ建議スルノ可否

第十四條 府縣立師範學校及公立中學校ノ學校長正教員小學校ノ本科正教員タルヘキ資格ヲ有スル保姆舍監及書記ニシテ在職一年以上ノ者在職中死去シタルトキハ其遺族ニ對シ在職年數ニ應ジ退職給與金ト同額ノ金員ヲ給與ス

福島市立商業學校長提出

第十五條 終身退隱料ヲ受クル者又ハ終身退隱料ヲ受クヘキ者死亡シタルトキハ亦前條ニ準ス但既ニ支給セラレタル恩給金額ハ之ヲ控除ス

一、小學校、實業補習學校職員在勤年月數ハ公立學校職員退隱料及遺族扶助料法第五條ノ勤績年數中ニ算入スルコトニ改正ノ件

報告

私立大倉商業學校長提出

一、校友會等ノ事業トシテ僧侶又ハ牧師ニ講演囑託ノ有無調査報告

協議事項第二

北海道廳立根室商業學校長提出

一、商業學校生徒ノ體格ヲシテ一層優良ナラシムル方法如何

二、商工業ヲ發展セシメ海外貿易ノ増進ヲ企圖スルニハ商業學校上級生徒ヲシテ成ル可ク多數ニ支那其他ヲ實地ニ視察セシムルヲ急務ト認ム各校統一的ニ希望ヲ充タスノ方法如何

兵庫縣立神戸商業學校長提出

一、商業學校ニ於ケル修身科ヲシテ權威アラシムル方法

二、商業實踐ノ授業時數ヲ增加スルノ可否

三、商業學校ニ於テ二部教授制ヲ採用スルノ可否

神崎郡立神崎商業學校長提出

一、乙種商業學校特有ノ問題ヲ議スル爲全國商業學校長會ニ分科會ヲ設ケテハ如何

理由

比較的幼年ノ乙種商業學校生徒ハ教授訓練上甲種生徒ト多少其ノ趣ヲ異ニシ且ツ幼年收容ノ乙種校ハ此種學校ノ大部分ヲ占ムル目下ノ狀況ニシテ分科會開會可能且ツ必要少カラズト認ムルニ由ル

長野縣小縣郡丸子農商學校長提出

一、乙種商業教育上勤勞ノ習慣養成ノ方法如何

神戸市立神港商業學校校長提出

一、甲種商業學校ニ於テ夏季休暇廢止ノ可否如何

宿題

市立仙臺商業學校校長提出

一、商業學校規程第二條第三條第五條ヲ左ノ如ク改メ別ニ第五條ノ次ニ一條ヲ加ヘ第十條ヨリ第十四條ニ至ル五ヶ條ヲ削除シ第十八條ノ第二條乃至第五條トアルヲ第二條乃至第六條ト改メラレンコトヲ其筋ニ建議スルノ可否

第二條 甲種商業學校ノ修業年限ヲ五ヶ年トス

但 土地ノ情況ニ依リ二ヶ年以内延長又ハ短縮スルコトヲ得

第三條 甲種商業學校ノ教授時數ハ每週三十五時以内トス

第五條 甲種商業學校ニ入學スル者ノ資格ハ年齢十二年以上學力尋常小學卒業以上ニ於テ之レヲ定ムヘシ

但 外國語ヲ試驗科目ニ加フルコトヲ得

第五條ノ二 第二條ノ但書ニ依リ年限ヲ短縮シタル場合ニ於テハ其短縮ノ年限ニ應シ入學資格ヲ高等小學一年又ハ二年修了ノ程度トナスヘシ

大垣町立大垣商業學校校長提出

二、實業學校教員ノ視察出張旅行者ニ對シテハ鐵道院則乘車券ヲ寄セラレムコト

理由 日進月歩ノ今日教員ヲシテ他地方ノ實況ヲ見聞セシムルコトハ喫緊ノ事ニ屬ス殊ニ實業學校教員ニ於テ其然ルヲ見ルモ經費ノ關係スル所此建議ノ必要ヲ認ム

愛媛縣立松山商業學校校長提出

一、大正三年七月十七日官秘第一五七號文部次官通牒ノ内 明治天皇以下「祭ノ節」ノ三字ヲ除キ「ヲ記念シ奉ルベキ機會ニ」ノ十一字ヲ挿入スル様改正セラレタキコト

理由

先帝ヲ記念シ奉ルヘキ機會ニ 先帝御眞影ヲ奉掲シ職員生徒ヲシテ敬禮セシムルハ修徳上適切ノ施設ト思考スレトモ現在ノ狀況ニテハ全國學則ノ同一ナラサル爲七月二十日前後ヨリ夏期休暇トナル學校アリ勿論之等學校ニアリテハ臨時ニ生徒ヲ招集シテ儀式ヲ舉行スヘシト雖モ遠隔ノ地ニ在ル者ハ其日ニ參集セサルモノナキニ非ス此クテハ文部省通牒ノ主旨ヲ貫徹セシムル能ハサルニ依リ寧ロ規則上開校ノ期間ニ於テ適當ナル期日ヲ選ヒ舉式スルヲ適切ト感スルナリ若シ私案ヲ云ハハ十一月三日ノ 先帝御誕生日ヲ以テ先帝及皇太后ヲ記念シ奉ルハ一層適切ナル施設ナラスヤト思考ス且ツ人ノ死亡セシ日ヲ記念スルハ中古佛教傳來以後ノ慣例ニシテ神國固有ノ思想ハ實ニ人ノ誕生セシ日ヲ記念スルニアリ

米澤市立商業學校校長提出

商業學校規程ニ於ケル甲乙兩種ノ別ヲ廢シ内容ヲ大體左ノ如クニ改メラレンコトヲ文部大臣ニ建議スル事

- 一、修業年限ヲ三ヶ年以上五ヶ年トシ尙土地ノ狀況ニヨリ二ヶ年以内延長スルコトヲ得シム
- 二、入學者資格ヲ年齢十二年以上學力尋常小學校卒業以上ニ於テ適宜ニ定メシム
- 三、學科目ハ現規程第四條ノ諸科目中ヨリ選擇シ又ハ便宜分合シテ定ムルコトヲ得シメ尙該諸科目ノ外他ノ科目ヲ便宜加設スルコトヲ得シム
- 四、授業日數ハ三十三時以内トシ尙各學科每週教授時數ノ配當ハ學校長ニ於テ適宜處理スルコトヲ

得シム

五、商業學校ニハ修業年限二ケ年以内ノ豫科補習科若クハ専修科ヲ附設スルコトヲ得シム

附記

尙同時ニ明治三十二年六月文部省令第三十四號公立私立學校認定ニ關スル規則ヲ改定シテ現商業學校規程ニ於ケル甲種商業學校ト同等以上ノ内容ヲ具備スル商業學校ニ對シテハ徵兵令第十三條又ハ文官任用令第三條ニ關シ官立府縣立中學校ト同等以上トシテ認定ヲ與フルコトヲ得シムルモノトス

倉敷町立倉敷商業學校長提出

一、師範學校卒業者ニシテ實業科ヲ兼修セル者ヲ卒業後直ニ乙種實業學校教育ニ任用シ得ル様規程ヲ改正セラレンコトヲ望ム

○甲三十三番(小原右馬允君) 一寸伺ヒマス、此諮問案ニ對スル委員ノ報告ハ、議長ノ手許へ、明日マデ差出シテ宜シウゴザイマスカ、明後日デ宜イノデゴザイマスカ——諮問案事項ニ付テ、昨日委員ニ私ハナリマシタ一人デアリマスガ、其委員ノ御報告ヲ申上ゲタイノハ、只今ノ御意見ノ交換ヲ、明日マデ御引續キニナリマスレバ、其後ニ致シタイと思フ、是デ打止メニナリマスナラ、又期限ヲ御協議シタイと思ヒマス。

○議長(佐野校長) ドウゾ明朝九時マデ間ニ合フヤウニ御用意ヲ願ヒタイ、九時ニナツタラ何ウナリマスカ、御諮リシテ極メタイ。

○甲二十八番(市村芳樹君) 議事ノ進行ニ付イテ動議ヲ提出イタシマスガ、既ニ整理委員ノ御報告ガアリマシテ、此討議時間モ相當ニ要スルコトニ信ジマス、便宜上此提出者ヲ加ヘテ、五名ノ委員ヲ各項ニ付テ議長指名ニシテ、直チニ審査報告ヲ願フト云フ順序ニナリマスレバ、非常ニ拂リガ良クアリマ

スマイカ、本來カラ申セバ、一應此席デ提出者ノ報告ヲ聽キマシテ、次ニ委員ニ附託セラルルノガ、適當ナル順序デアリマスガ、提出者ヲ加ヘテ五名ノ委員ニ附託シテ、ソレニ依テ先ヅ以テ調査報告ヲ得、ソレニ依テ明日以後順次議事ヲ進メルコトニナツタラ宜カラウ、僅カ二日間シカアリマセヌノニ、尙今一ノ諮問案ニ付キマシテ、段々御意見ノ御發表ガアリマシテ、私共御同様ニ非常ニ利益ヲ得マシタ是モ剩ス所二日間デアリマスデ、マダ御意見ノ發表ノアリマセヌ方ハ、成ル可ク其御意見ノ概要若クハ綱目ヲ、ソレ／＼諮問案ノ調査委員ニ御出シテ願フコトニシテ意見ノ御交換ハ、本日ヲ以テ打切リニ願ツテ、サウシテ本日中ニ諮問案ノ御調査ヲ願ツテ、明日諮問案ノ協議ニ掛カルコトニナツテハ如何デアリマス、自分共ハ諮問案ノ第二第三ハ重要ナモノト思ヒマス、是ニ就イテモ相當ノ考ヘヲ有ツテ居リマスガ、是等モ書上ゲテ委員ニ御廻シシタイと思フテ居ルノデアリマス、多少形式カラ申シマスト種々ノ御説モ出マセウガ、一面ニハ幹事トシテ、會ノ進行上ヲ考ヘテ申上ゲル譯デアリマス、ドウカ御同意下サレバ結構ト思ヒマス。

(賛成ノ聲起ル)

○議長(佐野校長) マダ實ハ協議事項ノ第二ガ殘ツテ居ルノデアリマス、是ハ委員附託ニ致シマシタ所デ、マダ報告モゴザイマセヌカラ延バシマシテ、只今御報告ニナリマシタ協議事項第一、建議事項第一ニ付テ、今ノ動議ヲ採決シテ見度ト思ヒマス只今ノ動議ノ委員附託ニ御賛成ノ方ハ起立ヲ請ヒマス。

起立者

滿場一致

○議長(佐野校長) 滿場一致、就キマシテハ委員ハ確シカ指名ト云フコトニ議事規則ニ極ツテ居リマス、ソレニ從ヒマシテ指名イタシマス協議事項第一ノ「商重要項教授要目ニ商店實務ニ關スル」云々ノ問題ニ付キマシテハ、乙十四番谷澤君、甲二十三番坂口君、甲三十二番乾君、甲三十六番岡田君、乙十一番下村君、是ダケノ御方ニ、委員ニナツテ頂キタイと思ヒマス、第二「帳簿ニ記入スヘキ」云々此事

項ニ付テハ、甲二十番齋藤君、甲四十四番立川君、甲二十二番大山君、甲三十八番丸山君、乙二十五番村井君、此五名ノ方ニ御願ヒ致シマス、第三ノ「商業歴史ヲ一科トシテ」云々ノ項ニ付キマシテハ、甲四番立花君、甲六番杉山君、甲十一番大澤君、甲四十一番太田君、甲六十三番小林君、此五名ノ方ニ御願ヒ致シマス、次ニ建議事項デアリマス、建議事項ノ第一號「全國商業學校長會議」云々ノ項、甲二十番齋藤、甲十番加藤、甲十五番垂水君、甲四十六番村松君、乙二十二番佐藤君、此五名ノ方ニ御願ヒ申シマス、同建議事項第二號、「文部省開設ノ實業學科教員」云々ノ項、甲二十番齋藤君、甲四十八番堀口君、甲五十一番宮田君、甲五十五番田代君、乙三十一番小林君、是ダケニ御願ヒ致シマス、同建議事項第三號「府縣立師範學校長俸給」云々ノ項、甲四十番鍋島君、甲二十四番中村君、甲四十五番鈴木君、甲五十二番齋藤君、乙三十番鈴木君、ソレダケニ御願ヒ致シマス、第四號建議案ニ「小學校實業補習學校職員」云々ノ項、乙十八番近藤君、甲三十五番倉西君、甲三十九番米澤君、甲四十三番飯野君、乙十五番望月君、此方々ニ御願ヒ致シマス——今日ハ是デ散會イタシマス。

午後十二時二十分散會

十一月二十五日午前九時開議

○議長(佐野校長) 是ヨリ議事ヲ開キマス、文部省諮問事項ニ付キマシテノ意見交換ヲ、昨日イタシマシタ、即チ第一讀會ニ類似シタモノヲ昨日ヤリマシタガ、今朝特別委員ヨリ報告ガゴザイマシタ、其第一諮問案ニ對スル報告ト、第三諮問案ニ對スル報告ハ御手許ニ廻ツテ居リマス、第二諮問案ニ對スル答申案ノ印刷ハ、問ニ合ヒマセヌカラ、何レ此處ニ書キ出シマス、左様御承知ヲ願ヒマス、既ニ此答申案ガ出テ見レバ、直チニ之ヲ附議シテ、第二讀會ヲ開クト云フコトガ、議事ノ進行上相當ト考ヘマスデ、直チニ第一號議案カラ始メマス、昨日御意見ヲ未ダ御發表ニナラナイ方ハ、此際御述ベテ願ヒマス、第一諮問答申案ニ付テ議ヲ進メマス、委員長竹谷君

第一諮問答申案

實業學科ト普通學科トノ關係ヲシテ連絡ヲ密接ナラシムルニハ先ヅ教員其人ヲ得ルニアルハ勿論ナリト雖モ左記方法ノ如キハ目下ノ狀況ニ照シ最モ適當ナリト認ム

- 一、文部省ニ於テ統一アル教授要目ヲ制定シ尙ホ適當ナル教科書ヲ編纂スルコト
- 二、學科目ノ廢合整理ヲナスコト
- 三、各學校ニ於テ教授細目ヲ制定スルニ當リ教材ノ選擇排列ニ注意スルコト
- 四、全學科ニ亘ル教授豫定及進度表ヲ作製スルコト
- 五、教員相互ニ關係アル他學科ノ研究ヲナサシムルコト
- 六、教授打合會ヲ開キ各學科ノ連絡統一ヲ圖ルコト
- 七、教員相互ニ教授參觀ヲ行フコト

○甲一番(竹谷辰郎君) 第一諮問案ニ對スル委員ノ代表者トシテ報告ヲ致シマス、先ヅ御斷ハリ申シテ置キマスノハ、七名ノ委員ヲ御指名ニナリマシタノデアリマスガ内一名ハマダ上京サレテ居リマセヌノデ、六名ヲ以テ委員會ヲ開キマシタ、其最初ニ書キマシタ通り、實業學科ト普通學科トノ關係ヲ密接ナル連絡ヲ保ツト云フコトハ、種々ノ方法ガアリマスガ、就中其根本問題トシテ、適當ニシテ優良ナル人ヲ得ルト云フコトガ最モ大切ナコトデ、其人ヲ得ルタメニハ、昨日モ種々ノ御意見ガアツタヤウニ承ツテ居リマス、誠ニ是ハ申ス迄モナイコトデアリマスガ、尙此際ニ於テ左ニ書キマシタ所ノモノヲ以テ、最モ適當ナル方法ト考ヘマシタ、第一ハ文部省ニ於テ統一アル教授要目ヲ制定シ尙ホ適當ナル教科書ヲ編纂スルコト、是ハ申ス迄モナク、今日實業學校ノ教授要目ハ、僅ニ其一部分ハ當局ヨリ御示シニナツテ居リマスガ、全般ニ統一的ニ發表サレテ無イヤウデアリマス又教科書トシテモ、現在ハイロノモノガアリマスガ、是ト云ツテ適當ナモノガナイ、先ヅ文部省ニ於テ、統一アル教

授要目ヲ制定サレルト同時ニ、次デ適當ナル、統一シテ居ル教科書ヲ編纂サルト云フ事ガ必要デア
ラウト思ヒマス、第二ニ學科目ノ廢合整理ヲナスコト、是ハ文字ハ簡單ニ書キ現ハシマシタガ、之ヲ
段々ニ説明イタシマス、例ヘバ現在ノ實業學科目ニ於ケル歴史、商業地理ノ如キ、歴史ト商業地理
トヲ整理シテ、重複ヲ避ケル、種々ノ學科ノ間ニ、廢合整理スル餘地ガ幾分アルカノヤウニ思ハレマ
ス、現ニ協議題ニモ、ソレニ類似スルモノガ出テ居リマス、即チ豫科廢止ノ御意見モ昨日承リマシタ、
此廢合ノ精神ガ連絡上必要ト云フ御意見モ承リマシタ、サウ云フ種々ノ意味ヲ込メマシテ、兎ニ角學
科目ノ廢合整理ヲスル、幾分廢合整理スル餘地ガアルヤウニ思ヒマス、然ラバ如何ナル學科ヲ、如何
ニ整理シテ宜イカト云フコトハ、是ハ大問題デアリマシテ、短時間ニ論議スルコトハ出來マセヌケレ
ドモ、大體ニ於テ學科目ヲ整理スルト云フコトガ、以上ノ意味ニ必要ト思ヒマス、第三各學校ニ於テ
教授細目ヲ制定スルニ當リ教材ノ選擇排列ニ注意スルコト文部省ニ於テ教授要目ヲ制定セラル、ニ當
リ、尙之ニ基イテ各學科ノ教授細目ヲ制定シテ、此教授要目ヲ制定スルコトハ必要デアリマスガ、尙
制定ニ當ツテ各學校ノ教員ガ打合セテ、重複矛盾衝突等ガ無イヤウニ、有利ナル重複ハ必要デアリマ
スガ、又重複ハ避ケナケレバナラス、其意味ニ於テ、複重矛盾衝突ヲ除ク爲メ、互ニ打合セテ材料ノ
選擇排列ヲスルコトガ此兩學科連絡上必要ト思ヒマス、第四ハ全學科ニ互ル教授豫定及進度表ヲ作製
スルコト、是又多クノ學校ニ於テ御調製ニナツテ居ルコトニ存ジテ居リマスガ、各學科ノ連絡密接ナ
ラシムルニハ、全學科ヲ通ジテ、一ノ表ヲ作ツテ、是ハ學校ノ御考ヘニ依テ、或ハ毎月トカ毎週トカ
適宜ニ或區間ヲ定メテ、其經過ヲ全般ニ互テ分ルヤウニ作製セラル、コトハ、常ニ各教員ヲシテ、如
何ナル教材、如何ナル學科ヲ、如何ナル場合ニ關係ヲ有ツテ居ルト云フコトガ明瞭ニナリマシテ、此
實業學科ト普通學科トノ連絡上、頗ル有效ト考ヘタノデアリマス、第五ハ教員相互ニ關係アル他學科
ノ研究ヲナサシムルコト、是ハ昨日ノ御意見ニモアリマシタガ、是ハ普通學科ノ教員ガ實業學科ニ就

イテ、一般ノ知識ノ無イタメニ非常ニ不便ガ少クナイト云フ事デアリマスガ、無論其意味モアリマス
ガ、同時ニ實業學科ノ教員ニ於テモ、普通學科ノ研究ヲ等閑ニスルコトハ出來ナイト思ヒマス、要スル
ニ教員ハ相互ニ關係アル他學科ニモ一度ハ目ヲ通フス或ハ他ノ受持以外ノ書物ヲ見ルトカ又ハ講習會
ニ出席スルトカ、文部省ガ實業科ノ講習會ヲ開カレル場合、普通教員モ參加スル途ヲ開クトカ、其他
種々方法ガアリマセウガ、兎ニ角是等ノ方法ニ依テ教員相互ニ關係アル他學科ノ上ニモ研究ヲ必要ト
シマス、第六ハ教授打合會ヲ開キ各學科ノ連絡統一ヲ圖ルコト、既ニ教授要目アリ、教授細目アリ、
是ニ從ツテ教授ヲ進行スルノデアリマスガ、折々又此教授打合會ヲ開カナカッタラ、假令細目ノ制定
アリト雖モ、十分ニ其效能ヲ舉ゲルコトハ出來ナイ場合ガアラウト考ヘルノデアリマス、是ハヤハリ
便宜其學校ノ必要トスル所ニ依テ、時々打合會ヲ開イテ、連絡統一ヲ必要トスルノデアリマス、第七
ハ教員相互ニ教授參觀ヲ行フコト、只今マデ申シマシタ所ノ、ヤハリ意味ニ於テ、只教授要目ニ依テ
細目ヲ定メ又ソレニ基イテ時々打合會ヲ開クノミナラズ互ニ其教授ヲ參觀シ合ヒ殊ニ密接ナル關係ア
ル學科同士、互ニ參觀シ合フト云フコトハ、獨リ該當ノ學科ノ状態ヲ善クスルノミナラズ、授業ノ上
ニ矛盾衝突ヲ避クルコト、思ヒマス、現ニ斯ウ云フ事ヲ御實施ニナツテ居ル御方モアツテ其說ヲ伺ツ
テモ、ナカク、有效デアルト云フコトデアリマス、是ダケデアリマス、實ハ昨日承ツタ所ノ皆様ノ御
意見ヲ參照シマシテ、委員ノ考ヘニ基イテ大體此ノ如ク定メタノデアリマスガ、多クハ此七ヶ條ノ中
ニ、各々方ノ御述べニツタ事ハ此中ニ含まレテ居ル事ト考ヘマスガ併シ更ニ連絡ヲ密接ナラシムルハ
有效ナル方法トシテ是以外ニ尙御名案ガアリマスレバ御遠慮ナク御追加下スツテ完全ナルモノト致シ
タイノデアリマス、大體説明ハ是ダケデアリマス。

○議長(佐野校長) 昨日來變則ナ議事方法ヲ採ツテ居リマシタ、ヤハリ本日モ多少變則ニナツテモ差
支ナイト思ヒマス御質問等ガアリマスレバ、ナスツテ頂キタイ、夫カラ第二讀會ヲ續ケテ行カウト思ヒ

マス、ドウゾサウ御承知ヲ願ヒマス、別段御質問ガアリマセヌケレバ、逐條決議ヲ致シタイト思ヒマス。
○甲二番(田崎要君) 只今ノ御報告デ、完全申分ガナイト思ヒマスガ、元來ニ於テ數學科ノ時間ヲ増サナケレバナラス、實業學科ト連絡スルニ、一應數學ノ時間ヲ増サナケレバナラヌヤウニ思ツテ居リマス、其數學ノ時間ヲ増スタメニ本年十月ノ乙種學校ノ時間ノ三十時間ヲ三十三時間ニ延長サレマシタガ、現在ノ豫科ノ時間ハ三十時間ニナツテ居リマス、ソレヲ三十三時間ニシテ此三時間ヲ普通學科ノ時間ニ充テタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、只今ノ一項カラ七項マデニ至ル他ニ、時間ヲ延長スルト云フコトヲ御入レ下スツタラ宜カラウト思ヒマス。

○議長(佐野校長) サウ致シマス、ドウ云フ修正ニナリマスカ。

○甲二番(田崎要君) サウデス、或ハ第二ノ學科目ノ廢合整理ノ内ニ入ルカト思ヒマスハツキリト豫科ノ三十時間ヲ三十三時間ニスル三時間ヲ増シタモノヲ普通學科ニ充テシムルト云フ修正デアリマス。

○議長(佐野校長) 普通ノ議事ノ慣例ニ依リマシテ書面ヲ以テ案ヲ出シテ頂キタイ。

○甲六番(杉山重義君) 一カラ七マデ削除シタイトカ何トカ云フ事バ、今申シテ宜シウゴザイマスカ。

○議長(佐野校長) 宜シイ。

○甲六番(杉山重義君) 委員ノ御取調ベデ、至極行届イテ居リマシテ、孰レモ完全デアリマスガ、只第一項ノ文部省ガ適當ナル教科書ヲ編纂スルト云フコトハ削除シタイ普通教育ノ中學校ノ教科書モ勿論サウデアリマスガ、今日ハ文部省ノ教科書ヲ使ツテ居ラス、商業學校ハ兎ニ角専門ノ學校デアリマシテ商業學校ヲ出タ者ハ、ソレノ就職シ或ハ自家ノ商賣ヲ致スノデアリマシテ、地方ニ依テ、例ヘバ神戸ノ商業學校ト北海道ノ商業學校ト、或ハ長崎、九州ノ商業學校ト自カラ異ヒマスカラ、劃一ノ教科書ヲ文部省デ作レバ、其教科書ヲ使ハナケレバナラスト思ヒマス、斯ウ云フコトハ専門學校デアリマス、文部省ノ檢定ノ仕方云々ト云フコトモアリマスガ、私モ文部省檢定ノ仕方ガ絶對ニ良イトハ

思ヒマセヌ、併シ地方ノ狀況ガ種々ゴザイマセウカラ、斯ウ云フ事ハ自由ニシタ方ガ宜カラウト思ヒマス、之ヲ文部省デ編纂シテ文部省ノ教科書ヲ使ハナケレバナラスト云フコトニナレバ却テ不都合トナリマス教科書ノ如キモ文部省ノ御厄介ニナラズシテ各學校自由ニ委シテ然ルベキ事ト思ヒマス願クバ第一項ノ後半ハ削除ヲ願ヒタイ。

○甲四番(立花寛藏君) 只今六番ノ御發議ニ賛成シマス理由ハ別段申シマセヌ。

○甲五番(磯江潤君) 同様賛成イタシマス。

○甲三十七番(秋元駒太郎君) 私モ賛成イタシマス。

○甲二十六番(中隈仙五郎君) 賛成シマス。

○乙二十一番(佐藤善次郎君) 賛成。

○議長(佐野校長) 大分削除案ニ御賛成デアリマスガ原案維持ニ付テ、ドナタカ御議論デモアリマスレバ——御意見ガ出マセヌケレバ採用シマス、此削除説ニ御賛成ノ方ハ起立ヲ願ヒマス。

起立者 多數

○議長(佐野校長) 多數デアリマス、第一項末段ハ削除イタシマス、第二項ニ移リマス第二項ニ付キマシテハ佐々木校長カラ修正案ガ出テ居リマス、只今其修正案ヲ朗讀イタシマス。

○甲二番(田崎要君) 豫科ノ教授時數ヲ三十三時間ニシテ之ヲ普通科ノ教授時數ヲ充テルト云フコトハ。

○議長(佐野校長) 是ハ學科目ノ廢合整理ヲナスコト、ソレニ就イテ豫科ノ……

○甲二番(田崎要君) 追加ニシテ願ヒタイ但書ニシテ、ハツキリ入レテ欲シイト思ヒマス、豫科ノ時間三十時間ヲ三十三時間ニ改メタイ其理由ハ乙種ガ三十三時間ニナリマシタ、ソレト同ジ意味デアリマス。

○甲五十六番(土居寧世君) 一寸委員ノ一人トシテ田崎サンニ交渉イタシマスガ此第一建議案デアリマス、規則改正ガアリマス、ソレニ時間ガ出テ居リマス、ソレニ御譲リ下サル譯ニ參リマセヌカ。

○甲二番(田崎要君) ソレデハ只今ノハ撤回イタシマス、第一ノ建議ニ出テ居リマスサウデアリマスカラ。

○議長(佐野校長) 第二項ニ付テ、別ニ御意見ガゴザイマセヌケレバ直チニ採決イタシマス。

○議長(佐野校長) ト云フ者アリ) 〔異議ナシ〕ソレデハ原案ニ付テ採決イタシマス第二項ノ學科ノ廢合整理ヲナスコト、是ニ御賛成ノ方ハ起立ヲ願ヒマス。

起立者 多數

○議長(佐野校長) 大多數デアリマス可決イタシマシタ次ハ第三項ニ移リマス、——別ニ御意見ガアリマセヌケレバ採決シマス、原案御賛成ノ方ハ起立ヲ請ヒマス。

起立者 多數

○議長(佐野校長) 大多數デアリマス可決致シマシタ、次ハ第四項。

○議長(佐野校長) ト云フ者アリ) 〔異議ナシ〕ト云フ者アリ)

○議長(佐野校長) 原案ニ御賛成ト認メテ宜シウゴザイマスカ。

○議長(佐野校長) ト云フ者アリ) 〔異議ナシ〕ト云フ者アリ)

○議長(佐野校長) 原案ニ決シマス第五項。

○議長(佐野校長) ト云フ者アリ) 〔異議ナシ〕ト云フ者アリ)

○議長(佐野校長) 然ラバ是モ原案ニ決シマス、第六項。

○議長(佐野校長) ト云フ者アリ) 〔異議ナシ〕ト云フ者アリ)

○議長(佐野校長) 是モ同様原案ニ可決シマシタ、第七項。

○議長(磯江潤君) 私ハ此諮問案ノ答申ニ一項ヲ追加シタイト思ヒマス、此最初ニ教員其人ヲ得ルト云フ一項ガアリマスカラ、是デ十分盡キテ居ルカモ知リマセヌガ併ガラ形式ハ如何ニ完備イタシマシテモ、實際ニ於テハ随分困難ナ事情モアルノモアリマス其故ニ第八項ニ「實業學科受持並ニ普通學科受持教員ニ對シ偏重偏輕ナク成ル可ク同一ノ待遇ヲナスコト」ト云フ一項ヲ加ヘタイト、ト云フノハ實業學校ハドウシテモ普通學科ヲ輕視スルノ傾キガアルノデアリマス、殊ニ各實業學校ノ校長サンハ、ヤハリ商業學科ノ方ヘ、ドウシテモ自然重キヲ置カル、コトハ當然デアリマスカラ生徒ガ既ニ餘程普通學科目ト實業學科目ト見ルコトガ違フヤウニ思ヒマス、ドウシテモ普通學科目ニ對スル教員ヲ尊重スル度ヲ加ヘタイト、幾ラ方法ガ善クアツテモ生徒ノ信仰心ガ薄イト思ヒマス其故ニ今申シマシタ如ク偏重偏輕ナク同一ナル待遇ヲナスコト云フ一項ヲ加ヘタイト思ヒマス即チ「實業學科受持教員ト普通學科受持教員ニ對シ偏重偏輕ナク成ル可ク同一ノ待遇ヲナスコト」ト云フノデアリマス。

○議長(佐野校長) 只今ノ修正動議ニ御賛成ガナケレバ消ヘテシマヒマスガ……御賛成ガナイヤウデアリマス自然消滅デアリマス。

○甲四十三番(森下勇馬君) 私ハ此第一諮問案答申案ニ一項ヲ加ヘタイト思ヒマス昨日甲四十番モ御話シデアツタト思ヒマスガ、普通學科ト、並ニ是ト關係アル實業學科ノ擔任ノ教員ヲ同一ニスルト云フコトニ成ル可クデス、成ル可ク普通學科ト並ニ連絡アル實業學科トノ擔任ヲ同一教員タラシムル、例ヘバ、普通作文、商業作文、商業地理、普通地理ト云フヤウナ密接ノ關係アルモノハ教員ヲ同一ニスルト云フコトハ其連絡アル普通學科ト實業學科トノ連絡ヲ密接ナラシムルニ付テ最モ適切ト思ヒマス其故ニ尙一項ヲ附加ヘテ見タイト思ヒマス。

〔賛成〕ト云フ者アリ

○甲四十二番(森下勇馬君) 成ル可ク普通學科並ニ是ト連絡アル實業學科ノ擔任ヲ同一教員タラシムルコト此方法ハ無論方法トシテ適當ト思ヒマス、兩學科ノ知識ヲ兼備スル優良ナル人ヲ得ルコトハ難イト云フ點ハアリマスガ、成ル可クトシテ、一ノ方法ニ加ヘタイト思ヒマス。

○乙二十三番(梶原壽一君) 賛成。

○議長(佐野校長) 只今成規ノ賛成者ガアリマシテ修正ノ動議ガ成立チマシタ之ヲ議題ト致シマス、一寸朗讀イタシマス「第八項」トシテ「成ル可ク普通學科並ニ是ト連絡アル實業學科ノ擔任教員ヲ同一ナラシムルコト」。

○乙十五番(望月貞君) 只今ノ第八項ヲ加ヘルト云フコトハ或ハ蛇足デナイカト存ジマス其理由ハ、只今斯ウ云フ事ニハ學校等モ注意シテ居ル所デ只時間數ノ關係上、已ムヲ得ズ分カレルト云フヤウナ場合ハ多イノデアラウト思ヒマス是ハ眞ニ蛇足ト考ヘマス私ハ加ヘル必要ハナイト思ヒマス。

○乙十番(稻葉鶴次君) 私ハ委員ノ一人トシテ、昨日モ委員會ニ於テ今ノ御話ノ事ニ付テ種々研究イタシマシタガ、目下ノ狀況カラ考ヘマシテ普通科ノ教師ヲシテ、實業科ヲ擔任セシムルトカ或ハ實業科ノ教師トシテ普通科ヲ擔任セシムルトシテ實業學科ト普通學科トノ關係ヲ密接ナラシムルト云フ點カラ至極結構ナヤウデアリマスガ併シ之ヲ行ヒマス場合ニ種々ノ弊害ガ伴フト考ヘマス委員會ノ方デハ實業科ト普通學科トノ關係ヲ密接ナラシムルニハ良イ方法デアルケレドモ、現在ニ於テ實際ニ行フト云フコトハ、利益ヨリモ弊害ガ多クナイデナイカト云フコトヲ疑惧イタシマシテ削除イタシマシタ。

○甲四十番(鍋島熊太郎君) 私ハ昨日此事ヲ述ベマシタガ、私ノ學校デハ一人ヲシテ普通科ト實業科トヲ持タシテ居ルノデアリマスガ、至極都合好ク參ツテ居リマス此事ヲ一寸申シ上ゲテ置キマス。

○乙十五番(望月貞君) 私ハ大體ニ於テ追加ニ賛成デアリマスガ、只今何番デアリマスカ、弊害ト云フコトデアリマスガ私ハ弊害ハ認めナイ、ドウ云フ弊害デアルカ御説明ヲ願ヒタイ。

○乙二番(浦守廣吾君) 只今御尋ネガゴザイマシタガ自分ノ經驗ニ依リマス、一例ヲ申上ゲマス、自分ノ學校ニ於テ、現在普通科ノ教師ニ作文ヲ受持タシテ置キマスガ實業上ノ知識ガ無イタメニ此商業作文ナルモノガ現在坊間ニ在ル、參考書ヲ基トシテ教ヘテ居リマスタメニ、吾々カラ考ヘマシテ、ドウモ商業作文トシテ不十分ノヤウニ感ズル點ガ多クアルノデアリマス其他普通科ノ教師ニ實業科ヲ受持タシテ居リマスノハ算術デアリマス、普通科ノ教師ニ商業算術ヲ受持タシテ居リマスガ是モヤハリ實業上ノ知識ガ無イタメニ、適當ノ教授ガ出來ナイヤウデアリマス、實際受持タシメテ、ソコニ種々ノ自分ハ經驗上弊害ヲ認めテ居ルノデアリマス、心得タル所モアリマスガ、簡單ニ申シマスレバ、サウ云フ點ニ於テ弊害ヲ認めテ居リマス。

○甲十五番(垂水善太郎君) 只今ノ御説明デ能ク分リマシタ、私ハヤハリ追加ノ方ニ賛成デアリマス其理由ハ先刻提出者ガ御述べニナツタ通り、普通ノ教師ヲシテ實業學科ヲ持タセルト云フコトハ、理想トシテ結構デアリマスガ實行ガ難カシイト、多少信ジマス、併シ成ル可クト云フコトデアリ、成ル可ク關係アルモノヲ持タセルト云フコトハ統一上非常ニ宜カラウト思ヒマス之ヲヤリマスレバ、參觀トカ打合會ト云フコトハ要ラナクナリハセスカ、ソレデモ大體目的ヲ達スルコトガ出來ルト思ヒマス是ハ最モ有效ナ事デアリマス、只今弊害ト云フコトデアリマスガ、承リマス所ノ弊害ハ、寧ロソレハ研究ガ足りナイノデ、決シテ弊害ト云フモノデナイ是ハ或ル程度マデ成ル可ク適當ニ之ヲ爲サシムルト云フコトハ宜イト思ヒマス左様ニ附加ヘテ置キタイト思ヒマス。

○甲四十三番(森下勇馬君) 同一教員ニスルト云フコトハ、無論人ヲ得ルト云フコトガ必要デアリマスガ、只今ノ稻葉君ノ御説明ノ經驗ニ付テ御批評ヲ申上ゲテ見タイ、普通作文ヲ持テ居ル者ニ商業作

文、普通ノ算術ヲ持テ居ル者ニ商算ヲ持タセル斯ウ云フ御經驗デアリマスガ、商業作文ヲ持テ居ル者ニ普通作文ヲ持タセル商業算術ヲ持テ居ル者ニ普通算術ヲ持タセテ御經驗ハナイヤウデアリマス、私ハ寧ロ其方ニ依テ良イ效果ヲ收メルノデナイカト思ヒマス、併シ人ニ依ルノデアリマスカラ、一概ニ申上ゲル譯ニイカスト思ヒマスガ、私ハ寧ロ商業科ノ者ニ、ソレト連絡アルモノヲシテ普通科ヲ持タセル方ガ良クハナイカト思ヒマスガ、是モ人ニ依リマスカラ一概ニ申サレマセヌガ兎ニ角一方ノ經驗デアリマスカラ弊害ガアルト云フコトヲ言ヘナイト思ヒマス若シ之ヲ反對ニシタナラバ、ソレハ御經驗ガナイコトデアリマスカラ斷定スルコトガ出來ナイト思ヒマス。

○甲四十一番(太田代順郎君) 私ハ八項ヲ加ヘルコトニ賛成シマス、只今ノ御話シニ依ルト教員ヲ得ラレナイ、實行ガ出來ナイト云フ事ニ歸着スルト思ヒマス、良イ教員ヲ得マシテ、サウシテ漸次研究サセテ行キマスレバ、確カニ其事ハ實行ガ出來ルト思ヒマス、只今茲ニアリマスル御互ニ參觀スルトカ或ハ普通科ノ教員ニ商業科ノ學科ヲ研究サセルト云フコトハ、詰リ其主意ニ他ナラヌノデアリマス、但シ今出來ナイトカ、一年二年ノ間ニ出來ナイトカ云フコトデハ理由ニナリマセヌ三年モ四年モ長ク奉職シテ其間ニ研究サセテ良教員ヲ得ルコトガ出來ルト思ヒマス其良教員ガ出來タ曉第八項ノ活躍ガ出來ルト思ヒマス。

○甲四十五番(鈴木弼君) 私ハ第八項ヲ加ヘルコトニ賛成イタシマスガ字句ヲ少シク……

○議長(佐野校長) ソレハ第三讀會ニ願ヒマス。

○甲五十二番(齋藤軍八郎君) 昨日來二十番ノ御説モ出テ私モ其説ニ賛成シマシタガ只今ノ委員ノ方々ノ御報告ヲ拜見シマス、至極結構デアリマスガ私モ少シ希望ガアリマス、只今四十番デアリマスカ御述べニナリマシタコトニ尤モ遠イ所モアルヤウニモ存ジマスガ一應私ガ御同意申ス點ニ付テ幾分カノ御修正ヲ願フコトガ出來マスレバ此上モナイ仕合せト存ジマスガ自分ノ希望ヲ述ベタイト存ジマ

ス、先刻來御話シノ通り、商品ト理科ノ先生ヲ同一ニスルト云フコト又商業算ト算術教師ヲ同一ニスルト云フヤウナ事ハ是ハ至極良イ方法デ簡便ナ方法デアリマセウガ、所ガ物理、幾何學ヲ研究シタ方ニ直チニ商品ヲ持タセルト云フコトハ不可能デアルヤウニ思ヒマス、算術ノ教師ニ商算ヲ持タセルコトハ是モ何トナク物足ラヌ感ガアリマス所デ昨日來私ハ考ヘルニ文部省ガ是ニ於テ講習ノ方法ヲ考ヘテ極メテ置キマスレバ講習ニ依テ今迄ノ缺陷ヲ補フコトガ出來、又甲種ノ商業學校ノ普通科ノ教師デアル以上ハ其學校ノ主腦タル實業學科ハ、ドウ云フモノデアルカト云フコトハ大體ハ無論知ラナケレバナラヌト思フ所ガ人ニ依テハナカク同化スルト云フコトハ難カシイ進デ同化スル人ハ學科ニ依テハ難カシイ、ソコデ同化ノ一助トシテ學科ノ關係アルモノハ出來ルダケ講習ヲ受ケサセル、サウシテ知識ヲ養ツテ置イタナラバ融通モ利キマセウシ、又田舎ニ在ル些々タル學校デモ兎ニ角教師ノ缺ケタ時分ニハ手が詰テ困ルコトガアリマス、ソレガ爲メ惡イ事ト存ジナガラ第七項ノ事ナド實行ノ出來ナイコトガアリマス、ソレデ文部省ガ講習會ヲ御開キニナツテ、ソレニ參加スルコトノ出來ル資格ノ者ハ、ヤハリ當該學科ノ教師デナケレバ出席スルコトノ出來ナイヤウナ規定モアルヤウニ存ジマスガ是モ今日他ノ學科ノ商品講習理科ノ講習ヲスル場合ニ他ノ學科ノモノモ出ス、商業學科ノ講習ニ算術ノ教師モ出ス乃至ハ簿記デモ何デモ其講習ノ時ハ普通學科ノモノモ出スト云フ途ヲ開イテ、斯ウ云フコトヲ吾々が相談シテ居ルコトガ各府縣ニ行互ツテ居リマスレバ縣ニ於テモ郡ニ於テモ出席ノ便利ヲ與ヘクレヤシナイカト存ジマス故ニ文章ハ甚ダ宜シクアリマセヌガ「實業及普通學科ノ講習ニハ關係ノ有無ニ拘ラズ成ル可ク列席セシムルコト」トカ何トカ云フ箇條ヲ設ケテ講習ヲ獎勵スルノガ、是ガ密接ナラシムル方法デナイカト存ジマス。

○議長(佐野校長) ソレヲ第九トシテ追加スルノデアリマスカ。

○甲五十二番(齋藤軍八郎君) 只今ノ第八ト幾ド同ジヤウナ工合デアリマスガ講習ト云フ文字ガアリ

マス、是ハ基ク所ハ同一デアリマスレバ別ニ第八デナケレバナラズ九デナケレバナラズト云フモノデアリマセヌ。

○議長(佐野校長) サウスルト、ドウ云フコトニナリマス文章ヲ御提出ヲ願ヒマス。

○甲四十五番(鈴木弼君) ドウゾ第八項モ御採用ヲ願フ。

○議長(佐野校長) 八項ニ付テハ字句ニアラズ……

○甲四十五番(鈴木弼君) ソレハ別問題ニ願フ方ガ宜イト思ヒマス。

○議長(佐野校長) 詰リ別問題ニナサル積リ……

○甲四十五番(鈴木弼君) 左様デアリマス。

○議長(佐野校長) ソレデハ先キニ第八ニ付テ採決シマス採決ノ終ル迄御提出ヲ願ヒマス森下校長ノ修正案ニ付キマシテ採決イタシマスモウ一度念ノタメ讀ミマス「第八成ル可ク普通學科並ニ是ト連絡アル商業學科ノ擔任教員ヲ同一ナラシムルコト」此追加案ニ御賛成ノ方ノ起立ヲ願ヒマス。

起立者 少數

○議長(佐野校長) 少數、消滅イタシマシタ、齋藤校長ハ

○甲五十二番(齋藤軍八郎) 私ハ斯ウ云フ風ニ願ヒタイト思ヒマス「文部省ニ於テ講習會開催ニ際シテハ成ル可ク教師ノ資格ノ有無ニ拘ラズ列席セシムルコト」、イヤ斯ウ云フ風ニ直シテ頂キタイ「際

シテハ擔當學科ニ拘ラズ成ル可ク列席セシムルコト」

○甲二十番(齋藤繁八君) 私ハ今ノ説ニハ賛成シマス現在ノ文部省ニ於テハ講習會ニ於キマシテ、ヤハリ擔任學科目ト云フコトヲ規定シテアリマス、各府縣ニ於テ三名ニナツテ居ルト思ヒマス、ソレデアリマスカラ例ヘバ資格ト云フ所デ、商業科ニ算術ノ教師ヲ出スコトモ許シマセヌ又理科ノ所ヘ商品ノ教員ヲ出サウト思ツテモ許シマセヌ、ソレデアリマスカラ今ノ方法ニ致シマシテハ此擔任科目ノ如

何ニ拘ラズト致シ置キマシテ、猶一ツ御願ヒ申シタキ事ハ理科ナラ理科ノ講習ヲ開キマス時ニ、ソレニ一部分商品ヲ應用シテ頂イタラ宜カラウト思ヒマスサウ云フヤウニ文部省ガ御開キニナツタラ連絡ヲ取ルニ就イテ非常ニ良イ事ト思ヒマス。

○甲二番(田崎要君) 只今可決イタシマシタ第一項第二項ハ新規デアリマスケレドモ後トノ三項カラ七項ニ至ル迄ハ大抵ドコノ學校デモ實施シテ居ルト思ヒマスガ、今ノ齋藤君ノ言ハレタコトハ學校内ノ教員ノ空氣ヲ一新ナラシムル法ト思ヒマス現在ニ於テ普通科ノモノハ實業學科ハ知ラヌデモ宜イト云フコトハ普通探ツテ居リマス若シ八項デ、此意味、普通ノ學科ノ教員ガ、實業學科ノ講習會ニ出席サレルト云フコトガ此會デ決議サレ實行サル、時ハ學校内ノ空氣ヲ良クスルコト、思ヒマス是非此八項ヲ置クコトヲ願ヒタイ。

○甲六十二番(小宅新君) 賛成。

○議長(佐野校長) 議題トナリマシタ、齋藤校長ノ動議ハ成立シマシタ。

○乙七番(廣田嘉一君) 只今ノ御話ハ昨日モ出マシタ、其方法ニ付テハ反對ヲ唱ヒラル、方ハ無イト思フノデアリマス今後開催セラル、講習會等ハ、餘リ聽講者ノ資格ヲ嚴重ナ制限ヲ加ヘナイト云フコトヲ此中ヘ含マセテ置カウ、アノ箇條ヲ入レズニ其意味デ止メテ置イテ五ノ箇條ノ内容ニ含マセテアルモノトシテ置イテ頂キタイ。

○議長(佐野校長) 五ノ中ヘ含マセルト云フコトハ今更出來マセヌ意味ニ於テ決シテ置キマスレバ文句ノ修正ハ要ラヌト思ヒマス。

○乙二十五番(村井素行君) 私ハ委員ノ説ニ賛成シマス只今齋藤君ノ御意見ハ尤モデアリマスガ、之ヲ一項トシテ掲グルヨリ寧ロ此五項ノ他ノ學科ヲ研究セシムルトアリマス其研究ノ方法ハ幾多モアリマス其方ニ含マレテ居ルト思ヒマス殊ニ委員ノ御説明ニ依リテ精神ガ其内ニ含デ居ルト云フコトデア

リマス別ニ一項トシテ加ヘル必要ハナイト思ヒマス是ニ附加ヘルコトハ、寧ろ是ハ別ニ講習會ハ、文部ノ講習會ニ制限ヲ置カナイデ、誰デモ入ルコトノ出來ルヤウニ文部省ニ御願ヒラシテ便宜ノ方法ヲ採ルガ相當ト思ヒマス是ハ此案デ結構デ、原案ニ賛成シマス。

○乙五番(松村明敏君) 追加八項ニ付テハ大體賛成デアリマスガ、學科ノ如何ニ拘ラズト云フコトハ餘リ廣口過ギルヤウニ思ヒマス、從テ職員ガ夏季講習ニ出席セシムル希望ヲ校長ハ聽イテ東京ヘ往キタイト云フ希望ノ教員ガアレバ、ソレニ出席セシムルトキハ研究ノ目的ヲ有セザル、附ケタリノ希望ヲ有スル者ガ或ハ出席スル弊害ガ起ルト思ヒマス而シテ此普通學科ト實業學科ト連絡ヲ密接ナラシムル方法デアリマスガ私ハ成ル可ク商業學科ト成ル可ク連絡アル普通教員ヲ先ヅ第一出席ガ出來ルナラバ、其出席ニ加入スルコトガ便利ト思ヒマス、デアリマスカラ弊害ノ生ズルヤウナ成ル可ク範圍ノ廣イコトハ此際避ケテ順序ヲ得ル方法ヲ、ソコニ現ハシタ方ガ宜カラウト思ヒマス、デアリマスカラ又必ズシモ文部省開催ノ夏季講習會トスル必要ハナカラウト思ヒマス各府縣ニ於テモ近來實業教育ノ急務ナルヲ認メマシテ各地方ニ於テ、商業科ニ關シテ夏季講習會ガ開催サレテ居リマス、其方ニモ斯様な希望者ハ出席セシムルコトガ必要ト思ヒマス字句ヲ修正致シマシテ、私ハ斯様ニ致シタイト思ヒマス商業科夏季講習會ニハ成ル可ク是ト連絡アル普通科教員ヲ出席セシムルコト、斯ウ云フヤウナ字句ニ修正シテ議題ヲ供シタイト思ヒマス御賛成ヲ請ヒマス。

○議長(佐野校長) 松村校長ノハ意味ノ修正デナクシテ字句ノ修正デアリマスカ。

○乙五番(松村明敏君) サウデス。

○議長(佐野校長) ソレナラ三讀ノ方ニ御譲リヲ願ヒマス。

○番外(堀督學官) 私ハ番外トシテ疑問ガアリマスガ只今委員ノ第一諮問案ノ答案ノ五六ソレカラ今ノ齋藤校長ノ御發議ノ事ガ同ジデアツテ五ニ含マセテモ宜カラウト云フ御説ガアツタヤウデアリマス

ガ、此處デ承ツテ居リマスト含マセルモノデヤ無イヤウニ思ヒマスガ若シ齋藤校長ノ御意見ガ、必要デアルトスルナラバ五ニ含マセルト云フコトハ御意志ガ徹底シナイ虞ガアリハスマイカ例ヘバ當局ニ於テ此答申案ヲ見タ時ハ其意味ガ徹底シナイト思ヒマス、若シ必要ヲ感ジテ居ラレルナラバ成ル可ク具體的ニ強ク御發表アランコトヲ希望イタシマス教員相互講習ニ參加ト云ヘバ、例ヘバ普通科ノ者ガ實業學科ノ講習ヲ聽ク實業學科ノ者ガ普通學科ノ講習ヲナスト云フコトデ教員相互ニ他學科ヲ研究スルト云ヘバ普通科ノ者ガ實業科ノ方ヘ行ツテ君ノ方ハドウヤツテ居ル又實業科ノ者ガ普通科ノ方ヘ行ツテ、ドウデアルト、互ニ研究スルト云フ意味ニ私ハ探リマスノデ今ノ廣イ意味ノ講習會マデ、ドチラモ區別ナク出席シテ良イト云フヤウニ探ラナイノデアリマス、只番外トシテ、諸君ノ御意見ガ十分ニ決定シテ御答申ニナリタイト云フコトヲ言フノデアリマス、尙一層研究ノ餘地ガアルト考ヘマスカラ、一寸一言致シマス。

○乙七番(廣田嘉一君) 只今何番デアリマシタカ、商業科ニ普通科ノ教員モ出席スルコトヲ得セシメタイト云フ御希望ノヤウニ聞キマシタガ是ハ文部省ガ講習會ヲ開催サル、場合擔當學科ニ關係アル者ヲ出席セシムルニ斯ウ云フコトニ致シマスレバ大變都合ガ良イカト思ヒマス。

○議長(佐野校長) 字句ノ修正デアリマスカ。

○乙七番(廣田嘉一君) サウデアリマセヌ齋藤校長ガ擔當學科ニ拘ラズ出席サセテ貰ヒタイト云フ意見デアリマス、夫カラ松村校長ノ意見ハ、商業學科ノ開ケタ場合、普通學科ノ者ヲ出席サセテ貰ヒタイ、ソレデハ甚ダ一方ハ範圍ガ廣ク、一方ハ範圍ハ狭イヤウデアリマスカラ兎ニ角文部省ノ開催アル場合商業學科ノ其學科ニ關係アル者ハ出席スル、斯ウ云フヤウニシタ方ガ都合ガ好イト思ヒマス。

○議長(佐野校長) サウスルト從前ノ通りニナリマス、第八ハ入レル必要ハナイ、關係アル學科ハ入レル……

○乙七番(廣田嘉一君) 關係ノアル學科ハ、先刻齋藤校長ノ言ハレタヤウニ普通科ノ商業算術モ入レル、商業算術ノモノモ普通ノ方ノモノモ出ルコトガ出來ルト云フノデアリマス。

○議長(佐野校長) 如何デアリマス正規ノ修正ノ所ヲ御持出シニナリマシテハ。

○乙七番(廣田嘉一君) ソレデハイケマセヌカ。

○議長(佐野校長) ドウゾ、サウ御願ヒシマス——最早討論モ盡キタヤウデアリマスカラ採決シマス、齋藤校長ノ「第八、文部省ノ講習會開催ニ際シテ擔當學科ノ如何ニ拘ラズ成ル可ク多ク教師ヲ列席セシムルコト」是ニ賛成ノ御方ノ起立ヲ願ヒマス。

起立者

少數

○議長(佐野校長) 少數、消滅イタシマシタ、是デ大概二讀ハ濟ダモノト認メテ宜カラウト思ヒマス、夫デ便宜上議事ノ進行ヲ計リマシテ、第三讀會ヲ省略シテシマウコトニ致シタイト思ヒマス是ハ議場ニ御諮リシナケレバナラヌガ御相談デアリマス、如何デアリマス。

(「異議ナシ」ト云フ者アリ)

○甲二番(田崎要君) 只今第五項ニ就イテ、第五項ノ中ニハ講習會ノ意味ヲ含デアルト云フ委員ノ御説デアリマシタガ此處デ五項ヲ訂正シテ戴ク譯ニユキマセヌカ。

○議長(佐野校長) ドウ云フ意味デス。

○甲二番(田崎要君) 字句デス委員ノドナタデシタカ御説明ニナツタ意味ヲ入レマシテ然ル可ク願ヒタイモノデアリマス。

○議長(佐野校長) 案ヲ具シテ御提出アランコトヲ望ミマス。

○甲二番(田崎要君) ソレデハ姑ク。

○議長(佐野校長) ソレ迄待ツ譯ニ參リマセヌカラ、三讀會ヲ省略スルヤ否ヤニ付キ御意見ヲ伺ヒマス。

ス。

○甲二番(田崎要君) 普通科教員ヲ實業學科講習會ニ出席セシメ及教員相互ニ關係アル他學科ヲ研究セシムルコト。

○議長(佐野校長) 御賛成ガアリマセヌト成立イタシマセヌ。

(「賛成」ト云フ者アリ)

○甲三十五番(倉西松次郎君) 私ハ只今ノ八項ノ、ドナタデアリマスカ、追加ハドウモ其意味ガ明瞭ニナラヌヤウナ譯デアリマシテ不幸ニシテ消滅シマシタガ、更ニ斯ウ云フ項ヲ加ヘタイト思ヒマス、ドウカ滿場諸君……

○議長(佐野校長) 討論ハ終結セラレマシタ既ニ三讀會ヲ省略スルニ付テ御相談シテ居ルノデアリマス——如何デアリマス省略シテ宜シウゴザイマスカ——

(「宜シイ」ト云フ者アリ)

○議長(佐野校長) ソレデ省略ト云フコトニ致シテ如何デアリマス。

(「賛成」ノ聲起ル)

○議長(佐野校長) 三讀會省略ニ御賛成ノ方が多イヤウデアリマスカラ省略イタシマス、暫時休憩イタシマス。

午前十時三十分休憩

午前十時四十分開議

○議長(佐野校長) 是カラ引續キ開會イタシマス、文部省諮問案第二ヲ審議イタシマス、朗讀ハ省キマス。

第二諮問答申案

一、各學校ノ經費狀態ニ應シ費目ヲ指定シテ補助セラル、コト

事由

從來ノ補助法ハ原則トシテ一般的ナルカ爲メ單ニ設立者ノ負擔ヲ輕減スルニ止リ學校施設經營上有
效適切ナラシムルコト不便ナルヲ以テ國庫補助ヲ舉ケテ學校經費ノ狀況ニ應シ臨時經常ノ費目ニ互
リ指定補助トシテ交附セラル、コトノ適切ナルヲ認ム

二、補助金額ハ設立者ノ經費負擔力不十分ナルモノニ對シテ其割合ヲ多カラシムルコト

事由

設立者ノ經費負擔不十分ナル學校ハ其施設經營上困難ヲ感スルコト多キヲ以テ其ノ割合ヲ多カラシ
ムルコト

○議長(佐野校長) 直チニ委員長ノ御説明ヲ願ヒマス。

○甲三十三番(小原右馬充君) 此ノ答申案ニ對シマシテ簡單ニ説明ヲ致シマス、昨晚遅クマデ委員會
ヲ開イテ、其結果印刷ニ間ニ合ヒマセヌ御氣ノ毒サマデ、御赦シテ願ヒマス此國庫補助ヲ有效適切ナ
ラシムル云々ト云フ御諮問ニ對シテハ吾々委員會ニ於テハアソコニ書イテアリマス通り從來ノ補助法
ハ臨時費及經常費ニ大抵補助ヲ仰イデ居ルノデアリマスガ、ドウカ是ハ校舍ノ建築費用トカ或ハ器具
機械ノ設備費トカ或ハ生徒ノ海外修學旅行ノ補助トカ或ハ職員ヲ海外ニ留學若クハ視察セシムル補助
トカ云フヤウニ費目ヲ指定シテノ補助ヲ願ヒタイノデアリマス、是ガ最モ適切ナルモノト委員ハ認メ
マシタ譯デアリマス、只經常費ニ補助ヲ仰ギマスト單ニ其設立者ノ負擔ヲ輕減セシムルニ止マリマス
カラ、效力ガ薄イト思ヒマス、其方法ト致シテハ或ハ校長ノ意見ヲ文部省ヘ申し出ル、或ハ文部省カ
ラ御諮問ニナルカ其方法ハ敢テ問ヒマセヌノデアリマスガ、文部省カラ經常費臨時費共ニ費目ヲ御指

定下スツテ御補助ヲ仰ギタイト思ヒマス、第二項ニ於キマシテ、今迄ハ學校ノ稍ヤ完備ニ近ク、設立
者ノ負擔ノ能力ガ十分デアルト、他カラ認ムル者ニ對シ補助額ガ多クナツテ居ルカノ傾キガアルヤ
ウニ考ヘラレマス、先ヅ負擔力ノ不十分ナル學校ニ對シテハ其補助額ノ割合ヲ多クシテ戴キタイト云
フノガ委員ノ最モ適當ト認メタ所デアリマス、固ヨリ補助額ノ總額ニ付キマシテハ、先日伺ヒマシタ
ガ、二十八萬圓ト云フコトデアリマスガ、其總額ヲ三十萬ニシ三十五萬ニスルト云フコトハ文部當局
ニ於テ既ニ業ニ全力ヲ注イデ居ラレルコト、信ジマスガ故ニ只今ノ補助額ニ付キマシテハ斯ク二項ニ
設ケマシテ、斯ウ云フヤウニ補助ヲ戴イタナラバ一層適切有效デアラウト認メマシタノデアリマス之
ヲ以テ簡單ニ説明ニ代ヘマス。

○乙五番(松村明敏君) 調査委員ノ御報告ガ、如何ニモ宜シイヤウニ考ヘマスガ、此問題ハ頗ル重大ナ
ル問題ト考ヘマス例ヘバ此場合、舊來國庫補助ナルモノハ如何ヤウニシテ其額ガ決定セラレテ居ルカ
ト云フヤウナ事ハ、文部當局デアリマセヌカラ、能クハ存ジマセヌガ、實ハ其標準ト云フヤウナコト
ニ付キマシテ、多少ノ疑問ガ私ノ頭ニ起リマシタ、ソレハ先般來或目的ノ爲ニ全國ノ甲種商業學校長
ニ、市立町立府立ノ商業學校ノ經營ニ付イテ照會ヲ發シマシテ、其回答ニ依リマシテ一種ノ統計ヲ作
リマシタ、ソレニ據リマスト總經費ニ對シ、設立者タル地方團體ノ負擔額ト云フモノ、割合ヲ算出イ
タシマスト中ニハ總額ニ對シテ僅々八歩四厘ト云フヤウナモノモアリマス、中ニハ五割一步四厘ト云
フヤウナ半分以上設立者ガ負擔スル所モアリマス、而シテ其設立者ノ負擔額ノ小ナルモノニ對シテ、
而モ或學校ノ如キハ千圓ノ補助ヲ受ケテ居ル然ルモ拘ラズ一方ニハ設立者ノ負擔ガ五割八歩四厘――
五割ト云フ差ヒガアルニモ拘ラズ、ヤハリ千圓ト云フ補助額ガ交附サレテ居ルヤウナ有様デアリマス
是ハ恐ラク設立者ガ國庫補助ノ交附ヲ申請シマス時分ニハ設立者ノ負擔トシテ特ニ多クヤツタモノデ
特ニ多ウカラシメタカ、其邊ハ存ジマセヌガ從來國庫補助ヲ交附セラル、モノハ、三ヶ年繼續ニナツ

テ居リマス其三ヶ年繼續ガ果シテ設立者ノ經濟關係ヲ十分ニ考ヘテ適切ナルヤウニ交附セラル、モノ
 デアルカ、ドウカト云フコトハ、一考ヲ要スベキ問題ト考ヘマス何トナレバ新設學校ハ僅カニ學級シ
 カナイ、從テ經費ガ少イ其經費ノ少イ時ニ於テ國庫補助ノ申請ヲ致シマス、來年又再來年ト漸次學生
 ガ殖ヘテ行ツテ三ヶ年繼續デアリマスカラ、後ニ經費ガ増スニ拘ラズ最初ノ額ヲ以テ交附ヲ受ケテ居
 ルヤウナ次第デアリマスカラ、大變設立者ノ經濟上カラ小ナル交附額ヲ受ケルト云フコトニナツテ居
 ル、是等ノ問題ニ付テモ御諮問案ノ有效適切ナラシムルト云フコトニ就イテハ、少シ迂遠ノヤウナ感
 ヲ抱クノデアリマス、又地方ノ設立者ノ經濟ガ非常ニ順境ニ進デ參リマシテ負擔額ハ掛ルケレドモ而
 モ學校經費ノ負擔額ガ増シタニモ拘ラズ、其他ノ收入財源ガ豐富ニナツタヤウナ設立者タル團體ニ於
 テ單ニ學校經費ノ負擔額ガ増シタト云フヤウナ理由ノ下ニ財政豊カナル設立者ニ對シテハ在來ノ如ク
 交附スル必要モ無カラウト思フノデアリマス、現ニ私ガ此表ヲ調べマシタ學校ハ市立、町立、府立合
 セテ三十二校デアリマス、後トノ三校位ハ回答ガ遅レマシタガ、二十八校ニ付テ數ヘマシタ設立者ノ
 負擔ト、國庫ノ補助ト併セテ見ルト非常ニ不公平ナ數字ガ現ハレテ居ルノデアリマス、斯様ナル現時
 ノ有様デアリマス、交附ヲ決定セラル、ト云フコトニ付キマシテ今少シ内容ヲ深く調査サレマシテ條
 件ヲ審カニスル必要ガアルカノヤウニ私ハ思フノデアリマス、例ヘバ此條件ヲ分類シマス、動的
 靜的、ソレカラ動的、靜的ノ双方ト、此分類ガ出來ル、動的條件ト云フハ、ドウ云フ條件ヲ指スカト云
 フト先ヅ是等ノ學校ノ教員給ヲ見マスト是ハヤハリ動的條件ニスル、教員給ノ非常ニ少イ學校ガアリ
 マス、然ルニモ拘ラズ總經費ハ多イ而カモ餘リ少イコトハ無イケレドモ、平均給ガ少イト云フコトハ
 詰リ其學校ヲ經營シテ行ク生キタル人間ニ餘リ多イ經費ヲ投ジテ居ラヌト云フコトハ、學校成績ノ全
 體ニ關スルコトデ是ハ大ニ考ヘナケレバナラヌ問題デアルト思ヒマス、而カモ總經費ガ餘リ他縣ニ比
 シテ少ナクナイニ拘ラズ平均給ガ少イト云フコトハ、是ハヤハリ權衡ヲ得テ居ラヌデハナイカト考ヘ

ル夫カラ設立者タル地方團體ノ納稅額モ願ルコトハ必要ト思ヒマス、現ニ京都ノ如キ第一ハ補助ガア
 リマスガ、第二ハ補助ガナイ、是ハ設立費ノ而カモ五割ト云フ多イ負擔ヲシテ居ルニ拘ラズ、國庫ノ
 補助ノ無イト云フコトハ、市ニ餘裕ガアルト云フ所カラデモアリマセウカ、教員給ノ平均額ハ設立者
 タル市民、農民ノ負擔ノ輕重ヲ考ヘルコトガ必要ト思ヒマス、夫カラ靜的條件ハサウ云フモノヲ除キ
 マシテ備品ダノ或ハ收容費ヲ一種ノ内容トシテ考ヘル必要ガアルト思ヒマス、是ハ答申案ニ出テ居リ
 マス通り其學校ニ於テ最モ缺ケテ居ルコトハ其費額ヲ指定シテヤルト云フ、其方法ト思ヒマス其ヤウ
 ナ方法デ一學級ノ平均ヲ考ヘル必要ガアル總經費ト生徒數ノ多少ハ參考條件トシテ必要デアリマスガ
 總經費ヲ學級ニ依テ割ツテ其平均額ヲ見ルコトガ必要デアリマス、先ヅ二十八校ノ經費ヲ平均シテ見
 マスト、一學級當ル所ノ一種ノ單位ガ、ソレハ一千七百四十三圓ト云フ計數ガ出マシタ恐ク此計數
 ハ平均額デアル以上、動カヌ所ノモノデアルト思ヒマス其他學級平均ノ經費ノ非常ニ少イ所ハ、ヤハ
 リ設備ノ上ニ斯ウ云フコトノ經費ノ少クナイト云フコトヲ容シテ居ルノデアリマス、無論總經費ノ總
 テ生徒數ノ多少ト云フヤウナコトヲ參考トシテ考ヘル必要ガアリマス、尙過去五年間ニ於ケル設立者
 ノ負擔額ヲ稍ヤ長キニ互ツテ願ル必要ガアルト思ヒマス、又將來ニ對シテハ一種ノ附帶條件トシテ學校
 ノ設備費、例ヘバ何萬圓以上ヲ下ルコトヲ許サナイト云フ條件ヲ附スルコトガ必要ト思ヒマス、ソレ
 ハ何ゼカト申シマス今御話申シマシタ通り補助ヲ得ルト其翌年度カラ設立者ハ非常ニ經費ヲ輕減
 スル傾キガ無キニシモアラズ私ノ調査シタ所ニ據ルト、サウ云フ傾向ガ顯然トシテ現ハレテ居ルノデ
 アリマス、私ハ確カニ證據物件ヲ握ツテ居ルノデアリマス、其學校ハドコノ學校デアルト云フコトハ
 是ハ祕密ニ附シタ方ガ宜カラウト思ヒマスカラ、ソレハ言ヒマセヌガ、デアリマスカラ將來ニ對シ
 テハ一種ノ附帶條件ヲ附スル、サウシテ此目的ヲ適切ナラシムルハ必要ナル條件ト思ヒマス、一方ニ
 ハ其方法ハ文部省ヲ左様ニ信用スルコトモ、餘リ委員長ノ如クニ出來ナイ、十分ニ吾々斯様ナル校長

會議ノ決議トシテモ、二十八萬圓位デ少イ殊ニ時局ノ實業教育ノ振興ヲ計ルニハ二十八萬圓所デナイ五十萬圓或ハ八十萬圓、出來ルナラバ増加シテ貫ヒタイ日本國運ノ發展伸張ヲ計ル實業教育ハ今一層ドコロデナイ、二層モ三層モ盛ンナラシムル必要ガアル今ニ於テ大ニ進デ居ラヌト亞米利加ノタメヤラレルヤウナ事ガアツテハ、ナラヌト思ヒ少シク愚見ヲ述ベテ置キマス。

○議長(佐野校長) 松村校長ニハ何か御修正デモナサラウト云フノデアリマスカ、御修正ニナリマスタラ案ヲ具シ。

○乙五番(松村明敏君) 是ハ主トシテ參考ニナルヤウニ。

○甲二十八番(市村芳樹君) 番外ニ御尋ネシマスガ、役員ノ經費ハドウ云フ費目カラ出テ居リマスカ第二ニ商業教員ノ養成所ニ付テ當局ハ如何ニナサル御見込ヲ持ツテ居リマスカ、ソレヲ承ツテ置キタ

イ、是ハ國庫補助ノ寄附カラ出ルト思ヒマスカラ、御尋ネ致スノデアリマス。

○番外(堀督學官) 行政費ノ方ハ國庫カラ千何百萬圓カラ出テ居リマス、教員養成ノコトハ、ソレハ私カラ寧ロ諸君ニ御聽キシタイ位ナコトデ教員養成ノ必要アリヤ、斯ウ云フ問題ガアツテモ宜イト思ヒマス、是ハ商業教育ノ發展ニ付テ重大ナ關係ガアルト思ヒマス、例ヘバ普通學科ト商業學科ノ連絡ト云フ問題ハ要スルニ諸君ノ意見ヲ承リマス、人ノ問題デアルト云フコトデアリマス、教員養成ハ初メカラ教員ニ成ル目的デアリマシテ、其タメニ特ニ教授法モ加ヘテ教ヘテ上ゲマスノデ將來實業界ニ出ルト云フ人カ何かガ事情ノ爲メニ教育界ニ身ヲ投ズルノトハ餘程修業ノ目的ガ初メカラ容子ガ異ツテ居ル又其人々ノ考ヘガ異ツテ居ルノデアリマシテ、サウ云フ目的デ特ニ設ケルコトガ商業教育ニ必要デアラウト云フ所カラ、ア、云フ制度ガ出來テ居リマス、併シサウ云フモノハ必要デナイト云フ事モ時々聞クコトモアリマス、此問題ハ慎重ニ御考ヘニナルコトガ必要ト思ヒマス、當局ニ於テモ諸君ノ御意見ガ、ドウシテモ有効ナ制度デ更ニ擴張シ貸費生ノ如キモ、只貸費ハシナイ月謝ノ免除位ニ

止メル段々消極的ニナリツ、アル事實ガアリマスケレドモ必要デアリマスレバ、寧ロ全體ガ考ヘマシテ費用ヲ投ジテ秀才ヲ其方ヘ引附ケルト云フコトノ必要ガアル、私ハサウ云フ考ヘヲ持ツテ居ル、併シ必要デナイト云フナラバ、ア、云フ制度ハ廢メタラ宜イ、必要デアルト云フナラバ貧乏人ノ子供ヲ國家カラ國費ヲ以テ養成スルト云フコトハ必要デ其養成ノ方法ハ、モウ少シ徹底的ニヤル、是ハ寧ロソレデスカラ諸君ノ御經驗ヲ承ツタ方ガ、當局ノ考ヘヲ極メルノニ必要デ無カラウカト思フノデアリマス。

○甲十七番(岡田禎三君) 只今委員ノ報告ニ於テ國庫補助金ヲ増加スルト云フ希望ハ番外ニ於テハ、ドウ云フ御考ヘデアリマスカ一寸伺ヒタイ。

○番外(堀督學官) 只今ノ御質問ハ當局トシテハ必要ニ應ジテ補助金額ヲ増加スル考ヘガアルカドウカ。

○甲十七番(岡田禎三君) 將來益ス増加セントスル御方針デアルト云フコトデアリマスカラ、定メシ種々折合ガアルコトニ考ヘマス。

○番外(堀督學官) イヤ私ガサウ申シタト仰ツシヤルノデ。

○甲十七番(岡田禎三君) 當局ノ御意見ハ、ドウ云フ事デアルカ伺ヒタイ。

○番外(堀督學官) ソレハヤハリ只今ノ話ト同ジデ必要デアルト云フ諸君ノ有力ナ論據ガ見出サル、ナラバ、ソレハ國家トシテハ財政ノ容ス限リヤラル、事デアラウト信ジマス。

○甲三十三番(小原右馬允君) 一寸委員ガ報告イタシマシタ事ニ付テ申シマス、私ナドハ實業學校ノ補助ヲ受ケテ居ル以上ハ文部省ハ此二十八萬圓デ十分ナリト云フ思召ハ無イト信ジテ申シ上ゲタノデアリマス、只斯ウ云フ方法ヲ以テ文部省ハ御話シニ相成ルコト、又御盡力下サルコトニ信ジテ申シ上ゲタイノデアリマス。

○議長(佐野校長) 全體ニ就イテ別ニ御考ヘガゴザイマセスケレバ、是ヨリ逐條決議ヲ致シタイト思ヒマス。

○番外(堀督學官) 此御答申案ヲ拜見シマス。經費狀態ニ應ジ費目ヲ指定シテ補助セラル、コトニゴザイマス、是ハ經常費ノ事ノミヲ意味シテ居ルノデアリマス。カ、今經常費ト臨時費ト大體二ツニ分カレテ居ツテ臨時補助ハ教授上必要ナル器具機械物品ト局限サレテ居リマス、經常費ニハ何モ費目ハアリマセヌ、臨時費ハ教授ニ必要ナル器具機械物品トナツテ居リマス。

○甲三十三番(小原右馬允君) ソレデ臨時經常費目トシマシタ、物品器具機械デナク或ハ修學旅行ニ生徒ヲ海外ニ遣リマス時モ補助ヲ願ツテ或ハ職員ノ海外視察ニ出ル時モ御補助ヲ願ヒタイ之ヲ器具機械、設備費、臨時經常ニ拘ラズ、其器具機械ト云フ目ニ對シテ漫然頂戴シテ居リマスガ、經常費臨時費、器具、機械ニ止マラズ其方ノ必要ニ應ジテ費目ヲ指定シテ御補助ヲ仰ギタイト云フ主意デアリマス。

○番外(堀督學官) 補助法ノ施行細則デナイ方ハ局限シテ無イノデアリマス。カラ、此御主意ト同ジヤウニ見受ケラレマスガ併シ施行細則ヲ見ルト局限サレテ居リマス、ソコノ所ガ是ダケデ十分御主意ガ現ハレテ居ル積リデアリマス。

○甲三十三番(小原右馬允君) 局限サレテ居リマス。カラ其局限ヲ少シ緩メテ戴キタイ、臨時ハ器具機械ト局限セラレテ居リマス。カ、ドウデアリマス。

○番外(堀督學官) サウ成ツテ居リマス。

○甲三十三番(小原右馬允君) 夫デ經常費ニハ臨時ノ設備ヲ致シマスニ器具機械ト云フコトニ制限セラレタ御補助ガアリ、經常費ニハ何ニ使ツテモ差支ナイ經常費モ或ハ俸給額ガ足リナイ所ハ俸給ト云フコトニ御指定ヲ願ヒ或ハ經常費デ出ス旅費モ海外へ出マス時ハ、經常費ノ海外旅費ト御指定ヲ願ヒ

タイト云フ意味デアリマス。

○番外(堀督學官) 併シ經常ノ旅費ハ、臨時滿洲へ行クトカ清國へ行クト云フト異ヒマス、若シ支那方面ニ旅行スル必要ガアルト云フヤウナコトデアリマス。レバ、サウ云フ費用ハ經常費ノ旅費ニハ計上サレ無イノデアリマス。ガ、サウ云フ旅費モ補助シテ貰ヒタイト云フ御話デアリマス。カ、臨時補助ハ器具機械ニ局限サレテ居リマス、現行規則ニ據ルト補助ガ出來ナクナル。

○甲三十三番(小原右馬允君) 左様デアリマス、ソレヲ現行規則ガ出來マセスケレバ之ヲ改正ヲ御願ヒ致シマシテ或ハ臨時ニシマシテモ——滿洲へ行キタイト云フモノハ臨時デアリマス。臨時旅費トシテ御補助ヲ願ヒタイト斯ウ云フ意味ノ意見デアリマス。

○甲四十六番(村松彌一郎君) 此答申案ヲ見マス。ト委員諸君ノ勞ハ多トシマスケレドモ規則ト正反對ニナツテ漠然タルモノ、ヤウニ考ヘラレハシナイカト思ヒマス、ト申シマス。ノハ經常費ノ方ノ費目特定ト云フコトニシテ凡ソ費目ヲコチラデ何々ト具體的ニ申サナケレバ效力ガ無カラウト思ヒマス、今ノモノト何等ノ異ヒハナイト思ヒマス、俸給ナラ俸給ニ對シ或ハ旅費ナラ旅費ニ對シ經常費ノ何々費目ト具體的ニ述ベテ置ク必要ガアルト思ヒマス、第二ノ如ク十分ニ其意味ヲ書キ立テナケレバナラヌト思フ、只是ノミデハ補助ノ取扱方ガ今迄ヨリ少シ多クナルカ或ハ割合ガ違ツテ來ルカ位デ今ヨリ適切ナル方法ニナラヌカノ如ク考ヘラレマス、申ス迄モナク經常費ノ補助ハ吾々當事者ニ當リマシタ所ガ其配當ヲ受クルコトガ困難デアリマシテ一方ノ收入ニナル一方ノ支出ニナルノデアリマス。カラ、前以テ目ヲ定メテ置キマセヌト只經常費ニ多クノ補助ヲ貰ヒマス。ケレドモ其補助ハ歲入トナツテシマヒマシテ何等作用ヲ與ヘナイノハ今日ノ現狀デアリマス、費目ヲ指定スルトナレバ其費目何々ト書イテ出サヌ限リハ不明瞭デアルト思ヒマス、然ラズンバ費目指定ト云フコトガ、餘リ空漠タルモノニナツテシマウト思ヒマス。第二ノ如キハ今申上ゲタ範圍ヲ擴メシムル意味ヲ十分ニ述ベマセスケレバナラ

ス、此儘デハ到底案其モノトシテ有力ナル案ト考ヘラレヌノデアリマス、序ニ、是ハ議論デアリマセヌノデ、番外ナリ委員ナリニ伺ツテ置キタイ年功加俸問題ガ近來ヤカマシキ問題デアリマスガ、或ハ此際年功加俸問題ヲ是ト附屬セシムル必要ガアリマセヌカ社會ノ一部ニ問題ガヤカマシクアリマスカラ年功加俸ナドハ此内ヘ入レナクテモ宜イト云フ御考ヘカ知ラスガ、當局ノ方デハ、ソレハ別問題デアルト云フ御見込デアリハシナイカ併セテ此事ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス。

○甲四十番(鍋島熊太郎君) 國庫補助ヲ經常費ニ補助セラル、又臨時費ニ補助セラル、ト云フコトハ其府縣等ノ當局カラノ請求ニ依テ御分チニナリマスカ文部省ノ方デ直チニ御指定ニナルモノデアリマスカ、經常費ニ補助スルカ或ハ臨時費ニ補助スルカ各府縣當局ノ請求ニ依テ御分チニナルカ。

○番外(堀督學官) ソレハ補助ハ申請ニ依テ定マルノデアリマシテ別ニ其方針ガ本省ノ當局ノ方デ極ツテ居ルノデアリマセヌ必要ニ應ジテ經常臨時ノ申請ヲ審議シタ上デ極メルノデアリマス、別ニ極ツテ居リマセヌ、補助スル時ハ經常トカ臨時ト申請シテ、ソレニ依テ許可スル。

○甲四十番(鍋島熊太郎君) サウデスカ臨時ニ斯ウ云フ事ヲヤリタイト云フノデ計上シテ、臨時ニ別ニ申請スル譯デアリマスカ。

○番外(堀督學官) サウデス。

○甲四十番(鍋島熊太郎君) 更ニ委員長ニ御尋ネシマスガ是ハヤハリ各費目ヲ指定シテ補助ヲ請フト云フコトハ、申請シテ請フト云フ譯デアリマスカ。

○甲三十三番(小原右馬允君) 御答ヘ致シマスガ無論申請シ又文部省ノ方デ御覽ニナツテ是ガ不設備デアルト云フヤウナ事ガアリマスレバ、コチラカラ申請シテモ其以外ニ於テ或ハ文部省ニ於テ、アレヨリ此方ガ必要デアルト云フ其費目ヲ御指定ニナルカモ知レヌ委員ノ考ヘデアリマシテハ指定ヲ御願ヒシテ——申請ヲシテ其指定科目ニ御指定ノ補助ヲ仰ギタイト云フノデアリマス、黙ツテ居ルト云フ

譯デアリマセヌ。

○甲十七番(岡田禎三君) 委員ノ答申案ハ至極十分抱括シテ居リマシテ結構ト考ヘマスガ私ハ此二項ノ他ニモウ一項加ヘマシテ國庫補助ヲ増額シ、ソレニ他ノ費目ヲ増加シテ、一ハ俸給、俸給ハ之ヲ二ツニ分ケマシテ、特別俸給、年功加俸、年功加俸ハ勤続九年ノ教員ニ對シテ毎月五圓ヲ加俸スル、校長ハ七圓ヲ加俸スルコト、第二ニハ賞與金デアリマス、第三ハ旅費、主トシテ海外視察旅費、ソレハ教員生徒トシテ之レヲ加ヘタイト思ヒマス若シ此ノ如クシテ置キマセスト如何ニ國庫補助ヲ増加シテモ從來設立者ノ負擔ヲ輕減シタ習慣ガアリマスカラ設立者ハ本省カラ如何ニ多額ヲ遣リマシテモ學校ニハ直接利害關係ノ無イ事ニ使ツテシマヒマス若シ之ヲ補助スルナラ本年度ナラ本年度ノ豫算ガ決定シタ後ニ俸給ナラ俸給ノ豫算ヲ見タ後ニ此學校ニ特別俸給幾ラヤル、或ハ年功加俸幾ラヤルト云フ事ガ必要ト思ヒマス若シ豫メ前年度ニ遣ラウト云フコトヲ決定シテ置キマスト設立者ハ共謀シテ或ハ竊ニ加俸ダケ入レテ増俸スルノヲ減ジヤウト云フ弊ガ起ルニ至リハスマイカト思ヒマス尙賞與金ニ於キマシテハ實業社會ガ益々勃興スルニ從ツテ實業界ニ人才ガ必要ナ所カラ實業教育ヲ受ケタモノハ學校カラ逃ゲテシマウ、實業界ニ居ル者ハ賞與金モ莫大デアリマスカラ是ハ已ムヲ得ナイコトデアリマス然ルニ國庫カラ斯ウ云フモノヲ頂戴シテ居リマスレバ敢テ學校ヲ去ルト云フ念慮ヲ起ス必要モナイ今日競争ノ世ノ中ニ、一方ニ居ル實業界ノ友人ハ十倍モ俸給ヲ取ツテ居ルノニ獨リ實業教育ニ從事シテ居ル教員ガ薄給ト云フコトデハ教員其人ヲ得ルコトハ出來ナイト思ヒマス故ニ賞與金ヲ増スト云フコトハ必要デアアル、其他教員及生徒ヲ南洋デアルトカ印度デアルトカ滿洲デアルトカサウ云フ所ヲ視察セシムルニハ到底設立者ニ於テ其旅費ヲ支給スルコトガ出來マセヌカラ、是等モ文部省ノ補助ヲ以テスルコトニナリマスレバ初メテ國庫補助ヲ有效ナラシムルコトガ出來ルト思ヒマス。

○乙十五番(望月貞君) 只今ノ追加ノ一項ハ目下ノ教育界ヲ深ク憂ヘラレテ發案サレマシタモノデ教

育ノタメ忠實ナルコトニ信ジマス直チニ賛成イタシマス。

○甲五十一番(宮田千年君) 私ハ此答申案ニ更ニ一項ヲ加ヘタイト思ヒマス、ソレハ「國庫補助ノ年限ヲ短縮シ是ガ査定ニ當ツテハ當該學校ノ成績及實際ヲ深く考慮スルコト」ト云フノデアリマス、簡單ニ説明シマスガ只今ノ國庫補助ハ繼續三ケ年ニナツテ居リマス之ヲ尙一層短縮シヤウト思フノデアリマス三ケ年ト一旦決定セラル、ト其學校ノ成績ガ舉ツテモ舉ラヌデモ三ケ年間ハ補助ヲ受クルノデアリマス、又今迄ニ於テ學校ノ成績ガ舉ルトカ或ハ實際ニ於テウマク行ツテ居ルカ居ラヌカト云フコトハ幾ト考ヘラレテ居ラヌ問題ト思ヒマスデアリマスカラ茲ニ繼續年限ヲ短縮シテ願クバ學年度位ニシテ——一年度位ニシテ成績ノ舉ラナイ學校ハ補助ヲ廢メルト云フコトニ致シタラ至極有效適切デアルト思ヒマス。

○乙五番(松村明敏君) 今ノ廣島校長ノ提案ニ賛成シマス。

○甲四十三番(森下勇馬君) 第三項ト云フ一項ヲ加ヘタイト思ヒマス、此答申案ハ第一ハ補助ノ指定方法デス、第二ハ補助額分配ニ關係シタコトデアリマスガ、先程カラノ御議論モアリマシタシ補助ヲ増加スルト云フ事ヲ加ヘテハドウカト思ヒマス、範圍ヲ擴張シテ更ニ分配ヲ餘計ニスルト云フコトニシテ範圍モ廣クシ、分配モ良クスルト云フ事ヲスルニハ、第三項補助額ヲ増加スルコト、其利益ハ現狀ニ於テモ補助總額増加ノ必要アリ尙將來實業教育發展ノ必要ガアル爲メデアルト云フ、サウ云フ事由ヲ附加ヘテ補助總額ヲ増加スルト云フコトヲ附加ヘタイト思ヒマス。

○議長(佐野校長) 追加案ガ三ツ程出テ居リマス岡田校長、宮田校長、森下校長、併シ孰レモ御賛成ガナイノデアリマス依テ原案ヲ逐條ニ議シテ行クヨリ他仕方ガナイ。

○乙二十番(富田小一郎君) 五十一番ノ後半分、國庫補助ノ年限短縮ダケ賛成シマス。

(岡田案賛成)ト云フ者アリ)

○議長(佐野校長) 賛成ガアリマシテ追テ議題ニナリマスカモ知レマセスカラ念ノタメ申シテ置キマス岡田校長ノ案ハ國庫補助ヲ増額シ、左ノ費目ニ補助スル一、俸給、甲特別俸給、乙年功加俸、二、賞與金、三、旅費、主トシテ海外旅費、宮田校長ノ追加案ハ、國庫補助ノ繼續年限ヲ短縮シ、是ガ査定ニ當ツテハ當該學校ノ成績及實際ヲ深く考慮スルコト森下校長案ハ補助總額ヲ増加スルコト。

○乙九番(倉石源造君) 一寸番外ニ御尋ネシタイ補助金ハ經營者ノ提出イタル豫算ノ金額ニ對シ補助スルモノト思ヒマスガ經營者ノ提出シタル豫算ニ於テ文部省ガ或ル必要ヲ御認メニナツタ時ハ、ヤハリ補助金ヲ御下附ニナツテ居リマスカ伺ヒタイ。

○番外(堀督學官) 豫算ヲ標準トシテ査定スルノデアリマス。

○乙九番(倉石源造君) サウスルト豫算以外ト云フト、ドウ云フ意味デアリマスカ只今此案ニ付テ疑ヒガ起リマシタガ經營者ガ或ル費目ヲ支出スベク指定シタル豫算ガアル以上ハ別ニ學校トシテ特ニ文部省カラ指定シテ補助シテ貰フ必要ガナカラウト思フ、設立者ニ指定シタル豫算以外豫算中ニ無イ所ノ海外旅行費トカ何トカ云フモノハ其學校ニ於テ必要ト認メテ文部省ガ補助スルモノナレバ第一ガ必要デアリマスガ、サモナク豫算ニ既ニ經營者ガ支出スベク計上シテ居ルモノニ對シ指定スル必要ハ無イト云フ疑ヒガ起リマシタカラ今伺ツタノデアリマス。

○番外(堀督學官) 豫算ハ是々、教育ノ設備ヲナスニハ是ダケノ豫算ガ要ル、ソレカラ費用ヲドウシテ出スカト云フコトガ尙問題ニナリマシテ、ドウモ經營者ガ負擔ガ出來ナイト云フ場合ニ國庫補助ヲ仰グト云フノデアリマシテ豫算ヲ組ダカラ、必ズシモソレデ自分デヤラレルト云フ譯デ無イト思ヒマス、デスカラ補助ヲ請求スルコトハ必ズ豫算ト相伴ツテ提出スルモノト思ヒマス。

○乙九番(倉石源造君) ソレハ議論ニナリマスガ併シ公ケノ事業ニ於キマシテハ、支出ノ總額ヲ定メテソレヲ如何ニシテ支辨スルカト云フコトヲ定メルコトニナツテ居リマス決シテ吾ハ幾ラノ收入ガア

ルカラ是ダケクレト云フノデナイ逆ニナルノデアリマス是ダケ教育スルニハ是ダケノ金ガ要ルソレヲ如何ニシテ支辨スルカ是ニ付イテ國庫補助ガ關係シテ來ルノデアリマス。

○乙十四番(谷澤米藏君) 甲十七番追加案ハ成立シテ居リマスカ。

○議長(佐野校長) 成立シテ居リマスカラ是カラ議題トシテ御相談致サウト思ヒマス其前ニマダ追加案ガ出ルカト思ツテ待ツテ居リマシタガ、併シ追加案モ無イヤウデアリマスカラ是カラ始メマス。

○乙十四番(谷澤米藏君) 本員ハ賛成デアリマス。

○議長(佐野校長) 甲十七番岡田校長ノ案デアリマス追加第三トシテ御賛成者ガアリマスカラ議題ト致シマス能ク文章ハ聴取レマセデシタガコンナ事デアラト思ヒマス、如何デアリマス岡田校長、國庫補助ヲ増加シ左ノ費目ニ補助スルコト一、俸給、甲特別俸給、乙年功加俸、二、賞與金、三、旅費主トシテ海外旅費是デ宜シウゴザイマスカ。

○甲十七番(岡田禎三君) サウデス、字句ハ又後トデ……

○議長(佐野校長) 是ハ賛成ガアリマスカラ議題ト致シマス、是ニ付イテ御質問ナリ御意見ナリ御修正ナリゴザイマスレバ成ル可ク早く、時モ段々移ツテ參リマシタカラ御提出ヲ願ヒマス。

○甲四十七番(飯野俊一君) 岡田サンノハ費目ノ方ヲ第一ノ指定ノ末項ニ入レテハドウカト思ヒマスサウシテ増額ダケニ第三ヲ止メテ費目ヲ指定シテ終リノ方ニ費目ヲ加ヘタラ宜カラウト思ヒマス、修正意見トシテ提出シマス。

○議長(佐野校長) 事柄ノ修正デナク、同ジ文句ヲドコニ置クカト云フノデアリマスタ。

○甲四十七番(飯野俊一君) サウデス。

○議長(佐野校長) ソレデハソレハ後ト願ヒマス。

○乙五番(松村明敏君) 一寸追加案提出者ニ伺ヒマス特別俸給ト云フノハ、ドウ云フノデアリマスカ

○甲十七番(岡田禎三君) 年功加俸、是ハ國庫補助カラ出マスカ、或ハ國家カラ出マスカ存ジマセスガ年功加俸ノ補助ヲ貰ツテ居リマスガ補助ガ少クナリマス、若シサウ云フ際デアリマスレバ特別俸給ヲ設ケテ置キマス他ノ普通學科ト異ツテ殊ニ實業學校ニ従事スル者ハ經驗ガ要ルシ、又大ニ教授時間モ多イカラ一般教員ノ俸給率ト同ジデハイケナイ併シ俸給ノ改正モ難カシカラウト思ヒマスカラ俸給額ノ月額平均ヲ或ハ一割トカ五歩トカ云フモノヲ國庫カラ特ニ増シテ貰ツタラ、學校經營者ハ非常ニ便利ト思ヒマス其意味デアリマス。

○議長(佐野校長) サウ致シマス議題ニナリマシタカラソレヲ三ニ加ヘテ逐條決議シテハ如何デアリマス御反對ノ方ハ第三ニ入ツタ場合御反對ニナレバ宜シイ。

(「異議ナシ」ト云フ者アリ)

○議長(佐野校長) サウ致シマス、第一ノ「各學校ノ經費狀態ニ應ジ費目ヲ指定シテ補助セラル、コト」是ニ付イテ御意見ガアリマスレバ。

○乙三十番(鈴木信豊君) 此二項ハ昨日來吾々ガ大ニ申シ上ゲタ事ガ大抵ヨク含マレテ居ルコトニ思ヒマス、ガ此字句其他ノ關係デ、動トモスルト意志ノ闡明ヲ缺クヤウナ憂ヒガアリハセヌカト云フ心配カラ字句修正——第一項ノ方ノ字句ノ修正、幾分内容ノ修正トナルカモ知レヌガ其修正案ヲ出シテ見タイト思ヒマス「一、各學校ノ經費狀態」ト云フコトヲ「各學校ノ經營狀態ニ應ジ最モ必要ト認ムル費目ヲ指定シテ補助シ」其次ニ「臨時補助ノ費目ノ限定ヲ廢スルコト」斯ウ云フコトニシマスト海外ノ旅費デアラウトカ建築費デアラウトカ總テノモノガ優ニ含マレテ其時ノ時勢ノニソレガ實現サレテ有效カト思ヒマス。

(「賛成々々」ノ聲起ル)

○議長(佐野校長) サウ致シマスルト只今修正ノ動議ガ出マシタ、第一項ノ修正案デアリマス「各學

校ノ經營狀態ニ應ジ最モ必要ト認ムル費目ヲ指定シテ補助シ臨時補助ノ費目限定ヲ廢スルコト」是ハ字句バカリデナク、内容ノ修正ニモナツテ居リマスカラ、之ヲ議題ト致シマシテ賛否ヲ問ヒタイト思ヒマス今ノ修正案ニ御賛成ノ方ハ起立ヲ願ヒマス。

起立者 多數

○議長(佐野校長) 過半数デアリマス可決イタシマシタ次ハ第二項デアリマス「二、補助金額ハ設立者ノ經費負擔力不充ナルモノニ對シテ其割合ヲ如カラシムルコト」

(「異議ナシ」ト云フ者アリ)

○議長(佐野校長) 別ニ御異議ガナケレバ直チニ採決イタシマス原案ニ御賛成ノ方ハ御起立ヲ願ヒマス。

起立者 多數

○議長(佐野校長) 大多数デアリマス原案ニ決シマス、次ニ第三案デアリマス岡田校長ノ御提出ニナリマシタ追加案デアリマス「國庫補助ヲ増加シ左ノ費目ニ補助スルコト、一、俸給、甲特別俸給、乙年功加俸、二、賞與金、三、旅費主トシテ海外旅費。

○甲三十三番(小原右馬允君) 補助額ヲ増額シ左ノ費目ニ充用スルコト……費目ヲ限定スル要求デアリマスガ、此俸給、特別俸給、年功加俸——第一ニ經費狀態ニ應ジテ費目ヲ指定シテ贊フコトニ可決ニナリマシタ、第三項ニ増額シテ贊ツテ増額ノ補助額ヲ増加シタモノダケラーニ使フト云フ御主意デアリマスカ。

○甲十七番(岡田禎三君) 實ハ増額ノ理由ノ方ニ……

○議長(佐野校長) 理由トゴザイマスレバ文句ノ内ニ入レナイ國庫補助ヲ増額スル——理由デアルト入リマセヌ。

○甲十七番(岡田禎三君) 理由ノ意味デアリマセヌ建議シタイ。

○議長(佐野校長) サウスルト只今ノハ理由デナイ本文デアリマスカ。

○甲三十三番(小原右馬允君) ソレデハ矛盾スルヤウニナリマス増額シテ贊ツテ、片方デ費目ヲ指定シテクレト云フ、同時ニ一方デハ増額シテ此費用デヤツテクレト云フコトハ矛盾スルヤウニナリハセヌカト思ヒマス。

○甲十七番(岡田禎三君) 矛盾シナイト思ヒマス。

○議長(佐野校長) 岡田校長ノ追加案ニ付イテ採決イタシタイト思ヒマス只今ノ最モ長イ本文ヲ有スル案デアリマス、是ニ賛成ノ方ハ御起立ヲ願ヒマス。

起立者

○議長(佐野校長) 議題ニナルニ當ツテ三人ノ賛成ガアツテ成立ツタノデアリマスガ、只今御賛成ガ一人モ無イヤウデアリマス、如何デアリマス、モウ一遍申シマスガ岡田校長ノ追加案ニ御賛成ノ方ハ起立ヲ願ヒタイ。

○乙十四番(谷澤米藏君) 私ハ前ニ第三ニ賛成ノ意ヲ表シマシタガ、第一項デス此方ガ可決ニナリマシタカラ自然此岡田サンノ案ニ修正ヲ加ヘル必要ガアルト思ヒマス、重複シテ居リマスカラ重複ノ點ダケヲ除カナケレバマズイト思ヒマス。

○議長(佐野校長) 修正デスカ修正案ハモウ少シ前ニ出シテ居リマセスト——議題ニシテ採決シタ後ニ御出シニナルコトハ議事ノ進行上困リマス實ハ採決スル前ニ、一分位休ダ考デアリマス其間ニ何等御意見ガ出ナカッタノデアリマス——森下校長ノ案デ一遍消滅シタノガ又出テ參リマシテ補助總額ヲ増加スルコトニ第三項ヲ附加ヘルト云フ事ニ賛成ノ方モアリマス之ヲ議題ニシテ御諮リシテ見マス。
○甲三十五番(倉西松次郎君) 森下案ニ賛成。

○議長(佐野校長) 單ニ補助總額ヲ増加スルコト、理由ハ後トデ附ケル斯ウ云フ。
 ○甲十七番(岡田禎三君) 私ノ意見モ森下案モ違ヒマセヌカラ若シ森下案ガ成立ツナラバ……
 ○議長(佐野校長) アナタノハ否決サレタカラ御賛成ナラバ黙ツテ御賛成ニナレバ宜イ採決イタシマス森下校長ノ單ニ三項トシテ補助總額ヲ増加スルコト、斯ウ云フ一項ヲ加ヘル案、是ニ御賛成ノ方ヘ御起立ヲ願ヒマス。

起立者 多數

○議長(佐野校長) 多數デアリマス可決イタシマシタ、夫デハ直チニ第三讀會ニ移リタイト思ヒマスソレハ削除、字句ノ修正ト云フヤウナ御發議ノ方モアリマス省略スル譯ニ參リマセヌ第三讀會ニ於テ全體ニ字句ノ修正ヲ致シタイト思ヒマス、ドウゾ御意見ノアル方ハ。

○甲四十三番(森下勇馬君) 「現狀ニ於テ補助總額増加ノ必要アリ尙將來商業教育發展ノタメニモ補助總額ヲ増加スル必要アルガ爲メナリ」字句ハオカシイカ知リマセヌガ御修正ヲ願ヒマス——第一項ニ増額ノ事ヲ掲ゲタラドウカト云フコトニ、賛成者ガアリマスカ、ドンナモノデアリマスカ。

○甲十七番(岡田禎三君) 時間モ過ギテ居リマスカラ、旁々三讀會ハ御延期ヲ願ヒタイ。

(賛成)ト云フ者アリ

○議長(佐野校長) 今緊急動議ガ出マシテ三讀會ヲ延期シタイト云フノデアリマス賛成ガアリマスカ(賛成)ノ聲起ル

○議長(佐野校長) サウスルト三讀會ヲ延期スルト此次ノ會日ノ最初ニデモ以テ行キマスカソレニ御賛成ノ方ハ起立ヲ願ヒマス。

起立者 多數

○議長(佐野校長) 過半数デアリマス、是デ散會シマス。

○松浦専門學校長 私ハ此際一寸皆様ニ申シ上ゲタイ事ガアリマス、明日ハ休日デアリマシテ明後日モ續イテ會議ヲ御開キニナルコトデアラウト思ヒマスガ、明後日ハ御承知ノ通り宮中ニ於テ立太子ノ御饗宴ヲ催ホサレマスニ付キマシテ此御會ノ議長ヲ御願ヒシテ居リマス佐野校長モ御召シニ依テ其饗宴ニ列セラル、コトデアリマシテ議長モ當日ハ便宜他ノ方ニ御願ヒシナケレバナラヌト考ヘテ居ル譯デアリマス私モ同様ノ理由ニ依リマシテ此會ヘ出テ親シク御目ニ掛ルコトハ或ハ出來ヌカト考ヘテ居リマス明後日ハ諮問案ノ答申案モ全部決定サル、ノデアリマスシ其他又建議案、協議案等ニ付キマシテモ種々御意見モアリマセウシ、謂ハ、最終ノ會議ノ日デアリマシテ其翌日ニハ尙講演、大臣ノ訓示等モアリマシテ御寄りモアリマセウシ、正式ノ會議ヲ御開キニナルノハ明日ガ最終デアルト思ヒマス然ルニ其最終ノ日ニ於テ便宜議長ヲモ代ツテ御賞ヒシナケレバナラヌト云フヤウナ事ガ起リ尙私モ出席スルコトノ出來ナイコトハ甚ダ遺憾デアリマスガ何分此會議ノ日取テ極メマシタコトハズツト以前ノコトデ其後ニナツテ宮中ノ御饗宴ガ御決定ニナツタノデアリマス、今更其日ヲ避ケテ極メル譯ニ參リマセヌ右様ナ次第正式ニ會議ニ御集リニナツタ時、ドウシテモ出テ御挨拶申シ上ゲル機會ガ無カラウカト考ヘマスノデ今日是デ申シ上ゲルノハ時ヲ失スルヤウナ譯デアラウガ此處デ御挨拶ヲ致ス譯デアリマス右様ナ次第デアリマスカラ今日此際當局トシテ私カラ豫メ御挨拶申シテ置キタイト思フ譯デアリマス今回ハ態々御會合ヲ煩ハシマシテ連日非常ナル御勵精御勉強デ本省ヨリ提出イタシマシタ諮問案ニ對シマシテハ、ソレノ答申ヲ御出シ下サレ其他建議案協議案等ニ對シテ有益ナ事柄ヲ御討議下サルト云フコトデアリマス、此御協議ノタメニ良好ノ結果ヲ齎スコトト思ヒマス此段ハ當局トシテ深ク御禮ヲ申シ上ゲル次第デアリマス尙今後御歸任ニナリマシタ以上ハ一層此教育ノタメニ御盡力アラント切ニ希望シテ止マヌノデアリマス甚ダ妙ナ時ニ御挨拶ヲ申シ上ゲマスガ御禮ト尙今後ニ對スル希望トヲ述ベマシテ御挨拶ニ代ヘルノデアリマス。

正午十二時散會

十一月二十七日午前九時開議

○堀督學官 豫テ御承知ノ理由ニ依リマシテ、佐野議長御出席ガ不可能トナリマシテ、且又専門學務局長モ同様御差支ガアリマスノデ御出席ガアリマセヌカラ私ニ代ツテ議長ノ任ヲ盡セト云フコトデゴザイマス甚ダ不肖、且經驗モアリマセヌデゴザイマスガ、サウ云フ譯デ已ムヲ得ズ此席ヲ讀スコトニナリマシタ、ドウゾ宜シク御斟酌ニナツテ此諮問案其他ノ重要事項ヲ、徹底シテ御議決ニナルコトヲ希望シマス、一言開會ニ先ジテ御挨拶ヲ申シ上ゲマス。

(堀督學官議長席ニ着ク)

○議長(督學官) 開會イタシマス、本日ノ日程ト致シマシテハ此前ノ會ニ於キマシテ第二諮問案ガ第二讀會マデ濟デ居リマシテ、第三讀會ニ掛ツテ居ルノデアリマス御手許ニ廻シマシタ通り、第二諮問案ノ通りデアリマスガ、之ヲ三讀會ニ附スル譯デアリマス御意見ガアリマスレバ。

○甲十七番(岡田禎三君) 只今御配布ニナリマシタ第二諮問案ノ三讀會ノ字句ノ修正デアリマス本案ハ委員ノ御提出ノ通り第二讀會ニ於テ可決サレタノデアリマスガ字句ノ配合宜シキヲ得ヌト云フ理由ニ於キマシテ少シク字句ヲ修正イタシタ次第デアリマス此理由ニ付キマシテハ只委員ノ御提出ニナリマシタ案ヲ少シク布行シタニ止ツタ次第デアリマス一應報告イタシマス。

○議長(堀督學官) 是又御手許ニ廻ツテ居リマス第二諮問修正案ノ通り只今甲十七番カラ御説明ノヤウナ理由デアリマシテ、賛否ヲ御討議ヲ願ヒタイ一應朗讀イタシマス。

第二諮問修正案

一、實業教育國庫補助總額ヲ増加スルコト

理由

現在ノ國庫補助總額ハ僅々貳拾八萬餘圓ニシテ之ニ對スル全國實業學校總數五百有餘之ヲ一校ニ割當ツレバ一校平均一ケ年五百六拾餘圓ニ過キス然ルニ現在ノ狀態ニ於テモ尙補助ヲ要スル校數カラス故ニ斯カル少額ニテハ到底現在ノ要求ニ對シテモ之ヲ充タスニ足ラス況ンヤ國運隆昌發展ノ氣運ニ際會シ將來益實業教育ノ進歩改善ヲ謀ルノ必要アルニ於テヤ斯ル刻下ノ急務ニ適應センニハ第一教育ノ源泉タルヘキ教員ニ優良ナル人材ヲ得サル可カラス尙時局ニ鑑ミ校長教員ヲシテ廣ク海外ノ實情ヲ視察セシムルノ必要アリ之ヲ實現センニハ職員ノ年功加俸及ヒ海外視察旅費等ニ對シ國庫ノ補助ヲ仰カサル可カラス是レ國庫補助總額増加ノ必要ナル所以ナリ

二、各學校ノ經營狀態ニ應シ最モ必要ト認ムル費目ヲ指定シテ之ニ補助ヲ與ヘ臨時補助費目ノ限定ヲ廢シ其範圍ヲ擴張スルコト

理由

從來ノ補助ハ單ニ設立者ノ負擔ヲ輕減スルニ止マリ直接學校ノ施設經營ニ對シ補助ノ効果ヲ有効適切ナラシムルコト少ナキニヨリ之ヲ指定補助ノ方法ニ改メ經常臨時費目ニ互リ廣ク其範圍ヲ擴張シ校舍ノ設備、海外修學旅行、特殊教員ノ俸給、職員ノ研究、生徒ノ實習、器具器械、銃器圖書標本等ノ費目ニ就キ補助金ヲ交附スルヲ以テ最モ適切有効ナリト認ム

三、補助金額ハ設立者ノ經費負擔力不充ナル者ニ對シ其割合ヲ多カラシムルコト

理由

從來國庫補助金ノ交附ハ學校ノ豫算等ヲ標準トシテ交附セラレタルヤノ感アリ蓋シ補助ノ精神ヲ徹底シ其ノ効果ヲ全カラシメンニハ設立者負擔力ノ不充分ニシテ施設經營ニ困難ナル學校ニ對シ補助交附割合金ヲ増加スルヲ最モ適切ナリト認ム

○甲四十番(鍋島熊太郎君) 是ハ第二諮問修正案ノ修正案デアリマスカ。

○議長(堀督學官) 無論答申案ノ修正案デアリマス御修正ニ就イテ御意見ガアリマセヌカ。

(「異議ナシ」ト云フ者アリ)

○議長(堀督學官) ソレデハ第二諮問案修正案ガ成立イタシタト認メマス、第二諮問案ニ付キマシテハ只今修正案通り決定イタシマシタ——第三諮問案ニ付イテ御意見ヲ伺ヒマス。

第三諮問答申案

一、學制ニ關スル件

1、學科目ノ選擇、配列ヲ適切ナラシメ教材ヲ一層實際的ナラシムルコト

2、商業教育ノ普及ヲ圖リ併セテ女子商業教育ノ發達ニカムルコト

二、教員ニ關スル件

1、教員ノ學力増進ニ必要ナル施設方法ヲ擴張スルコト

2、實業補習學校教員養成ノ機關ヲ設置スルコト

三、生徒教養ニ關スル件

1、犠牲、責任、協同ノ精神及正義、堅忍不拔、秩序、勤勉等ノ道義心ノ涵養ニ一層力ムルコト

2、世界的知識ノ開發、海外修學旅行ノ實施及殖民ニ關スル研究ニ力メ以テ海外發展ノ氣風ヲ養成

スルコト

3、理科工藝ニ關スル知識ノ増進ニカムルコト

4、外國語ノ學力増進ニカムルコト

5、體育ノ標準ヲ高メ一層體力ノ増進ヲ圖ルコト

○甲二十七番(千野郁二君) 説明イタシマス學制ニ關スル件ノ第一デアリマス學科目ノ選擇配列ヲ適切ナラシメ教材ヲ一層實際的ナラシムルコト、是ハ説明申シ上グル迄モナク常ニ必要ヲ皆様御認メノ

コトデアリマス尙其運用トシマシテハ或ハ大勢ノ御意見ヲモ今回承リマシテ先般來サウ云フ御意見モゴザイマス是ハ商業學校ノ規定ノ第四條ニモ許サレテアリマシテ加ヘマス餘地モアリマス尙此豫科ヲ——本科ヲ五年ヲ通ジテ二年ニ延バシタイト云フコト、是ハ建議案ニモ詳細出テ居リマスガ、其等ノ事ヲ此處ニ入レマスコトハナカク容易ナラヌコトデアリマス單ニ茲ニ書キマシタヤウニ適切ナラシメ、實際的ナラシムルト云フ次第デアリマス其次ニ商業教育ノ普及ヲ圖リ併セテ女子商業教育ノ發達ニカムルコト尙商業教育ハ女子ガ段々發展シテ來マスカラ女子教育ト云フコトニ付イテ商業教育ヲ授ケル必要ガアルト思ヒマス、是等ハ例ヘバ歐米アタリデモ簿記ナドハ普通女子ガヤリマスマヤウニモ聞ヒテ居リマス其等ノ事ニ付テ將來女子ニモ商業教育ヲ授ケナケレバナラヌト思ヒマス第二教員ニ關スル件ハ一教員ノ學力増進ニ必要ナル施設方法ヲ擴張スルコト是ハ必要ナル良キ生徒ヲ出サントスルニハ根本的ニ教員ガ良クナケレバナラヌ尙各校長ノ御意見ノ中ニモ種々經驗談モアリマシテ今日トシテハ教員其人ヲ得ルト云フコトニ深ク力ヲ注イデ居ルト云フコトデアアル教員ニ重キヲ置クト云フコトハ至極尤モト存ジマシテ是等ヲ探リマシタ次第デアリマス尙之ニ付キマシテ五十四番等ノ意見モゴザイマスシ例ヘバ文部省ノ教員ノ講習ニ對シテモ出來得ルダケ便利ヲ與ヘラタイト云フコトヲ種々含デ居ルノデアリマスカラ此處ニハ一數ヘルコトハ出來マセヌガ當局ノ方ニモ御酌ミヲ願ヒタイト切ニ希望イタシマス夫カラ實業補習學校教員養成ノ機關ヲ設置スルコト是ハ既ニ各縣ニ於テアリマスコトデ説明ヲ要スル必要ハナイト信ジマス第三ニ生徒教養ニ關スル件一、犠牲、責任、協同ノ精神、及正義、堅忍不拔、秩序、勤勉等ノ道義心ノ涵養ニ一層力ムルコト是ハ先般御意見ニモ御述ベニナツタ通り孰レモ必要ナコトデアリマス二、世界的知識ノ開發、海外修學旅行ノ實施及殖民ニ關スル研究ニ力メ以テ海外發展ノ氣風ヲ養成スルコト是ハ説明スル迄モナイト存ジマス最モ必要ナ事デアリマス第三ハ理科工藝ニ關スル知識ノ増進ニカムルコト是モ理科ノ各般ニ付キマシテ力ヲ十分ニ入レナケレ

バナラス世ノ中デアリマス字内ノ事ニ鑑ミマシテモ亦今ノ時局ニ鑑ミマシテモ申ス迄モゴザイマセヌ
理科工藝ニ關スル知識ノ増進ニカムルコトハ之レヲ實驗サセルトカ或ハ理科ニ關スル教室其他ノ設備
ヲ完成スルコトモ必要デアリマシテ殊ニ今日ハ理科ト云フ方面ニカヲ注イデ居ルコトガ薄イト思ヒマ
ス、教室ナドモ理化學ナドハ別ニ設ケテアル學校ハ少イト思ヒマス、故ニ此際理科工藝ノ知識ヲ増進
セシムルコトガ必要デアリマス、第四ハ外國語ノ學力増進ニカムルコト外國語ニ付イテハ種々反對ノ
意見モナイデハ無イガ商賣スルニ外國語ハドレダケノ用ヲナスカト云フヤウナ議論モアツタノデアリ
マスガ、尙サウ云フ特殊ナル事ニ付キマシテハ先刻申シマシタ商業學校規定ノ第四條ニ依テ斟酌スル
ガ宜イト思ヒマス、特殊ノモノハ別トシマシテ外國語ノ力ヲ増進スルコトハ必要デアリマスカラ茲ニ
擧ゲタノデアリマス、第五體育ノ標準ヲ高メ一層體力ノ増進ヲ圖ルコト現在ニハ東京ニハヤツテ居リ
マスガ更ニ必要デアリマス、今日ヲ以テ満足スベキデゴザイマセヌ夫デドコニ置クカト云フコトハ是
モ大キナ問題ニナラウト思ヒマスガ斯様ニ定メタ次第デアリマス是デ先ヅ先般來出マシタ御意見ノ主
モナルコトハ皆包含シタ次第デアリマス。

○甲十八番(永田益一君) 私ハ委員ノ御方ニ質問シタイ此第三諮問案ヲ答申スルニ付イテハ第一先決
トシテ極メテ置カナケレバナラス事ガアルト思ヒマス、ソレハ現在並ニ將來ニ於ケル世界ノ大勢竝ニ
我帝國及國民ノ遭遇スル所ノ境遇而シテ我帝國ノ採ルベキ國是ヲ豫メ定メテ置イテ始メテ此問題ニ付
イテ十分答ガ出來ルト思フノデアリマス、殊ニ此歐洲大戰ノ各國ノ政治上產業政策上國民思潮ノ上ニ
及ボス影響ハドンナモノデアアルカ又我帝國ノ地位而シテ我國民ノ採ルベキ所ノ政治上竝ニ產業上ノ方
針ハドンナモノデアアルカト云フコトヲ極メテ初メテ解決ガ出來ルト思ヒマス、若シモ是ガナカツタナ
ラバ恰度舵ノ無イ船見タヤウナモノデ澤山ナ事ヲ臚列シテ置キマシタ所ガ單ニ勞多クシテ功ノ無イヤ
ウナモノデアリマス、殊ニ教育ハ時勢ニ適應スルヤウニシテ行クコトガ第一デアリマス、此根本問題

ガ解決サレナケレバ此問題ニ答ガ出來ナイト思ヒマス、委員ノ諸君ハ此問題ニ付テドウ云フ御考ヘガ
アツタカ御質問イタシマス。

○乙七番(廣田嘉一君) 只今質問ガアリマシタガ文部省ノ説明ニ——時局ニ付イテモ特ニ説明ガアリ
マシタヤウニ、ソレハ時局及將來ノ日本、無論現在ヨリ將來ノ日本ニ對スルト云フ番外ノ御説明モ承
リマシタ其範圍内ニ於テ慎重審議シタ次第デアリマス。

○議長(堀督學官) 只今甲十八番カラ御話シノ通り此問題ハ頗ル重大ト考ヘマスカラ十分ニ御討議ヲ
願ヒタイノデアリマス、今マダ九時四十分位デアリマスカラ此問題ノタメニ一時間位ハ費スコトガ出
來ルダラウト思ヒマスカラ此際十分ニ御意見ヲ承ツテ置イタ方ガ宜カラウト思ヒマス、尙委員ノ答申
案ハ大體ト云フ風ニ傾イテ居リマスカラ尙斯ウ云フ手段方法ニ付テモ意見ヲ承ツテ置イタ方ガ將來當
局ニ於テモ事ヲ爲スニ當ツテ都合ガ好カラウト思ヒマス。

○甲五十一番(宮田千年君) 調査委員ニ質問ガアリマス生徒教養ニ關スル内ノ五項ニ體育ノ標準ヲ高
メ一層體力ノ増進ヲ圖ルコトアリマス、之ニ對シテマダ十分ノ御説明ガナカツタヤウニ伺ツテ居リ
マス、一體體格ノ標準ハ何ヲ以テ標準トサル、カ、ソレカラ又委員ノ御考ヘハ何カ、ドコ迄ヲ高イト
云フ御方針デアアルカ、モウ少シ詳細ナル具體的ナ意見ヲ伺ヒタイ。

○甲二十七番(千野郁二君) 現在ノ標準ハ御存知ノ通り、ソレノ各學校ニ於テ體操ノ時間ガアルヤ
ウニ御定メニナツテ居リマス、或ハ何々ヲナスト云フコトハ現在ノ通りデアリマスガ、ソレヨリモ更
ニ進デヤルト云フコトハ例ヘバ是バカリデアリマセヌガ結局中學校等ハ標準ガ高イノデアリマス宜ク
存ジマセヌガ「ボート」ナドヲ正科ニ加ヘテ居ル所モアルカノヤウニ伺ヒマス、夫デドコガ一番宜イ
ト云フコトハ兎ニ角、現在ヨリモツトヤツタラ宜カラウ私ノ考ヘデハ近頃アリマス……其他室外運動
ガ必要デアアル若バ共同ノ精神ヲ養フニ付イテノ立派ナル運動モアリマス、先般何番デアリマシタカ、兵

式體操ノミナラズ實彈射擊モヤル必要ヲ認ムルト云フコトデアリマシタ、御同感デアリマス實ハ私共學校モ實彈射擊ヲヤラウト思ツテ思リマス次第デアリマス。

○甲五十一番(宮田千年君) マダ私ノ質問シマシタ要點ニ觸レナイヤウニ感ジマスカラ重ネテ質問イタシマス、體育ノ標準ト云フコトハ恐ラク體操ノ時間ガ何時間、武術ノ時間ガ何時間、或ハ野球、庭球ニ費ス時間ガ何時間ト云フコトガ標準デアリマセウガ、私ハサウ云フデアリマセヌ標準ト云フカラハ全體ノ生徒ノ身體検査ヲシタ結果全體ノ數ニ於テ強健ト稱スル者ガ何名デ、是ハ如何ナル方法デ體育ヲ獎勵シタカラ此歩合ガ良クナツタ或ハ惡カッタト云フコトデナイカト考ヘテ居リマス只體操ノ時間ヲ、現在ノ三時間ノミニ體育ヲ委ネテ居ル學校ハ恐ラクハ無カラウト思ヒマス多クノ學校ニ於テハ武術ヲ課シ、又庭球或ハベイスボール、種々ノ事ヲヤツテ居リマスデ、ドレガ標準デアツテ、ドレ以上シナケレバナラヌト云フコトガ此處デハ分リマセヌ、モウ少シ詳細ノ説明ヲ願ヒタイ。

○乙五番(松村明敏君) 只今御質問ガアリマシテ委員長カラノ御答モアリマシタガ私ハ委員ノ一人デアリマスガ故ニ、體育ノ標準ニ付キマシテ更ニ述ベテ見タイト思ヒマス體育ノ標準ト一種ノ規定サレタル標準ハ、ナカク申シ惡イノデアリマスガ是ハ各學校ノ體操科ノ教員ト學校長ノ探ラル、方針ニ據リマシテ、ソレノ差等ハアルデアラウト思ヒマスガ、概觀シマス二時間乃至三時間デアリマス、體操科ニ費シテ居ルヤウデアリマス此二時間乃至三時間、日ヲ異ニシテ居ル體操ヲ行フ時間ヲ連續シテ行フ其時間モ、十分トカ五分トカ休憩ガアリマスカラ、正味行フ所ノ純粹ノ體操ハ一時間以内デアリマス一時間ヲ出ズルト云フコトハ幾ドナイト云ツテ宜イ現在駈足モ只今體操ノ教員ガヤラセルニモ多ク十五分或ハ二十分間位デ後トハ徐行サセルト云フヤウナ所モアリマセウ或ハ三十分位駈足ヲサセテ居ル所モアリマセウ、サウ云フ三十分位ヤツタ所ハ更ニ四十分或ハ五十分マデ延長スルト云フコトガ大略標準ヲ高メルコトデアラウト思ヒマス、ソレカラ遠足ヲ行ヒマス五里位ノ範圍ニ於テ行

ハセル學校トシマスレバ更ニ一里若バ往復十二三里モ強行軍ヲヤラセルト云フコトモ是ハ體育ヲ進メル所以ト考ヘマス又一時間ノ體操ヲシタダケデハ、甚ダ物足ラヌ將來十分ニ堅忍不拔ノ精神ヲ養フ點カラモ、亦意志ヲ強固ニスル點カラモ二時間或ハ三時間體操ヲ連續シテ行ハシメ、サウシテ其間ニソレニ耐ヘルヤウナ或特定ノ演習時間ヲ設ケテ之ニ耐ヘシメルト云フヤウナ軍隊的ノ教練ヲ特ニ一部ニ於テセシムルト云フコトモノノ標準ヲ高メルコトニ思ヒマス要スルニ今日ハ舉國皆兵主義デ單ニ學校ノ體育ト軍隊ニ於ケル體育ト異ヒマスカラ差等ハアリマスガ中等學校ニ於ケル最上級ノ生徒モ稍ヤ壯丁ニ近い年齢ニモ達シテ居ル譯デアリマス或ル點マデハ高メテ障害物競争或ハ擊劍ノヤウナ體操モ其内ニ含メテ課スルト云フコトガ體育上必要デ、或ハ一種ノ冒險的思想ノヤウナモノモ其間ニ含メテ教養スル必要ガアルト認メマス要スルニ標準ト致シマシテモ必ズシモ年齢ニモ依リマス夫カラ其個人ノ健康ノ度合ニモ依リマスカラ一般ニ申ス譯ニ參リマセヌガ、各其學校デ探ラレテ居ル在來ノ標準ヨリ時間ニ於テ延長シテ或ハ年ニ於テ延長スルト云フ意味ニ諒解サレテ一層標準ヲ進メテ行クコトニ御解釋ヲ願ヒタイ其意味ニ於テ標準ト申シタノデアリマス。

○議長(堀督學官) 私ハ今日ハ議長兼番外ト云フ位地ニ立チタイト思ヒマス只今委員ノ御報告ヲ承リマスト軍隊教育ニスルト云フ御説デアリマスガ、サウ云フ所ハ一寸御答申案デハ承知ガ出來ナイヤウニ思ヒマスガ體育ノ標準ヲ高メ一層體力ノ増進ヲ圖ルコトト云ヘバ今御説明ノ意味ハ私ダケニハ宜ク了解ガ出來ヌヤウニ思ヒマス尙一言イタシマスガ此局時ニ鑑ミテ兵式體操、軍隊的教育ヲ施セバ良イカ惡イカト云フコトハ現在ニ於ケル教育界ノ大問題デアリマシテ恐ラク方針ガ未ダ何レノ點ニ於テモ決ツテ居ラヌト思ヒマス此時局ニ獨逸式ニ平生カラ危急存亡ノ場合ニ、戰爭ニ向フコトノ出來ルヤウナ體育方法ヲ講ズベキデアルカ今戰爭ガアルカラ、サウ極端ニヤラヌデモ宜イ是迄通リデ宜イト云フ問題ハ重大問題デアリマシテ今其問題ガ現ハレテ來マシタカラ特ニ諸君ノ慎重ナル討議ヲ煩ハ

シマス。

○甲十八番(永田益一君) 私ハ先キニ質問ヲシテ委員長ノ御答ヲ聽キマシタガドウモ私ハ甚ダ諒解シマセヌ此根本ノ大方針ヲ御定メニナラヌデ只御極メニナツタト云フコトデアリマスガ是ハ先キノ御見込ガ立タスト云フコトデアリマスガ或ハ忘却シテ御居デニナツタノカドウ云フコトデアリマスカ。

○乙七番(廣田嘉一君) 乙七番モ調査委員ノ一人デアリマスガ先程乙五番カラ此體育ノ標準ヲ高メルト云フコトニ就イテ御答辯ガアリマシタガ是ハ委員會デ反對ガ出タノデアリマス先頃乙五番ノ御説明ハ少シ委員會デ出タ以外ノ御答辯モアツタヤウデアリマスガ委員會デハ極ク簡單デアリマシテ、他ノ委員モ御承知デアリマセウガ、ナカ〜此現在ノ商業界ニ立ツテ商界ニ驅逐スルト云フ時分ニハ身體ガ弱クテハイケナイ、ソレデ現在ノ商業學校ノ生徒ハ幾ラカ弱イヤウナ傾キモアルカラ身體モ丈夫ニシナケレバナラヌ夫デ體格ノ検査ノ場合ニ各學校デ見テ居ル標準デモ例ヘバ現在見テ居ル者ヨリ、ヨリ多ク程度ヲ高メテ若シモ弱イ者ガ多クツタラ一層體力ノ増進ヲ圖ル斯ウ云フ風ニシヤウデナイカ兎ニ角現在ノ體格デハイカヌ、斯ウ云フ簡單ナ理由デ加ヘタヤウニ思ヒマス、ドウカ其承知ヲ願ヒタイ夫カラ第一ノ、今甲十八番カラノ話デアリマスガ無論將來ノ商業教育ハ何ウシタラ宜カラウ標準モ種々話モアリマシタガ又理由ノ方モ述べラレマシタケレドモ此ノ如ク大キナ問題デ所謂大キイ事デアリマスカラ論ジナケレバナラヌコトニナリマスカラ、ソレヨリハ極ク簡單ニ斯ウ云フ風ニ書イテ説明ノ時ニ委員ガソレ〜御話シヤウデヤナイカ、斯ウ云フコトニ止ツタノデアリマス夫デ其時ノ大體ノ話ハ今日ノ商業教育ハ多少遺憾ナ點ハアル立花サンカラモ御話ノアツタヤウニ幾分カ學科組織ナドモ變ヘテ見タイ斯ウ云フヤウナ話モアリマシタ、ソレハ非常ニ同感デアリマス現在ノヨリハ、ヨリ多ク實際ニ近い、ヨリ多ク有効ナモノニシタイ、抽象的ニ云フト、ソレデアリマス兎ニ角今日ノ商業教育ハ今一層進デ、實際ニ、今一層役ニ立ツヤウニスルコトガ出來ル餘地ガアル、又シナケレバナ

ラヌ、斯ウ云フ事ハ委員會デ一致シタノデアリマス、ソレデ其時ニ個人トシテ一々言ヒマセヌガ、區々ノ意見ガアリマシタ其時ノ話ハ、是ハ委員會ノ意見デアリマスカラ、其積リニ願ヒタイ是カラ述べルノハ私個人ノ意見デアリマスカラ誤解ノナイヤウニ願ヒタイ現在ノ商業學校ノ志望者ガ例ヘバ或商業會議所ノ會頭ガ自分ノ息子ヲ高等商業ニ入レタイガ商業學校ヘ入レタ方ガ、宜イカ中學ヘ入レタガ宜イカ、斯ウ云ツテ尋ネテ來タコトガアリマス其場合中學ヘ入レタラ宜カラウト返事ヲシマシタ即チ商業學校ヘ入レテ高等學校ヘ入レル、斯ウ云フ風ナ便利ナ學校ニ商業學校ガ出來テ居ラス、併ガラ中學ノ方ハ今日ノ學生ハ頗ル混沌トシテ居ツテ進デ高等教育ヲ受ケル者モアリマセウシ直チニ國民トナツテ社會ノ各事業ニ従事スルモノモ同ジ教育ヲ施ス、誠ニ混沌トシテ居リマスソレデ商業學校ヲ現在ノ儘デジツトシテ置イテハ、詰リオ隣リノ普請ガ出來ヌノニ、コチラノ普請ガ出來ル斯ウ云フコトニナルノデアリマス併シ進デ一層今日世界ノ商業ニ顧テ、ドウモ普通科ヲ大變ヤツテ商業科ノ時間ヲ取ツテ此儘ニシテ置クト云フコトデハ誠ニ困リマス一體進ダ商業學校ヲ立テナケレバナラヌノデアリマス斯ウ云フヤウナ事ハ、多少説明ヲ與ヘマシテ尙詳シク種々説モ出マシタガ兎ニ角尙一層學科ヲ良クシ實際ニ近い有效ナモノニスル方ガ宜カラウト云フコトヲ文字ニ書イテ説明シ又質問ガ出タ時ニ各委員カラ答辯シヤウ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス。

○議長(堀督學官) 如何デアリマス、大分質問モ意見モ出マシテ最早盡キタト思ヒマス、第二讀會ニ移シテ逐條討議ニシタラ宜カラウト思ヒマスガ。

(「賛成〜」ノ聲起ル)

○議長(堀督學官) ソレデハ第二讀會ニ移リマシテ逐條討議ニ致シマス先ヅ學制ニ關スル件一カラ御討議ヲ願ヒマス——御意見ガアリマセヌケレバ、原案通り可決シテ宜シウゴザイマスカ。

(「異議ナシ」ト云フ者アリ)

○議長(堀督學官) ソレデハ原案通り一ハ可決イタシマス次ハ第二デアリマス、御意見ガアリマセヌケレバ原案通り可決シテ宜シウゴザイマスカ。

(「異議ナシ」ト云フ者アリ)

○議長(堀督學官) ソレデハ原案通り可決イタシマス次ハ二教員ニ關スル件其一、カラ御討議ヲ願ヒマス。

○甲十八番(永田益一君) 教員ノ學力トアリマスガ是ハ學力ノミニ限ラレテアルヤウデアリマスガ此時局ニ對シテ適當ナル教員ト申シマスノハ殊ニ道德方面ニ於テモ教員自カラ是ガ指導者トナリ生徒ヲ率ユルト云フコトハ必要ト思ヒマスカラ、學力ノミノ事デナクモウ少シ道德ト云フ方面ニモ力ヲ用キナケレバナラヌト思ヒマス、夫デ學力ト云フコトハ少シ意味ガ狭クナリハシマイカ、モウ少シ意味ヲ廣クシテ教員ノ修養ト云フヤウナ文字ニシタラドウカト思ヒマス、其意味ニ修正イタシマス。

○議長(堀督學官) サウスルト只今ノハ、ドウ云フ風ニ直リマス。

○甲十八番(永田益一君) 兎ニ角學力ト云フコトヲ、モウ少シ廣ク、智力道德ニシタイ、斯ウ云フ意味ニ於テ修正シタイ。

○議長(堀督學官) 教員ノ修養ニ必要ナル施設方法トナリマスカ。

○甲十八番(永田益一君) サウナリマス。

○議長(堀督學官) 只今ノ修正意見ニ御賛成ガアリマスカ。

○乙十四番(谷澤米藏君) 賛成。

○甲四十番(鍋島熊太郎君) 賛成。

○甲十七番(岡田禎三君) 賛成。

○議長(堀督學官) ソレデハ議題トナリマシタ。

○甲十八番(永田益一君) 修養ト云フコトハ少シク不適當デアリマスカラ、教員ノ智徳ト致シマス。

○議長(堀督學官) 只今ノ三名ノ御賛成ハ修養ト云フコトニ御賛成ト認メマシタガ今修正者カラ智徳ト云フコトニ御訂正ニナリマシタ、ソレデモ御賛成デアリマスカ。

○甲十八番(永田益一君) ソレデハ元トノ通りニ致シマス。

○議長(堀督學官) 別ニ御異議ガアリマセヌカラ採決イタシマス只今ノ修正案「教員ノ修養ニ必要ナル施設方法ヲ擴張スルコト」之ニ御賛成ノ方ハ起立ヲ願ヒマス。

起立者 少數

○議長(堀督學官) 少數デアリマス別ニ原案ニ御異議アリマセヌガ。

(「異議ナシ」ト云フ者アリ)

○議長(堀督學官) ソレデハ原案通り可決イタシマス、次ハ「二、實業補習學校教員養成ノ機關ヲ設置スルコト」。

○甲十七番(岡田禎三君) 私ハ實業補習學校ヲ削ツテ適當ナル教員トシタイ單ニ補習學校ト云フト時局ニ關シテハ意味ガ狭イト思ヒマス。

○議長(堀督學官) 只今ノ甲十七番ノ實業補習學校ハ狭イカラ、ソレヲ廣イ意味ニシテハドウダト云フ修正デアリマス、サウスルト文章ニシマストドウスルノデアリマス。

○甲十七番(岡田禎三君) 改善擴張スル。

○議長(堀督學官) サウスルト實業學校教員養成ノ件ヲ改善擴張スルコト。

○甲十七番(岡田禎三君) サウデアリマス。

○乙三十一番(小林重之助君) 賛成。

○乙二十番(富田小一郎君) 賛成。

○甲三十五番(倉西松次郎君) 賛成。

○議長(堀督學官) ソレデハ議題トナリマシタ。

○乙十番(稻葉鶴次君) 現在實業教員養成機關ガアリマスガ、其現在ノ實業教員養成機關ヲ改善擴張スルト云フコトニナリマスガ、只今ノ御意見ハ。

○甲十七番(岡田禎三君) 改善ト申シマスト高等商業學校ノ一部ニ在ル商業學校制度ヲ更ニ獨立ノ教員養成所ニスルト云フノガ擴張ノ意味デアリマス、又其他ノ學校ノ教員ヲ改善スル斯ウ云フ意味。

○乙二十二番(佐藤青森商業學校長) 私モ今ノ修正案ニ賛成デアリマスガ、サウスルトソレニ付イテ述ベマスガ現在乙種ノ學校ニ適任ノ教員ヲ得ルハ困難ヲ感ジテ居リマス今日ノ商業教員養成所ハ…五十以上ト云フコトデアリマス卒業シタバカリノ乙種ノ商業教員ハ多クハ乙種…教員ヲ採用スルコトハ困難ト考ヘマス現在私ノ學校ナドハ非常ニ困難ヲ感ジテ居リマスノデ從テ商業教員ヲ得ルト云フコトハ餘程低イ私ノ學校デハ困難デアリマス今實業學校教員デナク程度ノ低イ乙種學校ノ教員ヲ補充テ、養成スルコトガ、目下ノ急務デナイカ此商業教員養成ハ其前ノ時ハ二年カト思ヒマス其時分ノ卒業生デアリマスト恰度都合ガ好イガ今日ハ程度ガ高クナッタ此場合養成所ヲ二ツニシテ甲種ノ教員或ハ乙種ニ適當ノ教員ノ養成ト云フコトハ必要ヲ感ジテ居リマス、其意味ニ於テ修正ヲ願ヒタイト思フ。

○議長(堀督學官) 如何デアリマスカ別ニ御異論ガアリマセヌケレバ、只今ノ修正案ノ賛否ヲ諮ヒタイト思ヒマス。

(「異議ナシ」ト云フ者アリ)

○議長(堀督學官) ソレデハ「實業學校教員養成ノ機關ヲ改善擴張スルコト」之ニ御同意ノ方ハ起立ヲ請ヒマス。

起立者 少數

○議長(堀督學官) 少數デアリマス。

○甲五十一番(宮田千年君) 更ニ一項ヲ附加ヘタイト思ヒマス其一項ハ「教員ノ待遇ヲ厚クシ優良ナル教員ヲ得ルニカムルコト」申ス迄モナク教育ノ内容ヲ改善セシムルニハ優良ナル教員ヲ得ルコトハ恐ラク異存ナキ事ト思ヒマス先ヅ此事ガ教員ニ關スル件デ最モ必要ト思ヒマス、現在教員ノ待遇ハ如何デアルカト申シマス、小學校教員ヨリ待遇ガ劣ツテ居ルト云フ有様デアリマス此ノ如キ待遇ハ如何テ優良ナル教員ヲ得ルコトハ困難ト思ヒマス、ソコデ總テノ點ニ於テ教員ノ待遇ヲ厚クスルト云フコトハ待遇ニ關スル制度ヲ改善シテ優良ナル教員ヲ得ルコトガ必要ト思ヒマス尤モ此事ハ國庫補助問題トモ幾分關係ガアルノデハ國庫補助ヲ使フト云フ方カラ出マスノデ時局ニ鑑ミテ必要ナ改善ト云フ所カラ出タノデナイト思ヒマスガ私共更ニ茲ニ附加ヘタ方ガ適當デアルト思ヒマス。

(「賛成」ノ聲起ル)

○議長(堀督學官) 議題ト致シマス。

○尾坪君 私ハ飛入りデアリマスガ、發言權ハアリマスガ。

○議長(堀督學官) 既ニ校長ニ任命サレテ居リマスノデ、今日特ニ御列席ヲ願フ譯デアリマスカラ無論御意見ヲ御述ベニナツテ差支ナイト思ヒマス。

○尾坪君 ソレデハ只今ノ宮田サンノ修正ノ如ク優良ナル教員ヲ得ルト云フコトハ當リ前デアリマス今更申スベキ事デナイト思ヒマス第一ニ教員ノ學力増進云々、是ガアル以上ハ特ニ附加ヘル必要ハナイト思ヒマス教員優待云々ト云フ事ハ寧ロ國庫補助ノ場合ニ大ニ論ズベキモノデアルト思ヒマス只今ノ宮田サンノ修正ニハ反對デアリマス。

○甲五十一番(宮田千年君) 尊敬スベキ尾坪君カラ有力ナル反對ガ出マシタガ是ハ大ニ誤解ト思ヒマ

ス何トナレバ教員ノ學力増進ニ必要ナル施設方法ト云フコトハ教員ノ待遇ヲ厚クスルト云フ事トハ全然異ツテ居リマス、教員ノ待遇ヲ厚クスルノ道ハ多々アルト思ヒマス必ズ混同スベキ問題デナイト思ヒマス吾々ハ優良ナル教員ヲ得ルト云フコトハ最モ必要ナル問題ト思ヒマス優良ナル教員ヲ得ルニハ社會ノ各階級ノ教員ノ待遇ヲ厚クスルト云フコトハ必要ナリト吾々ハ信ズルノデアリマス諸君ノ御賛成ヲ得タイ。

○尾坪君 私モ無論優良ナル教員ハ不必要トハ申シマセヌ無論必要デアリマスガ此際特ニ加ヘル必要ハ無イト云ツタノデアリマス。

○乙五番(松村明敏君) 私ハ追加案ニ賛成ヲ表スル者デアリマスガ委員トシテデナク平議員トシテデアリマス教員ノ待遇ヲ厚クスルト云フコトハ必要ト思ヒマスガ、ソレニ付イテ現在ニ於ケル所ノ公立學校ノ俸給令ヲ改メル必要ガアルト思ヒマス其理由ハ七ヶ年以上デナケレバ昇給ガ出來ナイト限定ガアリマス一旦其學校ヲ罷メル最後ニ居タ給料以上ハ支給スルコトガ出來ナイトナツテ居リマス此ノ如クニテハ惡教員ガ良教員ヲ驅逐スルト云フコトヲ現出シテ居ルモノト思ヒマス何トナレバ優良ナル教員ハ斯様ナル窮屈ナル俸給令ノ下ニ到底居タ、マラス他ノ最モ公平ナル社會ヲ求メテ出テ行ツテシマヒマス再ビ教育界ニ戻ラウトシテモ最後ニ得タル俸給ヨリ以上ニ取ルコトガ出來ナイト云フ窮屈ナル法令ガアリマシテハ惡教員ガ良教員ヲ驅逐スルコトニナルト思ヒマス故ニ此方法ヲ現實ニシヤウト思フナラバ俸給令ヲ改廢スルノ必要ガアルト思ヒマス當局者ハ果シテ如何ナル考ヘガアリマセウカ此點ニ付イテ十分御研究ニナツテ居ルト思ヒマス此ノ如キ俸給令ヲ出シテ置イテハ到底我國ノ教育界ハ改善スルコトハ出來ナイト思ヒマス敢テ茲ニ陳辯シテ當局者ノ反省ヲ求メルノデアリマス。

○議長(堀督學官) 別ニ御異論モ無イヤウデアリマスガ只今甲五十一番ノ御發案ニ係ル教員ノ待遇

ヲ厚クシ優良ナル教員ヲ得ルニカムルコト之ニ御賛成ノ方ノ起立ヲ願ヒマス。

起立者 多數

○議長(堀督學官) 多數デアリマス。

○甲三十五番(倉西松次郎君) 本員ハ此際二項ノ教員ニ關スル件ノ一二只今可決ニナリマシタノヲ三トシ其次ニ四ニ於テ斯ウ云フ一條ヲ加ヘタイト思ヒマス「文部省開催ノ講習會へ出席スル資格ノ制限ヲ廢スルコト」是ハ概略申シマスガ第一諮問案デ度々私共其希望ヲ述べヤウトシテ終ニ三讀會ニ至ツタ其發言ハ否決サレマシタガ幸ヒ茲ニ教員ノ時局ニ鑑ミテ實業教育上改善ヲ要スル點ハ如何ト云フ其教員ニ關シ改善ノ一方法トシテ此制限ヲ——文部省ガ講習會へ吾々商業學校ノ普通學科擔任教員ナドハ實業講習會へ出席スルコトガ出來ヌタメニ普通學科ト實業學科トノ連絡ヲ圓滿ナラシムルコトガ出來ナイ、密接ナラシムルコトガ出來ヌト云フヤウナ譯デアリマスカラ、ドウカ教員ノ修養トカ、或ハ學力増進ト云フ方面ニ於テ今一層ノ改善ヲ計ルタメニ文部省ハ此講習會ノ種々ノ制限ヲ全ク廢除サレシコトヲ希望シマス而シテ如何ナル學科目擔任ニモ拘ラズ自由ニ之ニ出席シ得ルト云フ途ヲ開イテ貰ヒタイ、斯ウ云フノデアリマス、ドウカ滿場諸君御賛成アラムコトヲ希望シマス。

○議長(堀督學官) 只今三十五番カラ「文部省開催ノ講習會へ出席スル資格ノ制限ヲ廢スルコト」ト云フ御發言デアリマシタ是ハ出席スル資格ノ制限ト云フノデアリマスカ。

○甲三十五番(倉西松次郎君) 只今申シタヤウナ主意デアリマスガ少シ字句ハ匆々ノ際デ推考ニ暇ノ無イノデアリマスガ、詰リ講習會へ出席スルモノハ擔任學科ノ如何ニ拘ラズ出席ガ出來得ル、斯ウ云フ風ニシタイノデアリマス尙一言附ケ加ヘテ置キマス此第一項ニ教員ノ學力増進ニ必要ナル施設方法ヲ擴張スル此内ニ或ハ斯ル事柄ガ含マレルコトニ考ヘラレマスガ併シ私ハ先刻委員ノ御説明ナドヲ概括シテ承ルニ、ドウモソレマデ及デ居ラヌカノ如ク想像シマス特ニ一方ニ於テハ講習會ノ方ニハ文部

省ニ於テ規定ガ儼然トシテアルノデアリマスカラ特ニ一項ヲ加ヘル必要ガアル斯ウ云フ見地カラ此動議ヲ提出シタノデアリマス。

○議長(堀督學官) 只今ノ御發議ニ賛成ガアリマスカ。

○乙十五番(望月貞君) 賛成。

○甲三十六番(岡田亮一君) 賛成。

○甲三十七番(秋元駒太郎君) 賛成。

○議長(堀督學官) 議題トナリマシタ。

○甲三十三番(小原右馬允君) 此一ノ項目ニ可決ニナリマシタ「教員ノ學力増進ニ必要ナル施設方法ヲ擴張スルコト」ト云フコトガアリマス、其中ニ含蓄シテ居ルモノトスレバ此動議ハ要ラヌモノト存ジマス私ハ反對イタシマス。

○乙十五番(望月貞君) 此一ノ中ニ今ノ追加ノ精神ハマルデアリマセウケレドモ一方ニ規定ガ現存シテ居ル以上ハ、斯ウ云フモノハ特別ニ明ラカニシテ置ク必要ガアルコトハ提出者ノ説明ノ通りデアリマス賛成イタシマス。

○議長(堀督學官) 別ニ御異論ハゴザイマセヌカ——ソレデハ只今ノ三十五番ノ動議ハ文部省開催ノ講習會へ……

○甲三十五番(倉西松次郎君) 講習會へ出席スル資格ノ制限ヲ廢スルコト……

○議長(堀督學官) サウスルト、斯ウ云フ意味デアリマスカ「文部省開催ノ講習會へ擔任學科ノ如何ニ關セズ實業學校教員ノ出席ヲ許可スルコト」。

○甲三十五番(倉西松次郎君) サウ云フ意味デアリマス。

○甲二十六番(中隈仙五郎君) 私ハ倉西君へ御相談ヲ致シ度ウゴザイマス大體ニ就イテハ賛成デアリ

マスガ、是デハ却テ目的ヲ貫徹スルコトガ出來ナイヤウニナリハセヌカト云フコトヲ氣遣ヒマス、ドウカ交譲シテ私ノ意ノ在ル所ヲ御賛成ニナツテ其意デ御賛成ヲ願ヒタイ、サウスレバ茲ニ倉西君ノ説モ立タウト思ヒマス、斯ウ云フ風ニシタラドウカト思ヒマス「文部省開催ノ講習會へ關係アル學科教員ヲ出席セシメラレタキコト」。

○甲三十五番(倉西松次郎君) ソレハ甚ダ徹底セヌヤウデアリマス。

○議長(堀督學官) 甲二十六番ニ申シマスガ、御二人ダケノ御相談デアリマスカ。

○甲二十六番(中隈仙五郎君) サウデアリマス、ソレガ出來ナケレバ單獨ニ……

○議長(堀督學官) 各個ノ御相談デアツテハ議事ノ進行ヲ妨ゲルト思ヒマス。

○甲二十六番(中隈仙五郎君) ソレナラ單獨ニ出シマス。

○議長(堀督學官) ソレデハ、ソレハ後トニシマシテ甲三十五番ノ提案カラ決ヲ採リタイト思ヒマス三十五番ノ説ニ賛成ノ方ノ起立ヲ請ヒマス。

起立者 少數

○議長(堀督學官) 少數、否決、次ニ甲二十六番ノ「文部省開催ノ講習會へ關係アル學科教員ヲ出席セシメラレタキコト」之ニ付イテ御意見ハアリマセヌカ。

○甲四十三番(森下勇馬君) 賛成。

○議長(堀督學官) 他ニ御賛成ガ無イヤウデアリマスカラ自然消滅デアリマス。

○乙二十六番(板谷節太郎君) 教員ニ關スル件ノ所デアリマス茲ニ學力増進ニ必要ナル施設云々トアリマスカラ、ドノ位マデノ意味カ知リマセヌガ私ノ解釋スル所デハ是ハ內的ト認マヌ實業學校ノ教員ハ、ドウシテモ世界的ノ知識ガ十分デナケレバイカヌノデアリマス兎ニ角世界ニ於ケル日本ノ位地ヲ解釋シテ、ソレカラ實務ニ當ラナケレバイカヌノデアリマス、其海外視察ナドハ、ナサレテ居ル方モ

アリマセウガ私ノ知ル所デハ未ダ少イノデアリマス、ドウシテモ教員ハ對外的ノ知識ガナイト生徒ニ及ボスコトハ難カシイノデアリマス、デスカラ私ハ此處ニ教員ノ海外視察ノ法ヲ講ズルコトト云フヤウナ項ヲ一ツ加ヘタイト思ヒマス。

○甲五番(磯江潤君) 私モ此第二讀會ノ時ニ質問ノ機會ヲ失ヒマシタカラ只今話シテ見ヤウ、思ツタ所デアリマスガ殊ニ私共私立學校ニハ關係ノナイ事デアリマスガ此只今ノ海外留學ノ事デアリ、スモ事ハ多分此邊ニモ委員ハ思ヒ居ラレルデアリマセウ生徒教養ニ關シテ海外視察留學等ノ必要ナルコトハ無論デアリマスカラ此内ニ含蓄サレテ居ルト思ヒマス時局ニ鑑ミト云フ以上ハ海外留學ト云フコトハ制度ヲ設ケタ方ガ宜カラウト思ヒマス既ニ中學校ニ於テモ二三海外ヲ視察シタ教員モアルヤウデアリマス殊ニ商業教員ハ時局ニ對シテ最モ必要ト思ヒマス其故ニ只今ノ案ハ賛成イタシマス。

○議長(堀督學官) 只今ノ旅行ト留學ト意味ハ違ウト思ヒマスガ。

○甲五番(磯江潤君) 左様デアリマス私ハ留學生ノ事デアリマス。

○乙二十六番(板谷節太郎君) 具體的ニ申シマスト教員ノ海外視察方法ヲ講ズルコト。

○議長(堀督學官) 只今教員ノ海外視察方法ヲ講ズルト云フニトノ發案ガ出マシタガ御賛成ガアリマスカ。

○甲四十三番(森下勇馬君) 校長教員ヲシテ海外ヲ視察セシムルコト、斯ウ云フコトニシタイト思ヒマス、ソレハ此第二讀會案ノ國庫補助ノ場合ニモ其事ハ語ツテアリマスシ、ソレニ適應セシムル上ニ尙之ヲ明確ニスル必要ガアルト思ヒマスカラ、サウ云フコトニシタラドウカト思ヒマス。

○議長(堀督學官) 先ツ乙二十六番カラ提出ニナリマシタ教員ヲシテ海外視察ノ方法ヲ講ズルコト、之ニ御賛成ガナケレバ自然消滅デアリマス。

○甲六番(杉山重義君) 賛成。

○甲五番(磯江潤君) 私ノ留學生ニハ賛成者ガ無イヤウデアリマスカラ撤回シテ海外視察ト云フ方ニ賛成イタシマス。

○議長(堀督學官) 只今甲四十五番カラ校長ト云フノガ加ハツタト思ヒマス、乙二十六番トハ少シ主意ガ違イマス先ツ校長ガ入ツテ居リマセヌ乙二十六番ノ提案、教員ノ海外視察方法ヲ講ズルト云フコト、之ニ賛成ガアリマスカ。

○甲五番(磯江潤君) 賛成。

○乙五番(松村明敏君) 賛成。

○議長(堀督學官) 定規ノ賛成ガアリマセヌカラ消滅シマシタ、ソレデハ甲四十五番ノ提案「校長教員ヲシテ海外ヲ視察セシムルコト」之ニ賛成ガアリマスカ。

(「賛成」ノ聲起ル)

○議長(堀督學官) 御賛成ガアルヤウデアリマスカラ議題ト致シマス御意見ガゴザイマセヌカ。

(「異議ナシ」ト云フ者アリ)

○議長(堀督學官) ソレデハ御賛成ノ方ノ起立ヲ願ヒマス。

起立者

多數

○議長(堀督學官) 多數ト認メマス。

○甲十七番(岡田禎三君) 教員ニ關スル最後ノ五項トシマシテ「實業學校職員ニ對スル位階勳一等級ノ取扱ヲ一般文官ト同一ナラシムルコト」ヲ加ヘタイト思ヒマス。

○議長(堀督學官) 甲十七番カラ「實業學校職員ニ對スル叙位叙勳ノ取扱ヲ一般文官ト同一ナラシムルコト」之ニ御賛成ガアリマスカ——賛成ガナケレバ自然消滅トナリマシタ教員ニ關スル件ニ付イテハ御意見ハゴザイマセヌカ。

〔ナシ〕ト云フ者アリ〕

○議長(堀督學官) ソレデハ「三、生徒教養ニ關スル件一、犠牲、責任、協同ノ精神及正義、堅忍不拔、秩序、勤勉等ノ道義心ノ涵養ニ一層力ムルコト」。

○甲二十五番(澤村秀雄君) 全體ニ關スル事デアリマスカラ一言希望シテ置キマス此第一項ヲ拜見イタシマスト大變結構デアリマスガスウ云フヤウニ擧ゲマスレバ、マダアリマス殊ニ犠牲、責任、協同ノ精神及正義、勤勉、不拔ト云フ風ニ勤勉トカ云フト精神ニ大變消長ガアルデアリマスガ之ヲ「實業道德ノ向上ニ力メ之ガ貫徹ヲ期スルコト」位ニ改メタイ。

○甲十八番(永田益一君) 私ハ此時局ニ顧ルト云フ事カラシテ此委員ノ御調ベノ道德ノ事ニ付イテハモウ少シ何カ足ラヌヤウナ氣ガシマス、ソレハ兎ニ角今後ハ國際競争ガ激シクナリ又我國民ハ激烈ナル競争者ニナツテ有利ナ地位ニ立タナケレバナラヌ運命ヲ有ツテ居ルデアリマス故ニソレニ適スルヤウナ教育ヲシナケレバナラヌト思ヒマス、ソレハ消極的ノ道德ヨリモ積極的の道德方面ニ力ヲ用イナケレバナラヌト思ヒマス斯ウ云フ風ニ犠牲、堅忍不拔ト云フ事モ尤モト思ヒマスケレドモ、モウ少シ進デ日本國民ガ發展スル所ノ立派ナ精神ガ此上必要デナイカト思ヒマス、ソレデ私ハ「剛健進取ノ氣象」ト云フ語ヲ入レテ置キタイト思ヒマス、他ハ是迄ノ通りデ宜シイ。

○乙五番(松村明敏君) 私ハ犠牲、責任、協同ノ次へ「服從」ト云フコトヲ入レタイト思ヒマス其理由ハ、今度歐洲大戰ヲ視察シテ歸ツテ來マシタ、過日全國商業會議所聯合會ニ講演サレタ秋山少將ノ演說ナルモノガ今朝ノ新聞ニアリマシタ、ソレヲ情ヲ見マシタガ、確カニ獨逸ノ強イト云フノハ何モ恐ロシイ事ハナイ、アノ聯邦國民デアルニ拘ラズ服從ト云フ觀念ガ十分ニ行互ツテ居ル此點ハ畏敬スベキコトデアルト云フ事ヲ述ベテ居ラレル我邦ノ軍隊ノ強イノモ服從ノ觀念ト思ヒマス其故ニ私ハ服從ト云フ意味ヲ濃厚ナラシムルタメニ我教養ノ新方針ノ下ニ置キタイト思フデアリマス、夫デ服從ノ

二字ヲ特ニ附加ヘタイ。

○甲四十三番(森下勇馬君) 永田案ト松村案ニ賛成シマス。

○議長(堀督學官) 只今ノ動議ハ、甲二十五番ノ「實業道德ノ向上ニ力メ之ガ貫徹ヲ期スルコト」ト云フ修正案ガ出テ居リマス其他ニモニツアリマスガ、順次採決シマス此二十五番ノ説ニ御賛成ガゴザイマスカ。

○乙十番(稻葉鶴次君) 賛成。

○甲二十六番(中隈仙五郎君) 賛成。

○乙九番(倉石源造君) 賛成。

○議長(堀督學官) ソレデハ議題トナリマシタ是ハ自然甲十八番及乙五番ト一緒ニナル譯デアリマスガ其可否ニ付テハ御動議ガアリマセヌカ。

○乙五番(松村明敏君) 二十五番ノ説ニ依レバ茫漠的ニナリ不明瞭ナコトニナリマス、吾々ノ採ル所ノ方針ニ據レバ無論商業道德ノ向上發展ヲ期スルト云フコトニモ當ツテ居ルデアリマス文部省ガ特ニ時局ニ鑑ミト云フコトヲ吾々校長會議ニ御諮問ニナツテ居ルコトハ、特ニ濃厚ナラシムル點ガアル、其濃厚ナラシムル點ヲ御聽キニナツテ居ルノデ一般ノ道德トカ、一般ノ思想ヲ養成スルト云フコトハ寧ロ校長會議ニ諮フ必要ハナイ吾々トシテモ答申スル必要ハナイヤウニ思ヒマス特ニ斯ウ云フ點ニ重キヲ置クト云フ所ノ特長ヲ吾々バ御答ヘスル方ガ最モ良イト思ヒマス斯ル茫漠タル答ヲスルト云フコトハ御諮問案ノ精神ニ戻リハシナイカト思ヒマス故ニ二十五番ノ説ハ、此際ノ答申案トシテハ不適當ト思ヒマス其説ニ反對シマス。

○甲二十五番(澤村秀雄君) 只今ノ説ニ付イテ意見ヲ述ベマスガ漠然タリト云フ反駁デアリマスガ私ハ、サウハ思ハナイ各學校長ガ出來ルトカ出來ナイトカ、ソナ事ハ一々吾々ハ此處デ校長ノ考ヘデ

商業道德が缺ケテ居ル、我邦ノ道德ノ衰ヘタルハ、ソレニ起因スルト云フコトヲ此際答申スレバ宜イ
ノデアル。

○議長(堀督學官) 要スルニ總括的ト列舉的ト、ドツチガ宜イカト云フ御議論デアリマスガ、別ニ御
異見ガアリマセスケレバ賛否ヲ諮ヒマス、甲二十五番ノ「商業道德ノ向上ニカメ、是ガ徹底ヲ期スル
コト」是ニ御同意ノ方ノ起立ヲ願ヒマス。

起立者 多數

○議長(堀督學官) 多數デアリマス、ソレデハニ移リマス、二、世界的知識ノ開發、海外修學旅行
ノ實施及殖民ニ關スル研究ニカメ以テ海外發展ノ氣風ヲ養成スルコト」御意見ガゴザイマセスケレバ
原案ニ決シマス——原案通り決定イタシマス、第三「理工工藝ニ關スル知識ノ増進ニカムルコト」。

(「異議ナシ」ト云フ者アリ)

○議長(堀督學官) 別ニ御異見ガナイヤウデアリマスカラ原案通り可決イタシマス第四「外國語ノ學
力増進ニカムルコト」。

(「異議ナシ」ト云フ者アリ)

○議長(堀督學官) 別ニ御異議ガナケレバ原案通り可決イタシマス、第五「體育ノ標準ヲ高メ一層體
力ノ増進ヲ圖ルコト」

○甲五十一番(宮田千年君) 先程此項ニ付キマシテ二回ノ質問ヲ致シマシテ稍ヤ意ノアル所ヲ確カメ
マシタガ體育ノ標準ヲ高メルト云フコトハ現在學校デヤツテ居ルモノヲ、モウ一層餘計ニヤルト云フ
コトデアリマス此ノ如クシテヤツタナラバ、仕舞ニハ學科ヲ廢シテシマツテ體育ノミヲヤルコトニナ
リハシマイカト思ヒマス左様ヲ答申ヲ文部大臣ニ出スコトハ私共校長トシテ忍ビザル所デアリマス只
委員ノ或一人ハ、標準ハ、サウ拘泥シナイヤウニ御話デアリマス只ボンヤリ體育ノ増進ヲ圖ルト云フ

ヤウデアリマス、ソレナラ賛成デアリマス、ドウカ體育ノ標準ヲ高メト云フコトハ止メニシテ一層體
育ノ増進ヲ計ルコト、云フコトニ、今適當ノ文字ハ考ヘラレマセヌガ標準ト云フ文字ハ取りタイト思
ヒマス尙ホ番外ノ意見ヲ拜聽シタイ。

○議長(堀督學官) 只今甲五十一番カラ番外トシテノ意見ヲ徵サレマシタガ是ハ現下體育問題ニ於ケ
ル一ノ大問題ト思ヒマスガ學校ニ於ケル體操ト軍隊ノ體操或ハ兵式體操トノ連絡如何ト云フコトハ頗
ル考慮ヲ要スルト思ヒマス若シ學校ニ於ケル體育ガ軍隊ノ體操或ハ兵式體操ト歩調ガ揃ツテ居ツタ
ラバ或ハ此兵役年限ノ如キモ、短縮サレルヤウニナル利益ガアリハシナイカト、私平生自分デ思ツテ
居ルノデアリマス私等一年志願兵ニ往ツタ經驗ガアリマスガ、行ツタ三ヶ月位ハ歩調ノ稽古ト云ツテ
歩キ方ヲヤラセルノデアリマス歩キ方ガ良イトカ惡イトカ云ツテ直サレルヤウナコトガアリマスガ此
ノ如キ事ハ學校ニ居ル時ニ十分出來ルコトデナカラウカト思ヒマス、サウスレバ三ヶ月ハ直グ節約ハ
出來ル譯デアリマス國家有事ノ秋ハ國家ノタメ干戈ヲ執ラナケレバナラヌコトハ云フ迄モナイコトデ
アリマス體育ニモナリ、且有事ノ場合ニ合フト云フ方法ヲ採ツタラ宜クナイカ是ハ大ナル疑問デ
アリマス即チ軍隊的精神及軍人ト云フ單純ナル體育ト云フ事ノ他ニ加味シテ往ツタラ此黨育ノ上カラ
言ツテ只今御説ノ通り協同服従ト云フヤウナ美德モ知ラズ識ラズノ間ニ慣レルコトデナイカト思ヒマ
ス御經驗ノアラセラル、諸君ノ御考ヘハ如何デアリマスカ若シサウデアルトスレバ單ニ體育ノ標準ヲ
高メルトカ體力ノ増進ヲ圖ルト云フコトノ他ニ、モウ少シ色彩ヲ施シタ方ガ善クハナイカト云フコト
ニナルノデアリマス併シ是ハ非常ニ重大ナ問題ト思ヒマス簡單ニ申セバ軍隊的空氣ガ教育界ニ侵入ス
ル程度ガドウデアアルカト云フコトニ歸著スルノデナイカト思ヒマス。

○甲五番(磯江潤君) 私ハ先達、實彈射擊或ハ發火演習ノ事ヲ主張シタノデアリマスガ實ハ常ニ之ヲ
主張シマシテ、軍事的兵式體操ニ一層力ヲ致シ且體力ノ増進ヲ圖ルト云フヤウナ意味ニ致シタイト思

ヒマス、ソレデ「兵式體操ニ一層力ヲ致シ且體力ノ増進ヲ圖ルコト」斯ウシタイ。

〔賛成〕ト云フ者アリ

○甲四十三番(森下勇馬君) 修正案ヲ提出シマス「一層身體ノ鍛練ヲ力メ且體力ノ増進ヲ圖リ體育ノ標準ヲ高ムルコト」其理由ハ體育ノ標準ト云フコトハ宮田君ノ云ツタヤウニ解スル方ガ正當ト思ヒマス。

○議長(堀督學官) 四十三番ノ説ニ御賛成ガアリマスカ。

〔賛成〕ノ聲起ル

○議長(堀督學官) 賛成ガアリマスカラ議題ト致シマス。

○甲二十五番(澤村秀雄君) 只今ノ修正ハ刻下ニ適切ナルヤウニ一應思ハレマスガ、遺憾ナガラ不賛成ノ意ヲ表シマス何トナレバ體育ノ必要ナル一層體力ヲ増進スルト云フコトハ申ス迄モナク必要ノヤウニ感ジマスガ併ガラ兵式體操ヲ今ヨリ一層時間ヲ増シ今ヨリ一層盛ニナラシメ學校ナルモノヲ幾ド軍隊ノニ改メルト云フコトハ頗ル考フベキコト、思ヒマス學校ノ教育ト軍隊ノ教育トハ自カラ其精神ヲ異ニシテ居ルト思ヒマス、之レヲ急ニ、獨逸ガ今日ノ強大ヲ致シタノハ軍事教育ノ結果デアアル我國ノ學校モ總テ兵士同様ニ取扱フト云フコトハ頗ル考ヘベキコトデアラウト思フノデアリマス承ル所ニ依ルト獨逸ハ中學校ハ勿論、今日ハ小學校ナドニ木銃ヲ持タシテ居ルト云フ説モ大分アルヤウデアリマスガ是ハ大分反對ガ多イヤウニ思ヒマス、又外國ニ於テモ餘リ無イヤウニ思ヒマス過日高等師範ノ長井教授ガ、獨逸デハ小學校ニハサウ云フコトハヤツテ居ラス中等教育ニ只ヤツテ居ルト云フヤウナコトデアリマス殊ニ日本ノ中等教育ニ於テハ、餘リ兵式ノニ教育ヲスルト云フコトハ避ケテ居ルト思ヒマス、是ハ餘程深イ考ヘガアルヤウニ見受ケマス今我國ノ實業學校ノ生徒ニ兵式ヲヤツテモ今デモ少シ多ウ過ギルカト思ヒマス私ノ考ヘデハ中等學校ハ普通ノ體操ヲ餘計課シテ強健ナル身體ヲ養ヒ

且剛健ナル氣風ヲ養ツテ置ケバ、一旦緩急アル秋ハ、イツ何時デモ之ヲ徴シテ然ル可キ訓練ヲ與ヘラレル英國ノ今日ノ有様ヲ觀テモ直チニ其眞理ヲ發見スルコトガ出來ル其精神ガ剛毅デナク而カモ身體ガ虛弱デアリマスレバ何ニモナラヌノデアリマス寧ろ吾々ハ中等教育ニ於テハ今日ノ體操ヲモット改善シ實效アル體操ヲ施シテ、サウシテ身體ヲ強健ナラシメ剛健ナル氣象ヲ養フコトニ、シツカリシテ置キマスレバ其準備サヘ出來テ居リマスレバ國家有事ノ秋ニハ有爲ナル人物ガ出來ルト思ヒマス私ハ是非鑄型ニ入レテ兵式體操ヲ課シテ、軍隊ノ生徒ヲ拵ヘルト云フコトハ考フベキコト、思ヒマス、ソレヨリモウ少シ體育ヲ力メ其體育ノ效果ノ徹底ヲ期シサヘスレバ決シテ急ニ軍事的教育ヲ施ス必要ハナイト考ヘマス故ニ兵式訓練ヲ致ストカ、獎勵スルト云フコトハ入レ度ナイト思ヒマスカラ反對シマス。

○甲五番(磯江潤君) 只今御意見ヲ伺ヒマシタガ私ハ今日ノ商業學校ノ教練ト云フモノハ幾ド名ノミデアツテ實際ニ十分行ハレテ居ラヌト思ヒマス且又ソレヨリ一層力ヲ致スト云フコトハ、時間ヲ莫大ニ増加スト云フ意味デ無イノデアリマス、只今ヨリ、モウ一層シツカリト此軍事的體操教練ヲ致シタイト考ヘマス無論剛健ノ思想養成トカ體力ノ増進ト云フコトハ普通體操ニ依テモ軍事體操ニ依テモ、サウ大層差ヒハ無イト思ヒマス其故教練ハ總體弱屈ナヤウナ傾キガアリマスカラ學生ハ最モ嫌フノデアリマス此方ニモウ少シ力ヲ致シタイト云フ考ヘデアリマス。

○乙五番(松村明敏君) 甲五番ニ賛成スルノデアリマスガ字句ヲ少シ修正シタイト思ヒマス「兵式教練ニ力ヲ致シ一層體力ノ増進ヲ圖ルコト」ト云フヤウニ致シタイ。

○議長(堀督學官) ソレデハ其字句ハ後トニ廻ハシマセウ、甲五番ノ發案「軍事的教練ニ一層力ヲ致シ且體力ノ増進ヲ圖ルコト」之ニ御同意ノ方ハ起立ヲ願ヒマス。

起立者 少數

○議長(堀督學官) 少數デアリマス、次ニ甲四十三番ノ提案ガアリマス「一層身體ノ鍛練ヲ力メ且體力ノ増進ヲ圖リ體育ノ標準ヲ高ムルコト」之ニ御賛成ガアリマスカ——別ニ賛成ガナイヤウデアリマスカラ自然消滅デアリマス、他ニ御意見ハゴザイマセヌカ。

○甲五十一番(宮田千年君) 體育ノ標準ヲ高メト云フ字ヲ削ツテシマヒタイト思ヒマス、主意ハ標準ト云フ文字ヲ削ルト云フノガ大意デアリマス。

○議長(堀督學官) ソレデハ「一層體力ノ増進ヲ圖ルコト」云々デ宜シウゴザイマスカ。

○甲五十一番(宮田千年君) ソレデ宜シウゴザイマス。

○議長(堀督學官) ソレデハ賛成ガアリマスカ。
〔賛成ノ聲起ル〕

○議長(堀督學官) ソレデハ議題ニ致シマスガ別ニ御意見ハアリマセヌカ——ソレデハ「一層體育ノ増進ヲ圖ルコト」ト云フコトニ御賛成ノ方ノ起立ヲ請ヒマス。

起立者 多數
○議長(堀督學官) 多數デアリマス。

○甲十七番(岡田禎三君) 今三讀會ニ移ラントスルニ當ツテ一言意見ヲ申シテ置キタイ第三讀問案「時局ニ鑑ミ實業教育上改善ヲ要スル點如何」ト云フコトハ本會ニ於テ最モ重大ナル問題ト考ヘマスガ此委員ノ提案ハ頗ル要ヲ得テ居リマシテ至極結構デアリマスガ尙一層附加ヘテ置キタイト思フ點ガアリマス、ソレハ或ハ恐ラク此校長會議ニ於テ發表スベキ意見デナカラウカト考ヘマスケレドモ併シ一應意見ヲ申シ上ゲテ置キタイ私ハ實業教育ノ事ニ付イテ建議案ヲ出シタノデアルガ不幸ニシテ委員ハ御採用下サラスデ此處ニハ出テ居リマセヌガ、ソレハ斯ウ云フコトデアリマス實業教育ヲ確立スルタメ實業教育局ヲ設置スルコト、云フノデアリマス過日岡商工局長ノ意見ニモ歐洲戰爭後ハ經濟戰爭ニ

産業政策ヲ加味スルコトガ必要デアルト云フ意見デアリマス農商務省ハ既ニ産業政策ヲ樹立シテ或ハ工藝ニ或ハ農業ニ或ハ其他ノ事ニ於テ色々準備シテ居ル我文部省ニ於テモ定メシ之ニ對スル所ノ準備ハ致々トシテ御力メニナツテ居ルト考ヘマスガ吾々斯ウ云フ機會ニ於テ出來得マスレバ尙一層國家ノ實業教育ノ政策ヲ明ラカニシテ實業教育ノ發達ヲ尙一層完全ニシタイト思フノデアリマス、ソレニ付キマシテハ今後彼ノ軍隊陸軍ニ於テモ海軍ニ於テモ、ソレノ秩序整然トシテ或ハ軍令部ニ或ハ參謀本部ニ、ソレゾレ戰鬪ノ系統ヲ立ツテ致々トシテ力メテ居リマス今後産業戰爭ニ入ツテ往ク際ニ彼ノ實業政策ニ伴ヒ實業教育ノ政策ヲ確立シテ居リマセヌナラバ大ニ遺憾ナ點ガアルト思ヒマス果シテ然ラバ此産業ニ從事スル所ノ人ハ誰デアルカ即チ吾々ガ從事スル實業學校ノ卒業生ガ此戰鬪ニ向テ進撃スルノデアリマス或ハ支那ニ於テ或ハ米國ニ於テ或ハ英國ニ於テ戰鬪ニ從事スル者ハ實業學校ノ卒業生デアリマス故ニ國家ハ此商業教育ニ對スル政策ヲ確立シテ、ドウ云フ學校ヲドコニ設ケル、或ハドウ云フ風ニ教育ヲシテヤツテ往クカ、ドコノ學校ニハドウ云フコトガ必要デアル或ハ南洋ニ發展スルニハ南洋語ノ研究ヲスルカ或ハ露西亞ニ向テ發展スルニハ露西亞語ノ必要ガアル或ハ支那ニ向テ發展スルニハ支那語ガ必要デアアル近ク實業家ガ是等ノ方面ニ向テ發展セントシテモ此語學ノ卒業生ガ居ナイ支那ニ向テ銀行ヲ設ケントシテモ支那語ヲ知ツテ居ル者ガナイ南洋ニ向テ仕事ヲシヤウトシテモ南洋ノ語學ヲ知ツテ居ル者ガナイ固ヨリ是等ノ支店長トカ次席ニハ高等學校卒業生ガ當ルコトデアラウガ、其以下ニ從事スル者ハ所謂甲種學校ノ卒業生デアリマス是等ノ學校ニ於キマシテ若シ將來國家ガ此方面ニ貿易ヲ擴張シテ往クカ或ハ南洋ノ貿易ヲ進メルト云フコトニ付イテ是ガ戰士トナルベキ者ガ語學ニ缺クル所ガアリ、體格ニ缺クル所ガアッタナラバ假令貿易ガ進歩シテモ輸出ガアリマシテモ今後ノ競爭ニ於テ勝ヲ制スルコトハ頗ル困難デアルト思ヒマス、斯ウ云フ點ニ於テ若シ商業教育ヲ進メテ行クニハ宜シク國家ガ是等ノ政策ヲ樹立シテ指導ヲ與ヘ或ハ注意ヲ促スト云フコトハ最モ機宜

ニ適シタ方法デナイカト思ヒマス、依テ茲ニ實業教育局ヲ設置スルコトヲ第四項ニ加ヘント思フノデアリマス。

○議長(堀督學官) 實業教育政策ヲ確立シ實業教育局ヲ設置スルコト、云フ案ガ出マシタガ私ハ番外トシテ一言申上ゲタイノデアリマス無論當局ニ於テ實業教育政策ハ既ニ確立シテ居ルモノト信ジテ居リマス實業教育局ハ今ナイノデアリマスカラ之ヲ設立シナケレバ實業教育ノ發展ヲ圖ルコトガ出來ナイト云フ御考ヘデアリマスレバ其意味ニ於テ議論ハ立チマスガ實業教育政策ヲ確立スルト云フコトハ如何デアリマセウカ政策ハ自カラアル事ト信ジマスガ。

○甲十七番(岡田禎三君) 實業教育局ヲ置カナケレバ國家ノ政策モアリマセウケレドモ其政策ヲ實行スルコトガ出來ナイト考ヘマス。

○議長(堀督學官) ソレデハ、ヤハリ意志ハ變ラヌ御考ヘデアリマスカ。

○甲十七番(岡田禎三君) サウデス。

○議長(堀督學官) ソレデハ此發案ニ賛成ガアリマスカ。

○甲三十五番(倉西松次郎君) 賛成。

○甲四十五番(鈴木弼君) 賛成。

(「賛成」ト云フ者アリ)

○議長(堀督學官) ソレデハ成立シマシタ議題ト致シマス。

○乙三番(井手力之助君) 岡田君ノ一番最初ノ會ノ時ニ御發言ニナリマシタコトハ委員モ大ニ尊重シマシテ委員會ニモ其説ハ出タノデアリマスケレドモ只諮問事項トシテ附議サレタ時局ニ鑑ミ實業教育ノ上改善ヲ要スル點如何トゴザイマスカラ之ヲ今其内へ或ハ實業教育局ヲ設クルト云フト、實業教育ノ改善ト云フ主意ト、少シ、オ門違ヒニナルヤウニ思フ、ソレデ是ハ重大ナ問題デアルカラ別ニ研究シタ

ラ宜カラウ此内ニ附加ヘテ置クコトハ不當デアラウト云フコトデ不賛成デナカッタガ殊更ニ入レナカッタノデアリマス只今ノ事ハ、別ニ御建議ニナツタ方ガ宜イト云フノデ此中ニハ入レヌ方ガ宜イト云フ委員ノ説デアリマスカラ一寸申シ上ゲテ置キマス。

○甲十七番(岡田禎三君) 只今ノ御説明ハ能ク分リマシタ實ハ先刻ノ委員長ノ報告ニソレガ無カッタカラ。

○議長(堀督學官) 乙三番ハ其御建議案ハ御提出ノ運ビニナツテ居リマスカ。

○乙三番(井手力之助君) 只今成ツテ居リマセヌ、別ニ岡田君カ、ドナタカラカ出ルダラウト云フノデ委員ノ方ハ入レナカッタニ止ルノデアリマス。

○議長(堀督學官) 如何デアリマス、方法ハ兎ニ角トシテ之ニ付テ御意見ハアリマセヌカ——別ニ御異見モ無イヤウデアリマスカラ賛否ヲ諮ヒタイト思ヒマス甲十七番ノ提案、實業教育政策ヲ確立シ實業教育局ヲ設立スルコト、之ニ賛成ノ御方ハ起立ヲ願ヒマス。

起立者 少數

○議長(堀督學官) 少數デアリマス他ニ御意見ハアリマセヌカ(「異議ナシ」ト云フ者アリ)ソレデハ第三議會ニ移リマス。

○甲五十一番(宮田千年君) 大分時間モ經チマシタカラ第三議會ヲ省略シテ字句ノ修正ハ議長ニ一任シタイト思ヒマス。

(「賛成」ノ聲起ル)

○議長(堀督學) ソレデハ御賛成ガアリマスカラ第三議會ハ省略シマシテ字句ハ議長ニ於テ訂正スルコトニ御異議アリマセヌカ。

(「異議ナシ」ト云フ者アリ)

○議長(堀督學官) ソレデハ御異議ナイ事ト認メマス尙念ノタメニ申シ上ゲマス原案ニ對シテ變更ノアリマシタノハ、一ノ學制ニ關スル件ハ其儘原案ヲ採リ二ノ教員ニ關スル件ハ一ノ次ヘ三ト四ガ加ハツテ居リマスガ三ハ「教員ノ待遇ヲ厚クシ優良ナル教員ヲ得ルニカムルコト」是ハ字句ハ此儘デ宜カラウト思ヒマス、四ハ「校長教員ヲシテ海外ヲ視察セシムルコト」是モ此通りデ宜カラウト思ヒマス、夫カラ三ノ生徒教養ニ關スル件デアリマス一ガ全ク修正ニナリマシテ「實業道德ノ向上ニカメ是ガ徹底ヲ期スルコト」是モ此通りデ宜カラウト思ヒマス夫カラ最後ノ五デアリマス「體育ノ標準ヲ高メ」ト云フ八字ヲ削ツテ「一層體力ノ増進ヲ圖ルコト」是モ此儘デ宜カラウト思ヒマス、ソレデ御異議アリマセヌカ。

〔異議ナシ〕ト云フ者アリ

○議長(堀督學官) ソレデハ其意味ニ於テ第三諮問案ハ可決ニナリマシタ、暫ク休憩イタシマス。

午前十時四十五分休憩

午前十一時開議

○議長(堀督學官) 開會イタシマス。

○甲四十六番(村松彌一郎君) 四十六番ハ議事ニ對シ意見ガアリマス此順序ニ依リマスト、協議事項ノ一カラ建議事項ニ移ルノガ順序ノヤウニ考ヘマスガ建議事項ハ吾々校長會議多年ノ心血ヲ濺イデ居ル問題デアリマスカラ、殊ニ今回ノ御諮問ニハ最モ關係ノ深イノデアリマスカラ、此際順序ノ變更ヲ願ヒマシテ建議事項カラ先キニシテ然ル後協議事項ニ移リタイト思ヒマス。

〔賛成ノ聲起ル〕

○議長(堀督學官) 別ニ御異見モ無イヤウデアリマスカラ建議事項カラ先キニシマス尙議事ノ進行ヲ計リマス爲メニ議會ノ區別ヲ省略シテ討議採否ヲ決スルコトニ致シタイト思ヒマス。

〔異議ナシ〕ト云フ者アリ

○議長(堀督學官) 然ラバサウ云フコトニ致シマス。

○乙三番(井手力之助君) 建議事項ニ付イテ申シ上ゲタイノデアリマスガ是ハ私モ起草委員デ乙種ニ關スル私ノ提出ニ係ルノデアリマスガ授業時數ニ關シ第七條ノ三十時間ヲ三十三時間ニ改メルト云フコト此主意ガ徹底シマセヌタメニ自然消滅ニナツテ居ルノデアリマス第七條ノ三十時間ヲ三十三時間ニ改メルト云フコトヲ削除シ夫カラ修正ノ理由ト云フ所ノ四行目「授業時數ノ増加シタルハ實科ヲ教授スル爲メニ多クノ時間ヲ要スルニ因ル」是ダケヲ自然削ルコトニナリマス夫カラ補習科云々ハ先達テサウ云フヤウナ所モ有リ得ルト云フコトデアリマスカラ、アレデハ徹底シマセヌデ此事ヲ一寸申シ上ゲテ置キマス。

○議長(堀督學官) 先ヅ建議事項第一カラ御諮リシマス。

全國商業學校長會議ニ於テ曩ニ答申セル商業學校規程ノ改正ヲ速カニ實施セラレ度件ニ付建議本件ハ曩ニ明治四十四年十一月全國商業學校長會議ニ於テ御諮問ニ對シ答申ノ處未タ實施セラレサル爲メ教授上ノ缺陷少カラス目下益其必要切ナルモノアリ仍テ更ニ此建議ヲ提出スル所以ナリ現行商業學校規程中左ノ通改正スルノ必要アリト認ム

第二條ヲ左ノ通改正ス

第二條 甲種商業學校ノ修業年限ハ五個年トス但シ土地ノ情況ニ因リテ二個年以内延長スルコトヲ得入學資格ヲ修業年限二個年ノ高等小學校卒業者ニ定ムルトキハ前項ノ修業年限ヲ三個年トナスコトヲ得

第四條 學科目、歴史ノ次ヘ理科、圖畫ノ四字ヲ加フ

同條但書本科目ノ外他ノ科目ヲトアル次ヘ又女子ニアリテハ音樂、家事、裁縫其ノ他ノ科目ヲノ

文字ヲ挿入ス。

第五條ノ入學資格ヲ左ノ通改ム

第五條 甲種商業學校ニ入學スル者ノ資格ハ年齢十二年以上ニシテ尋常小學校ヲ卒業シタルモノ又

ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノタルベシ

第七條ノ三十時間ヲ三十三時間ニ改ム

第十條乃至第十四條ヲ削除シ更ニ第十條、第十一條、第十二條ヲ左ノ通新ニ制定ス

第十條 商業學校ニ選科ヲ置キ教科目中ノ一科若クハ數科ヲ選擇シテ學修セシムルコトヲ得

第十一條 選科ノ修業年限ハ其ノ學校ノ修業年限以内トス

第十二條 商業學校ニ一箇年以内ノ補習科ヲ置クコトヲ得

但シ補習科ノ學科目ハ甲種商業學校ニ在リテハ第四條乙種商業學校ニ在リテハ第八條ノ學科目中

ニ付之レヲ定ムヘシ

附

前記規程第二條ノ修業年限ノ改正ニシテ萬一行ハレ難キ場合ニハ規程第四條ノ學科目ハ從來ノ儘
トシ但書ノミヲ改正シ女子ニ關スル科目ヲ挿入スルコト又同十三條豫科ノ學科目ノ規定ノ末尾へ
又女子ニアリテハ音樂、裁縫其ノ他ノ科目ヲ便宜加設スルコトヲ得ノ文字ヲ加へ本案第十條、第
十一條、第十二條ハ便宜適當ノ個所へ挿入スルコト

又本改正案行ハレタルトキハ明治四十年九月文部省令第二四八號公立私立實業學校教員タルコト
ヲ得ル者ノ指定第二號實業學校豫科ノ教員タルコトヲ得ル者ニハ本案第二條第一項甲種商業學校
第二學年以下ノ教員タルコトヲ得セシメ得ル規定ニ變更セラレタキコト

規程改正ノ理由

規程第二條ノ修業年限ヲ改メ同第五條ヲ改正シテ尋常小學校卒業生ヲ直ニ第一學年へ收容セント
スルハ國民教育修了ノ上ニ基礎ヲ置カントスルモノナリ同第四條ノ學科目ヲ追加シタルハ女子ノ
學校ノ成立ヲ認メタルニヨル第七條ノ授業時數ノ増加シタルハ實科ヲ教授スル爲ニ多クノ時間ヲ
要スルニ因ル第十條ノ選科ヲ認メタルハ臺灣、朝鮮及支那人ノ入學者ノ爲ニ其ノ進路ヲ開クノ必
要ヲ認メタルニ依ル第十二條ノ補習科ノ規定ヲ置キシハ從來甲種ニノミ認メタリシヲ乙種ニモ認
メタルニ過キス現今高等小學校ハ修業年限ヲ二箇年又ハ三箇年トシ且ツ二箇年ノ補習科ヲ認メタ
ルニ徴スルモ乙種商業學校ニ補習科ノ必要ハ大ニ之アルヘシ現ニ此ノ必要ヲ認ムル所尠カラズ

○甲四十六番(村松彌一郎君) 私ハ委員長トシテ此建議事項第一ニ對シ簡單ニ説明ヲ致シマス只今委
員長代理トシテ御述べ下サイマシタ井手君ノ勞ニ對シ感謝ヲ致シマス去リナガラ今ノ内第七條ニアリ
マス三十時間ト云フコトハ、乙種ノ意味ト云フ事デモゴザイマシタガ本則ノ方ハ約三十時間ハ本則ニ
シテ豫科ノ時間ヲ三十三時間ニシヤウ、吾々甲種ノモノトシテハヤハリ此項ヲ保存シテ置カナケレバ
ナラヌノデアリマスカラ其事ヲ御承知ヲ願ヒタイ其以外ノ事ハ別段説明申シ上ゲマセヌ申シ上ゲナイ
方ガ却テ大ニ吾々ノ必要ノアルコトヲ皆様ノ頭ニ貫徹サレテ居ル次第デアリマス、大體此案ヲ早速御
可決アラムコトヲ。

○議長(堀督學官) ソレデハ委員長ノ御考ヘデハ此儘デ宜イト云フノデアリマスカ。

○甲四十六番(村松彌一郎君) サウデアリマス。

○甲二十八番(市村芳樹君) 委員長ニ御相談シマスガ第七條ハ井手君ノ説明ノ如ク乙種ノコトニナツ
テ居ルト思ヒマスガ。

○甲四十六番(村松彌一郎君) ソレデハ考ヘ違ヒヲ致シマシタソレデハ第七條ノ説明ハ間違ヒマシタ
○議長(堀督學官) サウスルト委員長、ドウナルノデアリマスカ。

○甲四十六番(村松彌一郎君) 第七條ノ乙種ハ删除テ宜シウゴザイマス。

(「原案賛成」ト云フ者アリ)

○議長(堀督學官) 別ニ御異見ハゴザイマセヌカラ第七條ヲ除イテ、他ハ原案通り御賛成ノ方ハ起立ヲ願ヒマス。

(「字句ノ修正ハ議長ニ御委セシマス」ト云フ者アリ)

起立者 多數

○議長(堀督學官) 多數デアリマス、ソレデハ第一建議案ハ可決イタシマシタ次ハ第二建議案ニ移リマス。

文部省開設ノ實業學科教員講習會ノ技術ニ關スル科目(例ヘハタイプライティング速記珠算等)ノ如キモノ)ヲ加ヘラレムコトヲ建議スルコト

右建議スルコトニ決ス

理由

タイプライティング及ビ速記ノ如キハ時勢ノ進歩ト共ニ其必要愈大ナルニ至レリ又珠算ノ如キモ教員ニ益深ク之ヲ研究セシムル要アリ仍テ可決ス

○甲二十番(齋藤繁八君) 文部省開設ノ實業學科講習會ノ技術ニ關スル科目ヲ加ヘラレムコトヲ云フノデアリマス大體ノ目的ハ實際ニ關スル各學科ハ各學校ニ少クモ有志者ニ教ヘル必要ガアルヤウニ思ヒマス速記モマダ一般ニ用キラレマセヌヤウデアリマスガ段々必要ガ感ゼラレテ參リマシタ珠算ノ方モ講習ナドヲ受ケマシテ一層教授ノ效果ヲ大ナラシムルト云フ意味ニ於テ委員會ニ於テハ可決イタシマシタ。

(「原案賛成」ト云フ者アリ)

○甲四十六番(村松彌一郎君) 御決議ニナリマス前ニ一寸願ツテ置キタイ此「タイプライティング」速記ト云フ所ニ、モウ一ツ實踐ト云フ如キ文字、ソレダケヲ入レテ頂キタイ。

(「賛成」ノ聲起ル)

○議長(堀督學官) ソレデハ議題ト致シマス只今ノ中ヘ速記珠算ノ下ヘ實踐ト云フ文字ヲ加ヘルト云フコト、之ニ賛成ノ方ノ起立ヲ願ヒマス。

起立者 少數

○議長(堀督學官) 少數デアリマス、ソレデハ原案通り御異議アリマセヌカ。

(「異議ナシ」ト云フ者アリ)

○議長(堀督學官) ソレデハ御異議ナイモノト認メ可決イタシマシタ、次ハ建議案ノ第四ニ移リマス。一、小學校實業補習學校職員在勤年月數ハ公立學校職員退隱料及遺族扶助料法第五條ノ勤績年數ニ算入スルコトニ改正ノ件

右委員會ニ於テ調査ノ結果本案ヲ採納建議スルコトニ決定ス。

理由

現行法規ニヨレバ小學校、實業補習學校在職者ニシテ他ノ公立學校ニ轉任シタル者ノ奉職年數ハ前後ヲ通算シテ勤績トナサズ單ニ在職者ト見做スガ故ニ退隱料支給上拾五年以上奉職年數ニ對シテハ勤績ト在職者トニヨリ其支給率ヲ異ニス然ルニ公立學校ノ多クハ小學校又ハ實業補習學校教員中ノ有資格者ヲ採用スル場合尠ナカラズ殊ニ實業學校ニ於ケル普通學科ハ是等ノ人々ノ力ニ待ツコト多キモ小學校教員退隱料ハ法規改正ノ結果高率トナリタルニヨリ益々權衡ヲ失シ爲メニ優良ナル教員ヲ採用スルコト困難トナリタリ而シテ今ヤ教員優置ノ途ニツキ種々ノ方法講究セラルルノ時ニ當リ本建議案ノ如ク改正スルコトハ最モ適當ナル方法ナルノミナラズ如何ナル學校ニ奉

職スルモ是均シク國家ノ教育ニ從事スル者ナレバ其學校ノ性質ヲ異ニスルカタメニ退隱料率ヲ異ニスルハ決シテ當ヲ得タルモノニアラズト信ズ依テ本建議案ヲ採納ス

○甲三十五番(倉西松次郎君) 建議案第四ノ委員ヲ代表シテ説明致シマスガ是ハ極メテ簡單ナル事理整然トシテ明瞭デアリマシテ既ニ報告書ニ要領ハ盡シテアリマスカラ、ソレニ依テ御承知ヲ願ヒマス。

○議長(堀督學官) 御異議ハアリマセヌカ。

(「異議ナシト」云フ者アリ)

○議長(堀督學官) 御異議ナイト認メマス原案通り可決イタシマス、第三ノ建議案ニ付イテ只今委員長カラ報告ガアリマス。

府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法中第十四條ヲ左ノ如ク改メラレンコトヲ其筋ニ建議スルノ可否

第十四條 府縣立師範學校及公立中學校ノ學校長正教員小學校ノ本科正教員タルベキ資格ヲ有スル保姆舍監及書記ニシテ在職一年以上ノ者在職中死去シタルトキハ其遺族ニ對シ在職年數ニ應ジ退職給與金ト同額ノ金員ヲ給與ス

終身退隱料ヲ受クル者又ハ終身退隱料ヲ受クベキ者死亡シタルトキハ亦前條ニ準ス但既ニ支給セラレタル退隱料ハ之ヲ控除ス
右委員會ニ於テ審議ノ末建議スルヲ可ト決ス

理由

現行ノ規程ニ依ルトキハ在職十五年未滿ニテ職務ノ故ニアラズシテ死去シタルトキハ其遺族ニ對シ在職最終ノ俸給年額百分ノ一ヲ在職年數ニ乗ジタル額ヲ給與スルコトナレリ然ルニ病氣ノ爲メ又ハ官廳ノ都合等ニ依リ退職シタルトキハ退職給與金トシテ其當時ノ俸給月額半ケ月分ヲ在職

年數ニ乗ジタル額ヲ給與セラル即チ前者ハ年收百分ノ一ヲ給シ後者ハ二十四分ノ一ヲ給與スル割合トナルナリ然ルニ普通ノ人情ニ從フトキハ病氣退職ノ場合ヨリモ寧ロ死亡ノトキニ厚キハ當然ナラン然ルニ現行法ニ依ルトキハ前者ニ厚ク後者ニ薄シ是レ此改正ヲ望ム理由ノ一ナリ

次ニ在職十五年以上ニシテ死去シタルトキハ遺族扶助料ノ規程アルモ一時給與金ノ規程ナシ故ニ全ク遺族ナキカ又ハ其遺族ニシテ扶助金ヲ受クベキ資格ナキトキハ一時給與金ノ支給ヲ受ケザルノミナラズ又扶助料ノ給與ヲ受ケザルコト、ナルナリ是レ此改正ヲ望ム理由ノ二ナリ

○甲四十番(鍋島熊太郎君) 第三ノ建議案ハ少シク字句ノ修正ヲ致シテ建議スルコトニ致シマシタ前ニ出テ居ル建議案ニ修正イタシマス「府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料中第十四條ヲ左ノ如ク改メラレムコトヲ其筋ニ建議スルノ可否」斯ウ改メマシタ「十四條ヲ削除シ」云々改メ別ニ「第十五條ヲ加ヘ」云々ト云フコトヲ除キマシテ「左ノ如ク改メラレンコトヲ其筋ニ建議スルノ可否」後トノ十五條ノ文字ヲ取りマシテ其文句ハ「第十四條ノ第二項ニスル積リデアリマス理由ヲ一應茲ニ書イテアリマスカラ申シマスガ現行ノ規定ニ依ル時ハ在職十五年未滿ニテ職務ノ故ニアラズシテ死去シタル時ハ其遺族ニ對シ在職當時ノ俸給年額百分ノ一ヲ在職年數ニ乗ジタル額ヲ給與スルコト、ナレリ然ルニ病氣ノタメ又ハ官廳ノ都合等ニ依リ退職シタル時ハ在職給與金トシテ其當時ノ俸給月額半ケ月分ヲ在職年數ニ乗ジタル額ヲ給與セラル即チ前者ハ年收百分ノ一ヲ給シ後者ハ二十四分ノ一ヲ給與スル割合トナルナリ然ルニ普通ノ人情ニ從フトキハ病氣退職ノ場合ヨリモ寧ロ死亡ノトキニ厚キハ當然ナラン然ルニ現行法ニ依ルトキハ前者ニ厚ク後者ニ薄シ是レ此改正ヲ望ム理由ノ一ナリ次ニ在職十五年以上ニシテ死去シタルトキハ遺族扶助料ノ規程アルモ一時給與金ノ規程ナシ故ニ全ク遺族ナキカ又ハ其遺族ニシテ扶助金ヲ受クベキ資格ナキトキハ一時給與金ノ支給ヲ受ケザルノミナラズ又扶助料ノ給與ヲ受ケザルコト、ナルナリ是レ此改正ヲ望ム理由ノ二ナリ」斯ウ云フ譯デアリマス從

來ノ規程ニ依リマス、在職十五年未滿者ガ死亡イタシマシタ時ニハ一時金ハ只其時ノ俸給百分ノ一ヲ年數ニ乗ジタ額ヲ給與スルコトニナツテ居リマス即チ官吏恩給法ノ規定ニ准ズルト云フトニナツテ居リマスガ、サウナルト、ソレカラ尙十五年以上ニ至リマス、一時給與金ハ無クテ只遺族扶助料ヲ給スルコトニナツテ居リマス所ガ若シ其得ベキ遺族ガナケレバ何モ給シナイ遺族扶助料モ給スルコトガ出來ナイト云フコトニナルノデアリマスソレデ此改正ハ在職一年以上ノ者死去シタル時ハ在職中死去シタル時ハ其遺族ニ對シ在職年數ニ應ジ退職給與金ト同額ノ金員ヲ給與スルト云フノデアリマス即チ在職一年デモ十五日デモ十四年デモ在職中死亡シタ時ハ退職給與金ト同様一時給與金ヲ給與シタイ在職給與金トシテ俸給何ケ月間ヲ年數ニ應ジテ給與スルノデアリマス現行法ハ十五年未滿トアリマス、十五年以上モ給與スルコトニ致シタイト思フノデアリマス、サウ致シマスト十五年以上ニナツテ一時金ヲ給與スルト退職料ヲ受取ル時ハ、ドウナルカト云フ疑問ガ起リマス其場合ハ終身退職料ヲ受取ツタナラバ、ソレダケ一時金カラ差引ク例ヘバ一時金ガソコニ千圓アルト致シマスレバ其内終身退職料三百圓ナラ三百圓ダケ取ツタ額ガアレバ差引イテ後トノ七百圓ヲ貰フ、ズツト千圓以上ニ達シテ居レバ一時金ハ與ヘナイデモ宜イノデアリマス只十五年以上ニナツテ死亡スル或ハ恩給ヲ受取ル場合モアリマスカラ恩給ヲ受ケヌ場合ニ死亡シタ時ニ一時給與金ヲ受クルコトガ出來ナイ、サウシテ一時給與金ヲ受ケナイ場合バカリデナイ適當ノ遺族ガ無イト云フ遺族ノ妻トカ或ハ丁年未滿ノ實子デナケレバナリマセヌガ、妻ガナク、サウシテ實子モ丁年以上ニ達シテ居ルト遺族扶助料ヲ給シナイノデアリマスカラ權衡ヲ失スルト思ヒマス十五年未滿ナレバ兎モ角一時給與金ヲ幾ラカ給與セラル、モノデアツテ十五年以上ニナルト何等ノ給與ヲ受ケナイ是ハ實際ノ場合モアツタノデアリマス或ハ反對デアリマス、其給與ハ夫ニ與ヘルト云フコトガ無イ、遺族扶助料トシテ夫ガ受ケルト云フ場合ガ無イノデアリマス夫人デ死亡シタ時分ニ子供ガ無クテ夫ダケニ自分ニハ遺族扶助料ハ何モ給與サル、コトガ無イノデア

リマス、ソコデ此改正ヲシタ所以デアリマス、ドウゾ滿場ノ御賛成ヲ願フノデアリマス。

○甲四十五番(鈴木弼君) 報告ハ印刷ニ成ツテ居リマセヌシ、今ノ御説明ハ少シ御聲ガ低ク皆様ニ御分リガ無カッタヤウニ思ヒマスガ委員ノ一人トシテ今御説明ノ主旨ヲ皆様ニ申シ述ベテ置キタイト思ヒマス第十四條建議ノ主旨ハ在職一年以上十五年未滿ノ者ガ病氣退職ナドヲシタ場合ニハ俸給半月分在職年數ニ乗ジタモノヲ一時賜金トシテ貰ツタ然ルニ、其等ノ人が死亡シタ場合ハ俸給ノ百分ノ一ニ在職年數ヲ乗ジタモノヲ一時賜金トシテケルコトニナツテ居ル病氣退職シタ者ヨリ死亡シタ者ガ割合ガ惡クナツテ居リマス、其點ヲ改メテヤハリ病氣退職ノ時ト死亡ノ時ト同ジヤウナコトニシテ半月分ヲ支給スルコトニシタイト云フ修正デアリマス至極結構ナコト、思フノデアリマス、ソレハ普通文官ノ一時賜金ハ、ヤハリ公立學校ノ職員ト同ジニナツテ居リマスケレドモ小學校教員ダケハ此度改正シヤウト云フ主旨ト同ジニナツテ居リマス、斯ウ云フ精神デアリマス。

〔原案賛成〕ト云フ者アリ
○議長(堀督學官) ソレデハ御賛成ト認メテ原案通り可決シテ宜シウゴザイマスカ。
〔異議ナシ〕ト云フ者アリ

○議長(堀督學官) ソレデハ原案通り可決確定ニナリマシタ、ソレデ建議事項ハ濟ミマシタ此度ハ協議事項ニ移リマス、第一カラ議題ニ供シマス。

一、商事要項教授要目中ニ商店實務ニ關スル事項ヲ加フルノ可否如何若シ之ヲ可トセバ如何ナル事項ヲ適當トスルカ

○乙十四番(谷澤米藏君) 簡單ニ説明イタシマス協議案ノ第一、從來商事要項ト云フ科目ヲ教ヘルノニ文部省ノ教授要目ヲ見マシテモ亦教科書ヲ見マシテモ、亦要項ノ實際ノ事業ヲ參觀シテモ其商事要項ノ事業タルヤ議論の方面ニ傾イテ居ツテ實際商人タルノ思想ガ商店ニ於テノ行ヒト云フヤウナモ

ノニ於テ、ソレガ缺ケテ居ルト云ツテハ言ヒ過ギルカモ知ラヌガ手ガ及バヌヤウニ感ジマスノデ前ニ御手許ニ、自分ノ學校デ其缺點ヲ補ハンガ爲メニ商店經營法トシテ其等ノ事柄ヲ論ジテ置キマシタ、未ダ經驗ノ淺イコトデアリマスガ確カニ現今ノ商業學校ニ於テ生徒ヲ教育スルニ於テハ必要ナ項目デアル、斯ウ信ジテ居ル、ケレドモソレニ付イテ皆様ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマシテ自分ハ提出者デアリマスノデ委員會ニ於テ實際ハ自分ノ學校ノ草稿ヲ案ト致シマシテ御協議ヲ願ヒマシタ所ガ大體商業學校ハ從來理論ニ偏シタル傾向ガアツテ遺憾ガ多イカラ實務ニ關スル事ハ成ル可ク多ク加味スルガ宜イト云フコト、只其教授スル事項ハ、ドウ云フ内容ヲ具ヘタ方ガ宜イカト云フコトハ詳シク研究シテ意見ヲ伺ヒタイト思ヒマスガ其事柄ハ乙種ト甲種ノ學校ノ程度ニ依リマシテ一概ニ一様ニ其事項ヲ是レト云フ風ニ極メル譯ニハ行カヌカト思ヒマス夫カラ斯ウ云フ實務上ノ事柄ハ教師ニソレダケノ人ヲ得ナケレバ出來ヌ、其教員モ無イ、夫カラ經費ノ關係ト云フコトハ、實務上ノ器具「タイブラータ」トカ、色々サウ云フ物ヲ購入スル經費ノ關係ソレカラ教科書ガ商店ノ實務ニ關シタ事項ノ加ハツタモノガ少イヤウニ認メル、加之其教科書ノ内容ヲ斟酌シテ學校ガ適宜ニ取捨斟酌ヲスルヨリ外ハアルマイト云フ委員會ノ意見デアリマス。

○甲三十五番(倉西松次郎君) 只今委員長カラノ御報告ハ大變良ク拜聽シマシタソレニ付キマシテ岡崎市立商業學校ノ商店經營法ト云フヤウナモノヲ御配布ニナリマシタ大ニ參考トスル所デアリマスガ實ハ此協議案第一ト此經營法トハ此際關連イタシテ居ルモノト考ヘマシテ此中ノ一項ヲ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス實ハ分リマセヌカラ御教ヘテ願ヒタイ次第デアリマスガ第三篇販賣法、六カラ貸倒豫防法ト云フノガアリマス之ヲ一ツ簡單デ宜シウゴザイマス御説明ヲ。

〔問題外〕ト云フ者アリ

○議長(堀督學官) 細目ニ付テハ色々御説モアリマセウガ大體ニ付テ賛否ヲ諮ツテ宜シウゴザイマス

カ。

〔賛成〕ト云フ者アリ

○議長(堀督學官) ソレデハ御賛成ノ方ハ起立ヲ願ヒマス。

起立者 多數

○議長(堀督學官) 多數、ソレデハ協議事項第二ニ移リマス。

帳簿ニ記入スヘキ數字ヲ一定スルノ可否 可ト認ム

理由

現今帳簿ニ記入スル數字區々ニ且リ之ガ爲メ被ル不便利甚ナシトセス依テ全國商業學校ニ於テ先ツ之ヲ一定シ漸次他ニ及ホサンコトヲ期ス

○甲二十番(齋藤繁八君) 私ハ一應説明イタシマス帳簿ニ記入スル數字ヲ一定スルノ可否ト云フ事デアリマス、此問題ハ些々タル問題ノヤウデアリマスガ現在ノ有様ニ於テハ各般帳簿ニ記入スル數字ハ區々ニナツテ居リマシテ、實業社會ニ出テ不便ヲ感ズルノデアリマス、ソレガ爲メ其會社ナラ會社ノ數字ヲ練習スルニ付イテハ長イノハ半歲位、短イノハ二三ヶ月間此數字ヲ練習シナケレバナラヌ、是ハ巧イ、マズイ、上手、下手ノ問題デアリマセヌ字體ノ異ツテ居ル爲メニ長イモノハ半歲數字ノ爲メニ費サナケレバナラヌ、ドウカ吾々商業學校ダケ之ヲ一定シテ居ツテ、サウシテ漸次工業商業ニ及ボシ、ソレカラ他ノ方面ニ及ボシタナラバ時間經濟ニ非常ニ有益ト思ヒマシテ之ヲ提出シマシタ、委員會ニ於テハ之ヲ可ト認メ數字ヲ一定スル方ヲ可トシタノデアリマス。

〔賛成〕ト云フ者アリ

○議長(堀督學官) 別ニ御異議ガアリマセヌカ。

〔異議ナシ〕ト云フ者アリ

○議長(堀督學官) 御異議ガアリマセヌケレバ原案通り可決確定イタシマス次ハ協議事項第三

一、商業歴史ヲ一科トシテ教授スルノ可否

右ハ調査審議ノ結果左ノ通り決ス

商業歴史ハ普通歴史ト合併教授スルヲ可トス

理由 元來商業歴史ハ甲種程度ノ學校ニ於テハ單科トシテ教授スルノ必要尠ク且ツ教授時間數甚

キニヨリ合併教授法ニヨリ教授上ノ重複ヲ避ケ時間ヲ節約スルノ必要アルニヨル

○甲十一番(大澤渚君) 協議事項ノ第一ノ第三項デアリマスガ、商業歴史ヲ一科トスルノ可否デアリマス是ハ委員會ハ普通歴史ト合併教授ト可決シタノデアリマス、其理由ハ茲ニ書イテアリマス各學校歴史科ハ大抵初年級ニ普通歴史ヲ課シ夫カラ上級生ニ商業歴史ヲ課スルコトニナツテ居リマシテ先ヅ初年級デ普通歴史ノ土臺ヲ拵ヘ、夫カラ商業歴史ヲ課スルト理想的ニ出來テ居リマスガ實際ニ於テ歴史ヲ扱ツテ居ル教授ニ關スル者ガ孰レモ不足デアリマシテ、ソレハ各學校共ニ教員ニ不足デアルヤウデアリマス此上ニ時間ヲ割イテ餘計ニ課スルト云フコトハ頗ル困難ノヤウニ思フノデアリマス、ソコデ初年級ニ課スル普通歴史ハ是ガ外國歴史、外國歴史ニ於テ東洋歴史ト西洋歴史ト分カレルノデ之ヲ古代カラ現代マデヤルノハ、ナカリノ容易デナイ其故初年級ニ時間ヲ割イテ見タ所ガ普通歴史ノ根本ノ知識ヲ與ヘルコトガ出來ナイノデアリマス、其故寧ロ之ヲ合併シテ教授シテ、サウシテ商業歴史モ普通歴史モ系統アル歴史トシテ古代ノ如キ商業ノ方ニ餘リ關係ノ無イ部分ハ普通歴史ニ於テ教ヘ、夫カラ近代ニ至ツテ商業上ノ今日ノ狀態ニ變化シテ來タ順序ヲ教ヘル即チ此近世史ニ於テ特ニ商業歴史ニ重キヲ置クト云フ方針デ合併シテ教授シタ方ガマダ歴史ヲ教ユル上ニ徹底シヤシナイカ、斯ウ云フ意見デアリマス、一寸御報告イタシマス。

○議長(堀督學官) 別ニ御異議アリマセヌカ。

〔異議ナシ〕ト云フ者アリ

○議長(堀督學官) 然ラバ原案通り可決確定イタシマス付キマシテハ尙引續イテ報告トカ協議事項ノ第二ガアリマスガ是ハ如何イタシマスカ。

○甲二十八番(市村芳樹君) 是ハ來年ノ宿題ニ願ヒタイ。

〔賛成〕ノ聲起ル

○議長(堀督學官) 只今二十八番ノ來年ノ宿題ニ移スト云フ動議ガアリマスガ……

〔賛成〕ト云フ者アリ

○甲五十二番(齋藤軍八郎君) 只今協議事項ノ第二ガ可決ニナリマシタガ之ヲ實行スル上ニ於テ宿題トシタイト云フ御取扱ヲ願ツタラ如何カト思ヒマス。

○議長(堀督學官) ソレデハ此協議事項ノ第三等ハ宿題ト致シマスノハ只今甲五十二番カラ御説ノ出マシタ協議事項ノ第二ノ帳簿ニ記入スベキ數字ヲ一定シテ、ドウ云フ風ノ字體ニスルト云フコトヲ宿題ニシタイト云フ御説ガアリマスガ御異議ガアリマセヌカ。

〔異議ナシ〕ト云フ者アリ

○議長(堀督學官) ソレデハ數字ヲ一定スルコトヲ宿題ニ致シマス尙ソレニ就イテ特ニ調査委員ヲ御舉ゲニナル意見ハ出マセヌカ。

○甲五十二番(齋藤軍八郎君) 此委員ノ五名ノ御方ニ御調査ヲ願ツタラ宜カラウト思ヒマス。

〔賛成〕ノ聲起ル

○議長(堀督學官) 御賛成ガ大分アルヤウデアリマス御異議アリマセヌカ。

〔異議ナシ〕ト云フ者アリ

○議長(堀督學官) ツレデハ此委員ノ御方ニ繼續御調査ヲ願ヒタイ、ソレデ本會ノ議事ハ大體済ミマ

シタ。

○甲十九番(庄野一英君) 私ハ甚ダ恐縮デアリマスガ一言所感ヲ……

○議長(堀督學官) 如何デアリマス、此際所感ヲ述ベタイト云フ方ガアリマスガ認メテ御聽キニナリマセウカ、御異議アリマセヌカ。

(「異議アリ」ト云フ者アリ)

○議長(堀督學官) 他ニモ所感ヲ述ベタイ方モアラレルト思ヒマスカラ賛否ヲ諮ヒマセウ、之ヲ認メルヤ否ヤノ。

(「必要ナシ」ト云フ者アリ)

○議長(堀督學官) ソレデハ時間ガ切迫シテ居リマスカラ御希望ハ緊急デアリマセウガ尙他ノ方法ニ於テ諸君ニ御傳ヘヲ願ヒタイノデアリマス。

○甲十九番(庄野一英君) 必要ナシト云ハル、ガ未ダ御聽キニナラヌ内ニ必要ノ有無ハ分ラヌト思ヒマス。

○議長(堀督學官) 必要ノ有無ヲ以テ決シテ、アナタノ發言ヲ妨ゲル譯デアリマセヌ、最早十二時半ニナツテ居リマスカラ時間ノ上ニ到底不可能ト思ヒマス他ニモ演說ヲナサリタイ方ハ澤山アラウト思ヒマス、アナタダケニ許シテ他ノ者ニ許サヌト云フコトニナツテハ不公平トナリマス、ソレデ之ヲ以テ本會ノ議事ヲ閉ヂマス

(拍手起ル)

午後十二時三十分閉會

四、商船學校部會

大正五年十一月二十四日(金曜日)午前九時開會

○議長(黒澤參事官) コレヨリ開會致シマスソノ前ニ一寸申上ゲテ置キマスガ商船學校長會議ハ人數ガ少數デゴザイマスカラ八ヶ間敷イ議事規則ニ依ラズニ極ク懇談的ニ致シテ行キタイト思ヒマスカラ腹藏ナク御意見ヲオ述ベ願ヒタイノデアリマス、ソレカラモウ一ツ申上ゲテ置キマスガ遞信省ノ管船局ノ書記官ノ野本君ガ見エテ居リマスカラ自然何ニカオ尋ネデモアリマスナラバ便宜カト思ヒマス皆サンニ御紹介致シマス、ソレデハ先ヅ始メニ諮問案ノ答申カラシテ議題ニ供シタイト思ヒマス、「實業學校ニ於テ實業學科ト普通學科トノ連絡ヲ密接ナラシムル方法如何」ト云フ諮問ノ答申案第一ヲ議題ニ供シマスコレヲオ作りニ成リマシタ委員長カラ御説明ヲ願ヒマス。

○六番(西尾英次郎君) コノ第一ノ御諮問ハ要スルニ兩學科ノ意思ノ疏通ト云フ事ヲ圖ル事ト考ヘマスサウ申シマスト學校ニ於テ實業學科ノ教員ト普通學科ノ教員ト意思ガ疏通シテ居ラヌト云フ點モアリマスカラ學科ト云フ事ニ就テ絶エズ協議ヲスルヤウニスル事ガ必要ト考ヘマス、又生徒ヲシテ普通學科ト別ニ獨立シテ居ルト云フ考ヘヲ持タズニ學校ニ於キマシテ絶エズ教授上ノ打合ヲシテ意思ヲ疏通サセルヤウニスル何事ニ依ラズ關係シテ居ル問題ヲ攻究シテ行ツタラ宜カラウト存ジマスカラ提出致シマシタ。

○議長(黒澤參事官) 何ニカ今ノ説明ニ就テ御質問デモゴザイマセヌカ……ゴザイマスレバ委員長ニ御説明ヲ願ヒマスガ……

○八番(小林善四郎君) 殘ラズ一項一項協議シテ差出シタノデアリマスカラ唯ダ今日ハ文字ヤ文句ノ

足ラナイ處ハ文部省デ御修正下サツタナラバオ互ヒノ中デ質問ハ無イカト思ヒマス。

○議長(黒澤參事官) 唯今ノ小林校長ノオ説ノ通り……

○八番(小林善四郎君) 尙ホ足ラナイ處ガアツタラ文部省ノ方デ……

○十番(加藤正直君) 實業學科ニ適切ナル問題ヲ講究スルト云フ意味ガ一寸分リマセヌ。

○六番(西尾英次郎君) 普通學科ノ教員デアリマシテモ商船學校ニ居ルノデアリマスカラ矢張り船ト

云フ觀念ヲ持ツテ賞ヒタイノデアリマス何ウモ普通學科ノ先生ニ船ト云フ考ヘガ少ナイヤウデゴザイ

マスコレハ各學校共所謂船ト云フ考ヘガ普通科ノ先生ニ少ナカラウト存ジマス言葉ヲ換エテ云フナラ

バ實業學校ノ教員タル普通科ノ先生ガ船ト云フ事ヲ考ヘ海、船、ト云フ知識ガ出ルト餘程普通學ヲ教

エル上ニ於テモ適切ナルヲ得ルデアラウト思ヒマス。

○議長(黒澤參事官) 別ニ諮問案ノ第一答申案ト第一號案ハ御質問モ無イモノト認メマスガ決ヲ取ツ

テ御異議アリマセヌカ……

(「異議ナシ」ト云フ者アリ)

○議長(黒澤參事官) 第一ニ御賛成ノ方ハ起立ヲ願ヒマス。

(起立全會一致)

○議長(黒澤參事官) 全部一致ト認メマス可決決定致シマシタ次ニ第二項「普通學科ヲ實業學科同様

必要ナル學科ト一層現實ニ生徒ヲシテ自覺セシムルコト」コレヲ議題ニ供シマス何ウゾ御説明願ヒマ

ス。

○六番(西尾英次郎君) コ、ニアリマス第二項ハ實業學校以外ノオ方カラ考ヘマスト云フト妙ニ考ヘ

ラレマス商船學校ニ於テハ實業學科ヨリ普通學科ヲ輕ンズルヤウニオ考エニナラウト思ヒマス實ハ我

々ハ學校ニ於キマシテ普通學ト實業學科ノモノトハ差別ヲ致シテ居リマセヌガ實業學校タル商船學校

ニ於キマシテハ直接必要ヲ感ズルノハ何ウモ實業學科デアツテ學生ハ普通學科ヨリモ實業學科ノ方ニ

重キヲ置クヤウナ傾キガアリマスカラコノ點ヲ大イニ考ヘテ行キタイト思ヒマスソレデ「一層現實ニ

生徒ヲシテ自覺セシムルコト」ト云フ事ガ大切デアリマス私共ノ方デハ試験ノ點數等ニ就テモ普通學

ト實業學ト同様ノ點數ヲ與エテ居リマス無論皆サンノ學校ニ於キマシテモオ與エニ成ツテ居ル事ト思

ヒマスガ……可笑シイ話デスガ何ウモ商船科ニ於キマシテハ普通學ノ教員ハ實業學科ノ教員ヨリモ階

級ガ低イヤウニ考ヘマスソレデアリマスカラシテコノ際何ントカタイト考ヘマス普通學ヲ教エル教

員ト専門學ヲ受持ツテ居ル先生ト差別ノ無イヤウニシマスト從ツテ生徒ノ方ニ於キマシテモ普通學ト

云フモノヲ大切ニスル自覺ガ出來ヤセヌカト思ヒマス又實業學科ノ教員ハ大抵奏任待遇ニ成リマシタ

ガ普通學ノ教員ハサウハ行カヌ傾キガアリマスカラ云フヤウナ事ナシニ普通學ノ先生モドント奏任

待遇ニシテイツタラ宜カラウト考ヘマス。

○議長(黒澤參事官) 一寸オ尋ネ致シマスガコレハ待遇ノ點マデ含メテノオ考ヘデアリマスカ……

○六番(西尾英次郎君) 別ニ……コノ中ヘ文句ハ入レヌ方ガ宜カラウト思ヒマス。

○議長(黒澤參事官) 自覺セシメル方法ト云フヤウナ事ハ別ニオ極メニ成ツタモノハアリマセヌカ……

一寸伺ツテ置キマスト便利デアリマスガ……

○六番(西尾英次郎君) 自覺セシメルト云フ事ハ普通學ト云フモノハ實業學科ヨリモ劣ルト云フ事ハ

示シテ居リマセヌガ生徒ノ方デハ普通學ヲ下ニ置クヤウナ弊ガアラウト思ヒマスカラソレヲ除イタラ

生徒モ自覺スルヤウニ成リハシマイカト考ヘマス。

○八番(小林善四郎君) 別ニ疑ヒアリマセヌガ或ハオ言葉ガ足りナイヤウニモ聞エマス、矢張り教員

ノ待遇ト云フ事ヲ云ツタ方ガ良クハナイデセウカ奏任待遇ニスルノハシタイケレ共今ハサウ出來マス

マイガ……

○六番(西尾英次郎君) ソレハ建議案ノ方ニ書イテアリマスカラコ、デハ……
 ○八番(小林善四郎君) ソレモオ述べ下サラヌト……
 ○議長(黒澤參事官) サウ致シマス別段オ尋ネゴザイマセヌカ……採決致シマシテ御異議ゴザイマセヌカ……

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(黒澤參事官) 採決致シマス御賛成ノ方ハ御起立願ヒマス。

(起立者全會一致)

○議長(黒澤參事官) 全會一致デ可決々定致シマシタ次ニ第三ノ「修業年限ヲ延長シ普通學科ノ素養ヲ進メ實業學科ト並行教授ヲ爲ス事」コレヲ議題ニ供シマス西尾校長ノ御説明ヲ願ヒマス。

○一番(田中茂藏君) 實業學科ト普通學科トノ連絡ヲ圖ルト云フ事ヲ解決スルニ當ツテ何ウ云フ事ヲ思考ス可キデアアルカト云フ事ニ成リマス先ヅ第一、組織即チ色々學校ノ制度ノ方面カラスル事次ニハ職員ノ知識ソレカラ教科書ト云フ三方面カラ考ヘテ行カナケレバナラヌ事デアリマス第三項ハ即チ所謂コノ組織ト云フ可キ部類ニ屬ス可キ性質ヲ含ンデ居ルノデアリマシテ今日迄ノ制度デハ本科三年ト云フノデアツテ實ハコノ商船學校ノ課程ト云フモノハ外カノ學科ト違ヒマシテ掛離レテ居ル學科ガ多イノデアリマシテ直グニ初年カラシテ他ノ學校デハ未ダヤラヌ三角ト云フ風ナモノヲ初歩デモヤラナケレバナラヌ幾何モ學バナケレバナラヌト云フ状態デナカ、六ヶ敷イト思ヒマスソレニ就テ現在ノ制度デハ少シ年限ガ短カイカラソレヲ長クシテ學校ニ於テ専門學科ニ適スルヤウナ基礎學ヲ十分養成センガ爲メニモット若干年月ヲ増加シナケレバナラヌト云フ御趣意カラ出タ事ト思ヒマスデ年月ニ就テハ或ハ本科ヲ四年ニスルトカ或ハ豫科ヲ二年本科三年ニスルトカ或ハ現在ノ如ク豫科一年ニシテ本年ヲ三年ニスルトカ各種ノ形式ガアリマスガ唯今ノ處デハコレニ對シテ極ツテ居リマセヌガ高等卒

業以上四年ト云フ事ニシタイト云フ希望モアツテサウスレバ先ヅ實業學科ト普通學科ト並行ガトレルト云フ考ヘデゴザイマス何ニカ不備ノ點ガゴザイマシタラ何ウカ……

○議長(黒澤參事官) 一寸御伺ヒ致シマスガ四年以内ト云フノデスカ或ハキチント四年ニシタイト云フオ意見デゴザイマスカ……

○一番(田中茂藏君) 成ル可ク四年トシテ願ヒタイ。

○三番(平原藤三郎君) 今ノ校長ノオ説ハ四年ノ修業年限ニスレバ宜シイト云フノデスカ……四年ニスレバ幾分宜イト云フノデセウカ……

○一番(田中茂藏君) 私ハ四年云々ト云フ事ニ就テハ附帶條件ヲ持ツテ居リマスカ私ガ言ハントスル事項ニ當ツタ時ニコノ建議案ヲ熟ト説ク積リデアリマスカ左様オ含ミ願ヒマス。

○九番(白井源次君) 唯今ノ四年ト云フ事デ私ハ商船學校ノ教授ノ方法ガ普通學科ト並行教授ヲスルト云フ事ハ困難ダト思イマス學校ニ這入ルトデキニ三角トカ代數ヲ教エル高等小學ヲ出テ算術ヲ本當ニヤツタカヤラス程度ノ處エ代數三角ト云フヤウナ數學ノ問題ヲヤラセル、又運用術ト云フテモ英語ヲ少シモ知ラヌ人ニ直チニ船體ノ各部ノ名稱ヲ教エナケレバナラヌカラ小學校トノ連絡ト云フモノガ掛離レテ居リマス、ソレデ商船學校デハ各學科ヲ言ハバ無理ヲシテ教エテ居ルヤウナモノデアリマスコノ邊ハ特ニ一般ノ實業學校ト離レテ御勘考ヲ願ヒ致シタイ。

○八番(小林善四郎君) コノ歴史ヲ一應述ベタイト思ヒマスコノ年限延長ト云フ事ハ文部省デ述べルノガ三回目デゴザイマス第一回目ハ極力私ハ延バス事ニ反對デシタコノ實業學校程度ニ於テハ今ノ三ヶ年デ十分デアルト考ヘテ居リマシタ、ソノ當時私ノ反對説ガ否決サレテ延バスト云フ事ニ御採用成ツタ第二回ハ一昨年デゴザイマシタコレハ四ヶ年延長ト云フ事ニ滿場一致デ賛成ニ成リマシタ次ハ今回デゴザイマスガ段々社會ノ需要モ進ミ第一回ヨリ第二回ヨリ第三回トコノ案ノ出マスニ從ツ

テ社會モ進ミマスノデ最早御採用ニ成ツテ宜カラウ……ト云フト語弊モアリマスガ是非共御採用ニ成
ツテ變更ノ出來ルヤウニ御盡力ヲ願ヒタイ何ウカ學校長ノ意見ヲ御採用下サルヤウニ特ニ御盡力ヲ煩
ハシタイト思ヒマス。

○六番(西尾英次郎君) コノ四年ニ致サナケレバナラスト申シマス事ハ本年ノ十月確カ十四日頃文部
省ニ於テ商船學校ノ規程ヲ改正セラレ從來一週學課ヲ二十七時間トシテアリマシタヲ三十時間トセラ
レマシタソレハ何ウ云フ處カラ出タノカ私共存ジマセヌガ今度遞信省ニ於キマシテ海員試験ガ改正ニ
成リマシテ從來地方ノ商船學校ヲ卒業致シマシタ者ガ第一回ノ海員試験ヲ受ケマスニハ普通學ハアリ
マセヌデシタガ處ガ明年カラ普通學ノ英語モアリマス從來ハ資格檢定デシタガ今度ハ三角モ幾何モ這
入リマス勿論今日マデソレ等ノ學科目ハ試験ヲ受ケラレルヤウニ成ツテ居リマスガ明年カラハ第一回
ノ試験ニサウ云フモノガ這入ルト云フ事ニ成ルト實ニ困ルト云フ譯デハアリマセヌガ今迄無カッタモ
ノガ這入ルト云フ事ニ成ルト尙々困ルソレデ今迄ノ三年ハ何ウシテモ困ル普通學ノ知識素養ガ足ラヌ
事ニ成リマスカラ四年トシテ十分教エテ行キタイト考ヘマス將來日本ノ船舶ハ益々海外ニ發展スル事
ト思ヒマスガソレニシテモ今日ノ三年デハ語學ガ足ラヌカラ何ウシテモモウ一年増サナケレバナラヌ
今日ノ時勢ノ進歩ト共ニ十分ノ實力ヲ養成スル事ニ一層努メナケレバナラスト思ヒマス。

○九番(白井源次君) 唯今大島商船學校長ノ申サル、通り何ウモ課業ガ多イカラ理解ト云フ事ハ望マ
レヌノデアリマシテ三角モヤリ幾何モヤリマスカ了解ヲ能クスルト云フ事ガ六ヶ敷イノデアリマス本
年ノ職員試験ヲ見マスト理解ト云フモノニ重キヲ置イテ居ルヤウニ思ハレマス又來年ノ八月カラ實施
サレル事デアリマスガ地方商船學校ノ現在ノ模様デハ困難ニ陥リハセヌカト思ヒマス私共一時モ猶豫
ノナラヌ焦眉ノ問題ト思ヒマスカラ棄置カレヌノデアリマシテ折角卒業シタ人ノ方向ヲ迷ハスヤウナ
事ニ成リハセヌカト心配スルノデゴザイマスソレデアリマスカラ御無理デゴザイマセウガ一日モ早ク

オ願ヒシタイノデアリマス。

○議長(黒澤參事官) 一寸參考ノ爲メ何ツテ置キマスガ豫科ヲ施設シテ居リマス學校ハ何レダケデス
カ……

○一番(田中茂藏君) 北海道……

○二番(正戸爲太郎君) 三重……

○五番(瀧川晋君) 廣島……

○七番(桃井百太郎君) 香川……

○一番(田中茂藏君) 本科ヲ四年ニスルカ豫科ヲ入レテ四年ニスルカト云フ事ハ餘程考ヘテ居ル問題
デゴザイマス何レ建議案ノ處デ又話モアラウト思ヒマス……愛媛ニハ豫科ハアリマセヌカ……

○九番(白井源次君) 私共ノ學校ニハアリマセヌガ大概ノ學校長ノ意見トシテハ豫科ヲ置キタイト云
フ考ヘラシイ何ウカ先ヅコノ議事ヲ圓滿ニ解決サレル事ニ成ルト建議題ノ方ガ大變都合ヨイノデスガ
……苦シイ立場デアリマス。

○議長(黒澤參事官) 念ノ爲メ何ツテ置キマスガ年限ヲ四年ニスルト云フ事ニ成リマスト高等小學ヲ
卒業シテ更ニ四ヶ年ト云フ御意見デスガ入學ノ學力ノ程度ハソレヲ御希望デスカ……

○九番(白井源次君) 止ムヲ得ズヤツテ居ルノデアリマスカラ……自分ハ極力三ヶ年本科説デアリマ
ス。

○議長(黒澤次久君) 假リニ四ヶ年ト云フ事ニ成リマスト現在ノ豫科ヲ殘シテ置キタイト云フ御意見
デアリマスカ……

○一番(田中茂藏君) 私ハ殘シテ置キタイノデス全體私ハ理想的ニ遣ツテ見タイト存ジマスノデ小學
校カラ入レテ豫科ヲ二年トシテ今日ノ様ナ中途半端カラ入レルト云フ事ハ面白クナイ小學校カラ中學

ニ這入ルノガ順序デスガ高等小學カラト云フ事デハ中ニハ中學ニ頭ヲ突込シテモアルト云フ事ニ成
ツテ惡イ人モ來ルカラコノ弊害ヲ成ル可ク防グト云フニハ小學校ヲ卒業シタ者ヲ入レタイト思ヒマス
ノデ本科三年豫科二年デ詰リ五年……中學ニ入レヤウト云フ家デハ差支ヘナイデスガ商船學校ニ入レ
タイト云フ者ハ矢張り實業學校ニ入レヤウト云フ人デスカラ年限ノ長イ學校ニ入レルト云フ事ハ悦バ
ナイノミナラズ中學ハ各地ニ滿遍ナクアリマスケレ共商船學校ハ僅カ全國デ十位イシカナイノデアリ
マスカラ各府縣カラ遣ツテ來ル從ツテ親戚デモアル者ハ宜シイガサウデナイト寄宿ニデモ這入ルト云
フ事デソレラノ事ガ關係ヲシテ來ルノデ年限ト云フ事ガ非常ニ考ヘナケレバナラヌ事ト成ルノデゴザ
イマスガ小學カラ入レテヤツタラ理想的ニ出來ル事ト思ヒマス殊ニ中學時代ノ青年期ハ思想ノ變化ス
ル時デアリマス實業學校デモサウデスガ餘程コノ點ニ注意ヲ拂ヒマセヌト精神上ノ修養ト云フ事ガ甚
ダ六ヶ敷イ是非子供ノ時分ニ十分養ツテ置カナケレバナラヌ事ト考ヘマス私ハ昨年十二月ニ就任シタ
ノデアリマスカラ果シテ豫科ヲ何ウスル本科ヲ何ウスルト云フ事ハ申上ゲル事ハ出來マセヌガ何ニシ
ロ勤勉克己服従ト云フ方面ノ精神的訓練ハ餘程養ハナケレバナリマセヌ思想ノ固ラヌ時代ハ餘程ノ注
意ガ必要デアリマスカラ何ウカ十分コノ邊ヲ御參酌ヲ願ヒタイ。

○九番(白井源次君) 一寸横道ニ這入ルヤウニモ思ヒマスガ一寸御伺ヒ致シタイノデスガ假リニ商船
學校ヲ四ヶ年トシマスト文部省ノ御當局ノ方デハソレハ困難ジヤナイカ取扱上苦ムト云フヤウナ御考
ヘハアリマセウカ或ハソレモ宜カラウト云フ……

○十番(加藤正直君) 一番先ニ起ル問題ハ地方ノ經濟問題ジヤナイカト考ヘマス必ズ四年トスルト經
費モ從ツテ掛リマスカラコレハ程度ノ問題ト考ヘマス。

○番外(上原督學官) 現今ノ規程ニ於テハ商船學校ノ席上學科ノ修業年限ハ三ヶ年トシテアリマス大
體コノ商船教育ハ高イ程度ノ教育デハナイノデ中等程度ノ教育機關デアリマスカラ大體三年デ宜シカ
ラウト云フ見込デアリマシタ尙ホ海上ニ於テノ修養モ必要ノ事ト思ヒマスガ授業時數ヲ增加致シマシ

タカラ席上學科ハ先ヅ此ノ程度デ宜カラウト云フ積リデアリマス。
○九番(白井源次君) サウ致シマスト斯種實業學校ハ三ヶ年ガ宜シイト云フ御考デ……
○番外(上原督學官) 今日ノ處デハ先ヅ從來ノ儘ニ致シテ置ク方ガ宜カラウト思ヒマス。
○九番(白井源次君) 併シソノ當時ハソノ目的ガ乙種ノ船員ヲ養成スル考ヘデアツタガ今ノヤウニ東
京商船ノ卒業生ト同ジ職ヲ執ルヤウニ成レバ三年デハソノ目的ガ達セラレヌト思ヒマス尙ホ修業年限
ヲ三年ト御極メニ成ツタ時勢ハ疾クノ昔デ今日ハ非常ニ進ンデ居リマスノデ先刻御尋ネノアリマシタ
豫科モ有ル處モアリ無イ處モアルト云フ譯デ統一シテ居ラヌカラ是非共御採用願ヒタイノデスガ萬々
一出來ナイト云フ事デアレバ府縣ニ豫科ヲ一年ナリ二年ナリ置ケト云フ事ヲ文部省カラ強制執行ガ願
ヒタイ縣ニ云ツタラ宜カラウト云フ御答辯ガアルカモ知レマセヌガ申上ゲルト甚ダ妙ナ事ニ成リマス
ルガ縣ノ當局ノ云フ事ハ唯々諸々トシテ聞カナケレバナラヌ苦シイ立場デアリマスノデ三ヶ年デ商船
學校ヲ組織シタ時代ト今ハ程度モ進ンデ居リマスカラ何ウカ我々ノ考ヘヲ御理解下サツテ四年ト云フ
事ニ御改メヲ願ヒタイ。

○議長(黒澤參事官) 縣ノ費用カラスレバ豫科ヲ置イテ四年ニスルト云フ事モ或ハ本科四年ト云フ事
モ同ジ事デスガ貴方ガタノ御希望トシテハ本科四年ト云フ方ガ宜シイデスナ……
○九番(白井源次君) 文部省ニ於カレテハ唯ダ縣ノ經濟ト云フ點ニ御考ヘニ成ツテ居ルヤウニ思ハレ
マスナ……何ウモ私共頭ヲ悩マシテ居ル處デアリマシテ一ツ差支イナイ限り御當局ノ方デ我々ノ希望
ヲ入レルニハ斯ウ云フ處ニ障害ガアルト云フ處ヲ腹藏ナク御示シ願ヒタイ私共モソレニ對シテ又考ヘ
ヲ申上ゲタイト存ジマス唯ダ經濟ノ點ニ就テ御考ヘニ成ツテ居ルヤウナ……

(速記一時中止)

○議長(黒澤參事官) 何ウカ未ダ……

○二番(正戸爲太郎君) 私ハ諮問案ニ就テ一寸申上ノデス四年ニ延長スル事ハ私ノ理想トシテハ同意出來マセヌ……先程函館校長ノ述ベラレタ豫科二年ト云フ事ヲ理想ト致シマス併シコレモ年限トカ云フ事デ困難デアラウト考ヘルカラ止ムヲ得ズ現行制度デ四年ニシナケレバナラヌ事ニ成リマスガ私ノ本來ノ理想トシテ居リマスルノハ寸シ變ツテ居リマス此處デソノ事ヲ述ベマシテモ宜シイノデスガ總テノ組織ヲ全體改正スル事ニ成リマスルデアリマスカラコレハ建議案ノ方ニ譲ラウト思ヒマス。

○一番(田中茂藏君) 今ノ四年延長ト云フ事ニ對シテハモウ寸シ要求スル事ガアラウト思ヒマス。
○六番(西尾英次郎君) 諮問事項ノ第一ハ普通學ト實業學科トノ密接ナル連絡ヲ保ツ事ニ關スルモノデアリマシテ尤モ普通學ノ素養ヲ十分ニシ實業學科ノ學力ヲ十分ニシヤウトスルニハ年限ヲ延長シナケレバナラヌト云フ意味ニ成ルノデスガ四ヶ年延長ト云フ事トハ一寸違ヒマスカラ年限ノ問題ハ寧ロ建議案ニ於テ十分議ス事ニシタイト考ヘマス。

○議長(黒澤參事官) 如何デゴザイマスカ……山口校長ノ御意見通りコレハ建議案ニモ出テ居リマスカラソノ方デ十分御意見ヲ伺フ事ニシテ諮問案ヲ進行致シタイノデスガ……

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(黒澤參事官) 大體御議論モ盡キマシタカラ決ヲ採リマスコノ第三項原案ニ御賛成ノ方ハ起立ヲ願ヒマス……全會一致デアリマスカラ決シマシタ第四項ハ「専門學科ト普通學科ト連絡ヲ採ルニ適切ナル教科書ヲ編纂スル事」コレヲ議題ニ供シマス。

○一番(田中茂藏君) コレハ極ク簡單デ殆ド文言ダケデ盡キテ居リマスガ詰リ教科書ヲ使ツテ教エタイ教員ノ頭デヤルモノヲ教科書デヤル事デアリマシテ數學デモ或ハ物理ノ如キモノデモ商船學校ニ適シタモノガナイ又専門ノ教科書モナイ斯ウ云フ事デアリマスト教員ガ年々交代ヲ致シマスト教育ノ根

柢ガ動搖シテ困リマスカラサウ云フヤウナ點モ何ウカ御了察願ツテ是非教科書ヲ御制定ニ成ル事ヲ希望致シマス。

○九番(白井源次君) 唯今田中君ガ述ベラレタガ専門ノ教科書モ無イノデ困難シテ居リマスカラ普通學科ノ教科書ヲ制定シテ下サレテ……専門ト密接ノ關係ヲ持ツヤウナ連絡ノアルノガ欲シイデスガ願ヘタラ専門ノ方ノモ願ヒタイ。

○議長(黒澤參事官) 念ノ爲メ伺ヒマスガ文部省ニ於テ編纂シテ戴キタイト云フ事デスカ……

○九番(白井源次君) サウデアリマス。

○議長(黒澤參事官) 専門學科ハ何々ニ成リマスカ甚ダ……

○九番(白井源次君) 航海科ト機關科デ航海科デハ船舶ノ運用術ヲ教エ又航海術ハネビゲーシヨ……丁定規或ハ三角ヲ用キテ運用ノ事ヲ研究スルソレカラ機關科ノ方デハ主ニステームエンジンノ事ヲヤリマス。

○議長(黒澤參事官) 何方カモウ御質問ゴザイマセヌカ……ソレデハ採決致シテ御異議ゴザイマセヌカ……

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(黒澤參事官) ソレデハ御賛成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス……全會一致デ可決決定致シマス次ニ諮問案第二「實業學校ニ對スル國庫補助ヲ最有效適切ナラシムル方法如何」ノ御答申「從來ノ國庫補助法ハ」以下「最有效適切ナラシムル方法ト認ム」コレヲ何方カ起草委員ノ中デ御説明願ヒマス。

○七番(桃井百太郎君) 實ハコノ問題ニ就キマシテハ甚ダ困リマシタ忌憚ナク申シマスト今日迄ノ國庫補助ト云フモノハ我々學校長ニ於キマシテハ唯ダ補助ガアルト云フノミデソノ有效適切若シクハ不適切デアアルカト云フ事ハ從來細カイ點ニ至ツテハ考ヘモセズ一向痛痒ヲ感ジテ居ラヌ補助ガアツタカ

ラ學校が何レダケ影響ヲシテ居ルカ……勿論縣經濟ニ於テハ經常費ニソレダケノ補助ガアリマスカラ學校ハ立ツテ行キマスノデ實ハ學校トシテ考エテ見マスト國庫補助ガアル爲メニ何ウト云フ事ハ少シモ實ハ存ジマセヌ、ソレデアリマスカラ從來今日迄ノ國庫補助ガ適切デアツタカ有効デアツタカト云フ事ハ頭ノ中ニ置カナカツタノデ昨日モ何方カラデシタカ現在ノ國庫補助法ノ法令ヲ改正シタイ云々ト云フ質問ガ出マシタガ實ハ答辯ニ苦シンダ次第デアリマスソレデコ、ニ書イテアリマス事ハ全ク腹藏ナク書現ハシタモノデ今日迄ノヤウナ有様デハ今申上ゲタヤウニ學校トシテ効果ヲ認メ難イモノデアリマスカラ……殊ニ商船學校ハ實業學校中デモ餘分ノ機械等ガ必要デアリマス全國ノ商船學校ノ中デ完備シテ居ル學校ト云フモノハ未ダナカラウト思ヒマス中デハ隨分有要ナル機械デアリマシテモ買ヘナイ事モアリマスノデ當局ノ方デ買ハヌトアレバ止ムヲ得ナイノデアリマスカラ必要ナモノデモ買フ事ガ出來ナイ事ガアリマス或ル例ヲ舉ゲテ申シマスト汽罐ガ必要ダト云フノデ漸ク買ツテ貰ツタ處ガ「ボンブ」ハ要ラヌト云フテ買ツテ呉レナカツタ爲メニソレガ使ヘナイト云フヤウナ事モアリマス色々オ話ニ成ラス事ガアリマスノデサウ云フ風ナ商船學校ハ澤山アリマスカラ我々ノ方デハ或ル場合ニハ海軍ノ方カラ貰ツテ來テ間ニ合セルト云フ事モヤツテ居ルノデ私共ノ方デモ實ハ海軍ノオ古デ間ニ合セテ居ル次第デアリマス幸ヒ御諮問ガ出マシタガ拜察致シマス處單ニ縣經濟ノ補助デナク學校ニ効果ヲアラシメタイト云フオ考ヘト存ジマスガ甚ダ勝手カ知レマセヌガ特別會計法ヲ設ケテ知事ノ監督ノ下ニ學校長ガ補助金ヲ備品其他適當ナル費用ニ用ユル委任ヲ得マシテ買ヒ得ルト云フ事ニシタイト考ヘマスサウシテ縣デ設備出來ヌモノモ澤山アリマスカラ順序ヲ追フテヤツタラ各學校ガ完全ニ進ンデ行カウト思フノデ斯クテ學校ニ對シ最モ有効トナリ有難味ヲ感ズル次第デアリマス。

○議長(黑澤參事官) コレハ文章ガ徹底シマセヌヤウデスナ。

○議長(黑澤參事官) 第二ノ答申案ハモウ一回更ニ適切ナル御研究ヲ願フト云フ事ニシテ宜シイデス……

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(黑澤參事官) ソレデハサウ云フ事ニシマシテ第三「時局ニ鑑ミ實業教育上改善ヲ要スル點」ノ第一項「語學力ヲ増進セシムルコト」ヲ議題ニ供シマス。

○八番(小林善四郎君) コノ問題ハ將來益々外國航路ノ發達ト共ニ必要ヲ感ジツ、アツタ事デアリマスガ歐洲戰爭ガ始ツテカラ急ニ外國航路モ殖エテ參リマシタ結果モアリマセウガ會社側カラ外國語ノ不十分ナ事ヲ申シテ來マスノデスガ併シ何ウモ矢張經濟上カラシテ十分ノ教師ヲ雇フ事モ出來ズ人ヲ増ス事モ出來ヌノデアリマス、將來ハ英語計リデハナイ場所ニ依ツテハ西班牙語モ必要支那語モ必要ニ成ツテ來ルノデアリマシテ私ノ理想トシテハ西班牙語モ殖ヤシタイト云フ精神デスガサウマデハ經濟ガ許サスカラセメテハ英語デモ十分ニ教ヘタイト考ヘルノデアリマス。

○議長(黑澤參事官) 一寸伺ツテ置キマスガ現在英語以外ニヤツテ居ル處ハアリマスカ……

○八番(小林善四郎君) ゴザイマセヌソレデ唯ダ語學ヲ養成スルノガ必要ダト云フダケデハ足りマセヌ外國人ヲ雇フトカ何ントカ其他ノ方法ヲ示スノガ必要ト思ヒマスガ……

○議長(黑澤參事官) 外國人ヲ雇ツテ居ル學校ハ……

○二番(正戸爲太郎君) 私ノ處デハ雇ツテ居リマスガ手當ガ少イカラ良クヤツテ貰フ事ガ出來マセヌ

○六番(西尾英次郎君) 經費サヘアレバ宜シイデスガ……

○一番(田中茂藏君) 一寸御參考マデニ申シテ置キマスガ本年四月カラ五月ニ掛ケテ京阪地方ニ行キマシタガ殆ド十ガ十マデノ要求ハ語學力ト云フ事ヲ申シマス少シ位イ實際ノ方ハ何ウデモ宜シイカラ語學ノ素養ノアル者ト云フ要求ヲシマスノデ餘程缺乏シテ居ル事ト思ヒマス語學ノ出來ル船員デスト

船長ガ他ヘ行ク場合ニ連レテ行ク位イニスルサウデアリマス海運界ガ發達シテ歐洲方面ニ段々行クヤ
ウニ成ルト是非必要ナ問題デコレガ不完全ダト殆ド船員能力ノ七八部ハ削ガレルト思ヒマスカラ外國
語ハ大切デアリマスガコレモ何レニシテモソノ經費問題デアリマスカラ……

○議長(黒澤參事官) 今英語ハ何時間一週ニ課シテ居リマスカ……此間一週三十時間トシマシタガ……
…何々ニオ使ヒニ成ツテ居ルノデスカ……

○六番(西尾英次郎君) 私ノ方ハ一年級ニ於キマシテハ三時間ヲ國語ト數學ニ致シマシタサウシテ二
年ト三年トニ於キマシテハ英語數學ト専門ノ學課トヲ三時間ニ増シマシタ。

○二番(正戸爲太郎君) 私ノ方ハ教員ノ受持時間ガ多イノデ未ダ實施出來マセヌ。

○一番(田中茂藏君) 私ノ方モ同様……

○九番(白井源次君) 私ノ方デハ實習三時ヲスル事ニ成ツテ居リマスノデ職員ノ時間ヲ色々都合シテ
考ヘテ遣掛ケマシタガサウスルト生徒ハ朝八時カラ始メテ午後ノ五時頃迄ヤラナケレバナラス事ニ成
リマスノデ私ノ方デハ全部恩典ニ浴スル事ハ出來マセヌ實習ノナイ學校ハ宜イデスガ私ノ方ハ結局年
限ヲ延長スルヨリ他ニ道ガナイト思ツテ居リマスソレデ英語ヲ一二年デ七時間……

○議長(黒澤參事官) サウ致シマスト大體御質問モゴザイマセヌヤウデアリマスカラ第一項ニ御賛成
ノ方ハ起立ツ……全部ト認メマス可決確定、次ニ「大學程度ノ研究所ヲ設立シ高等ノ教育ヲ授クルコ
ト」コレヲ議題ニ供シマス。

○二番(正戸爲太郎君) 今日ノ船員ハ殆ド學校ヲ出テ以後ト云フモノハ新知識ヲ得ル機關ガ殆ドゴザ
イマセヌ無論専門トスル處ノ事デアリマシテモゴザイマセヌノデ新知識ヲ足シテ行ク機關ガアリマセ
ヌ從ツテ萬事時勢ニ遅レル社會ニモ遠ザカルト云フ事ニ成リソノ結果社會デモ船員ガ別物扱ヒニサレ
テ居ルヤウニ思ヒマスコレハ畢竟海員ノ罪デナク養成ノ機關ノ不足シテ居ルノガ原因ト認メマス今日

政府ハ航海獎勵ノ爲メニ莫大ノ補助ヲサレテ居リマスガ海員ニ對シテハ十分ノ事ガアリマセヌノデ從
ツテ海員ト云フモノハ殆ド船ヲ扱ヒサヘスレバ宜シイ單ニ船乗リト云フ事ニ成ツテ世間カラハ船員海
員ト云フモノハ社會以外ニアル者カノヤウナ觀念ヲ生ズルヤウナ事ガアリマシテ從ツテ國民ノ海事思
想ト云フ事ニ影響ヲシテ來ルヤウニ考ヘマスソレデ或ル場合ニハ時代ノ趨勢ニ遅レヌ爲メニ海員高等
研究所ト云フモノヲ設ケテ唯ダ船ヲ扱フ計リデナク築港、造船學、輸出貿易ト云フヤウナ研究ヲシテ
海員ト云フモノハ即チ實業家ニモナレ海事學者デモアリ船舶運用ヲ爲ス者デモアリ何レニデモ使エル
活動スル事ノ出來ル人物ヲ養成スル必要ガアラウト思ヒマス現ニ今日會社邊リノ支店長ト云フモノハ
高等商業トカ外國語學校出トカ云フ者ヲ用キテ居リマスガ海員ヲ養成シテソノ道ニ當ル事ヲ得セシメ
ル事ガ出來ルナラバ専門學ニ長ジテ居リマスカラ非常ニ有利ニ取扱ハレルト思ヒマス是等ノ點カラ勿
論全部ノ海員ヲ入レル事ハ出來ナイデセウガ希望者ニ入レテ海員ガ社會ノ進ムト共ニ知識ヲ廣メテ行
クナラバ一般ノ海事思想ヲ養フニモ非常ニ効果ガアラウト考ヘマス先ヅ大體ヲ申シ上ゲマスト斯ク云
フ趣意ナノデアリマス。

○議長(黒澤參事官) サウスルト無論専門ノ學科ヲ尙研究シ専門ノ學說ヲ研究スルト云フオ考ヘデア
リマスナ。

○二番(正戸爲太郎君) 左様デゴザイマスソレデ時勢ガ進ンデ來マスト船舶モ變ツテ來マスカラ無論
ソノ方面モ研究スルノデアリマス。

○番外(上原督學官) 茲ニアル研究所ト云フ名稱ハ何フ云フノデセウカ研究所ト申セバ商船學校ヲ卒
業シタ者ガ關係學科ニ就キ研究スル爲メノ場所ト思ヒマスガ矢張り生徒ヲ養成スルト云フ事モ致スノ
デアリマスカ。

○二番(正戸爲太郎君) 實ハ始メ私ハ商船大學ト云フ名ガ宜カラウト思ヒマシタガ少シ耳障リト思ハ

レマスカラ「高等研究所」ト致シマシタ譯デ……

○番外(上原督學官) 尙ホ念ノ爲メ承ツテ置キタイノデスガ研究ノ期間ハ何箇年ニテ研究學科目ハ凡

ソ如何ナルモノニスル積リナルカ伺ヒタイ。

○二番(正戸爲太郎君) 將來ニ必要ナル法制、經濟、國際法、或ハ港灣ニ關スル築港學ソノ外カ總テ

一般ノ船ニ關スルモノ……

○番外(上原督學官) 期間ハ凡ソ何レ位デスカ。

○二番(正戸爲太郎君) 未ダ何レダケ必要カト云フ事ハ具體的ニ申サレマセヌガサウ云フ議案ヲ提出

答申スルダケデアリマス。

○議長(黒澤參事官) 尙オ尋ネシテ置キマス研究所ト云フモノハ矢張先生ガ學科課程ヲ編成シテ矢張

リ講義ヲシテ生徒ガ教授ヲ受ケル譯ニ成リマスカ若ハ大學當リノヤウニ教育學ヲ研究シヤウトカ或ハ

經濟學ヲ研究シヤウト思ヘバ各研究室ニ行ツテライブラリーデ本ヲ見テ主トシテ學生ヲシテ自發的ノ

研究サセルト云フノデセウカ或ハ又實質ハ學校デアツテ高等教育ヲ施ス純然タル教育機關デスカ……

○二番(正戸爲太郎君) 私ノ考ヘハ兩方デアリマス或ル場合ハ參考書デ研究シ又必要ノアル場合ニハ

講義ヲシナケレバナラヌ事ト思ヒマスカ今ノ大學ノ設備ノ如キモノデアリマス。

○議長(黒澤參事官) 詰リ學校ヲ建テ、ソレニ研究所ヲ設ケルト云フ事ニ成リマスカ……尙ホ詳細ノ

點ニ至リマシテハ未ダ御研究ニ成ツテ居ラヌ何ウ云フ設備ニシテ年限ハ何レダケト云フ事ハオ極リニ

成ツテ居ラヌノデアリマスカラ唯ダ伺ツテ置クト云フ事ニ成リマセウ……サウシマスト第二ニ就テハ

モウ御質問アリセヌカ……

○番外(上原督學官) サウ致シマスト入學ノ資格ハ逓信省ノ商船學校卒業生デスカ或ハ地方ノ商船學

校ノ卒業生ガ這入ルノデスカ。

校ノ卒業生ガ這入ルノデスカ。

○八番(臼井源次君) 一般海員ト云フノデアリマス尙ホ高等教育ヲ受ケルノハ中央商船學校デモ出來

マセウガ高等程度デ出スノデ大學程度デ研究サセタラ宜シイダラウト云フノデサウ云フ場所ガナイカ

ラデ意味ハ廣クオ取リ下サイマシ重大ノ事デアリマスカラ……

○六番(西尾英次郎君) 一定ノ海事經歷ヲ有スルモノデアリマス學校ヲ卒業シタ者ガ直グジヤイケマ

セヌ。

○七番(桃井百太郎君) 文字ニ暗弊ガアツタラ何ントカ……

○八番(小林善四郎君) 宜シイ文字ヲ願ヒタイノデスソレデ大學程度ト云フノハ今ノ商船學校ノ上ト

云フノデアリマス。

○議長(黒澤參事官) 第二ニ御賛成ノ方ハ……可決致シマシタ次ニ第三「精神修養ニ重キヲ置キ一層

國家的觀念ヲ養フ事」コレヲ議題ニ供シマス。

○三番(平原藤三郎君) コレハ字ニ現ハレテ居リマスカウニ精神修養ト申シマスト世人ハ聖人君子ヲ

養成スルヤウニナキ者ヘマスケレ共今日ノ世ノ中デハ村夫子のノ聖人君子デハ能ク活動ハ出來マセヌ

ガ國家的精神ヲ養ツテ活動的精神ヲ十分ナラシメ同時ニ今日デハ商業道德工業道德ト云フヤウニ道德

ガ分レテ居リマスガ海員社會ニハ海員道德ト云フヤウナ方面カラ見タ人物ノ養成精神ノ修養ヲ努メテ

ヤツタナラバト考ヘマスカラコノ項ヲ加エタノデアリマス。

○七番(桃井百太郎君) コノ國家的觀念ト云フ中ニハ英國ヤ獨逸ノ戰時ニ於ケル船員ノ覺悟ト云フヤ

ウナモノガ必要ナンデアリマス。

○六番(西尾英次郎君) ソレカラ一言申シテ置キマスコノ頃英吉利ノ方ノ海員ヲ見マスノニ今迄英國

ハ海上ニ長年霸權ヲ持ツテ居ル、海軍ハ無論商船ノ海員ヲ見マスノニ從來大キナ船デ世界ヲ一週スル

船長ハ餘程人格ガ高ク格式ガアリマシタガ近來ハ人格ノ高キ格式アル船長ハ本國ニ常ニ歸リ多ク近海

船長ハ餘程人格ガ高ク格式ガアリマシタガ近來ハ人格ノ高キ格式アル船長ハ本國ニ常ニ歸リ多ク近海

航路ヲヤルノデアリマスガ之ニ反シテ遠クニ行ク船長ハ人格ガ劣等ナノデアリマス處ガ獨逸ノ方ハ世
界ヲ一週スル船長ハ人格モ高ク格式ノアル人多クイノデスガ處ガ沿海計リ航海スル船長ハ獨逸ニ於テ
ハ劣等ト云フ事ニ成ツテ居ルノデアリマスサウ云フ點ヲ考ヘマスト日本ノ海員ハ將來遠航スル船ノ船
長ハ何ウカト云フト矢張り獨逸ノヤウナ風ナ立派ナ人ヲヤラナケレバナラヌ近海航路ヨリモサウ云フ
點ハ餘程日本ノ海員ヲ増ス必要ガアラウト思モマス。

○議長(黒澤參事官) ソレデハ第三項ニ御異議ゴザイマセヌカ……全會一致……可決確定致シマシタ
一寸御注意マデ申シテ置キマスガコノ名簿ノ二十七頁ノ處ノ岡山縣兒島郡立トアリマスガ岡山縣立兒
島商船學校長ト御訂正願ヒマスソレデハ今日ハコレ閉會致シマス。

午前十一時五十分閉會

拾一月二十五日(土曜日)午前九時開議

○議長(黒澤參事官) 是カラ開會致シマス今日ノ議事ハ皆サンノ方カラオ出シニ成リマシタ建議案ニ
就テ一ツ議事ヲ開キタイト思ツテ居リマス、諮問案ノ答申第二ハ多分明後日ニデモ議スル事ニ致シタ
イト思ツテ居リマス、皆様が御相談ニ依ツテ御纏メニ成ツテ御報告ニ成ツテ居ルモノ、第一ヲ先ヅ議
題ニ供シタイト思ヒマス、「一、商船教育ハ國家の事業ニ屬スル係ラス單ニ縣費ヲ以テ之レヲ維持スル
コトハ地方經濟ニ大ナル關係アルヲ以テ經費ノ大部ハ國庫補助ヲ仰キタキコト」コレヲ議題ニ供シマ
ス誰方カ御説明ヲ願ヒマス。

○二番(正戸爲太郎君) 私ハ委員ノ一人トシテ一寸コトニ就テ簡單ニ理由ヲ述ベタイト思ツテ居
リマスコノ理由ハ抑々商船學校ト云フモノハ學校ノ性質カラ見テモ或ハ實質上經營上カラ見テモ全ク
國家の事業デアリマシテ殊更此處申述ベル必要ハナイ事ト思ヒマス從ツテ國家自ラ之ヲ經營スル事
ヲ適當ト存ジマス然ルニ現在ノ如ク一縣ノ經營ニシテ置キマスト縣民ノ負擔ヲ重カラシメ常ニ縣會ノ

問題ト成ル事アリ又生徒ノ募集等ニ就キマシテモ學校ノ希望ト致シマシテハ廣ク各縣ニ互ツテ秀才ヲ
選抜シタイト考ヘマスガ縣民ノ方カラハ苟クモ縣費ヲ以ツテ經營シテ居ルニ他縣ノ者ヲ入學セシムル
ト云フ事ハ不都合デアルト云フノデアリマシテソノ結果度々學校ノ存廢問題ガ縣會等ニ持出サレル事
ト成ルノデゴザイマスソレガ爲メニ學校ノ希望トシテ居リマス處ノ優良ナル生徒ヲ選抜シテ入レル事
云フ事ハ大變困難デゴザイマス學校經費ノ大部分ヲ國庫デ負擔ヲサレマシテ殆ド國營ノ形式ト致シマ
スレバ縣民ノ苦情モ自然ソノ跡ヲ斷ツヤウニ成ツテ從ツテ優良ナル生徒ヲ得ル事モ出來ヤウト思ヒマ
スカラコノ案ヲ出シタモノデアリマス是處ハ何ウカ皆サン御説明ヲ願ヒマス。

○七番(桃井百太郎君) 今説明ガアリマシタ通りデアリマスケレ共ソノ中デ殊ニ縣外縣内ト云フ事ニ
就キマシテ學校ノ存廢問題等ノ起ルノハ各縣ニ依リマシテ夫々違ヒモアリマセウケレ共元來私ノ縣等
ハ殆ド毎年ノヤウニ移轉問題デアルトカ或ハ廢校問題ト云フモノガ出マスガソノ理由ハ種々聞イテ見
マシタケレ共勿論黨派ノ關係モアリマスケレ共何時デモ他縣人ガ這入ルト云フ事ガソノ理由ノ一ツト
成ルノデアリマス學校ノ方デモ隨分縣ノ方針ニモ從フヤウニシテ遣リマスケレ共縣ソノ者ガ海事思想
ガ薄ケレバ從ツテ縣カラ出テ來ル生徒ガ少ナイソノ少ナイ中カラ澤山ノ生徒ヲ得ル事ハ困難デアルサ
ウスルト生徒ノ人員ニモ關係ガアツテ困リマスガ若シ他縣者ヲ入レマスト後トデ攻撃ガアリマス斯ウ
云フ風デ苦痛ヲ感ジテ居ル學校ハ商船學校ニ多カラウト思ヒマスサウ云フ場合別ニ標準モ何ニモアリ
マセヌケレ共或ハ經費ノ中デ他縣ノ者ガ餘計ニ成レバソレダケ補助ヲ増ストカ或ハ全部ニ對シテ何分
トカ云フ風ニ現在ノ補助金ヲ成ル可ク餘計ニ増額ヲシテ戴キタイト云フ希望デアリマス私ノ處ハ十ヶ
年ト云フモノハ毎年サウ云フ事ガ出マスカラ……要スルニ縣外縣内デゴザイマス同ジ日本人トシテ他
縣人ハ不可スト云フ事ハ實ニ學校長トシテ言ヒ惡イノデゴザイマス。

○議長(黒澤參事官) 至極御尤ノ建議案ト思ヒマス能ク調査シテ出來ルダケサウシタイト思ツテ居リ

マス。

○八番(小林善四郎君) 今七番ノオ話デ他縣ノ者ガ這入ツテ來レバ這入ツタ割合デ國庫ノ補助ヲ仰ギ
タイト云フ事デアリマシタガ私ノ學校ニハ多少他縣人モ居リマス皆サンノオ話ヲ聞キマス諸方デ縣
外縣内ト云フ事デ八ヶ間敷イ問題ガアルト云フノデスガ私ノ方デハ縣内縣外ト云フ意志ハアルカモ知
レマセヌガ縣外カラ入レマシテモ當局者ノ反對ヲ一回モ聞イタ事ハアリマセヌ幸ヒ愛媛縣ノ縣會ノ人
ハ他縣ノ方ニ比ベテ温和シイ或ハ國家的觀念ガ強イノカハ知リマセヌガ私ノ縣デハ縣外縣内ト云フ事
デ更ニ批難ヲ聞イテ居リマセヌカラ念ノ爲メ申上ゲテ置キマス。

○十番(加藤正直君) 私ハ大體賛成デゴザイマスガ一寸分リカネマスガ増額ト申シマシテモ經費額ハ
何ノ位イ……

○二番(正戸爲太郎君) 澤山アレバ結構デスガ何ノ位イト云フ事ハ今申シ兼ネマス。

○九番(白井源次君) 今小林校長ノ述ベラレマシタヤウナ事ハコレハ稀レニ見ル現象デアリマシテ大
部分ハソノ問題デ縣内縣外ト云フ事デ問題ヲ起シテ居ル事ト考ヘマスコレハ文部省ノ御方針ト地方ノ
經費ヲ負擔シテ居ル地方廳ト意見ガ異ナル結果斯ウ云フ風ニ成ルンジャナイカト考ヘマス文部省ノ御
方針トシテ學校ハ需要供給ノ關係上成ルタケ殖サナイト云フオ考ヘデソノ方ガ補助金モ商船學校ニ多
ク遣レルト云フ御方針ト伺ヒマスガ兎ニ角國家的事業トシテ商船學校ノ設立ヲ許シ日本ノ海事思想ヲ
向上セシメル御方針ト存ジマスガ併シ地方デハ自分ノ縣ノ海事思想ヲ養成スルト云フ事デ遣ツテ居リ
マス其處ニ矛盾ガアツテ我々當事者ハ大變遣リ惡イノ迷惑ヲ感ズルノデアリマスソレデ何ウカ補助
ヲ多クシテ戴キタイト考ヘルノデアリマス。

○議長(黒澤參事官) 一寸オ尋ネシテ置キタイトデアリマスガ縣内縣外ト云フ事ガ大變八ヶ間敷イデ
スガ縣外ノ人ニハ多少負擔ヲ加ヘルト云フ事ハアリマスカ……

○二番(正戸爲太郎君) 私ノ處デハ遣ツテ居リマス。

○六番(西尾英次郎君) 私ノ處デハ五十錢ダケ……

○七番(桃井百太郎君) アリマセヌ。

○九番(白井源次君) アリマセヌ。

○十番(加藤正直君) ゴザイマセヌ。

○七番(桃井百太郎君) ソレハオ話申スト妙デスガ縣會議員ノ仲間ガ唯ダ一方ヲイジメルト云フヤウ
ナ事デ問題ニスルヤウナ事ガアリマス。

○議長(黒澤參事官) 概シテ學校問題ノ八ヶ間敷イ處デスカ……

○七番(桃井百太郎君) 毎年ダカラ困リマス。

○九番(白井源次君) 他ノ學校ハ各縣ニゴザイマスガ商船學校ハ餘リ無イカラソレデ一層困リマス。

○十番(加藤正直君) 大賛成デアリマス生徒ノ縣内縣外ト云フコトデ唯今オ話ガアリマシタガ私ノ方
ノ鹿兒島ハ地勢ノ關係上固ヨリ他カラ來ル者ハ稀レデスガ私ノ學校ハ航海ト水産トアリマスガ商船科
ニ就テオ話致シマスト商船科ニ於キマシテハ現在ニ於テ縣外生ハ僅カ三名計リデアトハ殘ラズ縣内ノ
者デアリマスカラ先ヅ以ツテ皆ナ縣ノ生徒ト云ツテ宜シイサウシテ鹿兒島ハ色々沿革上海事ニ就テハ
少ナカラザル關係ガアリマシテ段々土地ノ有志者等モ學校ノ必要ヲ今日ハ認メテ居ル時デアリマスソ
レニ拘ラズ毎年縣會ノ時ニハ随分學校問題ガ殊ニ商船學校ノ問題ハナカク八ヶ間敷イ議論ガアリマ
ス時ニハ存廢ヲ議スルト云フ風デアリマスソレガ既往三年間毎年縣會ニ出ルト云フ譯デアリマスソノ
原因ハ鹿兒島縣會デ存廢説ガ出マス原因ハ生徒一人割リノ經費ガ他ノ普通學校ニ比ベルト大變上ツテ
居ル中學校其ノ他高等女學校等ニ於テハ一人割二十五圓幾ラト云フ教育費デアリマス商船學校ハソレ
ヨリ遙カニ上ニ成ツテ鹿兒島邊リデハ六七倍以上ニ上ツテ居ルノデアリマシテサウ云フ事ガ主ナル事

折角民間ノ方デハ一部デ必要ヲ稱ヘルニ拘ラズ縣會ノ一部デハソノ批難ヲスルト云フ事デ學校トシテ誠ニ遣リ惡イソノ結果ハ何ウ云フ損ガアルカト云フト勢ヒ學校デ困ル事ハ一寸話ハ枝葉ニ成リマシガ生徒ノ募集ニモ困ル縣會デ存廢問題ガ議論サレルヤウナ學校ニ自分ノ愛スル息子ヲ入レル事ガ出來スト云フ詰リ學校ニ疑念ヲ抱キマスカラ何ウモ募集上ニ就キマシテ困ル事ガ屢々アリマス併シ幸ヒニシテ學校側ヲ賛スル方ガ多イノデ今日マデ經費ヲ支出シテ居リマスガ兎ニ角何ウモ經費ノ上ニ於テ問題ガ出ルノデアリマスガ是等學校ハ國家トシテ時勢ニ適シタモノデアル、又海事ノ方面ニ於テハ將來益々必要ナモノデアルトハ縣デモ認メテ居リマスガ金ノ點カラ今申シタヤウナ事ニ成リマスノデアリマス私ハコノ問題ニ就テ希望ト致シマシテハ航海實習ノヤウナ事ニ就テモ現在困ツテ居リマス唯今私ノ方ニハ練習船ガアリマシテ私ノ方トシテハ實習ノ教育ヲ施スノガ大切ナ理由ヲ述ベテ相當ニ金ヲ貰ラツテ斷行シテ居リマスケレ共而モソノ實習船ノ經費ニ就テハモウ本年限りヤメヤウトカ船ヲ賣ツテ了ツタラ何ウカト云フ事ガ出マス私ノ方ニ練習船ガアルダケデハアリマセヌ山口縣或ハ三重縣ニハ新ラタニ設ケラレタサウデアリマス、ソレデ練習船ヲ持ツテ居ラレル學校モアリ練習船ノ無イ學校モアリマス練習船ガアレバ生徒ヲ養成スル上ニ於テ大變都合ガ宜シイデスガ練習船ノ無イ方ハ校長ノ多年ノ努力トソノ社會ニ於ケル信用トニ依ツテ練習船ガ無クモ帆船練習ヲサセル事ガ出來ルヤウニ成ツテ居ル併シナガラ時勢ノ進歩ハ帆船狀態ガ段々數ヲ減シテ來テ段々汽船ニ成リツ、アリマスカラ何時迄モ現狀ノ儘デハ生徒ノ養成ト云フ事ニ就テ取扱上困ルト思ヒマスモウ一ツハ屢々今日起ル生徒ノ品性問題デスガ生徒ノ品性ヲ養ツテ立派ナ生徒ヲ養成スル上ニ於テ何ウシテモ學校トシテ別々ノ帆船練習デハ到底日本ノ海員トシテ立派ナ海員ヲ養成スル事ハ出來ヌト云フ處カラ何ウカ實習ニ就テハ文部省ガ多大ノ御補助ヲ與エラレタイト希望スルノデアリマスソレニ就テハ色々議論モアリマセウガ自分ノ考ヘトシテハ先ヅ第一ニ各縣デ持ツテ居ル練習船ヲ全部集メテ文部省ニ提供シテサウシテ文部省

ノ一定ノ指揮ノ下ニ全國商船學校ノ席上學科ヲ終ツタ者ガ同一訓練ノ下ニ帆船練習ヲヤツタナラバ實習ノ方法モ統一シ生徒ノ品性モ統一シテ各船主ガ要求スル人格ノ高イ處ノ高等海員ヲ將來輩出スル事ニ成ラウト云フ考ヘカラ一寸申上ゲタノデソレヲスルニハ勿論金ガナケレバナラヌノデアリマシテ又コレヲ實行スルニハ學校トシテハ多少ノ困難モアリマセウガ練習ヲ満足ニシテ立派ナル海員ヲ作ルニハ各縣ガ個々別々ニスルヨリモ統一スル事ガ宜シイト思フ統一スルニハ大ナル金ヲ要スル又統一ハ「オーソリチー」ガナケレバナラヌノデ皆ナ金ノ力デアリマスカラシテソノ希望ヲ遂ゲルト云フ事ニ就キマシテハ少ナクとも帆船練習ノ事ダケハ一ツ文部省ノオ力ニ依ラナケレバナラヌト思ヒマス練習ニ要スル經費ハ文部省ニ於テ御負擔願ツタ方ガ非常ニ效力ガアル事ト思ヒマス賛成ノ趣意ハ其處ニアリマス。

○二番(正戸爲太郎君) 唯今マデ各校長ノ種々ナオ話ヲ伺ヒマシタソノ中デ生徒ノ募集ニ就テハ或ル縣ニ於テハ別ニ困難ヲ感ジテ居ラヌト云フ事ガゴザイマシタガ歸スル處縣内ニ假令應募者ハアリマシテモ廣ク澤山ノ秀才ヲ選抜シテ入レルト云フ事ニ就テハ或ハ困難デハナカラウカト思ヒマスソノ點ニ於テ各縣一樣ト思ヒマス唯今ノ鹿兒島ノ校長ノ練習船維持ノ困難ト云フオ話モゴザイマシタガ經費ノ補助ガアレバ宜シイノデスガ、ソレカラ練習船ヲ總テ文部省デ持ツテシテ戴クト云フ事ハ至極御同感デアリマスガ實行上如何カト思ヒマス。

○十番(加藤正直君) 先刻一寸落シマシタガ私ノ方ノ縣内ノ生徒ガ多イト云フ事ハ地勢ノ關係デセウガ私ガ商船學校長ヲシテ居リマス以上ハ縣内モ縣外モ私ハ見マセヌガ現狀ガ縣内ノ人計リデアルニモ拘ラズ縣會ニ學校問題ガ出ル況ンヤ縣外ノ者ガ三分ノ一トカ四分ノ一トカ云フ多數ニ成レバ尙更ラ議論ノ出ルノハ當然ト思ヒマス兎ニ角商船學校ニ於テ完全ナル高等海員ヲ養成スルニ就テハ縣内モ縣外モアリマセヌガ趣旨ヲ貫徹スルニハ何ウシテモコレハ矢張り金ノ力ニ俟ツヨリ外カニ途ガ無イト思ヒ

マスカラソレ故ニ先刻希望ヲ述ベタ次第アリマス。

○三番(平原藤三郎君) 先程鹿兒島縣ノ校長ハ文部省デ練習船ヲ官營ニシテ戴イテ各地方ノ商船學校カラ出テ來タ生徒ヲ收容サレテ一定ノ規律ノ下ニ訓練サレタナラバ非常ニ宜シイト云フ事ヲ述ベラレマシタガ勿論ソノ趣意ニ於テ私ハ大賛成デアリマスガコレハ經費ガ件フ事ト思ヒマス經費ト云フノハ生徒各自ノ經費モ伴フモノデ莫大ノ經費ガ要ラウト思ヒマス御承知デゴザイマセウガ英吉利デハ實習ヲスルニハ船ニ乗ツテ九ヶ月間ノ實習デ世界ヲ廻リマスガ生徒ハ皆ナ自費デゴザイマス勿論外國船ハ大概經費ヲ拂ツテ稽古ヲスルノデアリマス處ガ驟ツテ帆船實習ヲ見マスト皆ナ船主若シクハ船長カラ食料ヲ供給サレルノミナラズ航海ノ終リ若シクハ初期ニ於テ相當ノ報酬ヲ貰ツテ居ルノデアリマス現ニ私ノ方ナドデハ船ニ乗込ムノヲ悦ブノデアリマス彼等半年若シクハ三ヶ月ノ間ニ不相當ナ給料ヲ貰ツテ來テ心掛ケノ宜シイ生徒ニ成ルト家ニ一切迷惑ヲ掛ケナイデヤツテ行ケルノデアリマスガソレヲ斯ウ云フ風ナ一定ノ訓練ノ下ニスルト云フ事ニ成レバ修業上ハ宜シイケレ共多ク中流若シクハソレ以下ノ生徒ヲ收容スル商船學校ノ生徒トシテハ負擔ガ莫大デナイカト思ヒマス。

○八番(小林善四郎君) 今三番ガ仰セラレタノハ私ノ方デモ同ジデアリマスソレデ練習船ヲ拵エテ一ツノ統一ノ下ニ訓練ヲナサルノハ宜シイ事デアリマスガ併セテ生徒ノ給料ヲ仰ギタイト思ヒマス今富山縣ガ席上三ヶ年勉強スルト實習ノ時ハ給料ヲ貰ヘルト申サレマシタガ實際心掛ケノ宜イ者ニ成ルト給料ヲ貰フト四圓ナリ五圓ナリ親ノ處ニ送ル生徒スラアルノデアリマス尤モ帆船ハ一年間デハアリマスタガソノ間ニ費用ヲ貰ツテ居ルノデスカラ宜シイノデス何ウカ生徒ノ費用モ併セテ負擔ヲシテ戴キタイソレデナイト私共困難ノ状態ニ陥ル次第デアリマス。

○十番(加藤正直君) 先刻來申シマシタ事デ生徒ノ費用云々ト云フ事ノオ話ガゴザイマシタガ無論ソノ點ニ就テモ考ヘテ持ツテ居リマスコレハ細目ト思ヒマシテ説明ヲスル事ガ足リマセヌデシタ新ラタニ船ヲ求メルト云フ事ハ大變デスガ今三四ノ學校デ現ニ船ヲ持ツテ居リマスソノ船ヲ全部文部省ニ提供シテサウシテ文部省ノ御所有ト願ツテソレニ要スル經費ハ總テ文部省カラ御支出願ヒタイト云フ私ノ希望デアリマス生徒ノ給費ト云フ事モ考ヘテ居ルノデアリマス。

○議長(黒澤參事官) 唯今皆サンノオ話ヲ承ツテ見マスト練習船ノ統一ト云フ問題ハ至極理想的ノオ話ノヤウニ考ヘマスガ實行上ニ就テハ十分ノ考慮ヲ要シマスガ實行致シマストスレバ練習ノ統一並ビニ品性ノ修養ト云フ點ニ就テハ大變ウマク行クカモ知レマセヌケレ共新ラタニ大ナル帆船ナリヲ買入レルト云フ事並ビニ生徒ノ給費マデ文部省デ出スト云フ事ハ餘程莫大ノ費用ヲ要スル事デ實業學校ノ國庫補助ノ金ヲ利用スル事ハ出來ナイト思ヒマスカラ新ラタニ豫算ヲ要求シナケレバナラヌ事ニ成ラウト思ヒマスカラ餘程ノ大問題デアリマシテオ考ヘハ宜シイカモシレマセヌガ實行上並ビニ經費ノ點ハ何ントモ何ウモ私カラ意見ヲ申上ゲルコトガ出來マセヌ兎ニ角オ考ヘノアル處ハ文部省デ之ヲ尊重シテ考慮ヲ費ス事ハ費シマスガ今何ントモ申上ゲラレヌマセヌノ點ハオ含ミ願ヒマス。

○十番(加藤正直君) 成ル程議長ノ御注意ノ如ク新ラタニ文部省ガ船ヲ作ルトスレバ莫大ノ費用ヲ要シマスガソレマデゴザイマセヌデモ唯今各縣ガ持ツテ居ル船ヲ……三隻カ四隻ゴザイマスガソレヲ文部省ニオ集メニ成ルノデアリマセヌ方ハ要ラヌ譯デアリマスサウシテソレヲ運航シテ戴クソレハ三四萬圓ノ費用ハカカリマスガ何ウ云フ風ニ船ヲ動かシテ居ルカト申シマスト全然練習ト云フ事デナク多少仕事ヲシテ居ルノデアリマス仕事ヲスレバ荷物ノ扱ヒ方モ覺エルト云フヤウナ趣意デアリマス若シサウ云フ事ハ文部省ニ於テハ出來ナイト云フナラバ金ダケ出シテ戴イテ或ハ年番交代デ學校ノ方デ運航シテモ宜シイト思ヒマスサウシタナラバ一方ハ貨物ノ輸送ニ從事シテ居リマスカラ三四萬圓ノ費用ヲ要シテモ幾分回收ガ出來三分ノ一ナリ二分ノ一ノ回收ガ出來マスサウスト一萬圓ナリ一萬五千圓回收シマスカラ後トガ經費デアリマスケレ共ソノ位イハ生徒ヲ養成スルニ出シテモ大シタ事デアリマス

マイト思ヒマスソレガ爲メニ受ケル利益ハ非常デアラウト考ヘマスカラ申シタノデアリマス。

○三番(平原藤三郎君) 十番ニオ尋ネシマスガ國庫補助ノ全部ヲ練習船ノ方ニ願ヒタイト云フオ考ヘデアリマスカ……

○十番(加藤正直君) 夫ガデス……少ナクトモ練習船ダケ何ウシテモ願ヒタイ遣ツテ貰ヒタイノデアリマス私ノ方デハ經費ガ一寸他カノ割合ト違ツテ居リマスノデ商船學校ト水産學校ト別ニシテ經費ヲ三分シテ練習船三分ノ一、航海科三分ノ一、水産科三分ノ一ト云フ状態デカツキリ三分ノ一デハアリマセスガ稍々近似數ト成ツテ居リマスア練習船費ガ半バヲ示スヤウナ大部分ト云フ事ニ成ツテ居ルノデアリマス。

○九番(白井源次君) コノ問題ハ此處ニアリマス通リニ經費ト云フ中ニ私共ハ練習問題モ這入ツテ居ルモノト考ヘマスカラヒツクルメテ學校ノ負擔ヲ輕クシテ戴キタイト考ヘマス其處デ練習船問題ハ各學校ニ依ツテ異見モ違フデアリマセウシ又私共ノ學校ハ練習船モアリマスガ十ヶ年契約シテ居リマス若シ唯今ノ案ヲ實行スル事ニ成リマスト契約ヲ解クニ面倒モアリマスシ又實行ニ反對スル者モアリマスノデコノ問題デ練習船ト云フ事ヲ大キク見マスト非常ニ實行ニ就テ時期ガ遅レヤウト存ジマス……出來ル出來ヌハ第二トシテ出來テモ遅カラウト思ヒマスソレデ練習船ヲ切離シテ別問題トセズシテコノ中ニ練習船モ中ニ含マレテ居ルモノト解釋ヲ致シマスレバ學校ノ意見ハ先ヅ何レモ反對ハアルマイト思ヒマスサウ云フ風ニシテ一ツ成ル可ク多額ノ補助ヲ早く仰ギタイト云フ處デオ含ミテ願ヒタイ。

○三番(平原藤三郎君) 鹿兒島縣ニ一寸申上ゲテ於キマスガ國庫補助ノ現在ノ額ハ上原督學官カラ承リマスト商船學校ハ一萬五千圓デゴザイマスソレダケノ經費デ練習船ニ支辨シテ行クト云フ事ハ私共何ウモ……

○十番(加藤正直君) ソレ以上デ願ヒタイト云フノデアリマス。

○三番(平原藤三郎君) 莫大ノ補助ヲシテ戴クト云フ事ハ或ハ不可能カト思ヒマス不可能ナ希望ヲ容レテ戴キタイト願ツテモ實行ガ六ヶ敷カラウト考ヘマス。

○八番(小林善四郎君) 今議長ノ御話ナサレタ事カラ考ヘマスト船ヲ買フ金ガ大變カ、ルカラ何ウモ同意ガ出來ヌ或ハ新ラシイ大キナ船ヲ拵エルト云フヤウナ御考ヘト思ヒマスガ鹿兒島デハ現在持ツテ居ル船ヲ無代價デ以ツテ提供スルカラソレヲ動かシテ貰ヒタイト云フ大變都合宜シイコトデアリマ스가兎ニ角我々ノ希望ハ大部分ノ國庫補助ヲ仰ギタイト思ヒマスノデアリマス我々ノ學校ヲ維持シテ行ク處ノ縣費デハ船マデ維持シテ行クノハ困難デアリマスカラ何ウカシテ戴キタイト云フノデ船ノ問題ハ枝葉デアリマスケレ共何ウカ我々ニ安心ヲ御與エ下サルヤウニ御圖リ願ヒタイト考ヘマスノデアリマス。

○議長(黒澤參事官) サウ云フ場合デナクシテ現在ノ國庫補助デ直接文部省ガ練習船ヲ買ツテヤルト云フ場合デアリマスソレデ昨日モ局長ノ御話ガアツタ通り國家的事業デアルカラ成ル可ク國庫補助ヲシタイト云フ御考ヘガアルヤウデアリマスカラ出來ルダケヤツテ見タイト思ヒマス。

○八番(小林善四郎君) モウ大體議論モ盡キタヤウデアリマスカラ御採決ヲ願ヒマス。

○議長(黒澤參事官) ソレデハ第一號案ハ大體議論モ盡キタヤウデアリマスカラ採決シテ御異議ゴザイマセスカ……

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(黒澤參事官) 第一號ニ御賛成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス。

起立者 多數

○議長(黒澤參事官) 多數……可決致シマシタ第二「商船學校本科修業年限ヲ四箇年トスルコト但シ入學資格ハ従前ノ通トス」コレヲ議題ニ供シマス。

○二番(正戸爲太郎君) 第二項ヲ議シマスルニ就テ大ナル關係ヲ持ツテ居ル事デアリマスカラ一寸申シテ宜イデスカ……

○議長(黒澤參事官) 宜シウゴザイマス。

○二番(正戸爲太郎君) 私人申上ゲタイノハ地方商船學校ノ根本ノ組織ヲ改正サレタイト云フ事ノ案デゴザイマス即チ唯今ノ甲種商船學校ヲ將來專門學校トシテ待遇サレタイト云フ問題デアリマスソノ内容ハ矢張り修業年限ヲ四年半トシテ席上一年六ヶ月實習三年ノ直轄實業學校トシテ中學卒業生ヲ入學セシメテ之ヲ養成スルノデアリマスサウシテコノ設立ガ官立ナラバ御異議アリマセヌガ其他ノ場合ハ諸縣聯合シテ經費ヲ出スト云フ事ニシテヤリタイト思ヒマスソノ理由ハ先キニモ第一項ニ就テ申上ゲタ通り商船學校ハ無論國家の事業デアラウト思ヒマスソレデ學科ハ專門學校ト同ジ程度ノ事ヲ遣ツテ居リマス勿論ソノ實績ニ於テモ專門學校ノ程度ニ匹敵シテ居ルノデアリマス然ルニ普通ノ實業學校程度ニ置カレテ居リマスガ實業學校ハソノ縣内ニ於テ有用ナル人ヲ養成スルト云フノデスガ商船學校ハ小サイ仕事デナク國家的デアリマス否寧ロ世界的ニ活動ヲスル人ヲ養成スル學校デゴザイマスカラソノ意味ニ於テモ國家自ラ經營サレルノガ正當ト考ヘマスガソレデ今日ハ中等學校ノ中ニアリナガラ性質……ソノ實際ハ專門學校程度ニアリマスカラ寧ロ之ヲ根本的ニ專門學校ノ中ニ入レルヤウニ改善サレルヤウニ希望致シマスノデアリマス又理由ノ一ツトシテハコノ商船學校ノ專門學ハ非常ニ他ノモノニ比較致シマスト六ヶ敷イノデゴザイマス餘程普通學ノ素養ガ無イト理解ガ出來ヌコトガ多イノデゴザイマス今日ノ如ク小學校卒業程度ノ者ニ普通學ト專門學ト伴セテ教エテ居リマスガ頗ル困難デアリマスソレデ何ウシテモ普通學ノ素養ノ十分アル者ヲ入學セシメテ教エテ居リマスガ頗ル困難デアリマス成リ然ラザレバソノ目的ヲ達スル事ガ出來マセヌカラシテ第二項ニゴザイマス年限ヲ延長スルト云フ事モソレカラ起ツテ來ル問題ト思ヒマス又一方コレハ事實デアルカ何ウカ分リマセヌケレ共

信ズ可キ話トシテ聞キマシタ所ニ依リマスト近來朝鮮總督府或ハ川崎ヤ長崎ノ造船所デ同ジヤウナ學校ガ出來ルト聞キテ居リマス成ル程趣意ハ國家ノ爲宜カラウト思ヒマスガ併シ地方商船學校ノ方カラ申シマスト大變ナ打撃デアリマス將來此ノ學校カラ多數ノ卒業生ガ出マスト自然學問モ出來マシテ他ノ商船學校ガ壓迫ヲ受ケルヤウニモ成リハシマイカト考ヘマスカラ甲種商船學校ニ職ヲ奉ジテ居ル者ハ深く考ヘナケレバナラス事ト考ヘマス又文部當局ニオカセラレマシテモ大イニ甲種商船學校ニ文部省ノ御力ヲ下サレテ又將來斯カル種類ノ學校ニ就テ比較考慮ヲ願ハナケレバナラスト思ヒマス又現在ノ甲種商船學校ヲコノ日進月歩ノ社會ノ要求ニ應ジ專門學校程度ニ御昇級アラン事ヲ希望致シマス。

○九番(白井源次君) コノ問題ハ私モ提出者ノ一人デゴザイマス根本ノ趣意ハ唯今文部省デ地方商船學校ノ設立ヲ御許シ下サイマシタソノ目的ヲ達スルノニハ何ウシテモ修業年限ヲ四ヶ年トシナケレバ目的ヲ達シ惡イト云フ處デコノ問題ヲ出シマシタソレデコノ問題ハ私ガ出シマシタ關係モアリマスシ……早ク何分御願ヒ致シタイト思ヒマス就テハ昨日モ御願ヒ致シマシタヤウニ速記ヲ一時止メテ何ウカ御考ヘヲ腹藏ナク御話シテ願ヒタイト思ヒマスコレハ重大問題デアリマシテ焦眉ノ問題デアリマスカラ何分早ク致シタイト考ヘマスカラ商船教育ノ發達上十分コノ内容ニ就テ差支ヘナイナラバ御話ヲ願ヒタイトデス。

(速記中止)

○議長(黒澤參事官) マダ御意見アリマスカ……第二ハ別ニ御異議アリマセヌカ。

(一) 異議ナシト呼ブモノアリ)

○三番(平原藤三郎君) 其專門學校程度ノ學校ノ設立ト云フコトニ付テハ異議ハゴザイマセヌガ、現今實業學校令ニ依ツテ居ル所ノ商船學校ヲ見マサルト、先程議長モオ仰ツタヤウニ三萬噸以上ノ船ノ

船長若クハ機關長ハ東京ノ學校ノ卒業生ヲ使ツテモ宜イガ、今日其以下ノ職員ニ對シテハ甲種程度ノ者ヲ使フト云フノデスガ、是ハサウ差異ノアル者デハナイト思ヒマス、夫故ニ此第二ハ御承認セラレテ需要ニ應ズルヤウニセラレタ方ガ結局成績カラ言ツテモ利益デヤナイカト思ヒマス。

○十番(加藤正直君) 御趣意ハ賛成ヲ致シタイトコロゴザイマスガ、ドウデスカ是ハ此第二項ノ問題ニハ關連ナク、是ハ一ツ別問題トシテ議事ヲセラレル方ガ大變都合ガ宜カラウト思ヒマス。

○議長(黒澤參事官) 三重縣カラ御提出ニナツタ、専門學校設立ノ建議事項ハ別ニ一ツトシテ出サレルコトニナツテ居リマスガ、此問題ト關連ナク別ニシテ宜シウゴザイマスカ。

○十番(加藤正直君) 其方ガ宜カラウト思ヒマス。

○議長(黒澤參事官) 夫デハ宜シウゴザイマス。

○八番(小林善四郎君) 第二項ハ四ヶ年ト云フコトニシテ是ハ決議ヲシテ贊ヒタイ。

○議長(黒澤參事官) 其前ニ専門學校ニ是ヲ改メルト云フ御意見デアリマスカラ、専門學校程度ノ學校設立ト云フ御趣意ニシテ是ヲ通セバ一向差支ナイ。

○七番(桃井百太郎君) 其問題ハ後廻シニシタイノデス、前ノ方カラ順次遣ツテ贊ヒタイ。

○議長(黒澤參事官) ドウデセウ専門學校設立ト云フヤウナコトハ御撤回ニナツテハ。

○二番(正戸爲太郎君) 其意見ハ撤回シマセス。

○議長(黒澤參事官) 夫デヤ兎ニ角決ヲ採ツテ見マセウ此案ヲ加ヘルト云フコトニ御賛成ノ諸君ハ御起立ヲ願ヒタイ。

起立者 二名

○議長(黒澤參事官) 少數デス。

○一番(田中茂藏君) 私ハ第一二三ナドハ賛成デスガ、此二ノ問題ナドヲ採決シマスニハ、私ハ實ハ

根本的ナル主要ナモノト認メテ居リマスカラ、ドウシテモ是等ハ段々根底カラ解決スルノ必要ガアルト思フノデス。

○九番(白井源次君) 一寸御尋ネシタイ、一番ノ御意見ハ根本的ノ解決ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ御話デスガ若シ根本的ニナケレバ一步デモ進ンダラ夫デモ宜シイト云フノデスカ。

○一番(田中茂藏君) 現狀ノ儘デハ困ル。

○九番(白井源次君) 其趣旨ナラバ賛成デス。

○一番(田中茂藏君) 出來ヌト云ヘバ仕方ガナイ。

○九番(白井源次君) 出來ヌト云ヘバ仕方ガナイ賛成デスカ。

○一番(田中茂藏君) 國費ノ補助ヲ以テ高等商船學校、中央商船學校ニ類スルモノヲ五ツ六ツ拵ヘタカラト云ツテ、日本ノ國ガ破産ヲスル譯デモナイカラ、是ハ遣ツタ方ガ宜カラウト思ヒマス、出來ナイト言ツテ捨テ、仕舞ヘバ夫迄ダガ、サウ云フコトデハ却ツテ國家ニ不忠實デアルト思フ、若シ之ニ依テ海運界ノ發展ヲシナケレバ再ビ斯ウ云フ機會ハ來ナイ、是ヲ今回遣ラナケレバ斯ウ云フ好機會ハ來ナイノデアアル、歐羅巴ナドハ日本ノヤウナ所ハナイ、連モ外國ハ日本ノヤウナ遣方デハナイ。

○議長(黒澤參事官) 夫デヤ第二問ハ原案通り御異議アリマセヌカ。

(異議ナシト呼ブモノアリ)

○議長(黒澤參事官) 第二問ハ是デ可決イタシマス、サウスルト時間ガアリマスカラ三問モ續イテ遣リマス、三問四問ヲ議題ニ供スルト云フコトニ御異議アリマセヌカ。

(異議ナシト呼ブモノアリ)

○議長(黒澤參事官) 御異議ガナケレバ三問、四問ヲ議題ニ供シマス、一應御説明ヲ願ヒマセウ。

○七番(桃井百太郎君) 實ハ此機關科ノ實習年限ヲ短縮ヲシタイト云フノハ、此機關科ト云フモノハ

船長ヨリハ機關長ノ方ガ下デアルト云フヤウナ觀念ヲ一般ニ持ツテ居ルノミナラズ、甚ダシキハ釜焚デアルト云フヤウニ言ハレル、夫ガ學校ニ這入ルト半年長クテ非常ニ損ナ科デアルト云フヤウニ一般ノ頭ニ感ジラレテ居ル、然ルニ機關科ハ責任ハ重クテ待遇ハ宜クナイノミナラズ年限ガ長イノデアリマスカラ、是ハ半年短縮シテ遣リタイ、サウシテ航海科ナド、同ジヤウナ年限ニシテ貰ヒタイ斯ウ云フ趣旨デアリマス。

○議長(黒澤參事官) 實習期間ノ三年半ト云フ其半ヲ取ルト云ノデスカ。

○七番(桃井百太郎君) サウデス。

○二番(正戸爲太郎君) 私ハ却ツテ三年ニシタ方ガ半年早ク實務ニ就テ居ル譯ダカラ却ツテ效果ガ舉ガルダラウト思ヒマス。

○議長(黒澤參事官) 第三ハ宜シイデスカ。

○二番(正戸爲太郎君) 第一回試験ト云フ其項ノ試験デ普通科ハマメル斯ウ云フコトニ今回ノ試験規則デ改正ニナリマシタガ、海警局ノ第一回船舶職員試験規程ニ依ル試験ハ省クケレドモ夫以上更ニ普通科ノ試験ヲ免除シテ貰ヒタイ、斯ウ云フヤウニ修正ヲシタイ。

○議長(黒澤參事官) サウシマスルト、大體御異議ハアリマセヌガ、第三ニ就テハ三重縣カラ修正案ガ出マシタ、即チ第一回現在ノ状態ニ於テ第一回船舶職員試験ヲ省クケレドモ、夫以上更ラニ普通科ノ試験ヲ免除シテ貰ヒタイ、斯ウ云フ修正案ガ出マシタガ、此修正案ニ御賛成ノ御方ノ起立ヲ願ヒマス。

起立者 少数

○議長(黒澤參事官) サウスルト第三項ハ原案通リト云フ方ノ御起立ヲ願ヒタイ。

起立者 多数

○議長(黒澤參事官) 可決イタシマス、第三項ハ原案通リト、夫カラ第四ハ御異議アリマセヌカ、第

四ノ決ヲ採リタイト思ヒマス、第四ニ御賛成ノ方ノ御起立ヲ願ヒマス。

起立者 多数

○議長(黒澤參事官) 全會一致デアリマス、可決イタシマス、サウスルト後ハ明後日ト致シマス、今日ハ是デヤメマス。

午後零時四十分散會

十一月二十七日午前九時開會

○議長(黒澤參事官) 唯今ヨリ開會致シマス、先ヅ初メニ御圖リ致シマスガ、第二諮問案ノ答申案ヲ茲ニ報告致シマスガ、昨日カラ續キコスカラ建議事項ヲ先キニ致シマシテ諮問ノ答申案ヲ後廻シニシテ御異議アリマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(黒澤參事官) 今日ハ一昨日ニ續キ協議及ビ建議事項ノ第五ヲ議題ニ致シマス、五、商船學校ニ適當ナル教科書、參考書ノ編纂及海事統計表調製ノ機關ヲ設ケラレタキコト、之ヲ何ウカーツ何誰カ御説明ヲ願ヒマス。

○二番(正戸爲太郎君) 是ハ茲ニ書イテゴザイマス通り、殆ンド大體出來テ居ルヤウニ考ヘマスガ、大體ニ於テ今迄商船學校ニ適切ナ教科書及ビ參考書ノナイ爲ニ非常ニ教授上ニ於テモ困難ヲ致シマシタシ、生徒ノ負擔モ大變重クナツテ居リマス、ソレ故ニ斯ウ云フモノヲ一ツ編纂セラレル機關ヲ設ケラレタイ、斯ウ云フ趣意ナンデス。

○一番(田中茂藏君) 此教科書編纂ノ事ニ付キマシテハ、先般私ガ上京致シマシタ節ニ、親シク關屋サンニ御話ヲ申上ゲテ置キマシタガ、其時チヨット書付ケニシテ置キマシタ事デスガ、何ウモ唯今ニ番ノ申サレマシタ通り教科書ガアリマセヌデハ、之ハ學校ニ依ツテハ随分長ラク勤續シ十年十五年居

ル者ガアル様デアリマスガ、随分手前ノ方ノ學校ナドデハ、今デハ教員ノ交代モ随分先ヅ頻繁ト言ツテ宜シイヤウナ形勢デゴザイマス、ソレデ教員ノ代ル事ニ付イテハ、カネテ教員ガ專門學校ニ適當ニ稍々習熟サレタ時期ニ於テ、代ツテ行クノデ非常ナ缺陷ヲ生ジ、ソレガ爲ニ教授上ニ付イテモ困ルヤウナ事モゴザイマス、教科書ガナイ爲ニ教科ノ根底カラ動搖ヲ來タス様ナコトガゴザイマシテ少カラズ困難ヲ感ジテ居ル次第デアリマスカラ、是非トモ此點ハ何ウカ御熟考セラレン事ヲ一重ニ希望致シマス次第デゴザイマス。

○議長(黒澤參事官) 別ニ御異議モアリマセスカ。

○九番(白井源次君) 此議案ニ付キマシテハ唯今一番二番ノ御意見ノ通りニ出來得ベクンバ教科書ヲ編纂シテ頂キタイト云フ希望デアリマス、第一第二第三ト云フヤウナ事項ニ較ベマス等差ノアル譯デアリマセヌガ、之ハ寧ロ私共ノ希望ト云フ位ノ處ニ御聞キ取り願ヒ度イノデ。

○四番(下村亮太郎君) 之迄東京商船學校ニ一時參考書ヲ貰ツタリ送ツタリシタ事ガアリマスガ、五ハ東京商船學校ニ幾分關係ヲ有シテ居リハセヌカト思ヒマス、現ニ參考書ナリ教科書ナリヲ編纂スルニ餘程東京商船學校ト連絡ヲ取ル必要ガアリハセヌカト思ヒマスガ、一體東京商船ハ遞信省ノ所轄デアリマシテ、何時迄モ遞信省ノモノデアアルモノデアリマセウカ、或ハ文部省ニ移ツテ行クノデナイカ、水産學校ノ例モアリマスガ、教科書ハ東京商船學校デアル方ガ便宜デアルヤウニ思フ、遞信省所轄ハ如何デアリマスカ、從ツテ斯ウ云フ會議ノ時ニ商船學校ヨリ一名派遣セラレタナラバ、斯ウ云フ問題ニ關シテハ多々意見ノ交換上好都合ダラウト思ヒマス、今日ハ仕方アリマセヌガ此大ノ會議ノ時ニハ東京商船學校ガ斯ウ云フ教科書ノ編纂ト云フ事ノ議案ニナツタ時意思ノ交換上好都合ガ好クナイカト思フ。

○議長(黒澤參事官) 唯今四番ヨリノ御話モアリマシタガ、番外ガ今居リマセヌカラ私ガ代ツテ御答

ヘ致シマス、遞信省ノ商船學校ヲ將來文部省ニ移管ニナルヤ否ヤト云フ御質問デアリマシタガ、之ハ何ウモ政府ノ都合デアリマセウケレ共、何ントモ私ヨリ申上ゲル事ハ出來マセヌガ、今日ニ於キマシテハサウ云フヤウナ御話ハ聞イタ事ハ未ダアリマセヌカラ、將來何ウナルカ分リマセヌガ、極ク近い將來ニ於テ文部省ノ方ヘ之ガ移管ニナルト云フ事ハナカラウト思ツテ居リマスガ、其邊ハ能ク分リマセヌ、サウシテ來年カラハ此遞信省ノ商船學校ノ關係者ニ出席シテ貰フト云フ御希望ハ尙ホ一ツ考ヘマシテ成ル可ク次ノ會議ニハ出席シテ頂ク事ガ出來ルヤウニ取リハカラヒマス。

○七番(桃井百太郎君) 此專門科ノ方ノ教科書ニ付キマシテ、例年各學校長ガ集ツタ時分、始終其編纂ヲ希望シテ居ルノデアリマスガ、萬々之ガ實行ガ出來ナイト云フヤウナ事デアリマスナラバ、東京商船學校ニ於テ教授シテ居リマス教科書ニ付イテ居リマス、附圖デアリマス、之モ各學校ノ中デ分ケテ貰ツテ居ル者モアルカ知レマセヌケレ共、專門學科ノ方ニ於ケル附圖ト云フモノハ非常ニ時間ノ取ルモノデアリマス、夫ハ他處カラシテ推察シタ以上ニ難事ナモノデ、機關科航海科ヲ問ハズ造リタル圖ハ一々謄寫版ニ刷リマシテ、小學校ヲ出テ這入ツタバカリノ、サウ云フ事ニ少シモ經驗ノナイ者ガ苦心シテ圖ヲ描クノデ、先ヅチヨツトシタ圖ナラ一時間カ二三時間デ出來ヤウガ、相當ノ圖ヲ拵ヘルノニハ容易ナ事デアリマセヌ、ソレガ一昨年ノ會議ノ時ニ商船學校ノ人ガ臨席シテ、其苦心ヲ披歴シテソレカラ供給シテ貰フ、其事ヲ御話シテ、ソレデ出來ル丈ケハ供給シテ遣ラウ、サウ云フ教科書ト云フモノハ出來ナイモノデアリマスナラ、何ウカ此附圖丈ケデモ滞リナク供給出來ルヤウニ文部省ノ方カラ學校ノ方ニ御話シテ頂ク譯ニ行キマセヌカ、ソレデ此方ノ方カラ願ツテモナイト云フ事デ生徒ノ半數ニ持タセ半數ニ持タセナイト云フヤウナ事モアル、私ノ方デモ一級ノ中デ五人丈ケ持ツテ居ナイ後ハ皆持ツテ居ル、印刷ガ商船學校ノ入學者ノ少イ時ニ餘ツタ物ヲ分ケテ貰ウト云フ譯デ、原版ハアルヤウデアリマスカラシテ、若シ此方デ交渉ニナツテ附圖ヲ纏メテ貰フコトガ出來レバ甚ダ都合

デスカラ、何ウカ供給ノ出来ルヤウニ御交渉ヲ願ヒタイ。

○議長(黒澤參事官) 唯今ノ御希望ハ成ル可ク商船學校ノ方ニ交渉致シマシテ、當局ノ方カラ掛合ヒマシテ御希望ヲ滿タスヤウナ事ニ盡力ヲ充分致シマス。

○一番(田中茂藏君) 御参考迄ニ申上ゲテ置キマスガ、外ノ學校ハ如何デゴザイマスカ、手前ノ見聞キヲ致シマシタ處デハ、或商船學校デハ自分ノ學校デ發行致シマシタ教科書ヲ使ツテ居ル地方ガアルト云フヤウニ責任アル人カラ聞イテ居リマスガ、手前ナドハサウ云フ事ハ實ハ相當ニ經費ナド頂戴出来レバ、印刷機械ヲ置イテ自分ノ學校ノ職員ナドニサセテ見タイ、若シ之ガ好ケレバ外ノ學校ニ迄御分ケシテモ宜シイ、斯ウ云フ方法迄考ヘテ居リマスガ、何分經費ガ足ラヌノデ、其點ニ付キマシテハカネテ其意見ヲ屢々申シタ譯デアリマス、之ガ爲ニハ詰ラナイ處ノ時間ヲ費シテ教員ノ頭ヲ徒ラニ減スト云フ様ナ事ニナリマスカラ、何ウカ是非ノ何トカ御熟考願ヒ度イ。

○八番(小林善四郎君) 唯今東京商船學校ニ於ケル處ノ教科書ニ付イテ函館ノ御話デアリマシタガ、東京商船學校生徒ノ直接用ヒテ居リマス教科書ハ私ノ方デ用ヒル必要ハゴザイマセヌガ、今七番ノ言ハレタ運用ノ圖ダトカ、機關ノ圖ダトカト云フ、之ハ商船學校ノ校友會ナルモノガ出版權ヲ持ツテ居ル、故ニ商船學校ガ滞リナク始終送ツテ貰フニハ多數出版シタ場合ノ餘リデ、商船學校ノ爲ト云フテ別ニ拵ヘテナイ、完成前ニ要スル部數ヲ言フテ來レバ出来得ル丈ケ便利ヲ圖ルト云フ事ヲ幹事ノ方ガ言ハレタト云フ事ヲチヨット念ノ爲申シマス。

○四番(下村亮太郎君) 今七番ノ言ハレタ事ハ機關科ニ屬スル事デナイカト思ヒマスガ、機關科ハ此點ハ餘程難シイト云フ事ヲカネテ聞イテ居リマス、實ハ岡山ノ商船學校モ機關科ノ圖ニハ始終困難シテ居マス他ノ教科書ノ事ニ付イテモ非常ニ困難シテ居リマス、ソレデアリマスカラ私ハ七番ノ言ハレタ意見ト全ク同意見ヲ持ツテ居リマス。

○七番(桃井百太郎君) 今ノハ機關科バカリデハナイノデス。

○四番(下村亮太郎君) 兩方デス。

○七番(桃井百太郎君) 兩方デスカ今前以テ何部ト言ツテヤツテ行ケル時ハ宜シウゴザイマスガ、大體這入ツテ來ル人数ガ分リマセヌカラ、此數ヲ四人五人六人ト實際ノ豫期ガ出来ナイ場合ガアリマスソレデ先キニ餘分ニ頂イテ置ケバ宜シウゴザイマスガ、何分高價ナモノデスカラサウ多數餘分ニ頂イテ、ソレ丈ケ金ヲ寝カシテ置クト云フ事モ出来マセヌノデ、ソレデ其時期ノ相違ニ依ツテ少シ後レルト云フト無論言ツテヤツテモ呉レヌ、其點ハ何デモ前ニハナカノ分ケテハ貰エナカッタガ、一昨年御話ノ結果分ケテ貰フ事ニ、ソレモ生徒ノ人数ヲ極メルニハチヨット時期ガアルカラチヨット極リカネル。

○八番(小林善四郎君) 何ウデス議論ハ盡キタヤウデ。

○議長(黒澤參事官) 大抵御議論モ盡キマシタヤウデアリマス、採決致シマス、第五ニ御賛成ノ御方ノ御起立ヲ願ヒマス。

全會一致

○議長(黒澤參事官) 全會一致可決致シマス、次ニ第六ヲ議題ニ致シマス。

六、専門教員優遇ノ件

時局ノ影響ハ専門教員ヲ得ルコト大ニ困難ヲ感ズ併カモ將來ニ於テハ教育上一層優良ナル教員ヲ得ルノ必要アリ依テ相當優遇ノ途ヲ講スルハ目下ノ急務ナリトス
ト云フノデアリマス、之ハ何誰カ委員ノ方カラシテ御説明ヲ願ヒマス。

○二番(正戸爲太郎君) 事局ノ影響ノ爲ニ海軍界ハ突飛ナル發展ヲ致シマシテ、從ツテ船舶ハ益々殖エマシヤウナ場合ニ於テ、其海員ノ足リナイ爲ニ各會社船主等ガ殆ンド引ツ張り帆ノヤウニシテ海員